

那覇市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書

< 目 次 >

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計	1
(1)	調査の回答者	1
(2)	調査期間及び調査手法	1
3.	回収状況	1
4.	調査結果の見方	2
第2章	回答者の基本属性	3
1.	性別	3
2.	年齢	3
3.	要介護度	3
4.	地域包括支援センターの認知度	4
5.	圏域別基本属性	4
第3章	評価項目別の結果	5
1.	運動器	5
(1)	評価方法	5
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	5
(3)	該当状況(圏域別)	6
2.	栄養	7
(1)	評価方法	7
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	7
(3)	該当状況(圏域別)	8
3.	咀嚼	9
(1)	評価方法	9
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	9
(3)	該当状況(圏域別)	10
4.	閉じこもり	11
(1)	評価方法	11
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	11
(3)	該当状況(圏域別)	12
5.	認知機能	13
(1)	評価方法	13
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	13
(3)	該当状況(圏域別)	14
6.	うつ傾向	15
(1)	評価方法	15
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	15
(3)	該当状況(圏域別)	16
7.	転倒リスク	17
(1)	評価方法	17
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	17
(3)	該当状況(圏域別)	18
8.	IADL(手段的自立度)	19
(1)	評価方法	19
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	19

(3) 該当状況(圏域別)	20
9. 各評価項目リスク者割合の経年比較	21
第4章 調査結果の詳細	22
1. 調査の回答者	22
2. 家族や生活状況について【問1】	23
(1) 家族構成【必須項目】	23
(2) 介護・介助の必要性【必須項目】	25
(3) 主な介護・介助者【オプション項目】	27
(4) 暮らしの経済状況【必須項目】	29
(5) 住居形態【オプション項目】	31
3. からだを動かすことについて【問2】	33
(1) 階段の上り下り【必須項目】	33
(2) 椅子からの立ち上がり【必須項目】	35
(3) 15分位の歩行【必須項目】	37
(4) 過去1年の転倒経験【必須項目】	39
(5) 転倒に対する不安【必須項目】	41
(6) 1週間の外出回数【必須項目】	43
(7) 外出回数の減少状況【必須項目】	45
(8) 外出控え【オプション項目】	47
(9) 外出控えの理由【オプション項目】	49
(10) 外出時の移動手段【オプション項目】	51
4. 食べることについて【問3】	53
(1) BMI(身長・体重)【必須項目】	53
(2) 半年前と比較した固いものの咀嚼状況【必須項目】	55
(3) 汁物でむせた経験【オプション項目】	57
(4) 歯の本数と入れ歯の利用状況【必須項目】	59
(5) 共食の機会【必須項目】	61
5. 毎日の生活について【問4】	63
(1) 物忘れの多寡【必須項目】	63
(2) スマートフォンの操作【市独自項目】	65
(3) 一人での外出【必須項目】	67
(4) 食品・日用品の買物【必須項目】	69
(5) 食事の用意【必須項目】	71
(6) 請求書の支払い【必須項目】	73
(7) 預貯金の出し入れ【必須項目】	75
(8) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)の記入【必須項目】	77
(9) 趣味や楽しみについて【オプション項目】	79
(10) コロナウィルスによる生活心身の状況変化【市独自項目】	81
(11) ①以前と比べて、どんな変化があったかについて【複数回答可】	83
6. 地域での活動について【問5】	85
(1) 地域活動や趣味活動について【必須項目】	85
(1)①ボランティアのグループへの参加【必須項目】	86
(1)②スポーツ関連グループへの参加【必須項目】	88
(1)③趣味関係のグループへの参加【必須項目】	90
(1)④学習・教養のグループへの参加【必須項目】	92
(1)⑤介護予防のための通いの場への参加【必須項目】	94
(1)⑥老人クラブへの参加【必須項目】	96
(1)⑦町内会・自治会・通り会への参加【必須項目】	98
(1)⑧収入のある仕事への参加【必須項目】	100
(2) 地域づくり活動への参加者としての参加意向【必須項目】	102

(3)	地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向【必須項目】	106
7.	たすけあいについて【問6】	108
(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人【必須項目】	108
(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人【必須項目】	110
(3)	看病や世話をしてくれる人【必須項目】	112
(4)	看病や世話をしてあげる人【必須項目】	114
(5)	家族や友人・知人以外での相談相手【オプション項目】	116
(6)	安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【市独自項目】	118
(7)	災害時への備え【市独自項目】	120
(8)	緊急時に携帯等(スマホ)で助けを求めることの可否【市独自項目】	122
8.	健康について【問7】	124
(1)	主観的健康状態【必須項目】	124
(2)	現在の幸福度【必須項目】	126
(3)	この一か月間での気分の沈み、ゆううつな気持ち【必須項目】	128
(4)	この一ヵ月での興味・楽しみの減退【必須項目】	130
(5)	飲酒状況【必須項目】	132
(6)	喫煙状況【必須項目】	134
(7)	治療中、または後遺症のある病気【必須項目】	136
(8)	かかりつけ医の有無【市独自項目】	138
(9)	希望する要介護状態時期の居所【市独自項目】	140
(10)	希望する終末期の居所【市独自項目】	142
(11)	終末期の医療、介護、延命措置に関する要望の伝達状況【市独自項目】	144
(12)	自宅での医療ケア受診の認知【必須項目】	146
(13)	特定健診や長寿健診の受診の状況【必須項目】	148
9.	認知症にかかる相談窓口の把握について【問8】	150
(1)	認知症の症状の有無【必須項目】	150
(2)	認知症の相談窓口の認知度【必須項目】	152
参考資料		154
使用した調査票		154

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者の生活実態や課題、地域ごとの傾向の違い等を把握し、介護予防に向けた取り組みに活かしていくことを目的に、那覇市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施した。

調査票の設問項目については、国が示した必須項目にオプション項目の一部と那覇市独自設問を加えて作成した。

2. 調査設計

(1) 調査の回答者

那覇市内の65歳以上の高齢者（要介護1～5の認定を受けている方以外）から、日常生活圏域（18圏域）ごとに均等に標本数を割り当て、約15,000人を無作為に抽出。

※日常生活圏域である各地域包括支援センターの圏域ごとに400以上のサンプル確保を目指すものとし、50%程度の有効回収率となる想定で標本数を設定。

(2) 調査期間及び調査手法

調査期間：令和4年12月8日（木）～令和5年1月25日（金）（回収予備期間含む）

調査手法：郵送による配布回収 ※調査期間中に礼状兼協力依頼はがきを全員に発送（1回）

3. 回収状況

圏域(包括地区)名	標本数	回収数	回収率
1 石嶺	833	547	65.7%
2 大名	833	465	55.8%
3 城西	833	492	59.1%
4 繁多川	833	428	51.4%
5 松川	833	458	55.0%
6 松島	833	459	55.1%
7 識名	833	506	60.7%
8 安里	833	451	54.1%
9 古波蔵	833	451	54.1%
10 国場	833	436	52.3%
11 新都心	833	495	59.4%
12 安謝	833	437	52.5%
13 泊	833	435	52.2%
14 若狭	833	399	47.9%
15 城岳	833	453	54.4%
16 かなぐすく	833	404	48.5%
17 小禄	833	505	60.6%
18 高良	833	451	54.1%
無回答		153	
全体	14,994	8,425	56.2%

《参考》中圏域別集約結果

中圏域名	標本数	回収数	回収率	該当する圏域
首里地区	2,499	1,504	60.2%	石嶺・大名・城西
真和志地区	4,998	2,738	54.8%	繁多川・松川・松島・識名・古波蔵・国場
本庁地区	4,998	2,670	53.4%	安里・新都心・安謝・泊・若狭・城岳
小禄地区	2,499	1,360	54.4%	かなぐすく・小禄・高良

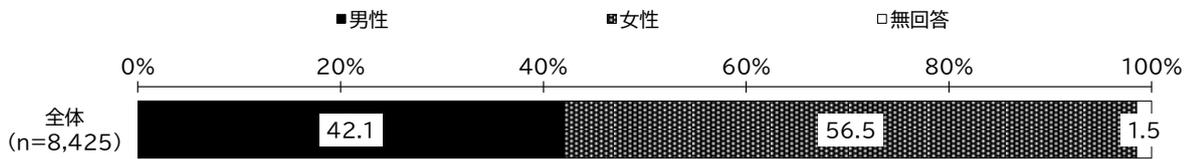
4. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の「調査数」を基数(n)とした百分率(%)で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 性別・年齢、圏域等の基本属性等とのクロス集計においては、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- クロス集計等において、基数(n)となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

第2章 回答者の基本属性

1. 性別

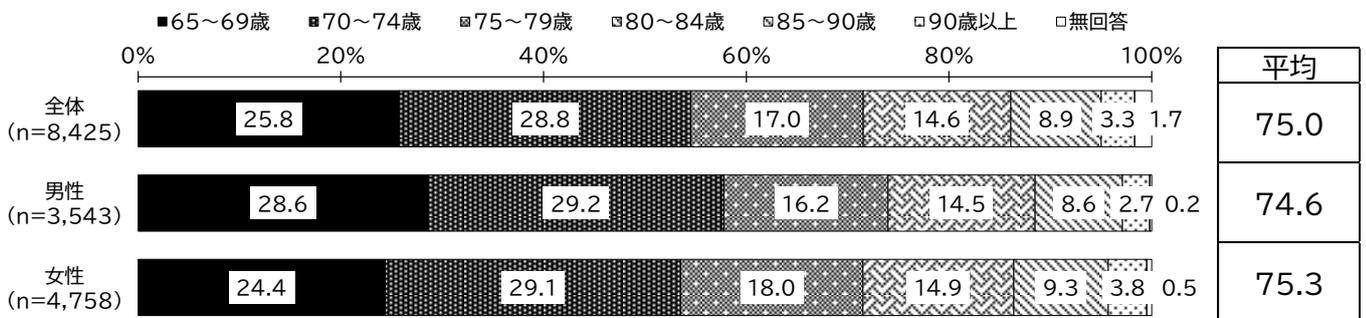
図表-1 性別



回答者の性別は、「男性」が42.1%、「女性」が56.5%と、女性の割合が高い。

2. 年齢

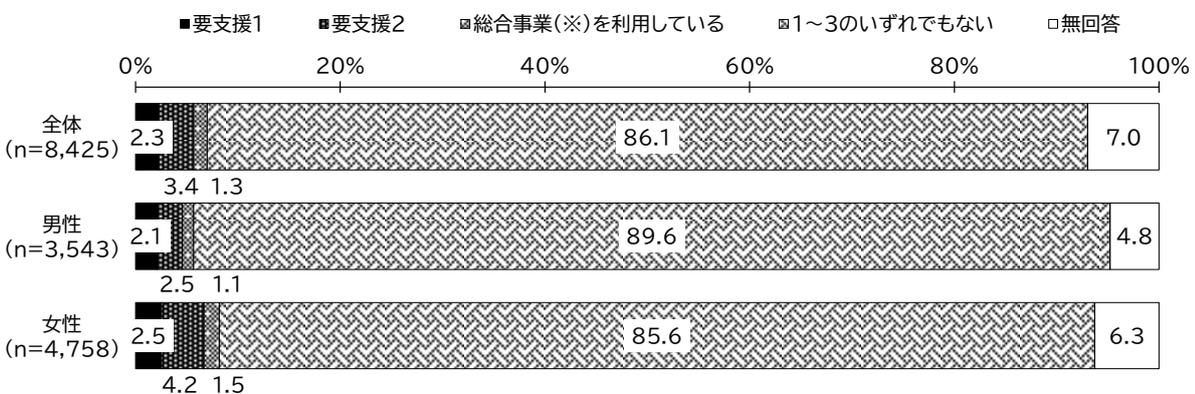
図表-2 年齢



回答者の年齢は、全体では「65～69歳」が25.8%、「70～74歳」が28.8%、「75～79歳」が17.0%となり、74歳以下が54.6%、75歳以上が43.8%を占めている。
また、平均年齢は75.0歳(男性:74.6歳、女性:75.3歳)である。

3. 要介護度

図表-3 要介護度

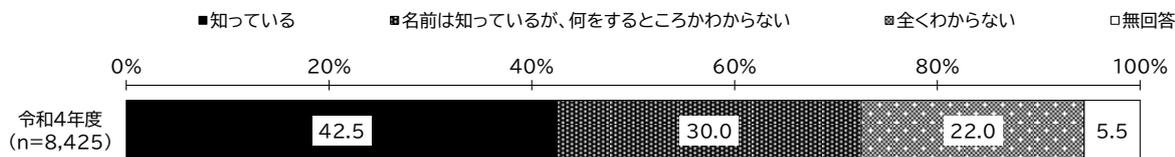


本調査は要介護認定者(要介護1～5)以外の高齢者を対象に実施しており、回答者の86.1%が要介護(要支援)認定を受けていない高齢者(以下、「一般高齢者」という。)であり、要支援認定者は5.7%である(要支援1:2.3%、要支援2:3.4%)、総合事業を利用しているは1.3%である。

4. 地域包括支援センターの認知度

地域包括支援センターの認知度は「知っている」42.5%であり、「名前は知っているが、何をすると
ころかわからない」30.0%、「全くわからない」22.0%となっている。

図表-4 地域包括支援センターの認知度



5. 圏域別基本属性

図表-5 圏域別基本属性

	調査数 (人)	性別		年代								年齢 平均	要介護度					地域包括支援センターの認知			
		男性	女性	無回答	65 69歳	70 74歳	75 79歳	80 84歳	85 89歳	90 歳以上	無回答		要 支 援 1	要 支 援 2	総 合 事 業 (※) を利用 して いる	1 3の い ず れ で も な い	無 回 答	知 っ て い る	名 前 は 知 っ て い る が、 何 を す る と こ ろ か わ か ら な い	全 く わ か ら な い	無 回 答
全体	8,425 100.0	3,543 42.1	4,758 56.5	124 1.5	2,177 25.8	2,425 28.8	1,431 17.0	1,226 14.6	747 8.9	276 3.3	143 1.7	75.0歳	191 2.3	286 3.4	111 1.3	7,251 86.1	586 7.0	3,582 42.5	2,529 30.0	1,853 22.0	461 5.5
居住地	石嶺	547 100.0	234 42.8	309 56.5	4 0.7	123 22.5	152 27.8	103 18.8	100 18.3	45 8.2	17 3.1	75.5歳	12 2.2	19 3.5	2 0.4	478 87.4	36 6.6	248 45.3	176 32.2	105 19.2	18 3.3
	大名	465 100.0	189 40.6	274 58.9	2 0.4	111 23.9	124 26.7	85 18.3	69 14.8	53 11.4	18 3.9	75.8歳	7 1.5	20 4.3	8 1.7	402 86.5	28 6.0	214 46.0	134 28.8	87 18.7	30 6.5
	城西	492 100.0	218 44.3	270 54.9	4 0.8	108 22.0	147 29.9	83 16.9	83 16.9	48 9.8	17 3.5	75.6歳	16 3.3	12 2.4	4 0.8	444 90.2	16 3.3	221 44.9	140 28.5	113 23.0	18 3.7
	繁多川	428 100.0	174 40.7	253 59.1	1 0.2	104 24.3	114 26.6	69 16.1	76 17.8	42 9.8	19 4.4	75.8歳	17 4.0	13 3.0	9 2.1	365 85.3	24 5.6	199 46.5	131 30.6	73 17.1	25 5.8
	松川	458 100.0	198 43.2	258 56.3	2 0.4	106 23.1	147 32.1	81 17.7	56 12.2	45 9.8	21 4.6	75.3歳	10 2.2	17 3.7	10 2.2	392 85.6	29 6.3	191 41.7	143 31.2	97 21.2	27 5.9
	松島	459 100.0	204 44.4	252 54.9	3 0.7	129 28.1	136 29.6	77 16.8	65 14.2	32 7.0	17 3.7	74.6歳	7 1.5	8 3.3	8 1.7	397 86.5	32 7.0	203 44.2	125 27.2	111 24.2	20 4.4
	識名	506 100.0	215 42.5	288 56.9	3 0.6	128 25.3	139 27.5	83 16.4	79 15.6	53 10.5	21 4.2	75.5歳	11 2.2	22 4.3	3 0.6	435 86.0	35 6.9	208 41.1	173 34.2	104 20.6	21 4.2
	安里	451 100.0	180 39.9	266 59.0	5 1.1	106 23.5	133 29.5	88 19.5	63 14.0	37 8.2	18 4.0	75.1歳	7 1.6	17 3.8	5 1.1	395 87.6	27 6.0	160 35.5	143 31.7	118 26.2	30 6.7
	古波蔵	451 100.0	185 41.0	260 57.6	6 1.3	127 28.2	134 29.7	79 17.5	55 12.2	40 8.9	12 2.7	74.6歳	10 2.2	12 2.7	5 1.1	383 84.9	41 9.1	194 43.0	130 28.8	104 23.1	23 5.1
	国場	436 100.0	199 45.6	235 53.9	2 0.5	126 28.9	134 30.7	71 16.3	57 13.1	33 7.6	12 2.8	74.3歳	15 3.4	14 3.2	6 1.4	382 87.6	19 4.4	169 38.8	146 33.5	100 22.9	21 4.8
	新都心	495 100.0	217 43.8	276 55.8	2 0.4	128 25.9	142 28.7	93 18.8	77 15.6	43 8.7	10 2.0	74.8歳	14 2.8	5 1.0	6 1.2	451 91.1	19 3.8	213 43.0	134 27.1	119 24.0	29 5.9
	安謝	437 100.0	187 42.8	247 56.5	3 0.7	128 29.3	129 29.5	66 15.1	57 13.0	38 8.7	14 3.2	74.4歳	12 2.7	14 3.2	7 1.6	373 85.4	31 7.1	161 36.8	120 27.5	131 30.0	25 5.7
	泊	435 100.0	170 39.1	262 60.2	3 0.7	129 29.7	126 29.0	73 16.8	64 14.7	28 6.4	14 3.2	74.4歳	9 2.1	17 3.9	7 1.6	381 87.6	21 4.8	184 42.3	124 28.5	117 26.9	10 2.3
	若狭	399 100.0	169 42.4	226 56.6	4 1.0	107 26.8	124 31.1	70 17.5	46 11.5	36 9.0	13 3.3	74.5歳	10 2.5	15 3.8	4 1.0	348 87.2	22 5.5	174 43.6	125 31.3	84 21.1	16 4.0
	城岳	453 100.0	178 39.3	274 60.5	1 0.2	116 25.6	129 28.5	72 15.9	40 17.0	16 8.8	3 0.7	75.2歳	10 2.2	20 4.4	11 2.4	383 84.5	29 6.4	224 49.4	116 25.6	94 20.8	19 4.2
	かなぐすく	404 100.0	185 45.8	219 54.2	-	112 27.7	116 28.7	72 17.8	55 13.6	39 9.7	9 2.2	74.7歳	8 2.0	11 2.7	3 0.7	354 87.6	28 6.9	160 39.6	127 31.4	91 22.5	26 6.4
	小禄	505 100.0	218 43.2	287 56.8	-	159 31.5	287 29.5	149 13.7	69 14.5	42 8.3	12 2.4	74.3歳	8 1.6	19 3.8	8 1.6	446 88.3	24 4.8	226 44.8	152 30.1	94 18.6	33 6.5
	高良	451 100.0	187 41.5	263 58.3	1 0.2	109 24.2	135 29.9	84 18.6	64 14.2	42 9.3	14 3.1	75.1歳	7 1.6	22 4.9	4 0.9	391 86.7	27 6.0	190 42.1	154 34.1	85 18.8	22 4.9

第3章 評価項目別の結果

本章では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査から算出可能な高齢者の生活機能・日常生活・社会参加等に係る各評価項目におけるリスク者の割合等をもとに、本市における高齢者の状況把握を行う。

1. 運動器

(1) 評価方法

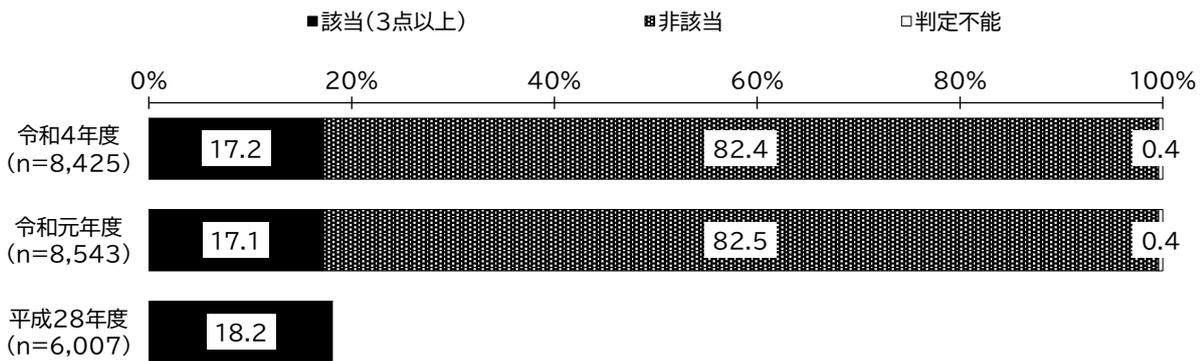
運動器に関する下記の設問5項目のうち、3項目(点)以上に該当する場合「リスク者」(運動器の機能低下)と判定する。

図表－6 運動器の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問2	(1)	階段を手すりを使わずに昇っていますか	3.できない	20.1%
問2	(2)	椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか	3.できない	14.1%
問2	(3)	15分位続けて歩いていますか	3.できない	9.6%
			計	30.1%
問2	(4)	過去一年に転んだ経験はありますか	1. 何度もある	9.5%
			2. 一度ある	20.6%
			計	55.7%
問2	(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である	17.6%
			2. やや不安である	38.1%
			計	55.7%

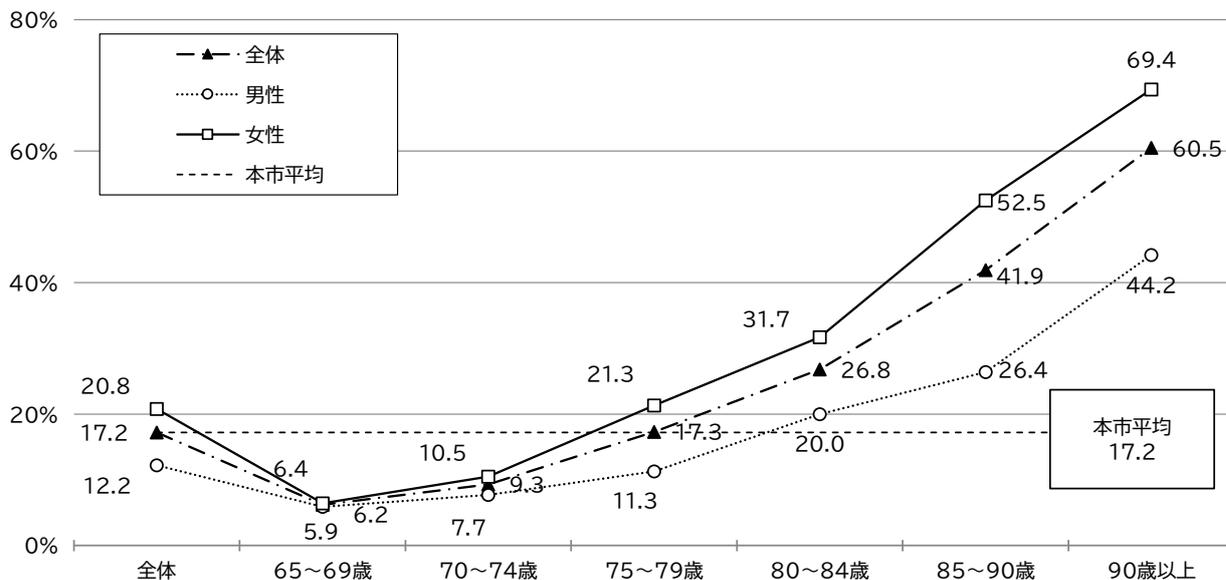
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表－7 運動器の評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

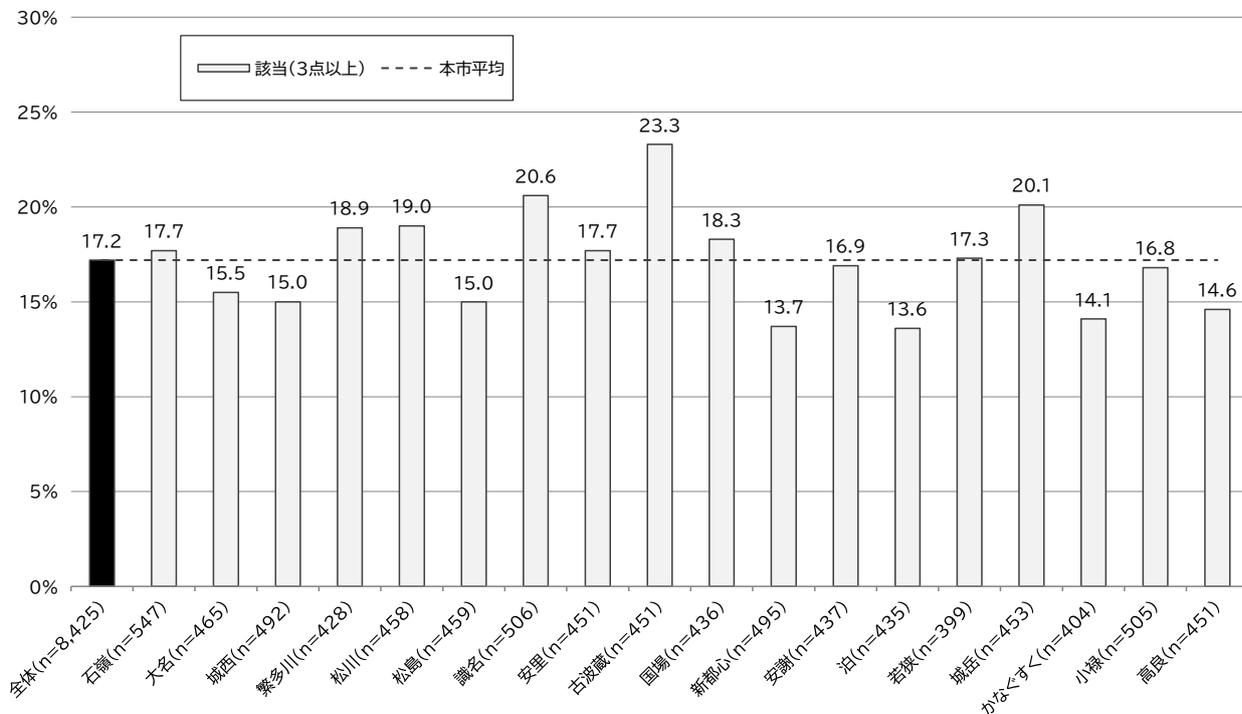
図表－8 性・年齢別 運動器の評価結果(リスク者[該当]の割合)



運動器のリスク者(該当[3点以上])の割合は、全体で17.2%であり、6人に1人が運動機能の低下がみられる。性・年齢別にみると、リスク者の割合はすべての年齢階級で男性よりも女性が高い。また、男女とも年齢階級が上がるほどリスク者割合が上昇する傾向にある。

(3) 該当状況(圏域別)

図表－9 圏域別 運動器の評価結果(リスク者[該当]の割合)



運動器のリスク者(該当[3点以上])の割合を圏域別にみると、古波蔵圏域が23.3%で最も高く、泊圏域が13.6%で最も低い。

2. 栄養

(1) 評価方法

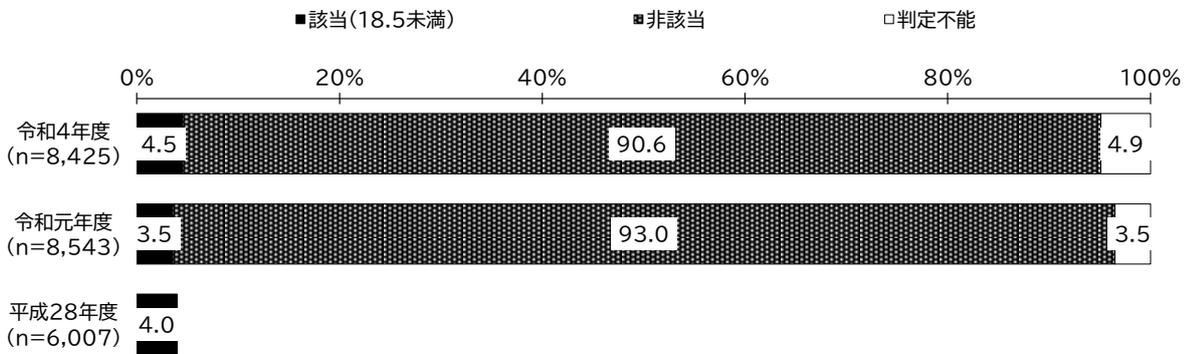
栄養に関する下記の設定において、BMI が18.5未満の場合「リスク者」(低栄養状態)と判定する。
 ※BMI = 体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}

図表-10 低栄養の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問3	(1)	身長・体重 BMI	BMI<18.5	4.5%

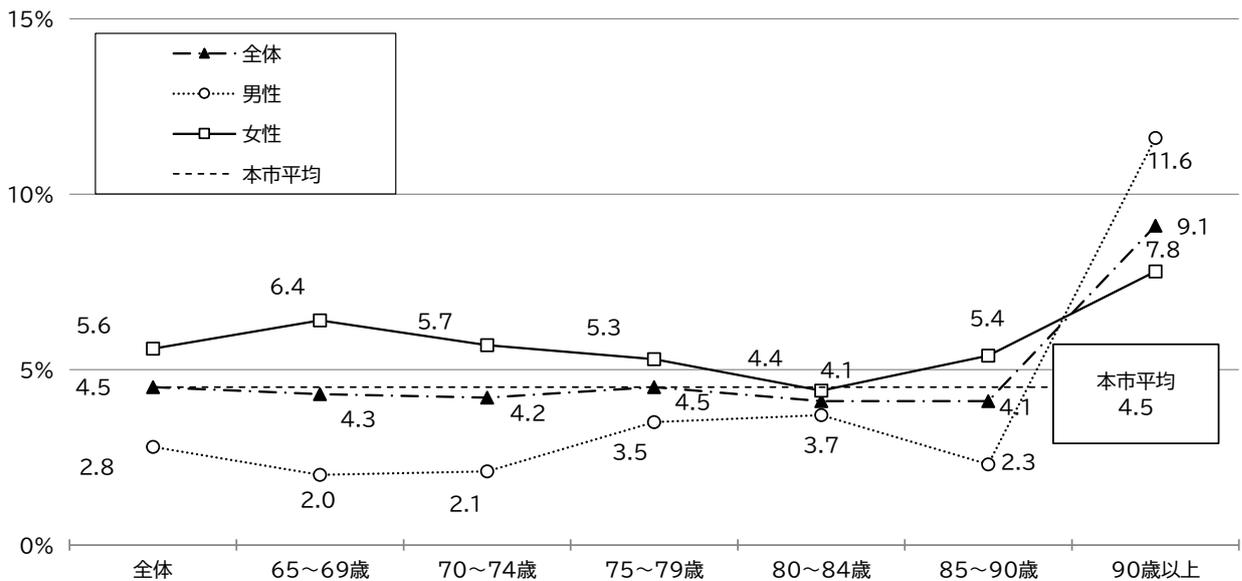
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-11 低栄養の評価結果



平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

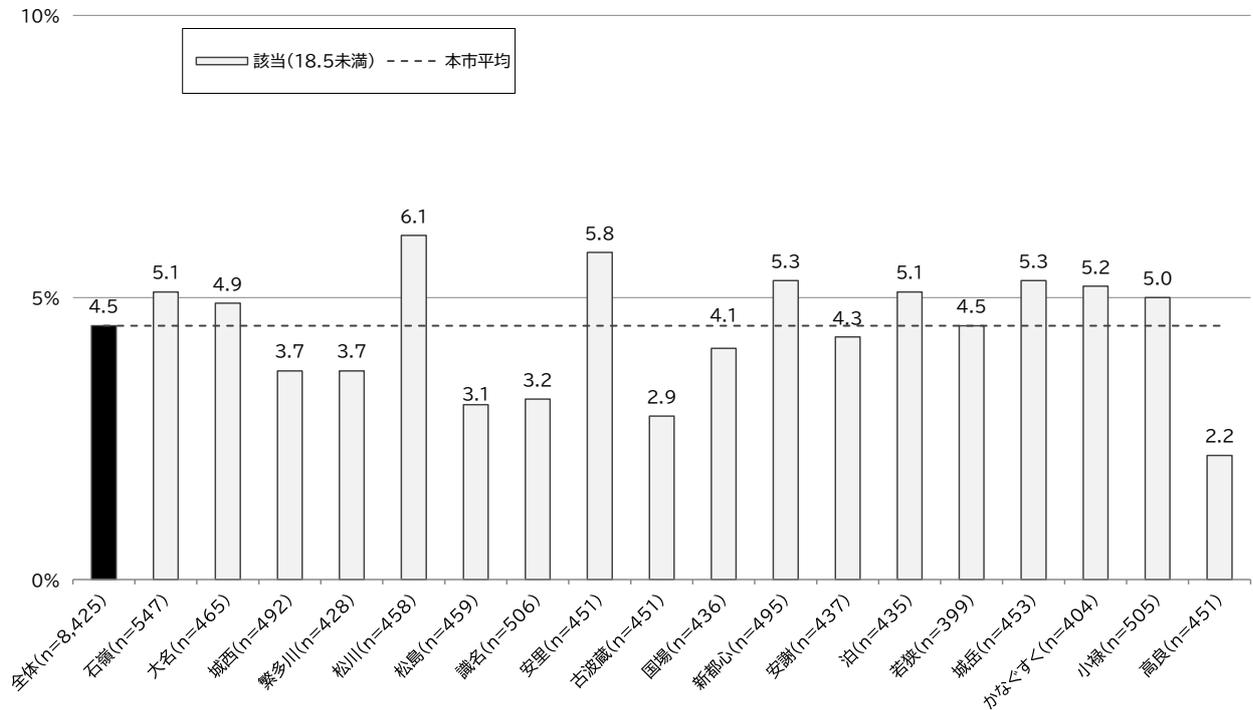
図表-12 性・年齢別 低栄養の評価結果(リスク者[該当]の割合)



低栄養のリスク者(BMI < 18.5)の割合は全体では4.5%である。
 性・年齢別でみると、80歳代以下では男性よりも女性でリスク者の割合が高いが、90歳以上になると男性のリスク者割合が女性よりも高まり、男性では11.6%となる。

(3) 該当状況(圏域別)

図表-13 圏域別 低栄養の評価結果(リスク者[該当]の割合)



低栄養リスク者の割合を圏域別でみると、松川圏域が6.1%で最も高く、次いで安里圏域(5.8%)と新都心、城岳圏域(5.3%)も5%台と高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは高良圏域で2.2%である。

3. 咀嚼

(1) 評価方法

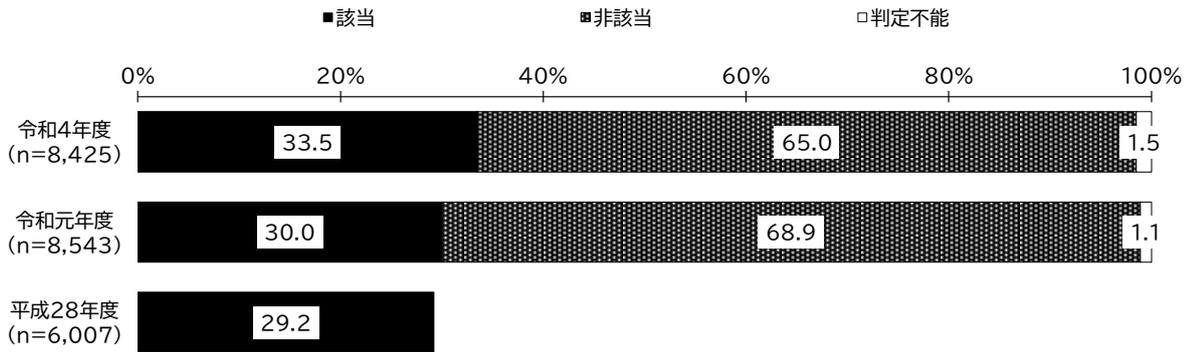
咀嚼機能に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(咀嚼機能低下)と判定する。

図表-14 咀嚼機能の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問3	(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	33.5%

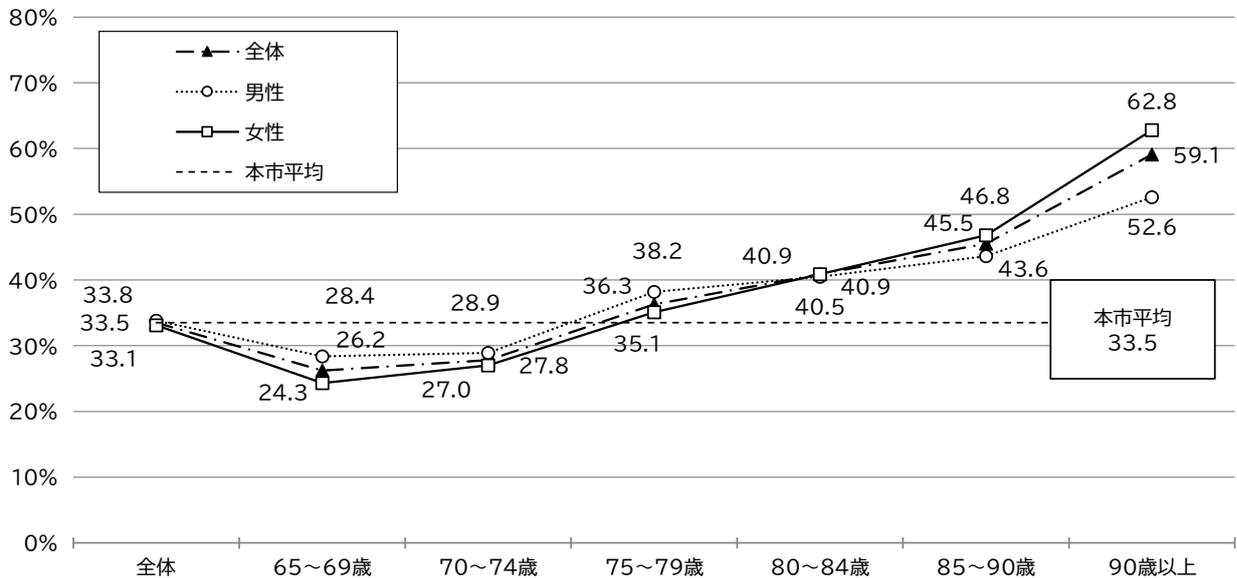
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-15 咀嚼機能の評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

図表-16 性・年齢別 咀嚼機能の評価結果(リスク者[該当]の割合)

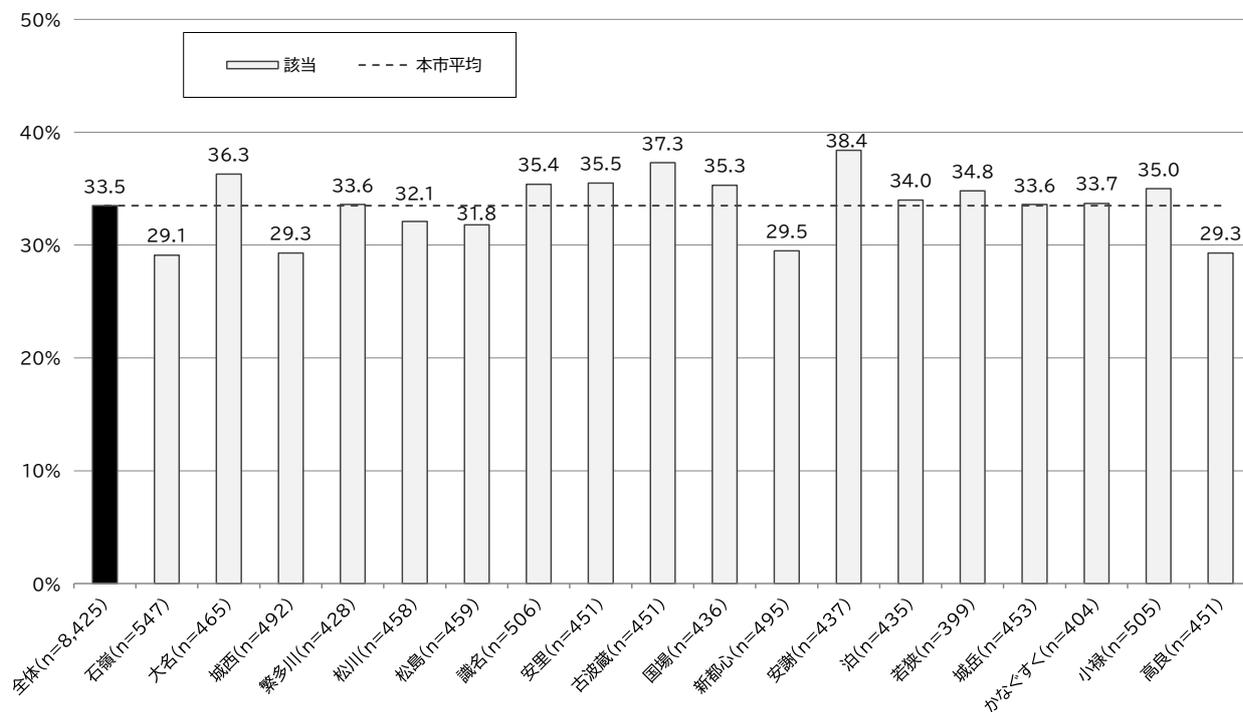


咀嚼機能リスク者の割合は全体では33.5%である。

性・年齢別では、男女ともに年齢階級が上がるほど、咀嚼機能の低下リスク者割合が上昇する傾向にある。また、74歳までの年齢階級では男性のリスク者の割合が女性の割合を上回っているものの、80~84歳で女性リスク者の割合40.9%が男性の割合40.5%に並び、80歳以上では女性が男性を上回っている。

(3) 該当状況(圏域別)

図表-17 圏域別 咀嚼機能の評価結果(リスク者[該当]の割合)



咀嚼機能リスク者の割合を圏域別にみると、安謝圏域が**38.4%**で最も高く、石嶺圏域が**29.1%**で最も低い。

4. 閉じこもり

(1) 評価方法

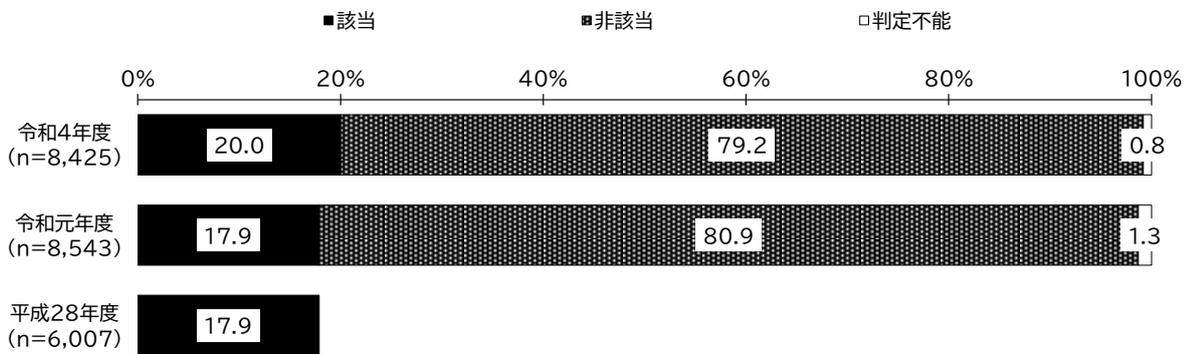
閉じこもり傾向に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(閉じこもり傾向)と判定する。

図表-18 閉じこもりの評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問2	(6)	週に1回以上は外出していますか	計	20.1%
			1.ほとんど外出しない	7.7%
			2.週1回	12.4%

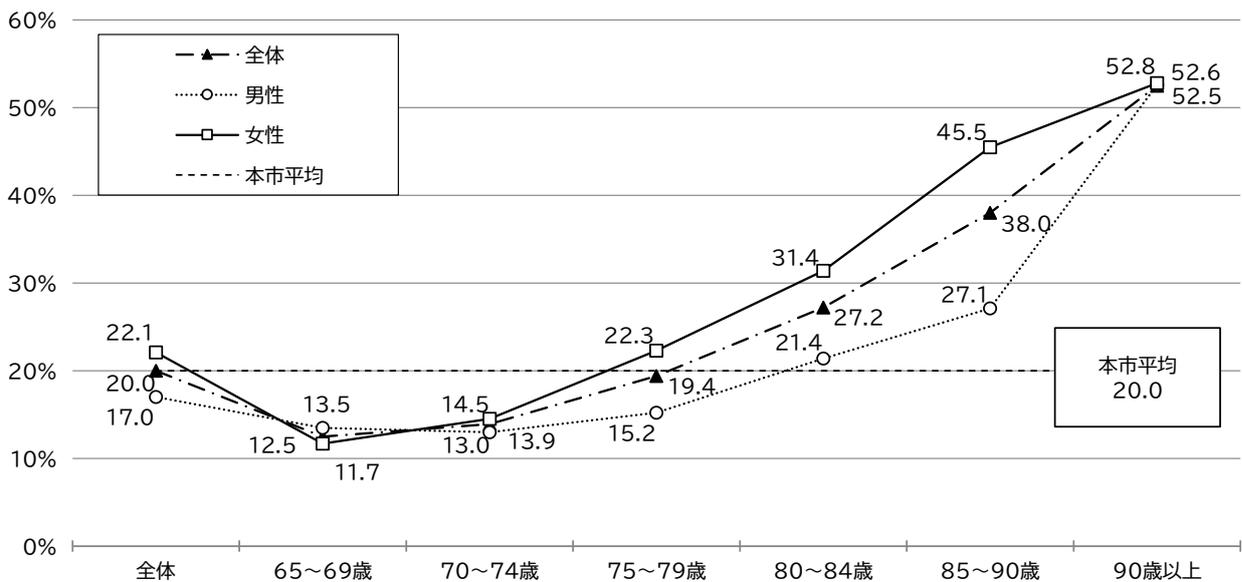
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-19 閉じこもりの評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

図表-20 性・年齢別 閉じこもりの評価結果(リスク者[該当]の割合)

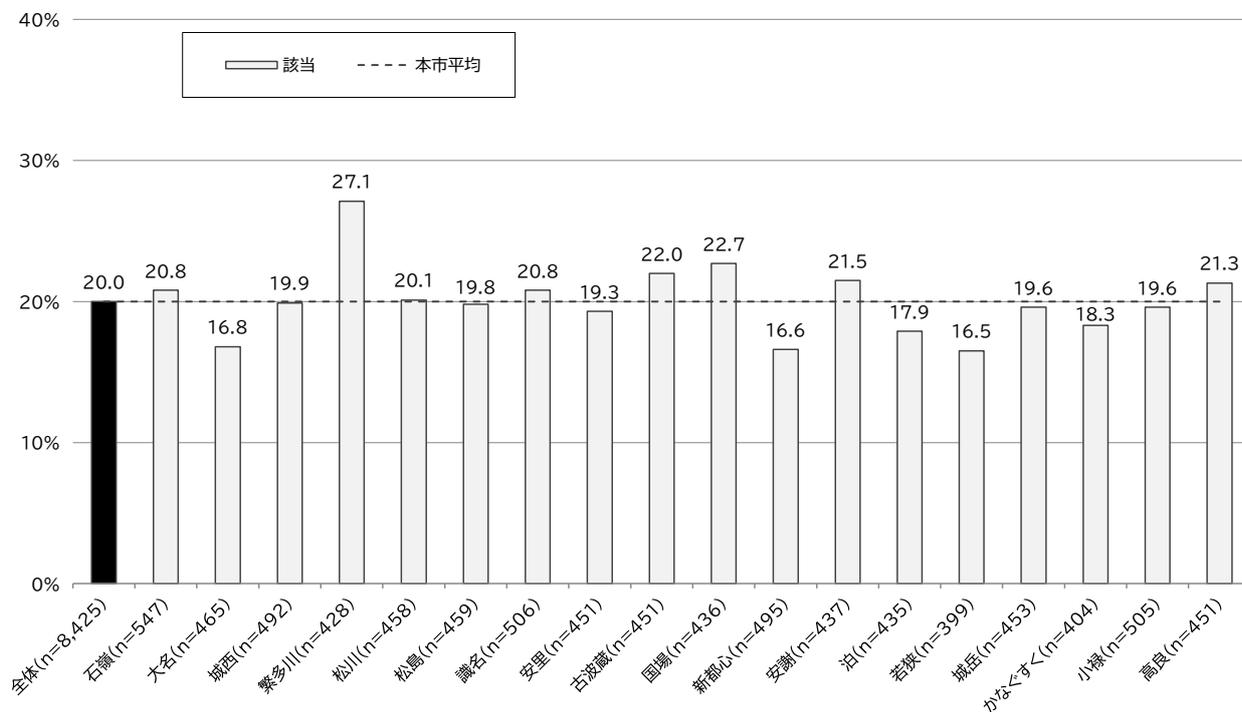


閉じこもりリスク者の割合は、全体では20.0%である。

性・年齢別では、男女ともに74歳までの年齢階級では平均13.9%で推移し、75歳以上の年齢階級でリスク者の割合が上昇し始め、90歳以上では約52.0%にまで上る(男性52.5%、女性52.8%)。

(3) 該当状況(圏域別)

図表－21 圏域別 閉じこもりの評価結果(リスク者[該当]の割合)



閉じこもりリスク者の割合を圏域別にみると、繁多川域が27.1%で最も高く、次いで国場圏域(22.7%)、古波蔵圏域(22.0%)、石嶺圏域(20.8%)も21%前後と高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは若狭圏域で16.5%であり、次いで新都心圏域(16.6%)と大名圏域(16.8%)も16%前後と低い。

5. 認知機能

(1) 評価方法

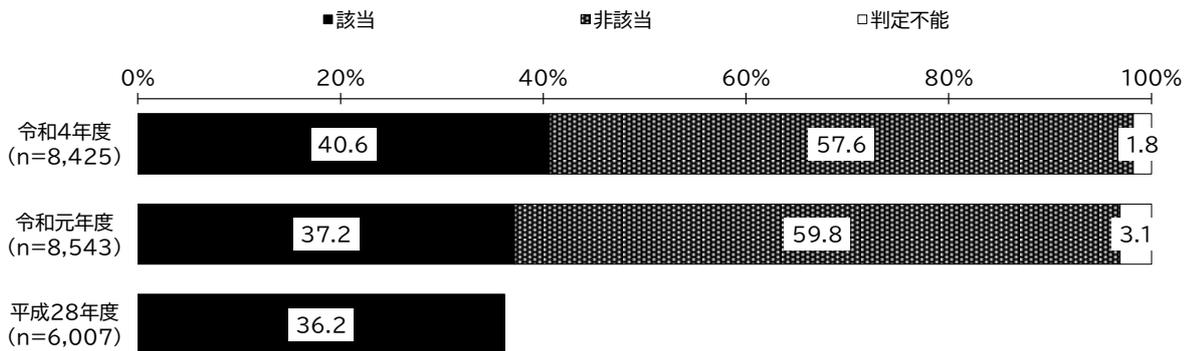
認知機能に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(認知の機能低下)と判定する。

図表－22 認知機能の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問4	(1)	忘れ物が多いと感じますか	1. はい	40.6%

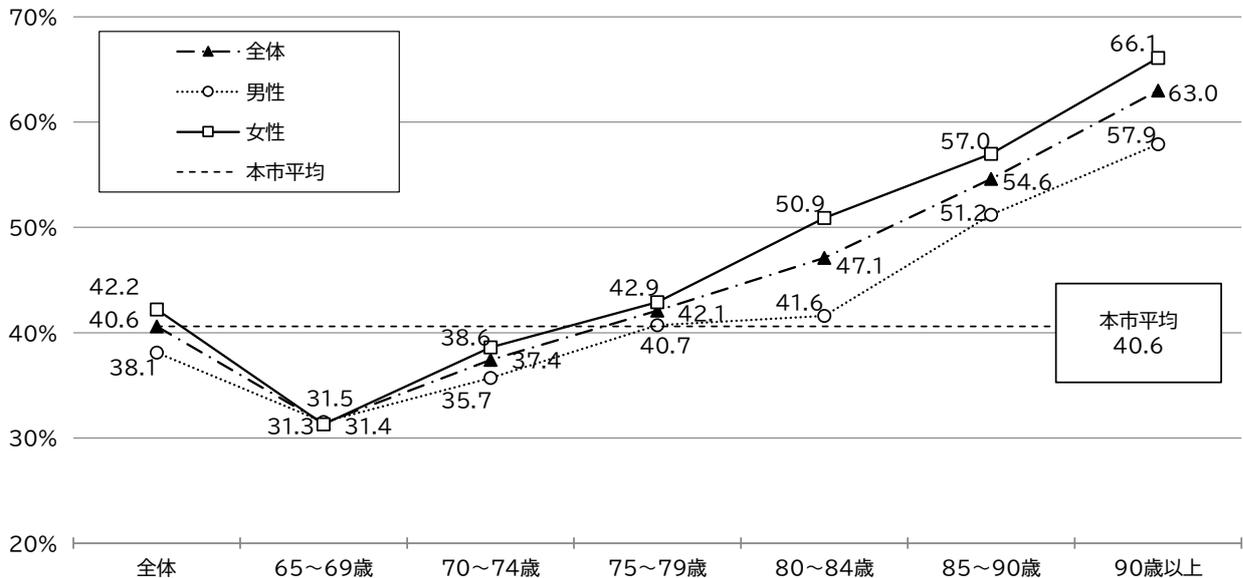
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表－23 認知機能の評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

図表－24 性・年齢別 認知機能の評価結果(リスク者[該当]の割合)

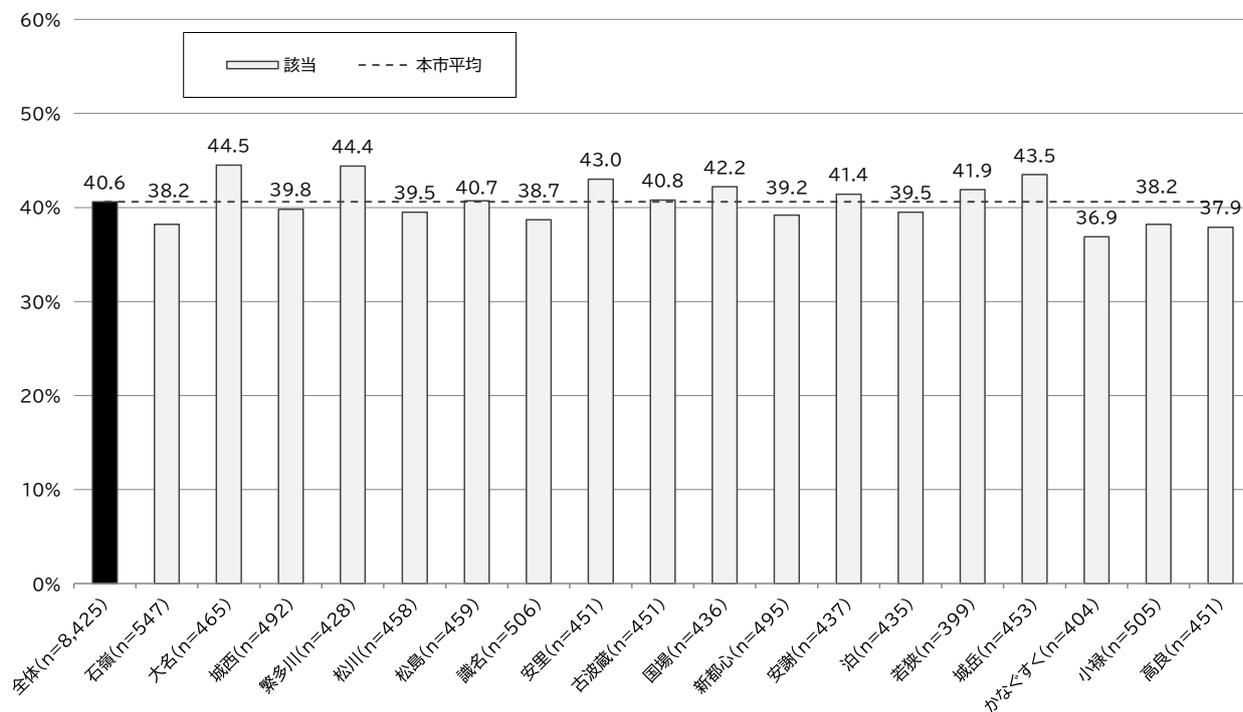


認知機能リスク者の割合は、全体では40.6%である。

性・年齢別では、女性は年齢階級が上がるとともに、認知機能の低下リスク者の割合も上昇していき、90歳以上では66.1%に上り、男性は85歳以降、上昇傾向が著しく51.2%で推移している。

(3) 該当状況(圏域別)

図表-25 圏域別 認知機能の評価結果(リスク者[該当]の割合)



認知機能リスク者の割合を圏域別で見ると、大名圏域が**44.5%**で最も高く、次いで繁多川圏域(**44.4%**)も**44%**を超えて高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは、かなぐすく圏域で**36.9%**であり、次いで高良圏域(**37.9%**)も**37%**台と低い。

6. うつ傾向

(1) 評価方法

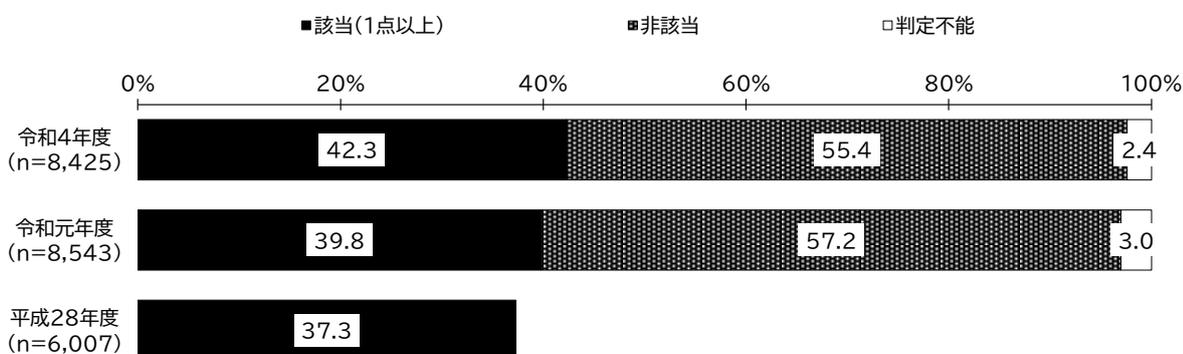
うつ傾向に関する下記の設問2項目のうち、いずれかに該当する場合「リスク者」(うつ傾向)と判定する。

図表-26 うつ傾向の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問7	(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	38.3%
問7	(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	25.3%

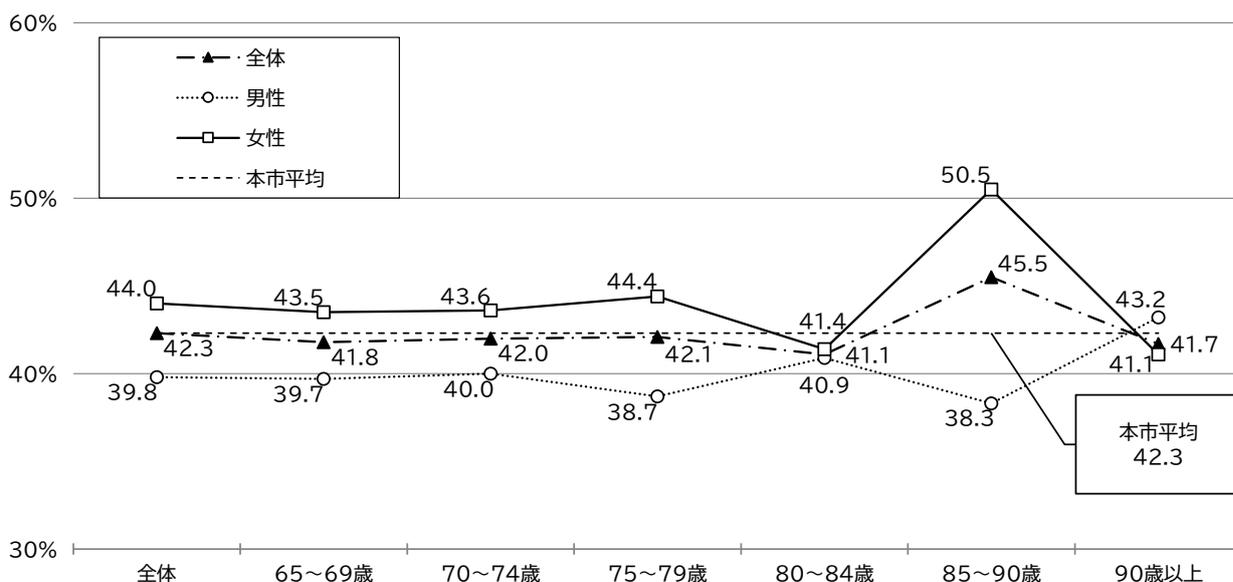
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-27 うつ傾向の評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

図表-28 性・年齢別 うつ傾向の評価結果(リスク者[該当]の割合)

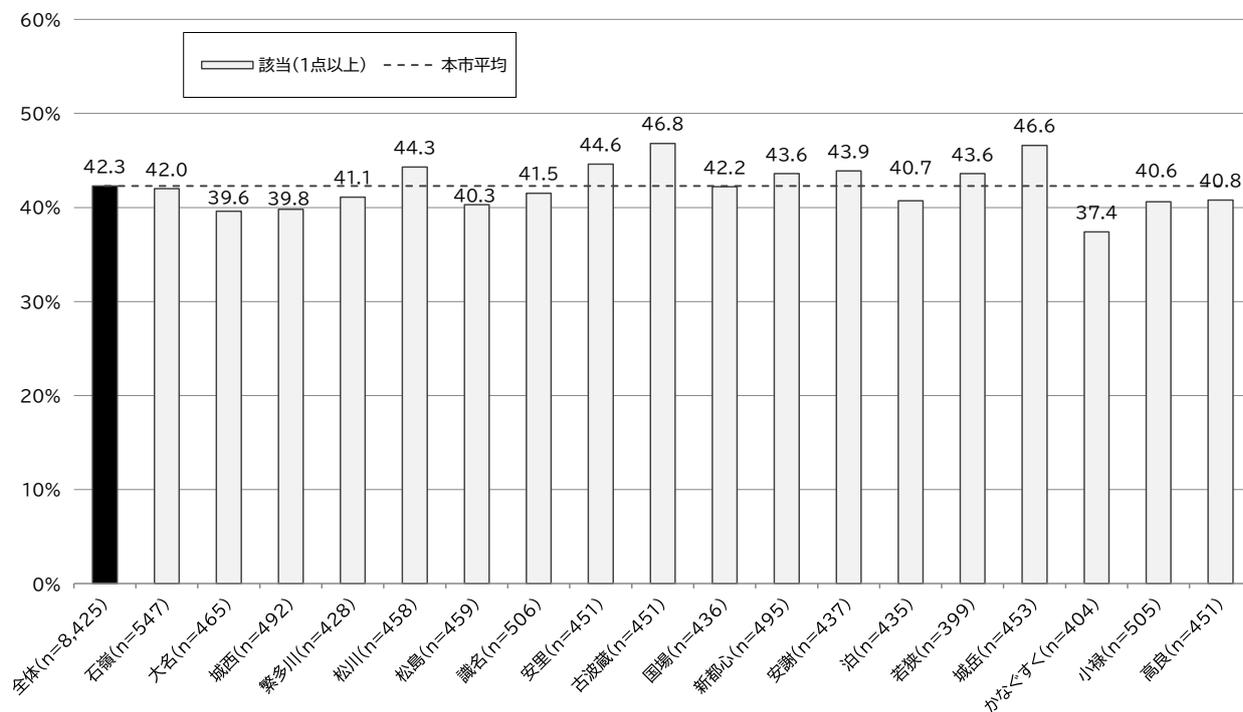


うつ傾向リスク者(1点以上)の割合は、全体では42.3%である。

性・年齢別では、女性は男性よりもうつ傾向リスク者の割合が高く、特に85歳以上では女性50.5%、男性38.3%であり、12.2%の差がついている。

(3) 該当状況(圏域別)

図表-29 圏域別 うつ傾向の評価結果(リスク者[該当]の割合)



うつ傾向リスク者(1点以上)の割合を圏域別にみると、古波蔵圏域が**46.8%**で最も高く、かなぐすく圏域(**37.4%**)で最も低い。

7. 転倒リスク

(1) 評価方法

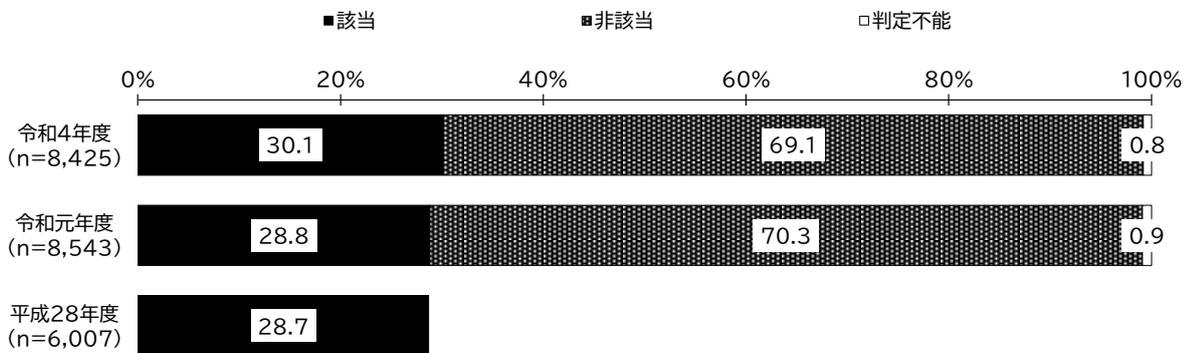
転倒リスクに関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(転倒リスク保有)と判定する。

図表-30 転倒リスクの評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問2	(4)	過去一年間に転んだ経験はありますか	計	30.1%
			1. 何度もある	9.5%
			2. 一度ある	20.6%

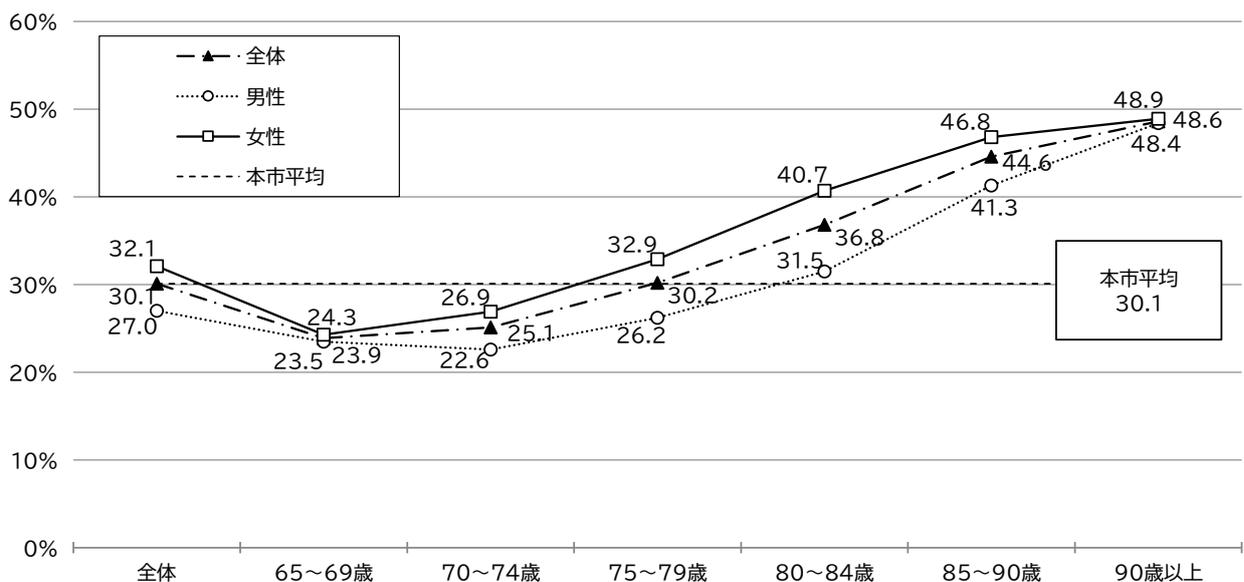
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-31 転倒リスクの評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

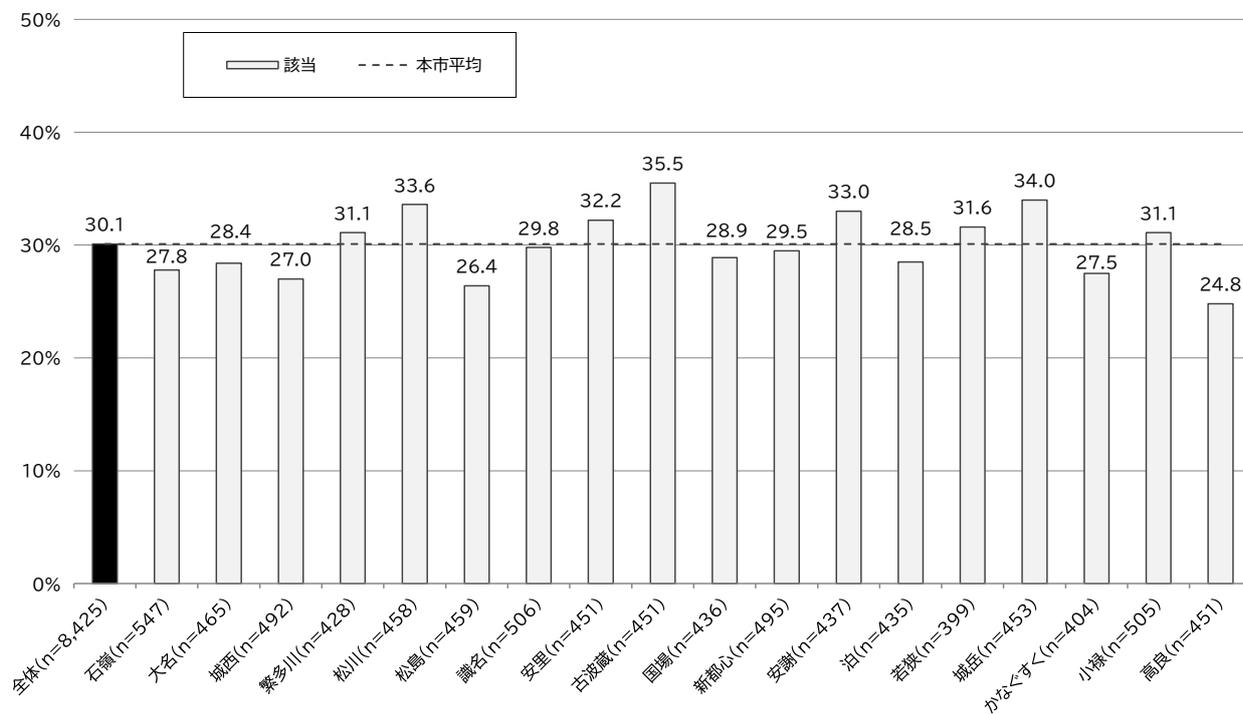
図表-32 性・年齢別 転倒リスクの評価結果(リスク者[該当]の割合)



転倒リスク者の割合は、全体では30.1%である。性・年齢別では、すべての年齢階級において女性は男性よりも転倒リスク者の割合が高く、特に80~84歳では女性の方が9.2ポイント高い。90歳以上では性別での差は小さくなり、男女とも48%にまで上る(男性48.4%、女性48.9%)。

(3) 該当状況(圏域別)

図表-33 圏域 転倒リスクの評価結果(リスク者[該当]の割合)



転倒リスク者の割合を圏域別でみると、古波蔵圏域が35.5%で最も高く、高良圏域が24.8%で最も低い。

8. IADL(手段的自立度)

(1) 評価方法

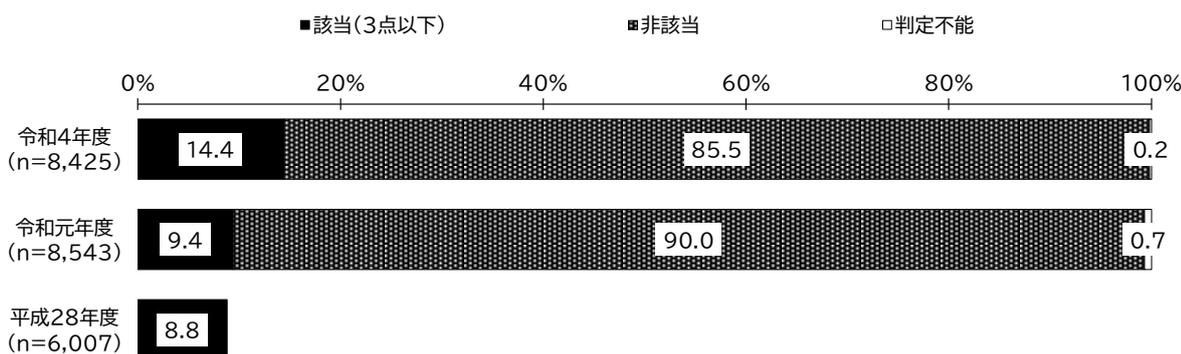
IADL(手段的自立度)に関する下記の設問5項目のうち、該当数が3項目(点)以下の場合「リスク者」(IADL(手段的自立度)低下)と判定する。

図表-34 IADL(手段的自立度)の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,425)
問4	(3)	バスやモレールを使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	2. はい	75.2%
問4	(4)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	計	92.4%
			1. できるし、している	81.9%
			2. できるけどしていない	10.5%
問4	(5)	自分で食事の用意をしていますか	計	90.3%
			1. できるし、している	74.1%
			2. できるけどしていない	16.2%
問4	(6)	自分で請求書の支払いをしていますか	計	92.6%
			1. できるし、している	81.6%
			2. できるけどしていない	11.0%
問4	(7)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	2. はい	85.0%

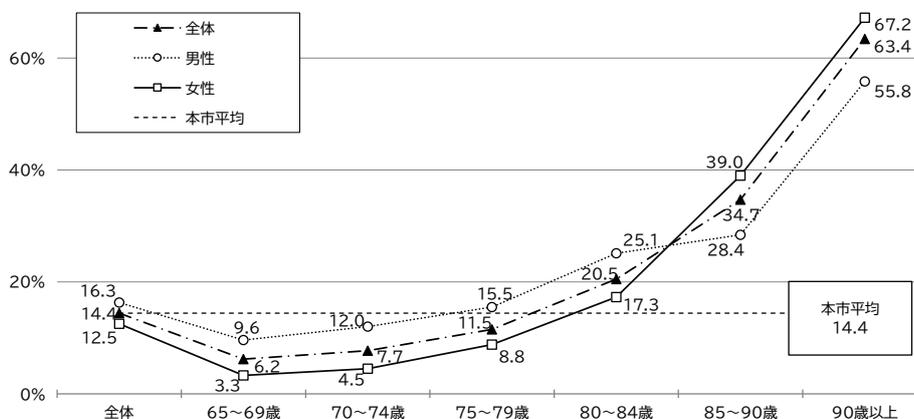
(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表-35 IADL(手段的自立度)の評価結果



※平成28年度は、非該当と判定不能の割合内訳が不明なため、『該当(3点以上)』割合のみ表示

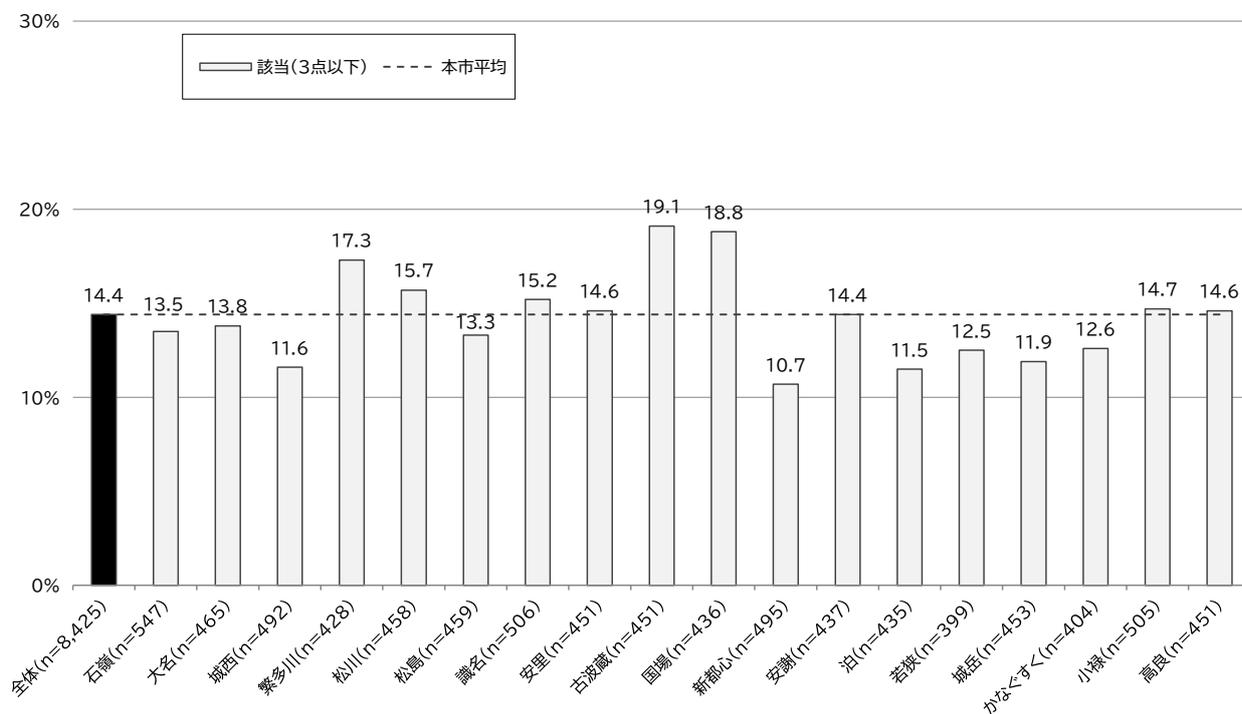
図表-36 性・年齢別 IADL(手段的自立度)の評価結果(リスク者[該当]の割合)



IADL(手段的自立度)の低下リスク者(3点以下)の割合は、全体では14.4%である。性・年齢別では、特に80~84歳が女性39.0%、男性28.4%であり、10.6ポイントの差がついている。

(3) 該当状況(圏域別)

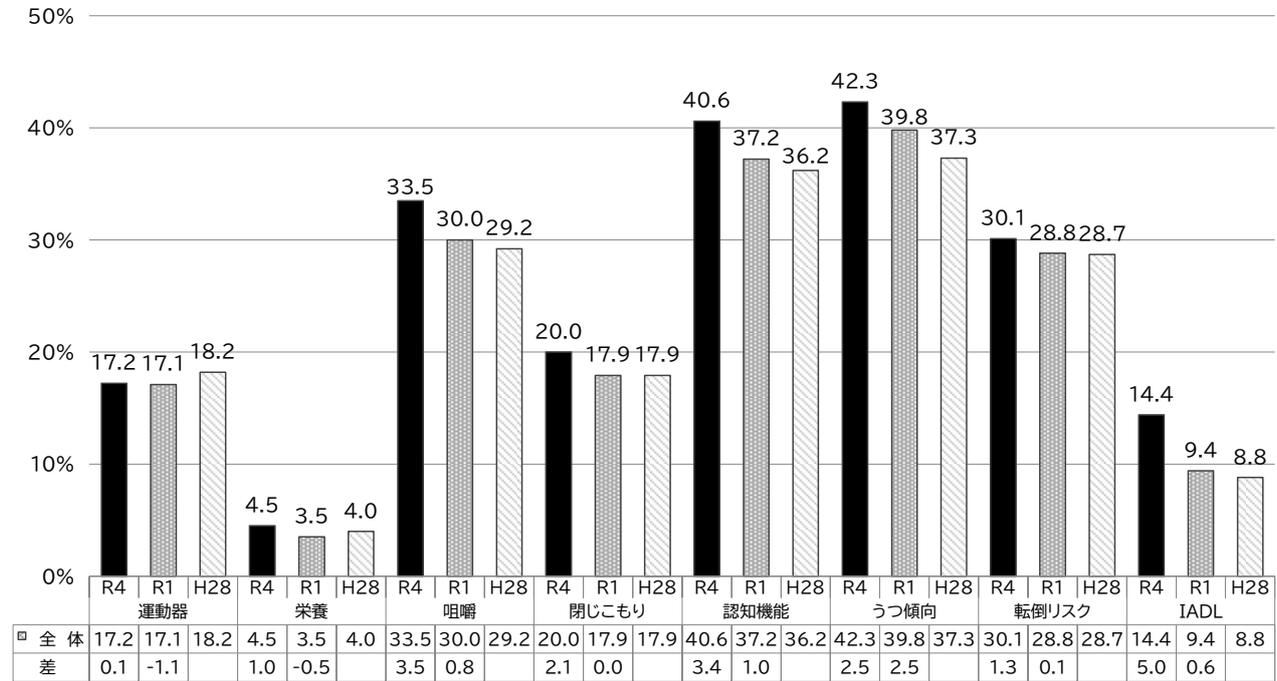
図表-37 圏域別 IADL(手段的自立度)の評価結果(リスク者[該当]の割合)



IADL(手段的自立度)の低下リスク者(3点以下)の割合を圏域別で見ると、古波蔵圏域が19.1%で最も高く、次いで国場圏域では18.8%となっている。一方、リスク者の割合が最も低いのは新都心圏域で10.7%である。

9. 各評価項目リスク者割合の経年比較

図表-38 各評価項目のリスク者[該当]の割合(令和元年度・平成28年度との比較)



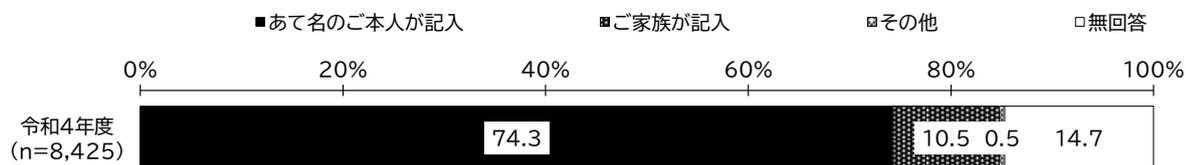
今回調査(R4)n=8,425、前回調査(R1)n=8,543、前々回調査(H28)n=6,007

各評価項目のリスク者の割合を前回調査(令和元年度実施)と比較すると「咀嚼」で3.5ポイント、「認知機能」では、3.4ポイント、「うつ傾向」では2.5ポイント、「IADL」においては5.0ポイントとリスク者の割合の変動が高い。

第4章 調査結果の詳細

1. 調査の回答者

図表－39 調査の回答者



調査の回答者は、「あて名のご本人が記入」が74.3%で最も高い。

年齢別にみると、年齢階級が上がるほど、「あて名のご本人が記入」の割合が減少し、「ご家族が記入」の割合が増加している。認定別にみると要支援認定者は「あて名のご本人が記入」の割合が47.8%と市平均と比較して26.5ポイント低く、「ご家族が記入」34.0%や「その他」2.7%の割合が高い。

図表－40 基本属性別 調査の回答者

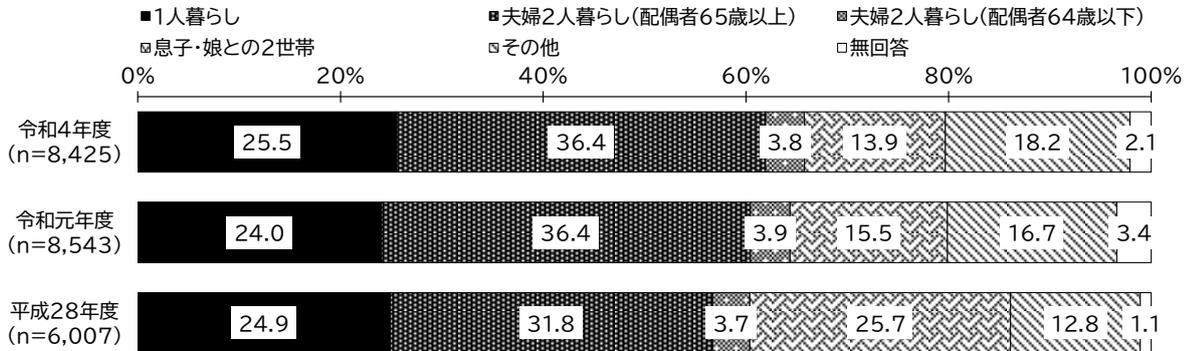
		調査数 (人)	あて名のご本人が記入 (%)	ご家族が記入 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		8,425	74.3	10.5	0.5	14.7
性別	男性	3,543	73.4	10.6	0.5	15.4
	女性	4,758	75.3	10.5	0.5	13.7
年齢別	65～69歳	2,177	81.9	5.0	0.3	12.8
	70～74歳	2,425	81.6	5.5	0.2	12.6
	75～79歳	1,431	76.0	8.1	0.3	15.5
	80～84歳	1,226	65.9	15.3	0.8	17.9
	85～89歳	747	55.4	26.2	1.3	17.0
	90歳以上	276	36.2	46.0	2.5	15.2
圏域別	石嶺	547	73.5	9.3	0.9	16.3
	大名	465	72.7	10.3	1.3	15.7
	城西	492	75.0	9.3	0.6	15.0
	繁多川	428	72.7	13.6	0.5	13.3
	松川	458	76.2	9.4	0.2	14.2
	松島	459	76.5	11.3	0.2	12.0
	識名	506	75.3	9.7	0.2	14.8
	安里	451	73.2	10.4	1.1	15.3
	古波蔵	451	69.6	12.9	0.4	17.1
	国場	436	76.1	12.4	0.7	10.8
	新都心	495	77.0	9.3	0.2	13.5
	安謝	437	71.9	10.5	0.5	17.2
	泊	435	81.6	6.7	0.7	11.0
	若狭	399	76.7	11.8	-	11.5
	城岳	453	75.7	10.4	0.9	13.0
	かなぐすく	404	75.0	10.1	0.2	14.6
小祿	505	71.3	10.9	0.2	17.6	
高良	451	72.5	12.0	0.4	15.1	
認定別	一般高齢者	7,251	77.5	8.6	0.3	13.5
	総合事業利用者	111	54.1	31.5	2.7	11.7
	要支援認定者	477	47.8	34.0	2.7	15.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

2. 家族や生活状況について【問1】

(1) 家族構成【必須項目】

図表-41 家族構成



家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が36.4%で最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が25.5%である。

経年比較すると、「息子・娘との2世帯」が令和元年で大幅に減少し、令和4年度でも1.6ポイントではあるが減少している。

年齢別では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が85歳以上の年齢階級では顕著に減少していくのに対し、「息子・娘と2世帯」の割合は増加していく。「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が80～84歳では38.3%であるのに対し、85～89歳では27.8%、90歳以上では15.6%で12.2ポイントほどの減少幅になっている。また、「息子・娘との2世帯」の割合が80～84歳では17.6%であるのに対し、85～89歳では23.2%、90歳以上では37.0%で約6～14ポイントの上昇幅になっている。

圏域別では、松川圏域、安里圏域、古波蔵圏域、安謝圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域では「1人暮らし」の割合が30%を超え、その中でも安謝圏域が35.9%と最も高く、次いで安里圏域が34.8%である。一方、松島圏域では「1人暮らし」の割合が市平均よりも6.8ポイント低く、18.7%である。

認定別では、総合利用者は一般高齢者と比較して「1人暮らし」の割合が43.2%と高く、次いで要支援認定者が37.3%である。要支援認定者は「息子・娘との2世帯」の割合が22.0%と高く、一方で、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」の割合が低く、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が23.7%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」の割合が1.5%である。

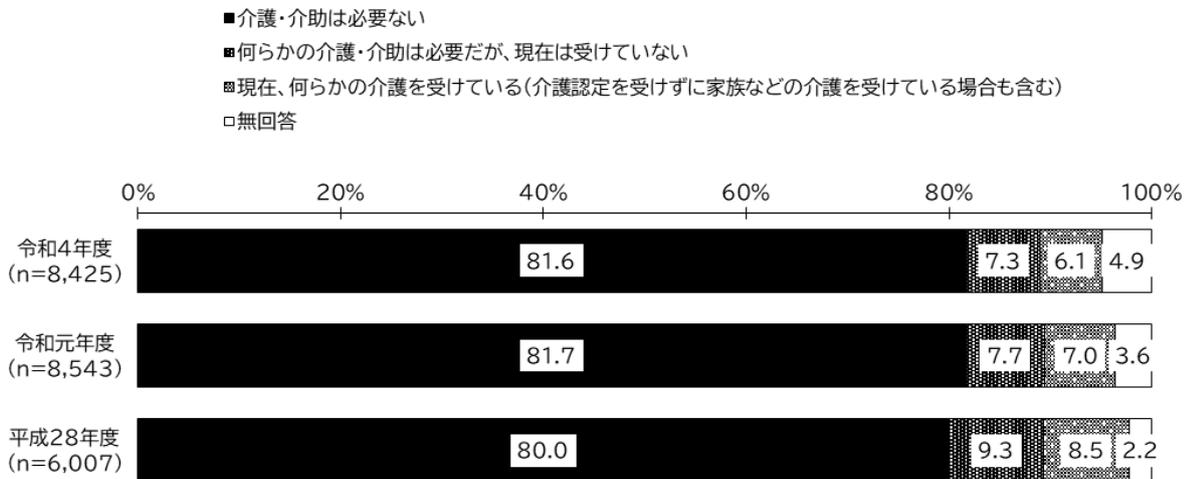
図表-42 基本属性別 家族構成

								(%)
		調査数(人)	1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		8,425	25.5	36.4	3.8	13.9	18.2	2.1
性別	男性	3,543	22.1	41.6	7.5	10.7	16.5	1.5
	女性	4,758	28.2	32.5	1.1	16.5	19.5	2.3
年齢別	65~69歳	2,177	23.3	33.5	9.9	10.0	22.0	1.3
	70~74歳	2,425	25.5	41.0	2.6	10.1	19.5	1.3
	75~79歳	1,431	26.8	39.8	1.3	14.5	14.8	2.9
	80~84歳	1,226	27.0	38.3	0.9	17.6	14.0	2.1
	85~89歳	747	28.1	27.8	1.1	23.2	16.1	3.7
	90歳以上	276	24.3	15.6	0.4	37.0	19.6	3.3
圏域別	石嶺	547	19.0	43.0	4.2	12.8	19.2	1.8
	大名	465	19.1	41.1	2.6	16.3	18.7	2.2
	城西	492	19.1	44.1	3.3	14.2	18.3	1.0
	繁多川	428	19.9	38.8	1.9	16.8	19.2	3.5
	松川	458	31.0	31.0	3.7	14.2	17.7	2.4
	松島	459	18.7	43.1	5.2	12.4	18.7	1.7
	識名	506	28.5	35.6	3.4	14.6	16.2	1.8
	安里	451	34.8	29.7	4.0	13.1	16.0	2.4
	古波蔵	451	30.6	32.6	4.0	14.4	16.4	2.0
	国場	436	24.8	35.1	3.0	15.6	19.7	1.8
	新都心	495	20.6	40.2	4.0	16.2	17.2	1.8
	安謝	437	35.9	33.0	3.9	10.1	15.6	1.6
	泊	435	31.0	36.1	4.1	12.0	16.3	0.5
	若狭	399	32.3	33.8	2.8	13.8	15.3	2.0
	城岳	453	31.8	30.9	3.1	12.1	20.5	1.5
	かなぐすく	404	20.3	37.1	5.7	14.4	20.8	1.7
小禄	505	24.4	31.9	4.6	13.7	22.6	3.0	
高良	451	19.1	38.8	4.7	16.2	19.3	2.0	
認定別	一般高齢者	7,251	24.1	37.6	4.2	13.5	19.1	1.6
	総合事業利用者	111	43.2	18.0	0.9	18.0	15.3	4.5
	要支援認定者	477	37.3	23.7	1.5	22.0	13.6	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 介護・介助の必要性【必須項目】

図表-43 介護・介助の必要性



介護・介助の必要性は「介護・介助は必要ない」の割合が81.6%で最も割合が高い。次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が7.3%、「現在何らかの介護を受けている」の割合は6.1%である。

経年比較すると、介護・介助の必要性の傾向に差はほとんどみられない。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「介護・介助は必要ない」の割合は減少し、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在何らかの介護を受けている」の割合が増加している。

圏域別では、城西圏域は「介護・介助は必要ない」の割合が86.2%と最も高く、市平均よりも4.6ポイント高い。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が4.7%と最も低い。反対に識名圏域は「介護・介助は必要ない」が78.5%と他圏域と比較して最も低い。

認定別では、要支援認定者は「介護・介助は必要ない」の割合が19.3%と市平均より62.3ポイント低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が23.1%、「現在何らかの介護を受けている」の割合が45.7%である。

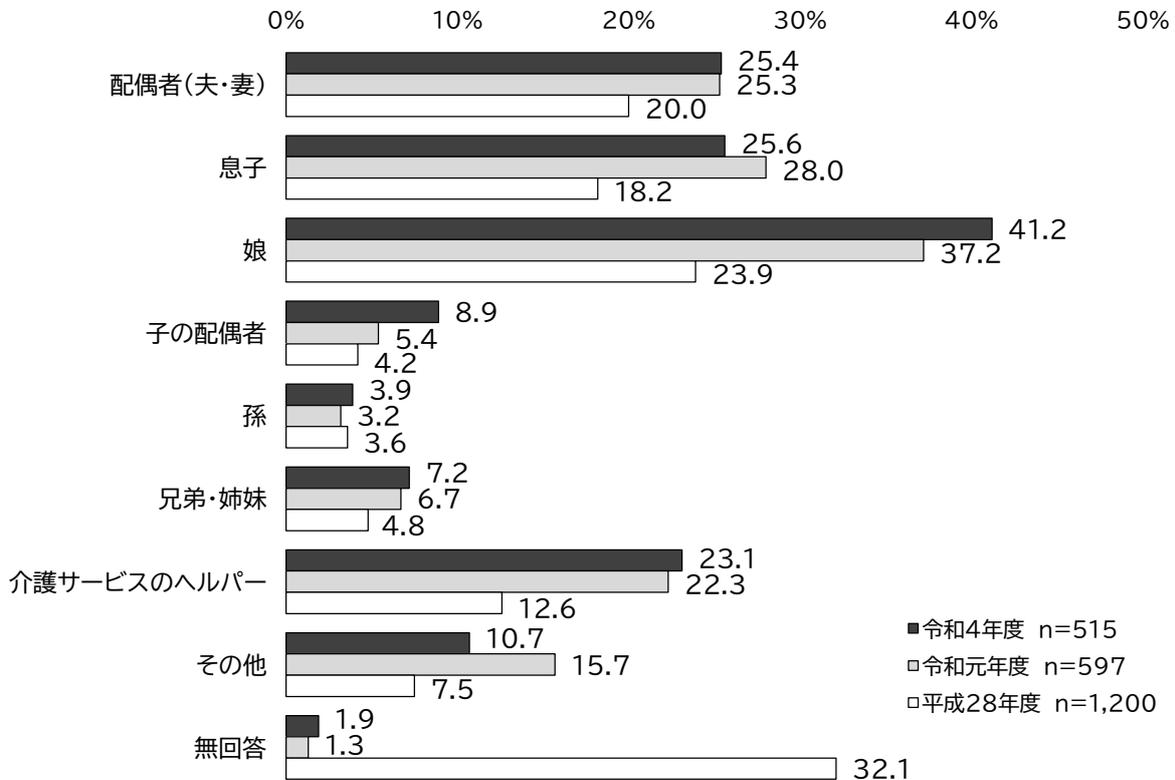
図表-44 基本属性別 介護・介助の必要性

		調査数（人）	介護・介助は必要ない	だが、現在の介護・介助は必要	現在、何らかの介護を受けている（何らかの介護を受けていない場合も含む）	現在、何らかの介護を受けていない	無回答
全体		8,425	81.6	7.3	6.1	4.9	
性別	男性	3,543	84.6	7.1	4.7	3.6	
	女性	4,758	79.9	7.4	7.2	5.6	
年齢別	65～69歳	2,177	92.7	3.0	1.7	2.6	
	70～74歳	2,425	89.4	4.3	2.3	4.0	
	75～79歳	1,431	83.3	6.7	5.0	5.0	
	80～84歳	1,226	72.0	12.0	8.3	7.7	
	85～89歳	747	56.9	18.5	17.7	7.0	
	90歳以上	276	36.6	17.4	38.4	7.6	
圏域別	石嶺	547	82.1	8.2	4.9	4.8	
	大名	465	84.7	5.8	6.7	2.8	
	城西	492	86.2	4.7	5.7	3.5	
	繁多川	428	78.7	8.6	7.5	5.1	
	松川	458	80.3	6.6	7.2	5.9	
	松島	459	83.7	6.5	5.9	3.9	
	識名	506	78.5	7.1	9.5	4.9	
	安里	451	79.2	8.0	7.1	5.8	
	古波蔵	451	80.0	8.9	7.1	4.0	
	国場	436	81.0	6.2	6.2	6.7	
	新都心	495	84.2	8.1	3.4	4.2	
	安謝	437	80.5	8.9	5.5	5.0	
	泊	435	84.8	6.2	5.1	3.9	
	若狭	399	84.2	5.8	6.0	4.0	
	城岳	453	80.8	8.2	7.1	4.0	
	かなぐすく	404	82.9	7.7	5.2	4.2	
	小禄	505	81.2	7.1	5.5	6.1	
高良	451	81.8	8.6	4.4	5.1		
認定別	一般高齢者	7,251	88.4	5.7	2.7	3.1	
	総合事業利用者	111	35.1	17.1	38.7	9.0	
	要支援認定者	477	19.3	23.1	45.7	11.9	

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 主な介護・介助者【オプション項目】

図表-45 主な介護・介助者【複数回答】



「介護・介助の必要性」で「現在、何らかの介護を受けている」と回答をした人(515人)に対して、「主な介護・介助者」についてたずねた。

主な介護・介助者は「娘」が41.2%で最も高く、次いで「息子」が25.6%、「配偶者(夫・妻)」が25.4%である。

経年比較すると、「娘」の割合が年々増加傾向で、他に比べて増加率が高い。

性別では、男性は「配偶者(夫・妻)」が42.8%で最も高く、次いで「娘」29.5%、「息子」、「介護サービスのヘルパー」の割合が19.3%である。女性は「娘」の割合が47.2%で最も高く、次いで「息子」の割合が28.7%、「介護サービスのヘルパー」の割合が24.9%である。

年齢別では79歳までの年齢階級では「配偶者(夫・妻)」の割合が39.4%で最も高いものの、80歳以上では、「配偶者(夫・妻)」の割合は減少し、90歳以上では10%以下にまで減少する。一方「娘」、「息子」が占める割合は増加していく。

圏域別では、新都心圏域は「配偶者(夫・妻)」の割合が47.1%で最も高く、市平均より21.7ポイント高い。松川圏域では「介護サービスのヘルパー」が36.4%と最も割合が高く、市平均よりも13.3ポイント高い。

認定別では、一般高齢者は「娘」の割合が43.7%で最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」の割合が30.2%である。一方、要支援認定者は「娘」の割合が40.8%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」の割合が32.1%である。

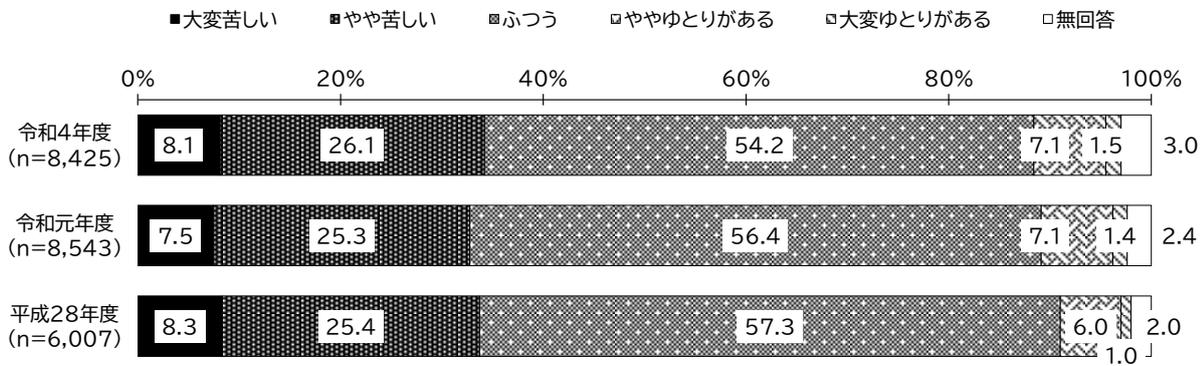
図表-46 基本属性別 主な介護・介助者【複数回答】

		調査数(人)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
		(%)									
全体		515	25.4	25.6	41.2	8.9	3.9	7.2	23.1	10.7	1.9
性別	男性	166	42.8	19.3	29.5	6.6	1.2	8.4	19.3	10.8	3.0
	女性	341	17.0	28.7	47.2	10.0	5.3	6.7	24.9	10.6	1.5
年齢別	65～69歳	38	18.4	5.3	15.8	5.3	2.6	18.4	34.2	18.4	2.6
	70～74歳	56	42.9	14.3	14.3	1.8	3.6	14.3	25.0	14.3	-
	75～79歳	71	39.4	18.3	31.0	4.2	2.8	8.5	18.3	11.3	1.4
	80～84歳	102	31.4	30.4	43.1	4.9	4.9	7.8	20.6	12.7	2.0
	85～89歳	132	23.5	27.3	51.5	8.3	2.3	3.8	19.7	6.8	2.3
	90歳以上	106	6.6	37.7	56.6	21.7	6.6	2.8	27.4	8.5	2.8
圏域別	石嶺	27	25.9	33.3	51.9	14.8	-	-	7.4	11.1	-
	大名	31	22.6	32.3	48.4	3.2	-	3.2	32.3	6.5	3.2
	城西	28	46.4	17.9	32.1	3.6	3.6	10.7	32.1	7.1	-
	繁多川	32	25.0	21.9	50.0	9.4	3.1	3.1	21.9	9.4	6.3
	松川	33	6.1	30.3	36.4	15.2	12.1	18.2	36.4	6.1	-
	松島	27	25.9	29.6	33.3	11.1	-	11.1	14.8	7.4	3.7
	識名	48	27.1	25.0	41.7	2.1	4.2	2.1	25.0	12.5	2.1
	安里	32	28.1	25.0	28.1	6.3	6.3	12.5	34.4	12.5	3.1
	古波蔵	32	25.0	31.3	31.3	3.1	-	6.3	28.1	12.5	3.1
	国場	27	11.1	29.6	40.7	18.5	3.7	-	18.5	18.5	3.7
	新都心	17	47.1	17.6	52.9	-	-	-	17.6	5.9	-
	安謝	24	20.8	29.2	33.3	12.5	8.3	16.7	29.2	12.5	4.2
	泊	22	9.1	13.6	36.4	4.5	-	9.1	18.2	18.2	4.5
	若狭	24	41.7	16.7	50.0	8.3	12.5	4.2	12.5	8.3	-
	城岳	32	21.9	25.0	40.6	21.9	9.4	9.4	21.9	15.6	-
	かなぐすく	21	28.6	33.3	28.6	19.0	-	4.8	28.6	9.5	-
	小禄	28	25.0	14.3	57.1	3.6	-	14.3	14.3	3.6	-
高良	20	30.0	35.0	60.0	5.0	5.0	5.0	10.0	15.0	-	
認定別	一般高齢者	199	30.2	24.6	43.7	7.5	3.0	8.0	11.6	8.0	1.5
	総合事業利用者	43	14.0	18.6	41.9	7.0	4.7	14.0	32.6	18.6	2.3
	要支援認定者	218	20.6	25.7	40.8	9.6	4.1	6.0	32.1	12.8	1.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 暮らしの経済状況【必須項目】

図表-47 暮らしの経済状況



	『苦しい』 「大変苦しい」+「やや苦しい」	『ゆとりがある』 「大変ゆとりがある」+「ゆとりがある」
令和4年度	34.2%	8.6%
令和元年度	32.8%	8.5%
平成28年度	33.7%	7.0%

暮らしの経済状況は「ふつう」の割合が54.2%で最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が26.1%である。

また、「大変苦しい」(8.1%)と「やや苦しい」(26.1%)をあわせた『苦しい』の割合が34.2%、「ややゆとりがある」(7.1%)と「大変ゆとりがある」(1.5%)をあわせた『ゆとりがある』の割合が8.6%となっている。

経年比較すると、『苦しい』割合と『ゆとりがある』割合が共に増加し、『普通』の割合が年々減少している。

年齢別では、『苦しい』の割合は、部分的な例外もあるが、年齢階級が低いほど高い傾向にあり、70代以下で30%を超えている(65～69歳:37.7%、70～74歳:35.7%、75～79歳:33.7%)。

圏域別では、安謝圏域は「大変苦しい」の割合が11.7%、次いで古波蔵圏域も11.3%と高い。一方、新都心圏域は「ややゆとりがある」の割合が11.7%、かなぐすく圏域は「大変ゆとりがある」の割合が3.2%で最も高い。

認定別では、総合事業利用者は要支援認定者と一般高齢者を比較して『苦しい』の割合が47.7%と高く、要支援認定者は『ゆとりがある』の割合が3.1%と低い。

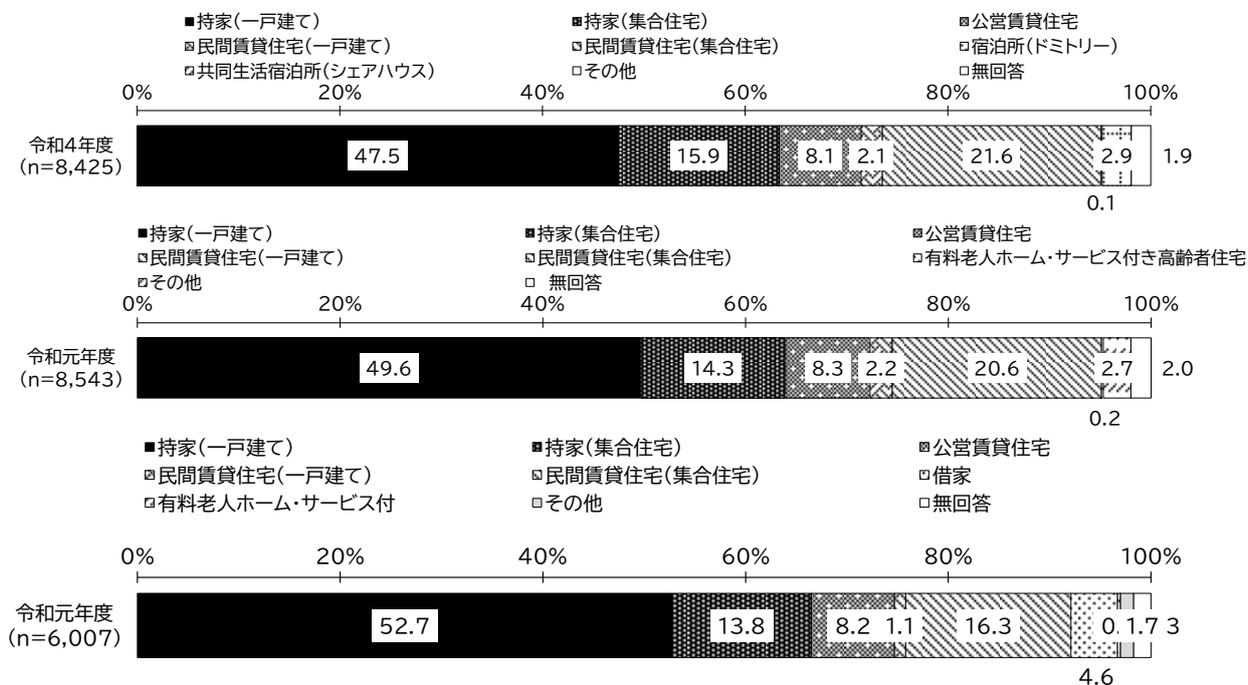
図表-48 基本属性別 暮らしの経済状況

		調査数(人)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	【再掲】 苦しい	【再掲】 ゆとりがある
全体		8,425	8.1	26.1	54.2	7.1	1.5	3.0	34.2	8.6
性別	男性	3,543	8.2	26.0	53.9	7.5	1.8	2.8	34.2	9.3
	女性	4,758	8.1	26.1	54.8		1.2	3.0	34.2	1.2
年齢別	65～69歳	2,177	8.8	28.9	51.2	7.4	1.2	2.4	37.7	8.6
	70～74歳	2,425	8.4	27.3	51.7	7.3	1.8	3.5	35.7	9.1
	75～79歳	1,431	8.7	25.0	54.5	7.1	1.5	3.2	33.7	8.6
	80～84歳	1,226	6.3	22.9	60.2	6.8	1.5	2.4	29.2	8.3
	85～89歳	747	8.0	22.4	59.3	6.6	0.7	3.1	30.4	7.3
	90歳以上	276	5.1	21.7	63.4	5.8	1.8	2.2	26.8	7.6
圏域別	石嶺	547	9.0	24.7	56.1	6.6	1.5	2.2	33.7	8.1
	大名	465	6.5	24.9	58.5	6.2	0.6	3.2	31.4	6.8
	城西	492	7.1	20.7	55.5	10.8	1.4	4.5	27.8	12.2
	繁多川	428	8.9	29.0	51.4	7.2	1.2	2.3	37.9	8.4
	松川	458	8.7	32.3	49.6	4.8	1.1	3.5	41.0	5.9
	松島	459	6.8	21.8	58.4	8.9	2.4	1.7	28.6	11.3
	識名	506	9.9	25.5	55.7	5.1	1.2	2.6	35.4	6.3
	安里	451	7.5	27.7	55.2	6.0	1.1	2.4	35.2	7.1
	古波蔵	451	11.3	33.9	45.2	6.4	0.7	2.4	45.2	7.1
	国場	436	11.2	29.1	50.9	5.5	0.9	2.3	40.3	6.4
	新都心	495	5.1	22.8	56.0	11.7	1.2	3.2	27.9	12.9
	安謝	437	11.7	30.0	47.1	5.7	2.3	3.2	41.7	8.0
	泊	435	6.7	25.3	54.3	9.7	2.5	1.6	32.0	12.2
	若狭	399	7.5	28.3	54.1	6.3	1.3	2.5	35.8	7.6
	城岳	453	8.4	26.0	51.4	8.8	1.3	4.0	34.4	10.1
	かなぐすく	404	5.2	22.8	58.4	6.7	3.2	3.7	28.0	9.9
小禄	505	7.7	25.9	56.6	5.1	1.2	3.4	33.6	6.3	
高良	451	6.4	20.8	63.9	6.0	1.1	1.8	27.2	7.1	
認定別	一般高齢者	7,251	7.8	25.4	54.8	7.7	1.6	2.8	33.2	9.3
	総合事業利用者	111	13.5	34.2	45.0	3.6	1.8	1.8	47.7	5.4
	要支援認定者	477	12.2	30.6	53.5	2.7	0.4	0.6	42.8	3.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 住居形態【オプション項目】

図表-49 住居形態



住居形態は「持家(一戸建て)」の割合が最も高く47.5%である。次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」の割合が21.6%である。

経年比較すると、「持家(一戸建て)」の割合が年々減少している。対して「持家」、「賃貸」という分類でみると両方とも、「集合住宅」の割合が年々増加している。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「持家(一戸建て)」の割合が高い。特に75歳以上の年齢階級では「持家(一戸建て)」の割合が高く、70～74歳43.9%と75～79歳48.1%では4.2ポイントの差がある。

圏域別では「持家(一戸建て)」の割合は城西圏域70.1%、高良圏域61.9%、大名圏域60.4%で高い傾向にある。一方、安里圏域、新都心圏域、安謝圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域などの本庁地区に属する圏域では「持家(一戸建て)」の割合が低く(安里圏域42.1%、安謝圏域37.8%、城岳圏域36.4%、若狭圏域35.6%、泊圏域30.3%、新都心圏域30.1%)、「持家(集合住宅)」の割合が高い(泊圏域33.3%、城岳圏域26.5%、若狭圏域23.6%、安里圏域22.0%、新都心圏域19.2%、安謝圏域16.2%)。

認定別では、総合事業利用者は「持家(一戸建て)」の割合が41.4%と一般高齢者47.9%より6.5ポイント低い。一方、「公営賃貸住宅」の割合が要支援認定者9.9%、一般高齢者7.7%と要支援認定者の方が2.2ポイント高い。

図表－50 基本属性別 住居形態

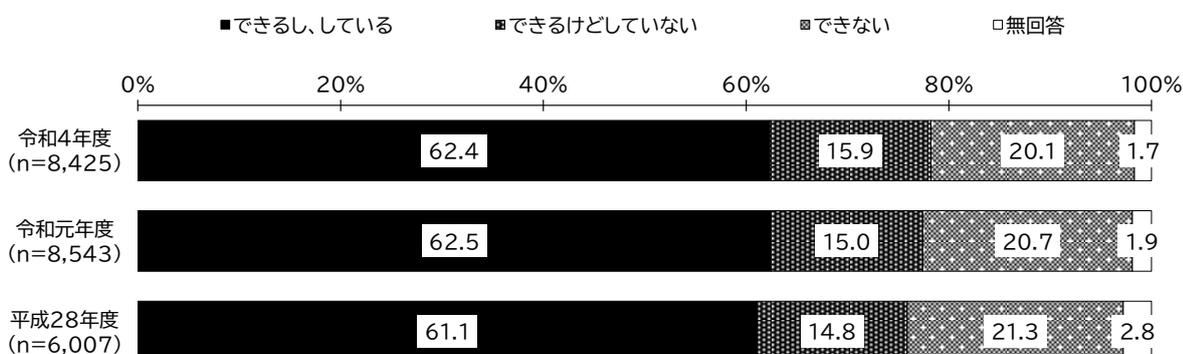
		調査数(人)	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	宿泊所(ドミトリー)	共同生活宿泊所(シェアハウス)	その他	無回答
		(%)									
全体		8,425	47.5	15.9	8.1	2.1	21.6	0.0	0.1	2.9	1.9
性別	男性	3,543	49.3	15.7	6.3	2.1	22.4	0.1	0.1	2.4	1.6
	女性	4,758	46.1	16.2	9.3	2.0	21.2	0.0	0.1	3.2	1.8
年齢別	65～69歳	2,177	39.7	18.1	7.3	2.4	28.0	0.1	0.1	2.8	1.4
	70～74歳	2,425	43.9	18.4	9.3	2.1	21.8	0.0	0.0	2.7	1.7
	75～79歳	1,431	48.1	15.8	8.5	2.0	20.7	-	0.1	3.1	1.7
	80～84歳	1,226	54.6	12.4	8.2	1.5	18.7	-	0.1	2.7	2.0
	85～89歳	747	61.7	10.8	6.3	1.7	14.1	-	0.1	2.8	2.4
	90歳以上	276	64.5	10.1	4.3	2.2	12.0	0.4	-	5.1	1.4
圏域別	石嶺	547	58.7	7.7	16.6	1.6	12.2	-	-	1.8	1.3
	大名	465	60.4	9.2	12.9	2.4	10.3	-	0.2	2.6	1.9
	城西	492	70.1	12.2	3.7	1.4	7.7	-	-	3.3	1.6
	繁多川	428	58.9	10.5	6.3	1.6	17.1	-	0.5	2.3	2.8
	松川	458	46.7	17.2	-	3.5	27.7	-	-	2.4	2.4
	松島	459	58.4	13.1	2.2	2.0	21.8	0.2	-	2.4	-
	識名	506	51.6	14.8	2.4	3.2	24.3	-	-	2.2	1.6
	安里	451	42.1	22.0	-	2.9	28.4	0.2	-	2.9	1.6
	古波蔵	451	38.6	14.6	12.0	4.0	25.9	-	-	2.9	2.0
	国場	436	47.7	7.6	9.9	2.5	26.4	-	-	3.9	2.1
	新都心	495	30.1	19.2	15.6	1.2	30.3	0.2	0.2	1.2	2.0
	安謝	437	37.8	16.2	8.9	1.8	30.4	-	-	2.1	2.7
	泊	435	30.3	33.3	2.5	1.1	26.9	0.2	-	4.4	1.1
	若狭	399	35.6	23.6	9.0	1.8	26.1	-	-	3.3	0.8
	城岳	453	36.4	26.5	10.4	2.2	18.5	-	-	4.9	1.1
	かなぐすく	404	43.3	22.3	7.2	1.5	21.0	-	0.2	3.2	1.2
小祿	505	43.4	10.1	11.5	1.6	26.9	-	0.4	4.6	1.6	
高良	451	61.9	10.6	11.5	0.9	10.9	-	-	1.3	2.9	
認定別	一般高齢者	7,251	47.9	16.7	7.7	2.0	21.5	0.1	0.1	2.8	1.2
	総合事業利用者	111	41.4	15.3	10.8	2.7	26.1	-	-	2.7	0.9
	要支援認定者	477	46.5	10.5	9.9	2.7	24.5	-	0.2	4.0	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

3. からだを動かすことについて【問2】

(1) 階段の上り下り【必須項目】

図表-51 階段の上り下り



階段の上り下りは「できるし、している」の割合が62.4%で最も高く、「できない」は20.1%、「できるけどしていない」の割合は15.9%である。

経年比較すると、階段の上り下りの傾向に差はほとんどみられない。

性別では男性は「できるし、している」の割合が70.2%であるのに対し、女性は56.9%で、13.3ポイント男性が高い。「できない」の割合は女性25.0%、男性13.3%で女性が11.7ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加する。65～69歳では「できない」の割合が7.1%、70～74歳では12.0%であるのに対し、75～79歳では21.0%と9.0ポイント増加し、80～84歳では31.3%と10.3ポイント増加する。その後も増加幅は拡大し、90歳以上では64.9%にも上る。

圏域別では、古波蔵圏域では「できない」の割合が24.6%で市平均より4.5ポイント高い、次いで城岳圏域が23.6%、石嶺圏域22.7%である。

認定別では要支援認定者が一般高齢者と総合事業利用者に比べ、「できるし、している」12.2%と、「できるけどしていない」8.0%の割合が低く、「できない」の割合が78.2%で63.3ポイント高い。

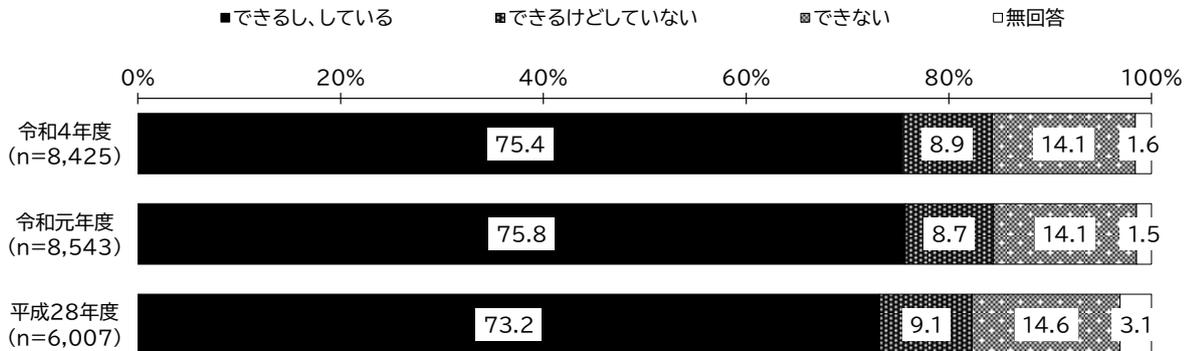
図表-52 基本属性別 階段の上り下り

		調査数(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
			(%)			
全体		8,425	62.4	15.9	20.1	1.7
性別	男性	3,543	70.2	14.9	13.3	1.5
	女性	4,758	56.9	16.6	25.0	1.6
年齢別	65~69歳	2,177	79.5	12.6	7.1	0.8
	70~74歳	2,425	70.7	16.0	12.0	1.3
	75~79歳	1,431	60.4	17.0	21.0	1.7
	80~84歳	1,226	46.4	20.1	31.3	2.1
	85~89歳	747	33.9	16.9	46.5	2.8
	90歳以上	276	17.8	14.5	64.9	2.9
圏域別	石嶺	547	61.6	14.3	22.7	1.5
	大名	465	63.9	13.5	18.9	3.7
	城西	492	65.7	15.9	16.9	1.6
	繁多川	428	62.1	15.2	20.8	1.9
	松川	458	62.0	14.0	21.8	2.2
	松島	459	66.0	17.2	16.6	0.2
	識名	506	58.9	17.0	22.1	2.0
	安里	451	59.4	18.4	21.3	0.9
	古波蔵	451	60.3	14.0	24.6	1.1
	国場	436	60.6	17.9	19.5	2.1
	新都心	495	65.9	15.6	17.8	0.8
	安謝	437	63.4	13.7	21.1	1.8
	泊	435	63.2	18.6	17.5	0.7
	若狭	399	60.4	17.5	20.8	1.3
	城岳	453	59.2	15.7	23.6	1.5
	かなぐすく	404	64.6	15.3	18.3	1.7
小祿	505	62.6	17.8	18.4	1.2	
高良	451	64.3	15.3	18.6	1.8	
認定別	一般高齢者	7,251	67.4	16.5	14.9	1.2
	総合事業利用者	111	27.9	14.4	55.0	2.7
	要支援認定者	477	12.2	8.0	78.2	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 椅子からの立ち上がり【必須項目】

図表-53 椅子からの立ち上がり



椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかについては「できるし、している」の割合が最も高く75.4%、次いで「できない」が14.1%、「できるけどしていない」が8.9%である。

経年比較すると、椅子からの立ち上がりの傾向に差はほとんどみられない。

性別では男性の「できるし、している」の割合が79.1%であるのに対し、女性は73.1%で6.0ポイントの差がある。「できない」は女性17.2%、男性9.9%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加する。「できない」は70～74歳では7.5%、80～84歳では21.8%、90歳以上では52.9%にも上る。

圏域別では、「できない」の割合が最も高いのは古波蔵圏域の18.6%で市平均よりも4.5ポイント高い。次いで、識名圏域の17.2%、松川圏域の16.2%である。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者の9.5%に比べ「できない」の割合が66.9%で57.4ポイント増加し、「できるし、している」と「できるけどしていない」の割合が低い。

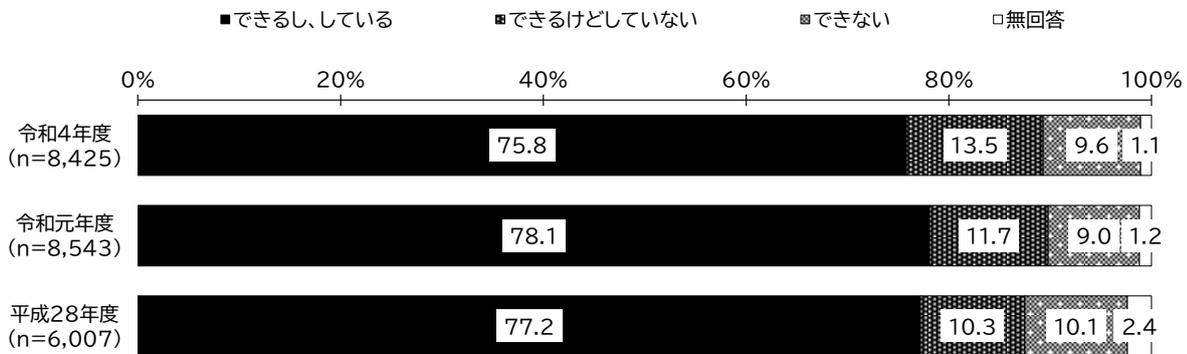
図表-54 基本属性別 椅子からの立ち上がり

			(%)			
		調査数(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		8,425	75.4	8.9	14.1	1.6
性別	男性	3,543	79.1	9.5	9.9	1.4
	女性	4,758	73.1	8.3	17.2	1.4
年齢別	65~69歳	2,177	87.1	6.9	4.9	1.1
	70~74歳	2,425	82.4	8.8	7.5	1.3
	75~79歳	1,431	75.3	9.2	14.7	0.9
	80~84歳	1,226	65.3	10.8	21.8	2.0
	85~89歳	747	52.7	10.6	34.3	2.4
	90歳以上	276	34.8	9.8	52.9	2.5
圏域別	石嶺	547	73.3	9.9	15.7	1.1
	大名	465	76.6	6.2	14.8	2.4
	城西	492	77.4	8.7	12.6	1.2
	繁多川	428	71.0	12.4	15.7	0.9
	松川	458	73.1	9.0	16.2	1.7
	松島	459	77.6	9.4	12.2	0.9
	識名	506	73.9	7.5	17.2	1.4
	安里	451	78.9	6.0	13.7	1.3
	古波蔵	451	71.8	8.4	18.6	1.1
	国場	436	74.8	8.9	14.2	2.1
	新都心	495	77.6	10.9	10.3	1.2
	安謝	437	76.9	7.6	13.7	1.8
	泊	435	79.1	8.5	11.3	1.1
	若狭	399	75.4	10.5	12.8	1.3
	城岳	453	74.0	8.2	16.1	1.8
	かなぐすく	404	77.2	9.2	11.9	1.7
	小禄	505	75.4	9.1	14.1	1.4
高良	451	76.7	10.0	12.2	1.1	
認定別	一般高齢者	7,251	80.4	9.0	9.5	1.0
	総合事業利用者	111	49.5	9.0	38.7	2.7
	要支援認定者	477	25.2	5.7	66.9	2.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 15分位の歩行【必須項目】

図表－55 15分位の歩行



15分位の歩行が可能かについては、「できるし、している」の割合が最も高く75.8%、次いで「できるけどしていない」が13.5%、「できない」の割合が9.6%である。

令和元年度と比較すると、15分位歩行の傾向に差はほとんどみられない。

性別では男性の「できるけどしていない」の割合が15.2%であるのに対し、女性は12.2%である。「できない」については男性8.1%、女性10.8%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少していき、「できない」が増加していく。「できない」の割合は70～74歳で4.7%、80～84歳で13.4%となり8.7ポイント増加している。また90歳以上では47.8%となり特に高い。

圏域別では、「できない」の割合は繁多川圏域で12.9%と最も高く、市平均よりも3.3ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「できるし、している」の割合が30.4%で、一般高齢者の80.0%よりも49.6ポイント低い。「できない」は要支援認定者で54.5%、一般高齢者の5.8%よりも48.7ポイント高い。

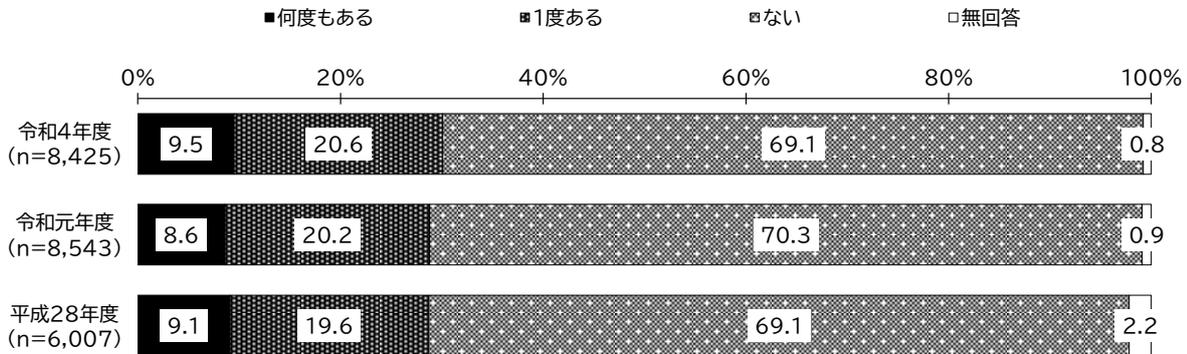
図表-56 基本属性別 15分位の歩行

			(%)			
		調査数(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		8,425	75.8	13.5	9.6	1.1
性別	男性	3,543	75.6	15.2	8.1	1.0
	女性	4,758	76.1	12.2	10.8	0.9
年齢別	65~69歳	2,177	82.3	13.2	3.8	0.7
	70~74歳	2,425	80.5	14.1	4.7	0.7
	75~79歳	1,431	78.8	12.4	8.1	0.7
	80~84歳	1,226	72.1	13.0	13.4	1.5
	85~89歳	747	58.1	14.9	25.0	2.0
	90歳以上	276	36.6	14.1	47.8	1.4
圏域別	石嶺	547	73.5	14.3	11.5	0.7
	大名	465	74.8	15.3	9.0	0.9
	城西	492	77.4	13.2	8.7	0.6
	繁多川	428	68.9	17.3	12.9	0.9
	松川	458	77.3	11.6	9.6	1.5
	松島	459	73.6	15.7	9.4	1.3
	識名	506	74.1	12.8	12.1	1.0
	安里	451	79.8	8.2	10.4	1.6
	古波蔵	451	73.4	15.5	10.2	0.9
	国場	436	70.0	18.8	9.9	1.4
	新都心	495	78.2	13.9	7.3	0.6
	安謝	437	80.3	11.0	8.0	0.7
	泊	435	78.9	12.9	8.3	-
	若狭	399	77.2	11.5	10.8	0.5
	城岳	453	79.5	10.4	9.1	1.1
	かなぐすく	404	79.5	12.4	7.4	0.7
	小禄	505	73.7	14.9	10.1	1.4
高良	451	76.7	14.2	8.0	1.1	
認定別	一般高齢者	7,251	80.0	13.5	5.8	0.6
	総合事業利用者	111	52.3	13.5	31.5	2.7
	要支援認定者	477	30.4	13.0	54.5	2.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 過去1年の転倒経験【必須項目】

図表-57 過去1年の転倒経験



	『ある』 「何度もある」+「1度ある」
令和4年度	30.1%
令和元年度	28.8%
平成28年度	28.7%

過去1年の転倒経験については、「ない」の割合が69.1%で最も高く、次いで「1度ある」が20.6%、「何度もある」が9.5%である。

経年比較すると、『ある』の割合が、増加率は低いながらも年々増加傾向である。

性別では、「ない」の割合は男性72.3%、女性67.1%であり、「1度ある」の割合は男性17.9%、女性22.5%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど『ある』の割合が増加し、90歳以上では48.5%である。

圏域別では「何度もある」の割合が古波蔵圏域12.0%、松川圏域11.4%、安謝圏域11.4%で、11%を上回り、市平均より2~3ポイント高い。一方で、「ない」の割合が高いのは高良圏域74.1%、松島圏域73.0%である。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者よりも『ある』の割合が高く、要支援認定者58.3%、一般高齢者27.1%である。

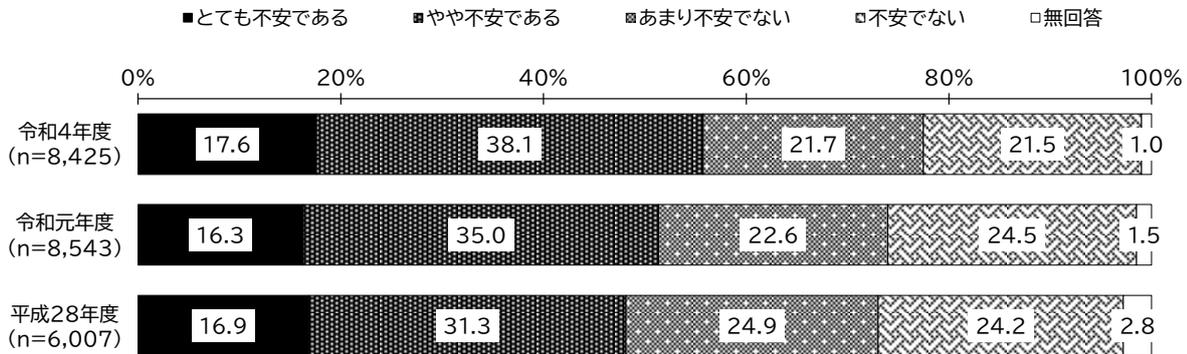
図表－58 基本属性別 過去1年の転倒経験

		(%)					
		調査数 (人)	何 度 も あ る	1 度 あ る	な い	無 回 答	【再 掲 】 『あ る 』
全体		8,425	9.5	20.6	69.1	0.8	30.1
性 別	男性	3,543	9.2	17.9	72.3	0.6	27.1
	女性	4,758	9.6	22.5	67.1	0.8	32.1
年 齢 別	65～69歳	2,177	6.3	17.6	75.6	0.5	23.9
	70～74歳	2,425	7.1	18.0	74.2	0.7	25.1
	75～79歳	1,431	8.9	21.2	69.3	0.6	30.1
	80～84歳	1,226	13.1	23.7	62.2	1.0	36.8
	85～89歳	747	17.1	27.4	54.2	1.2	44.5
	90歳以上	276	19.2	29.3	50.4	1.1	48.5
圏 域 別	石嶺	547	7.9	19.9	72.0	0.2	27.8
	大名	465	10.3	18.1	71.0	0.6	28.4
	城西	492	8.1	18.9	72.6	0.4	27.0
	繁多川	428	10.0	21.0	68.0	0.9	31.0
	松川	458	11.4	22.3	64.8	1.5	33.7
	松島	459	6.8	19.6	73.0	0.7	26.4
	識名	506	10.7	19.2	69.6	0.6	29.9
	安里	451	8.9	23.3	67.4	0.4	32.2
	古波蔵	451	12.0	23.5	63.6	0.9	35.5
	国場	436	10.6	18.3	70.2	0.9	28.9
	新都心	495	10.1	19.4	70.3	0.2	29.5
	安謝	437	11.4	21.5	66.4	0.7	32.9
	泊	435	8.5	20.0	70.3	1.1	28.5
	若狭	399	9.5	22.1	67.7	0.8	31.6
	城岳	453	9.7	24.3	65.3	0.7	34.0
	かなぐすく	404	7.4	20.0	72.3	0.2	27.4
小禄	505	10.9	20.2	67.9	1.0	31.1	
高良	451	6.9	18.0	74.1	1.1	24.9	
認 定 別	一般高齢者	7,251	7.4	19.7	72.4	0.5	27.1
	総合事業利用者	111	18.0	35.1	45.9	0.9	53.1
	要支援認定者	477	30.6	27.7	41.3	0.4	58.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 転倒に対する不安【必須項目】

図表-59 転倒に対する不安



	『不安』 「とても不安である」+「やや不安である」	『不安でない』 「あまり不安でない」+「不安でない」
令和4年度	55.7%	43.2%
令和元年度	51.3%	47.1%
平成28年度	48.2%	49.1%

転倒に対する不安の程度については「やや不安」の割合が38.1%で最も高く、次いで「あまり不安でない」割合が21.7%、「不安でない」21.5%、「とても不安である」割合が17.6%である。

経年比較すると、『不安』の割合は、年々増加傾向である。

性別では、女性は男性よりも『不安』の割合が高く、女性65.3%、男性42.9%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど『不安』の割合も高くなり、年齢階級が上がるごとに5~10ポイント上昇していく。

圏域別では、古波蔵圏域で「とても不安である」の割合が22.2%と最も高く、市平均よりも4.6ポイント高い。一方、城西圏域は14.2%で市平均よりも3.4ポイント低い。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者よりも「とても不安である」の割合が高く、要支援認定者61.8%、一般高齢者13.8%である。

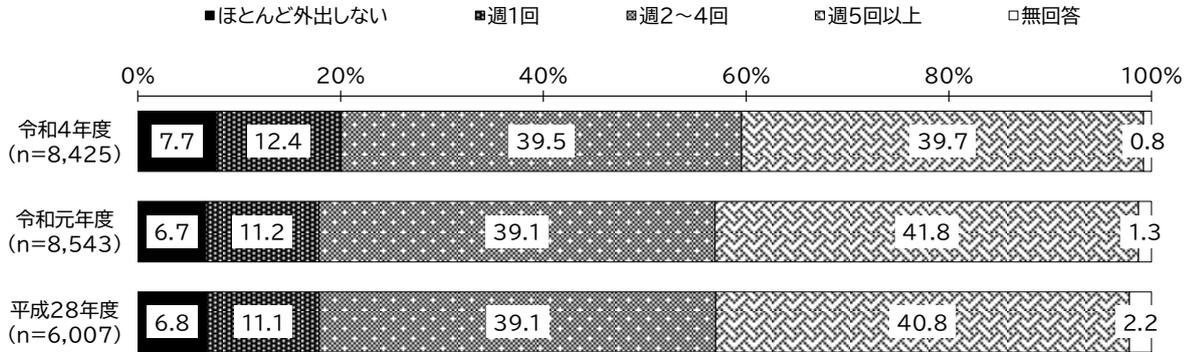
図表-60 基本属性別 転倒に対する不安

		調査数(人)	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	「再掲不安」	「再掲不安でない」
		(%)							
全体		8,425	17.6	38.1	21.7	21.5	1.0	55.7	43.2
性別	男性	3,543	10.8	32.1	25.0	31.1	1.0	42.9	56.1
	女性	4,758	22.6	42.7	19.4	14.5	0.8	65.3	33.9
年齢別	65～69歳	2,177	10.1	35.4	25.9	28.2	0.5	45.5	54.1
	70～74歳	2,425	11.9	38.2	23.9	25.0	0.9	50.1	48.9
	75～79歳	1,431	18.4	38.7	22.2	20.0	0.7	57.1	42.2
	80～84歳	1,226	23.7	42.1	17.9	15.0	1.4	65.8	32.9
	85～89歳	747	34.9	39.0	14.1	10.8	1.2	73.9	24.9
	90歳以上	276	49.3	35.5	9.4	5.1	0.7	84.8	14.5
圏域別	石嶺	547	17.2	35.6	22.5	23.8	0.9	52.8	46.3
	大名	465	17.6	36.3	26.2	19.4	0.4	53.9	45.6
	城西	492	14.2	36.6	26.6	22.2	0.4	50.8	48.8
	繁多川	428	20.8	40.4	17.5	19.6	1.6	61.2	37.1
	松川	458	17.0	39.5	18.6	23.4	1.5	56.5	42.0
	松島	459	14.4	40.5	20.3	24.0	0.9	54.9	44.3
	識名	506	20.6	40.9	18.0	20.4	0.2	61.5	38.4
	安里	451	16.4	41.2	22.4	19.5	0.4	57.6	41.9
	古波蔵	451	22.2	37.5	22.8	17.1	0.4	59.7	39.9
	国場	436	16.7	37.8	23.4	21.1	0.9	54.5	44.5
	新都心	495	15.8	37.4	22.0	24.4	0.4	53.2	46.4
	安謝	437	18.1	33.9	24.5	22.7	0.9	52.0	47.2
	泊	435	14.3	44.4	21.6	19.3	0.5	58.7	40.9
	若狭	399	18.8	41.1	17.5	22.3	0.3	59.9	39.8
	城岳	453	19.9	38.2	20.8	20.3	0.9	58.1	41.1
	かなぐすく	404	15.3	35.1	24.5	24.5	0.5	50.4	49.0
小禄	505	16.6	38.4	22.0	21.2	1.8	55.0	43.2	
高良	451	19.3	35.5	20.6	23.3	1.3	54.8	43.9	
認定別	一般高齢者	7,251	13.8	38.5	23.4	23.7	0.6	52.3	47.1
	総合事業利用者	111	36.0	40.5	17.1	5.4	0.9	76.5	22.5
	要支援認定者	477	61.8	30.4	4.8	2.5	0.4	92.2	7.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 1週間の外出回数【必須項目】

図表－61 1週間の外出回数



週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」の割合が39.7%で最も高く、次いで「週2～4回」が39.5%、「週1回」が12.4%、「ほとんど外出しない」の割合が7.7%である。

経年比較すると、令和4年度では外出回数の頻度が減少している。

性別では男性は「週5回以上」の割合が49.0%で最も高く、女性は「週2～4回」44.0%が最も高い。「ほとんど外出しない」の割合については男性7.4%、女性7.8%で大きな差はみられない。「週1回」は女性の方が高く、女性14.4%、男性9.6%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、外出回数が減少していく傾向がある。80歳以上の年齢階級では「ほとんど外出しない」の割合が市平均を超え、80～84歳では11.3%、85～89歳では7.3ポイント増加し18.6%、90歳以上では27.4ポイント増加し35.1%である。

圏域別では新都心圏域では「週5回以上」が新都心圏域では48.3%となり市平均よりも8.6ポイント高い。一方、「ほとんど外出しない」の割合は繁多川圏域が10.7%で最も高く、次いで古波蔵圏域が10.0%、石嶺圏域が9.5%である。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者に比べ「ほとんど外出しない」の割合が高く、要支援認定者26.6%、一般高齢者5.9%である。

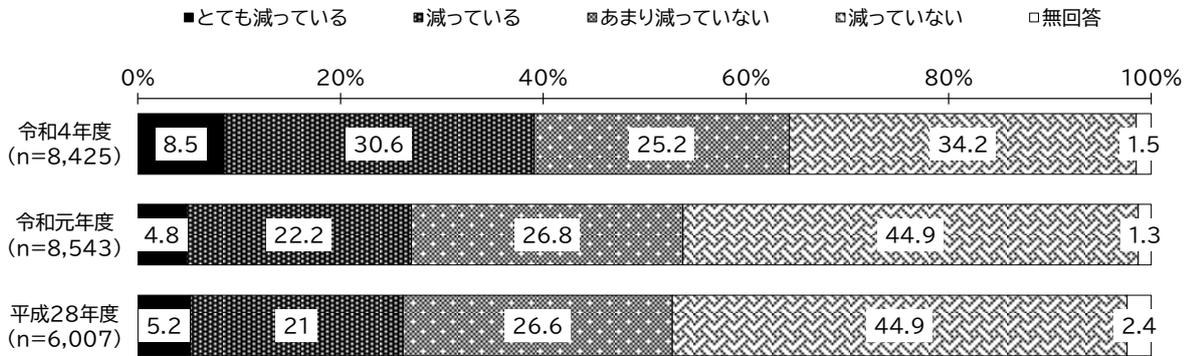
図表－62 基本属性別 1週間の外出回数

			(%)				
		調査数(人)	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		8,425	7.7	12.4	39.5	39.7	0.8
性別	男性	3,543	7.4	9.6	33.4	49.0	0.6
	女性	4,758	7.8	14.4	44.0	33.1	0.8
年齢別	65～69歳	2,177	3.6	9.0	33.0	54.1	0.3
	70～74歳	2,425	3.9	10.0	40.0	45.4	0.7
	75～79歳	1,431	5.7	13.7	42.5	37.6	0.5
	80～84歳	1,226	11.3	15.9	45.0	26.9	0.9
	85～89歳	747	18.6	19.4	42.3	18.2	1.5
	90歳以上	276	35.1	17.4	38.4	8.3	0.7
圏域別	石嶺	547	9.5	11.3	40.0	38.6	0.5
	大名	465	6.0	10.8	44.9	37.6	0.6
	城西	492	6.3	13.6	40.9	38.8	0.4
	繁多川	428	10.7	16.4	38.8	33.4	0.7
	松川	458	8.5	11.6	41.7	36.2	2.0
	松島	459	8.1	11.8	41.0	38.6	0.7
	識名	506	8.1	12.6	42.9	36.2	0.2
	安里	451	8.9	10.4	40.6	39.5	0.7
	古波蔵	451	10.0	12.0	39.5	38.1	0.4
	国場	436	8.7	14.0	39.4	36.9	0.9
	新都心	495	4.6	11.9	34.7	48.3	0.4
	安謝	437	8.5	13.0	36.6	41.2	0.7
	泊	435	5.7	12.2	37.9	44.1	-
	若狭	399	5.8	10.8	39.6	43.9	-
	城岳	453	5.7	13.9	38.0	41.3	1.1
	かなぐすく	404	7.7	10.6	37.6	43.6	0.5
小禄	505	7.5	12.1	40.6	38.8	1.0	
高良	451	7.3	14.0	37.0	41.0	0.7	
認定別	一般高齢者	7,251	5.9	11.7	38.6	43.4	0.5
	総合事業利用者	111	13.5	17.1	54.1	14.4	0.9
	要支援認定者	477	26.6	19.1	45.3	7.3	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 外出回数の減少状況【必須項目】

図表－63 外出回数の減少状況



	『減っている』 「とても減っている」+「減っている」	『減っていない』 「あまり減っていない」+「減っていない」
令和4年度	39.1%	59.4%
令和元年度	27.0%	71.7%
平成28年度	26.2%	71.5%

昨年と比べた外出回数の状況については、「減っていない」の割合が**34.2%**で最も高く、次いで「あまり減っていない」**25.2%**、「減っている」**30.6%**、「とても減っている」**8.5%**である。

経年比較すると、『減っている』の割合は、令和4年度では過去2回の調査と比較して高まっている。

性別では、男女ともに「減っていない」の割合が最も多く回答されているものの、男性**42.4%**、女性**28.4%**と男性が**14.0**ポイント高い。『減っている』の割合は女性**45.2%**、男性**30.8%**で女性が**14.4**ポイント高い。

年齢別では年齢階級が上がるほど、『減っている』の割合が高く、**90歳以上**では**68.9%**が『減っている』と回答している。

圏域別では、繁多川圏域は「とても減っている」が**13.6%**と市平均よりも**5.1**ポイント高く、石嶺圏域**10.4%**、古波蔵圏域**9.8%**である。一方、「減っていない」の割合はかなぐすく圏域が**37.4%**、若狭圏域が**37.1%**、新都心圏域が**37.0%**で市平均よりも**3.2**ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者と比較して『減っている』の割合が高く、一般高齢者の『減っている』が**36.1%**であるのに対し、総合事業利用者は**61.2%**、要支援認定者は**71.5%**である。

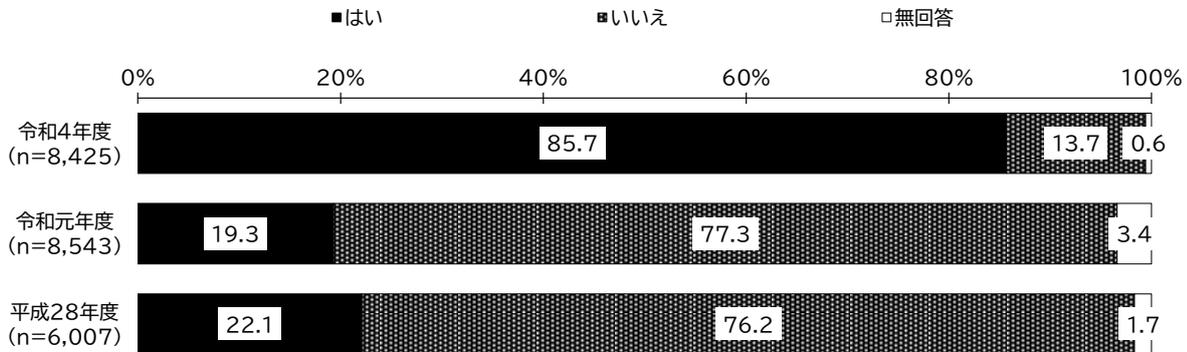
図表-64 基本属性別 外出回数の減少状況

		調査数(人)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	『【再掲】減っている』	『【再掲】減っていない』
全体		8,425	8.5	30.6	25.2	34.2	1.5	39.1	59.4
性別	男性	3,543	6.4	24.4	25.2	42.4	1.6	30.8	67.6
	女性	4,758	10.0	35.2	25.3	28.4	1.1	45.2	53.7
年齢別	65～69歳	2,177	5.5	24.4	25.5	43.7	0.9	29.9	69.2
	70～74歳	2,425	5.4	29.5	26.8	37.2	1.1	34.9	64.0
	75～79歳	1,431	8.1	30.8	26.3	33.4	1.4	38.9	59.7
	80～84歳	1,226	11.3	34.3	25.9	26.9	1.5	45.6	52.8
	85～89歳	747	17.0	40.2	20.3	19.8	2.7	57.2	40.1
	90歳以上	276	25.4	43.5	16.3	13.8	1.1	68.9	30.1
圏域別	石嶺	547	10.4	27.8	25.6	35.1	1.1	38.2	60.7
	大名	465	8.8	29.9	26.2	33.5	1.5	38.7	59.7
	城西	492	7.5	31.1	25.8	34.3	1.2	38.6	60.1
	繁多川	428	13.6	31.3	22.4	31.3	1.4	44.9	53.7
	松川	458	7.4	28.8	25.8	35.8	2.2	36.2	61.6
	松島	459	8.7	29.6	24.4	36.2	1.1	38.3	60.6
	識名	506	7.9	31.4	32.2	27.7	0.8	39.3	59.9
	安里	451	8.2	31.0	27.5	32.2	1.1	39.2	59.7
	古波蔵	451	9.8	33.7	22.8	32.6	1.1	43.5	55.4
	国場	436	9.4	30.5	23.9	35.1	1.1	39.9	59.0
	新都心	495	6.1	28.9	27.7	37.0	0.4	35.0	64.7
	安謝	437	9.2	28.8	24.3	35.7	2.1	38.0	60.0
	泊	435	7.8	29.7	25.7	35.4	1.4	37.5	61.1
	若狭	399	8.0	30.6	23.8	37.1	0.5	38.6	60.9
	城岳	453	8.2	33.6	24.1	33.1	1.1	41.8	57.2
	かなぐすく	404	7.7	30.7	22.3	37.4	2.0	38.4	59.7
小禄	505	8.3	30.9	27.7	31.9	1.2	39.2	59.6	
高良	451	6.9	34.6	20.6	36.1	1.8	41.5	56.7	
認定別	一般高齢者	7,251	6.9	29.2	25.9	37.0	1.0	36.1	62.9
	総合事業利用者	111	13.5	47.7	20.7	16.2	1.8	61.2	36.9
	要支援認定者	477	26.2	45.3	15.3	11.5	1.7	71.5	26.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) 外出控え【オプション項目】

図表－65 外出控え



外出を控えているかについては「はい(外出を控えている)」の割合が**85.7%**で最も高い。「いいえ(外出を控えてない)」は**13.7%**である。

経年比較すると、「はい(外出を控えている)」の割合が、令和4年度調査では、過去2回の調査と比較して**60ポイント**以上高い。

性別では女性は男性よりも「はい(外出を控えている)」の割合が高く、女性**88.1%**、男性**82.4%**である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「はい(外出を控えている)」の割合が高くなる。特に**80歳以上**と**90歳以上**で急激に増加する傾向にある(**75～79歳85.6%**、**80～84歳86.2%**、**85～89歳88.8%**、**90歳以上96.4%**)。90歳以上では「はい(外出を控えている)」が**96.4%**となっている。

認定別では、要支援認定者において「はい(外出を控えている)」が**94.1%**と高く、一般高齢者**84.8%**より**9.3ポイント**高い。

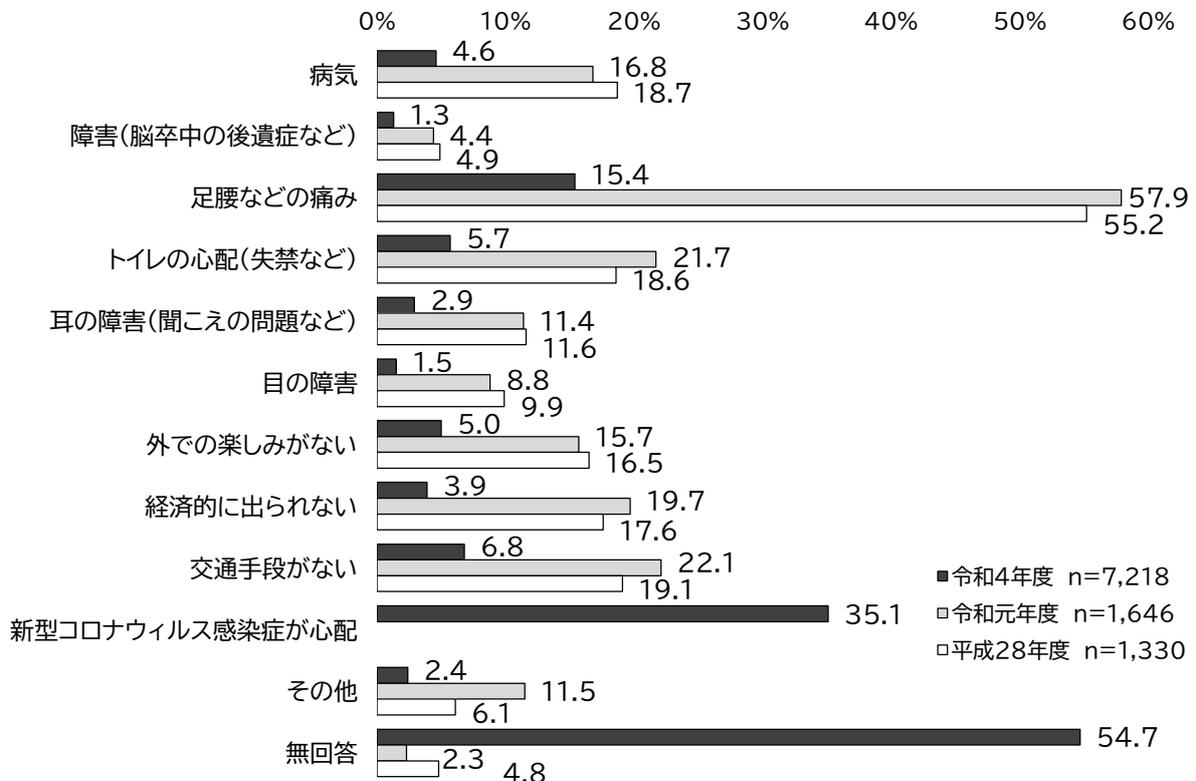
図表-66 基本属性別 外出控え

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	85.7	13.7	0.6
性別	男性	3,543	82.4	16.7	0.8
	女性	4,758	88.1	11.5	0.4
年齢別	65～69歳	2,177	83.9	15.8	0.3
	70～74歳	2,425	85.0	14.4	0.6
	75～79歳	1,431	85.6	13.9	0.5
	80～84歳	1,226	86.2	13.1	0.7
	85～89歳	747	88.8	10.0	1.2
	90歳以上	276	96.4	3.3	0.4
圏域別	石嶺	547	86.8	12.6	0.5
	大名	465	86.7	13.1	0.2
	城西	492	85.0	14.2	0.8
	繁多川	428	87.4	11.9	0.7
	松川	458	88.4	11.4	0.2
	松島	459	85.6	13.9	0.4
	識名	506	83.6	15.8	0.6
	安里	451	82.7	17.1	0.2
	古波蔵	451	81.6	17.1	1.3
	国場	436	83.5	16.1	0.5
	新都心	495	87.1	12.7	0.2
	安謝	437	89.7	10.3	-
	泊	435	83.9	15.2	0.9
	若狭	399	83.0	16.5	0.5
	城岳	453	82.1	17.4	0.4
	かなぐすく	404	87.6	11.9	0.5
	小禄	505	89.1	10.3	0.6
高良	451	89.8	9.5	0.7	
認定別	一般高齢者	7,251	84.8	14.6	0.6
	総合事業利用者	111	89.2	9.9	0.9
	要支援認定者	477	94.1	5.5	0.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(9) 外出控えの理由【オプション項目】

図表－67 外出控えの理由【複数回答】



「外出控え」で「1. はい」と回答をした人(7,218人)に対して、「外出控えの理由」について尋ねた。外出を控えている理由については「新型コロナウイルス感染症が心配」の割合が35.1%で最も高い。次いで「足腰などの痛み」の割合が15.4%、「交通手段がない」が6.8%である。

経年比較すると、「足腰などの痛み」の割合が、55%前後から15.4%まで減少している。

性別では、男性は「新型コロナウイルス感染症が心配」の割合が25.9%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が10.5%である。女性は「新型コロナウイルス感染症が心配」の割合が41.7%、次いで「足腰などの痛み」が18.7%である。

年齢別では、「足腰などの痛み」の割合は年齢階級が上がるほど、高くなる傾向にある(65～69歳6.6%、75～79歳15.4%、85～89歳33.5%)。

圏域別では、「目の障害」はかなぐすく圏域で3.1%と最も割合が高く、「トイレの心配」は識名圏域で8.0%と最も高い。「障害」は城岳圏域で2.4%と高い。

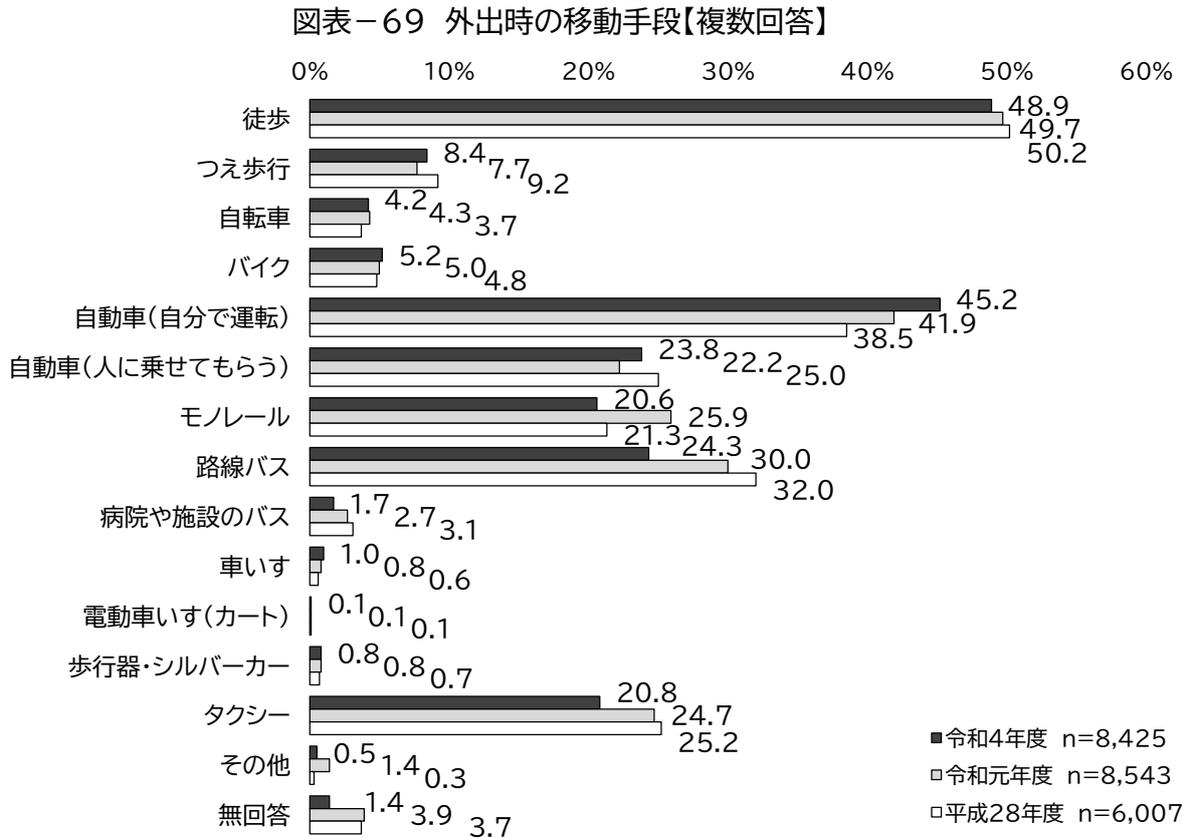
認定別では、多くの項目において要支援認定者は一般高齢者や総合事業利用者よりも高い。その中でも最も割合が高いのは「足腰などの痛み」(一般高齢者11.7%、総合事業利用者39.4%、要支援認定者55.0%)である。

図表－68 基本属性別 外出控えの理由【複数回答】

		調査数（人）	病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	新型コロナウイルス感染症が心配	その他	無回答
全体		7,218	4.6	1.3	15.4	5.7	2.9	1.5	5.0	3.9	6.8	35.1	2.4	54.7
性別	男性	2,921	5.2	2.1	10.5	4.2	2.6	1.7	4.7	2.9	4.1	25.9	1.7	64.6
	女性	4,193	4.0	0.8	18.7	6.7	3.2	1.4	5.2	4.6	8.6	41.7	2.9	47.9
年齢別	65～69歳	1,826	2.6	0.9	6.6	2.2	0.7	0.8	3.5	3.5	3.3	29.6	2.1	63.6
	70～74歳	2,061	3.9	1.2	9.7	4.0	1.1	0.9	4.4	3.9	4.0	32.4	1.6	60.3
	75～79歳	1,225	4.7	1.5	15.4	5.1	2.2	1.7	4.8	4.9	7.0	35.4	3.2	54.7
	80～84歳	1,057	6.1	1.5	22.7	7.6	4.4	1.7	6.9	3.3	9.5	38.9	2.7	47.7
	85～89歳	663	6.8	1.5	33.5	13.3	8.1	4.1	6.6	5.1	16.3	45.7	2.4	36.8
	90歳以上	266	8.6	3.0	44.7	19.5	16.9	3.0	8.3	1.9	17.7	53.4	6.0	23.3
圏域別	石嶺	475	5.7	1.1	17.3	6.1	2.9	1.3	5.3	3.8	5.5	36.8	2.3	53.7
	大名	403	5.0	1.2	15.6	6.2	1.5	1.2	5.2	3.0	6.0	34.7	2.5	54.6
	城西	418	4.1	1.2	15.6	4.3	2.9	1.2	4.1	3.1	6.0	37.3	2.4	53.6
	繁多川	374	7.2	0.8	19.0	7.0	5.1	2.4	6.4	4.0	9.9	38.5	1.6	50.8
	松川	405	5.4	1.7	12.8	5.9	4.0	1.7	4.2	5.7	8.4	33.3	2.2	57.3
	松島	393	4.8	1.8	13.0	7.1	2.5	1.3	5.6	2.8	8.1	34.1	1.3	56.2
	識名	423	6.9	0.9	21.5	8.0	2.1	1.7	5.7	4.0	8.3	37.4	2.4	50.6
	安里	373	3.8	1.6	12.3	5.4	2.4	1.1	4.6	4.3	5.9	31.4	2.7	58.7
	古波蔵	368	6.0	1.6	18.5	6.8	3.3	2.4	3.0	7.6	11.7	39.7	2.4	49.2
	国場	364	4.4	1.9	16.8	6.6	4.4	1.9	7.7	6.6	8.0	36.5	1.9	52.7
	新都心	431	3.0	0.9	12.8	3.7	2.8	1.4	3.0	2.6	3.9	30.2	1.6	61.0
	安謝	392	6.1	0.5	15.1	6.6	3.8	2.3	3.6	3.8	7.4	34.7	3.8	56.4
	泊	365	3.8	1.4	14.8	3.3	2.2	0.8	7.1	4.7	7.7	32.9	4.1	53.4
	若狭	331	2.4	1.5	16.6	4.8	3.6	0.9	5.1	2.7	4.5	32.9	1.2	55.9
	城岳	372	4.0	2.4	16.1	6.2	2.2	1.1	6.2	4.6	7.3	38.7	4.0	48.9
	かなぐすく	354	3.4	1.1	12.4	5.4	3.1	3.1	4.0	1.7	4.0	33.9	2.3	57.6
	小禄	450	2.7	1.3	12.7	5.6	2.4	1.1	3.8	4.0	6.0	34.0	2.9	59.3
高良	405	2.2	0.2	13.6	4.0	2.2	0.7	4.9	2.2	4.9	35.8	1.5	54.6	
認定別	一般高齢者	6,151	3.3	0.6	11.7	4.1	2.0	1.1	4.3	3.6	5.2	33.7	2.2	58.3
	総合事業利用者	99	10.1	5.1	39.4	13.1	11.1	5.1	1.0	4.0	14.1	40.4	3.0	33.3
	要支援認定者	449	17.4	8.9	55.0	23.2	11.4	5.3	12.2	7.6	24.5	52.3	5.3	17.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(10)外出時の移動手段【オプション項目】



外出時の移動手段については、「徒歩」の割合が**48.9%**と最も高い。次いで「自動車(自分で運転)」**45.2%**、「路線バス」**24.3%**である。

経年比較すると、「路線バス」の割合が年々減少しており、他と比べると減少率も高い。

性別では、男性は「自動車(自分で運転)」の割合が最も高く**61.4%**、次いで「徒歩」**48.2%**、「モノレール」**17.0%**である。女性は「徒歩」**49.7%**が最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」が**33.4%**、「自動車(人に乗せてもらう)」**32.7%**である。

年齢別では「徒歩」、「自動車(自分で運転)」、「モノレール」、「自転車」の割合は年齢階級が上がるほど割合が減少する傾向にある。一方、「つえ歩行」、「自動車(人に乗せてもらう)」、「タクシー」の割合は年齢階級が上がるとう高くなる傾向にある。

圏域別では、本庁地区に属する安里圏域、新都心圏域、安謝圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域などの圏域において「徒歩」の割合が高く、安里圏域**58.8%**、新都心圏域**55.4%**、安謝圏域**51.5%**、泊圏域**63.9%**、若狭圏域**55.9%**、城岳圏域**61.4%**で市平均を7～15ポイント上回っている。圏域別では泊圏域が、**63.9%**で市平均よりも**15.0**ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は一般高齢者に比べ「つえ歩行」の割合が**41.3%**、「自動車(人に乗せてもらう)」**48.0%**、「タクシー」**43.2%**などの項目で**24～36**ポイント高い。

図表-70 基本属性別 外出時の移動手段【複数回答】

		調査数(人)	徒歩	つえ歩行	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	モノレール	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		8,425	48.9	8.4	4.2	5.2	45.2	23.8	20.6	24.3	1.7	1.0	0.1	0.8	20.8	0.5	1.4
性別	男性	3,543	48.2	5.6	7.5	10.0	61.4	12.1	17.0	15.9	1.0	0.8	0.2	0.2	15.1	0.4	1.5
	女性	4,758	49.7	10.5	1.8	1.6	33.4	32.7	23.5	30.7	2.2	1.1	0.1	1.2	25.1	0.6	0.9
年齢別	65~69歳	2,177	53.1	1.7	5.5	8.4	61.8	17.0	20.6	22.1	0.7	0.2	0.1	0.1	12.8	0.5	0.7
	70~74歳	2,425	50.9	3.7	4.7	6.6	55.0	20.0	23.8	24.6	0.8	0.5	-	0.2	16.9	0.4	1.1
	75~79歳	1,431	50.4	7.8	3.8	4.0	42.8	23.8	22.0	25.9	2.2	0.5	0.1	0.4	20.8	0.6	1.3
	80~84歳	1,226	46.9	14.7	3.7	2.0	28.8	28.0	20.1	27.3	2.9	0.9	0.2	1.2	29.2	0.6	1.3
	85~89歳	747	41.2	24.1	2.4	0.8	14.7	38.6	14.3	25.8	3.6	2.7	0.3	3.1	38.2	0.4	2.1
	90歳以上	276	25.7	34.4	1.8	-	2.2	56.9	8.0	15.6	5.8	9.1	-	4.3	35.9	1.8	1.1
圏域別	石嶺	547	40.8	7.5	1.6	4.8	50.8	23.9	29.4	27.2	1.8	0.9	-	0.9	17.9	0.5	1.1
	大名	465	44.1	8.0	1.5	5.6	49.7	26.2	36.8	25.4	2.2	1.9	-	0.9	16.6	0.6	1.3
	城西	492	43.7	6.7	2.0	4.3	54.5	22.6	27.2	16.9	0.6	1.0	0.4	0.8	16.9	0.4	1.2
	繁多川	428	39.7	8.9	3.3	7.5	44.2	25.2	5.6	23.6	2.3	0.7	-	0.9	25.2	0.7	1.2
	松川	458	54.8	7.6	5.0	6.3	37.3	23.6	21.2	27.3	2.0	1.1	-	0.2	21.8	0.2	1.1
	松島	459	44.0	6.5	4.1	5.2	52.3	24.0	29.6	11.3	0.7	0.9	-	0.7	17.6	0.4	1.3
	識名	506	46.6	9.1	2.2	6.5	41.9	24.3	6.1	31.0	2.8	1.8	-	1.0	22.9	0.2	0.4
	安里	451	58.8	9.5	2.9	4.7	33.3	24.8	25.9	25.7	1.8	0.9	-	0.7	23.7	0.9	0.9
	古波蔵	451	52.5	12.4	5.8	5.5	38.6	26.2	8.9	26.8	1.8	0.4	-	0.4	18.6	0.2	1.1
	国場	436	39.4	9.4	3.2	6.2	51.8	22.5	3.4	21.8	1.1	1.1	-	0.9	15.4	0.9	1.4
	新都心	495	55.4	7.1	6.5	5.1	47.7	23.2	24.0	22.4	1.0	0.6	0.2	0.6	23.4	0.2	1.2
	安謝	437	51.5	8.9	8.5	8.0	40.5	24.7	8.7	34.1	1.8	0.9	0.5	2.1	22.9	-	1.8
	泊	435	63.9	9.9	6.4	4.6	38.4	26.0	29.7	26.7	1.6	0.5	-	0.7	30.8	0.2	1.1
	若狭	399	55.9	9.5	7.3	4.5	38.3	22.6	22.8	31.8	2.8	1.0	0.5	1.0	25.3	-	0.5
	城岳	453	61.4	9.7	3.8	3.5	37.1	23.8	23.2	28.3	3.3	1.3	-	1.5	24.1	0.7	0.9
	かなぐすく	404	47.3	5.0	5.4	3.0	54.7	20.3	30.7	20.5	0.2	0.5	-	0.2	20.0	1.0	1.5
	小祿	505	47.5	7.9	4.8	5.3	46.9	24.2	21.2	18.2	1.6	1.0	0.6	0.8	18.0	0.8	0.8
高良	451	39.5	9.1	4.0	3.1	56.8	22.2	16.2	21.5	1.8	0.9	-	0.2	16.0	1.1	1.6	
認定別	一般高齢者	7,251	52.1	5.5	4.4	5.5	49.8	22.2	22.0	24.9	1.0	0.4	0.0	0.2	18.9	0.4	1.1
	総合事業利用者	111	34.2	30.6	-	0.9	13.5	41.4	22.5	27.0	8.1	6.3	-	4.5	38.7	0.9	-
	要支援認定者	477	19.9	41.3	1.0	0.8	5.5	48.0	6.5	13.6	10.3	6.9	1.3	8.6	43.2	1.5	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

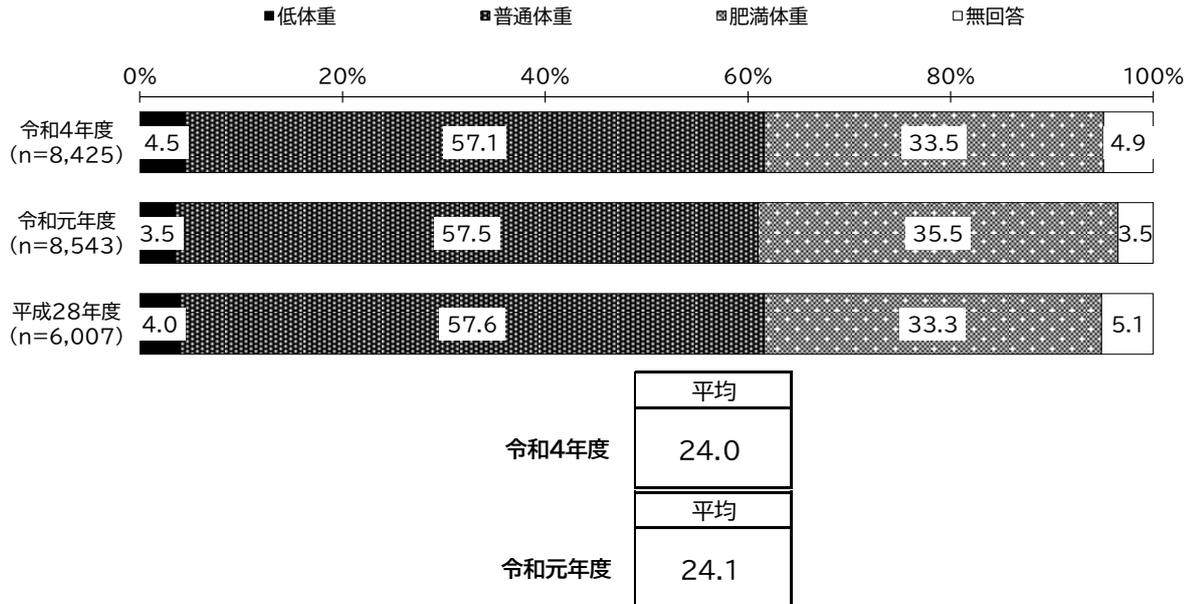
4. 食べることについて【問3】

(1) BMI(身長・体重)【必須項目】

※BMI＝体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)}

BMI が18.5未満の場合を「低体重」、18.5～25未満の場合を「普通体重」、25以上を「肥満体重」として評価(日本肥満学会による)

図表－71 BMI(身長体重)



BMI に基づく肥満度判定については、「普通体重」の割合が57.1%、次いで「肥満体重」が33.5%、「低体重」が4.5%である。

経年比較すると、BMI の傾向に差はほとんどみられない。

性別では、男性は市平均と比較し「肥満体重」の割合が36.8%と3.3ポイント高く、「低体重」が2.8%と1.7ポイント低い。女性は「低体重」が5.6%と男性2.8%と比較し高い。

年齢別では、70～74歳で「肥満体重」の割合が34.4%と市平均より0.9ポイント高い。また、85歳以上の年齢階級では「肥満体重」が減少している。90歳以上では、「肥満体重」の割合が27.9%と市平均より5.6ポイント低くなることに加え、「低体重」が9.1%と市平均よりも4.6ポイント高い。

圏域別では、国場圏域は「肥満体重」の割合が37.4%で市平均より3.9ポイント高い。また、松川良圏域は「低体重」が6.1%で市平均より1.6ポイント高い。

認定別では、一般高齢者は市平均よりも「普通体重」の割合が58.7%と1.6ポイント高く、「低体重」が4.0%と0.5ポイント低い。

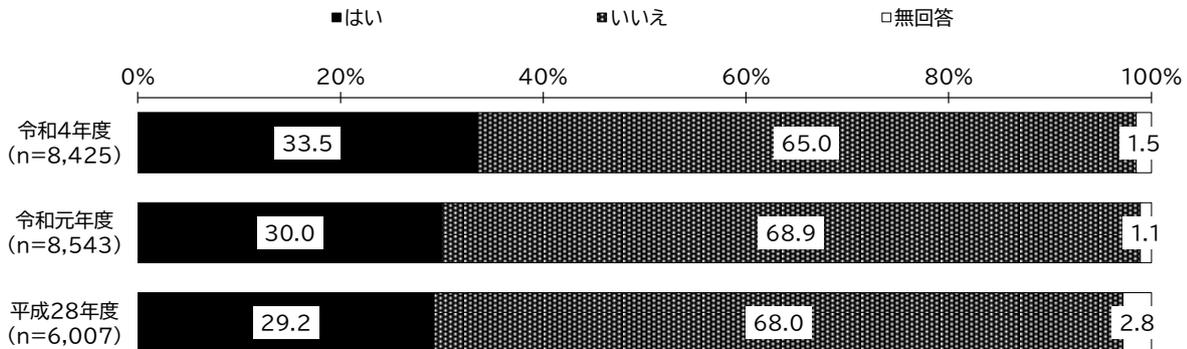
図表-72 基本属性別 BMI(身長・体重)

		(%)					
		調査数 (人)	低 体 重	普 通 体 重	肥 満 体 重	無 回 答	平 均 B M I 値
全体		8,425	4.5	57.1	33.5	4.9	24.0
性 別	男性	3,543	2.8	56.8	36.8	3.6	24.3
	女性	4,758	5.6	57.5	31.3	5.5	23.7
年 齢 別	65~69歳	2,177	4.3	61.3	32.5	1.9	23.8
	70~74歳	2,425	4.2	58.6	34.4	2.8	24.0
	75~79歳	1,431	4.5	55.1	35.4	5.0	24.1
	80~84歳	1,226	4.1	54.2	34.6	7.1	24.1
	85~89歳	747	4.1	51.5	32.7	11.6	23.9
	90歳以上	276	9.1	54.0	27.9	9.1	23.3
圏 域 別	石嶺	547	5.1	56.3	34.6	4.0	24.0
	大名	465	4.9	57.4	32.9	4.7	23.9
	城西	492	3.7	60.6	31.9	3.9	23.8
	繁多川	428	3.7	55.4	34.6	6.3	24.2
	松川	458	6.1	55.9	33.6	4.4	23.9
	松島	459	3.1	59.7	33.8	3.5	24.0
	識名	506	3.2	56.9	35.4	4.5	24.0
	安里	451	5.8	55.4	33.9	4.9	23.9
	古波蔵	451	2.9	55.7	34.8	6.7	24.2
	国場	436	4.1	52.8	37.4	5.7	24.3
	新都心	495	5.3	61.0	31.1	2.6	23.7
	安謝	437	4.3	56.3	33.4	5.9	24.1
	泊	435	5.1	56.6	34.5	3.9	23.8
	若狭	399	4.5	57.1	33.8	4.5	24.0
	城岳	453	5.3	59.6	31.1	4.0	23.6
	かなぐすく	404	5.2	55.0	33.9	5.9	23.9
小禄	505	5.0	58.4	32.3	4.4	24.1	
高良	451	2.2	57.6	34.1	6.0	24.2	
認 定 別	一般高齢者	7,251	4.0	58.7	33.7	3.6	24.0
	総合事業利用者	111	13.5	40.5	38.7	7.2	23.6
	要支援認定者	477	7.3	45.3	37.5	9.9	24.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 半年前と比較した固いものの咀嚼状況【必須項目】

図表－73 固いものの咀嚼状況



半年前と比較した固いものの食べにくさについては「いいえ(食べにくくなっていない)」の割合が65.0%、「はい(食べにくくなった)」が33.5%である。

経年比較すると、「はい(食べにくくなった)」の割合が年々増加している。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「いいえ(食べにくくなっていない)」の割合が減少し、「はい(食べにくくなった)」の割合が増加している。「はい(食べにくくなった)」は特に80歳以上の年齢階級で増加傾向にあり、80～84歳では40.9%、85～89歳では4.6ポイント増加し45.5%、90歳以上では13.6ポイント増加し59.1%である。

圏域別では石嶺圏域において「いいえ(食べにくくなっていない)」の割合が69.8%と、市平均と比べて4.8ポイント高い。「はい(食べにくくなった)」の割合は安謝圏域で市平均よりも4.9ポイント高く38.4%である。

認定別では、一般高齢者30.8%に比べて「はい(食べにくくなった)」の割合が総合事業利用者55.0%で24.2ポイント、要支援認定者59.5%で28.7ポイント高い。

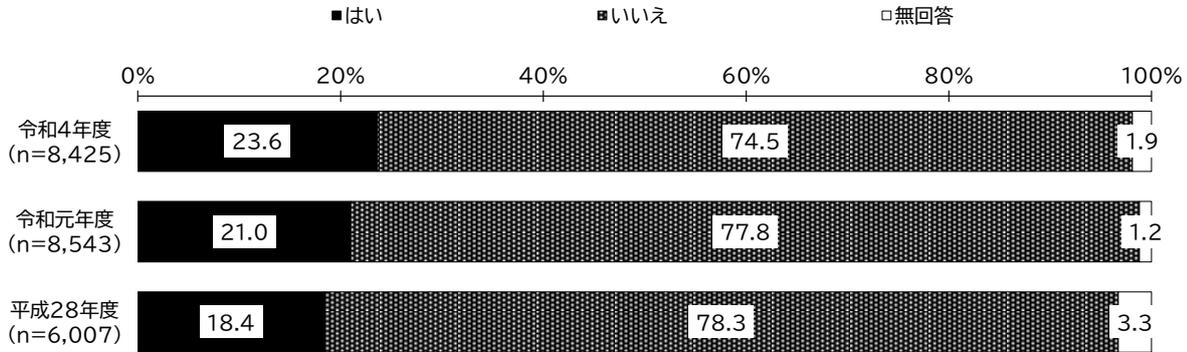
図表-74 基本属性別 固いものの咀嚼状況

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	33.5	65.0	1.5
性別	男性	3,543	33.9	64.9	1.3
	女性	4,758	33.1	65.5	1.3
年齢別	65～69歳	2,177	26.2	73.1	0.7
	70～74歳	2,425	27.8	71.0	1.2
	75～79歳	1,431	36.3	62.8	0.8
	80～84歳	1,226	40.9	57.6	1.5
	85～89歳	747	45.5	51.5	2.9
	90歳以上	276	59.1	38.0	2.9
圏域別	石嶺	547	29.1	69.8	1.1
	大名	465	36.3	63.0	0.6
	城西	492	29.3	68.5	2.2
	繁多川	428	33.6	65.0	1.4
	松川	458	32.1	66.2	1.7
	松島	459	31.8	66.7	1.5
	識名	506	35.4	63.8	0.8
	安里	451	35.5	63.2	1.3
	古波蔵	451	37.3	61.0	1.8
	国場	436	35.3	64.0	0.7
	新都心	495	29.5	69.7	0.8
	安謝	437	38.4	60.2	1.4
	泊	435	34.0	64.6	1.4
	若狭	399	34.8	64.2	1.0
	城岳	453	33.6	66.0	0.4
	かなぐすく	404	33.7	65.1	1.2
小禄	505	35.0	64.0	1.0	
高良	451	29.3	68.5	2.2	
認定別	一般高齢者	7,251	30.8	68.2	1.1
	総合事業利用者	111	55.0	44.1	0.9
	要支援認定者	477	59.5	38.4	2.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 汁物でむせた経験【オプション項目】

図表－75 汁物でむせた経験



むせることがあるかについては、「いいえ(むせた経験がない)」の割合が**74.5%**で、「はい(むせた経験がある)」が**23.6%**である。

経年比較すると、「はい(むせた経験がある)」の割合は年々増加している。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(むせた経験がある)」の割合が増加する傾向にあり、**90歳以上では、85～89歳よりも8.8ポイント増加し39.1%**である。

圏域別では、「はい(むせた経験がある)」の割合は泊圏域が最も高く**26.7%**と市平均よりも**3.1ポイント**高い。次いで、大名圏域の**26.2%**、若狭圏域の**26.1%**と続く。

認定別では、総合事業利用者**39.6%**、要支援認定者**41.7%**は一般高齢者**22.1%**に比べ「はい(むせた経験がある)」の割合が**18～20ポイント**高い。

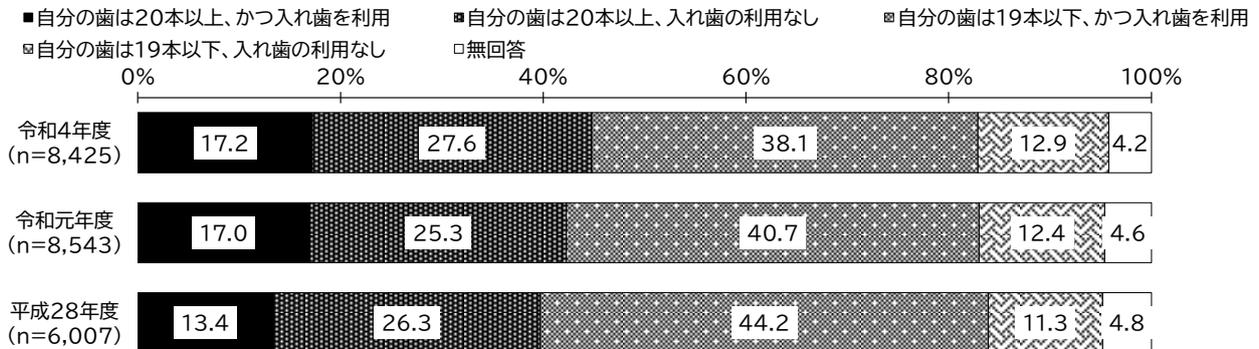
図表－76 基本属性別 汁物でむせた経験

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	23.6	74.5	1.9
性別	男性	3,543	23.6	74.7	1.7
	女性	4,758	23.6	74.8	1.6
年齢別	65～69歳	2,177	19.9	79.0	1.1
	70～74歳	2,425	21.7	76.9	1.4
	75～79歳	1,431	23.5	74.4	2.0
	80～84歳	1,226	26.3	71.9	1.9
	85～89歳	747	30.3	67.1	2.7
	90歳以上	276	39.1	58.0	2.9
圏域別	石嶺	547	21.4	77.0	1.6
	大名	465	26.2	73.1	0.6
	城西	492	22.6	75.4	2.0
	繁多川	428	25.7	72.7	1.6
	松川	458	24.2	73.4	2.4
	松島	459	22.7	74.3	3.1
	識名	506	23.7	75.9	0.4
	安里	451	25.3	72.3	2.4
	古波蔵	451	24.2	74.5	1.3
	国場	436	24.3	74.3	1.4
	新都心	495	23.4	74.7	1.8
	安謝	437	21.3	76.4	2.3
	泊	435	26.7	71.3	2.1
	若狭	399	26.1	73.7	0.3
	城岳	453	23.0	75.7	1.3
	かなぐすく	404	23.3	76.0	0.7
	小禄	505	20.4	78.2	1.4
高良	451	22.2	76.1	1.8	
認定別	一般高齢者	7,251	22.1	76.5	1.4
	総合事業利用者	111	39.6	58.6	1.8
	要支援認定者	477	41.7	56.2	2.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 歯の本数と入れ歯の利用状況【必須項目】

図表－77 歯の本数と入れ歯の利用状況



歯の本数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が38.1%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が27.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.9%である。

経年比較すると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が年々増加している。

性別では、女性は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」で男性よりも高く、女性38.8%、男性37.2%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が増加していく(65～69歳28.2%、75～79歳43.5%、85～89歳49.5%)。

圏域別では、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合は繁多川圏域で最も高く15.4%、次いで安里圏域の15.3%である。

認定別では、一般高齢者は総合事業利用者、要支援認定者と比べて「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」の割合が高い(一般高齢者29.5%、総合事業利用者12.6%、要支援認定者14.0%)。また、総合事業利用者54.1%、要支援認定者53.2%は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が一般高齢者36.8%より、16～17ポイント高い。

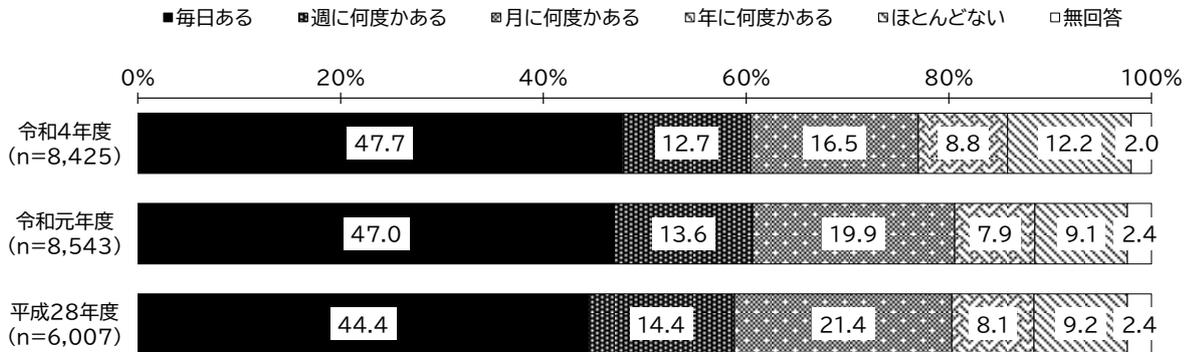
図表－78 基本属性別 歯の本数と入れ歯の利用状況

		(%)					
		調査数(人)	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体		8,425	17.2	27.6	38.1	12.9	4.2
性別	男性	3,543	17.2	27.9	37.2	14.0	3.7
	女性	4,758	17.4	27.6	38.8	12.1	4.1
年齢別	65～69歳	2,177	16.9	39.0	28.2	14.1	1.8
	70～74歳	2,425	18.1	31.2	34.8	12.7	3.2
	75～79歳	1,431	17.7	22.2	43.5	12.8	3.8
	80～84歳	1,226	19.2	19.2	44.6	11.5	5.5
	85～89歳	747	14.9	14.6	49.5	12.9	8.2
	90歳以上	276	9.8	11.2	57.6	12.7	8.7
圏域別	石嶺	547	16.6	29.6	38.6	11.0	4.2
	大名	465	16.8	31.6	35.7	12.5	3.4
	城西	492	18.3	29.1	37.0	12.0	3.7
	繁多川	428	18.0	24.8	36.9	15.4	4.9
	松川	458	14.8	30.3	36.0	14.0	4.8
	松島	459	19.8	28.5	37.0	11.5	3.1
	識名	506	15.0	27.9	41.3	12.5	3.4
	安里	451	15.1	26.4	38.6	15.3	4.7
	古波蔵	451	14.9	25.5	40.4	14.6	4.7
	国場	436	17.4	26.6	38.5	14.2	3.2
	新都心	495	18.0	31.1	38.0	10.1	2.8
	安謝	437	19.0	25.4	37.3	13.0	5.3
	泊	435	19.8	30.8	33.1	12.2	4.1
	若狭	399	18.3	25.6	39.8	13.5	2.8
	城岳	453	18.5	24.9	39.7	13.7	3.1
	かなぐすく	404	18.1	24.0	42.3	11.9	3.7
	小禄	505	16.6	27.1	38.2	14.9	3.2
高良	451	17.1	27.9	37.9	11.3	5.8	
認定別	一般高齢者	7,251	17.6	29.5	36.8	12.8	3.3
	総合事業利用者	111	16.2	12.6	54.1	14.4	2.7
	要支援認定者	477	11.9	14.0	53.2	13.8	6.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 共食の機会【必須項目】

図表－79 共食の機会



	『月に1回以上』 「毎日ある」～「月に何度かある」	『月に1回未満』 「年に何度かある」～「ほとんどない」
令和4年度	76.9%	21.0%
令和元年度	80.5%	17.0%
平成28年度	80.2%	17.3%

人と食事をともにする機会については、「毎日ある」の割合が47.7%で最も高く、次いで「月に何度かある」16.5%、「週に何度かある」12.7%、「ほとんどない」12.2%、「年に何度かある」8.8%である。

経年比較すると、「毎日ある」の割合は微増している。

性別では、男性は「毎日ある」の割合が49.1%で最も高く、次いで「ほとんどない」16.5%、「月に何度かある」13.8%である。女性は「毎日ある」が46.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」18.7%、「週に何度かある」14.3%である。「ほとんどない」は男性16.5%、女性8.9%で男性の方が7.6ポイント高い。

年齢別では、一部例外があるものの、年齢階級が上がるほど「毎日ある」の割合が減少する傾向にある。「ほとんどない」は85歳以降の年代で微増し、80～84歳では13.1%であるのに対し、85～89歳では14.7%、90歳以上で13.4%である。

圏域別では、大名圏域55.7%、松島圏域54.7%は「毎日ある」の割合が市平均よりも7～8ポイント高い。安里圏域16.4%、識名圏域15.0%、若狭圏域15.0%は「ほとんどない」が市平均よりも3～4ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「ほとんどない」の割合が19.9%で市平均よりも7.7ポイント高い。

図表－80 基本属性別 共食の機会

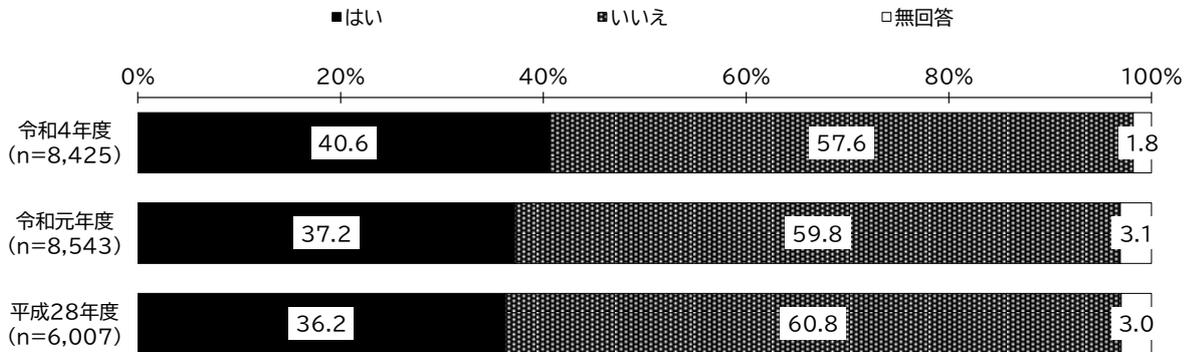
									(%)	
		調査数(人)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	『【再掲】 月に1回以上』	『【再掲】 月に1回未満』
全体		8,425	47.7	12.7	16.5	8.8	12.2	2.0	76.9	21.0
性別	男性	3,543	49.1	10.8	13.8	8.0	16.5	1.9	73.7	24.5
	女性	4,758	46.9	14.3	18.7	9.3	8.9	1.8	79.9	18.2
年齢別	65～69歳	2,177	54.4	13.6	14.1	6.0	10.7	1.1	82.1	16.7
	70～74歳	2,425	49.6	12.9	16.3	8.6	11.1	1.4	78.8	19.7
	75～79歳	1,431	44.0	11.3	19.4	10.1	13.3	1.8	74.7	23.4
	80～84歳	1,226	41.8	12.6	19.1	11.1	13.1	2.4	73.5	24.2
	85～89歳	747	39.5	14.1	17.8	10.0	14.7	3.9	71.4	24.7
	90歳以上	276	50.7	12.0	10.5	11.2	13.4	2.2	73.2	24.6
圏域別	石嶺	547	49.2	11.3	16.6	10.6	10.2	2.0	77.1	20.8
	大名	465	55.7	11.6	15.1	8.4	7.5	1.7	82.4	15.9
	城西	492	53.7	11.0	15.9	7.9	10.0	1.6	80.6	17.9
	繁多川	428	51.4	9.8	14.0	8.6	14.3	1.9	75.2	22.9
	松川	458	44.3	13.5	16.2	9.6	14.6	1.7	74.0	24.2
	松島	459	54.7	12.4	19.0	4.6	7.2	2.2	86.1	11.8
	識名	506	46.8	14.0	14.6	8.1	15.0	1.4	75.4	23.1
	安里	451	41.5	12.4	18.2	9.1	16.4	2.4	72.1	25.5
	古波蔵	451	45.7	12.9	16.6	7.3	14.9	2.7	75.2	22.2
	国場	436	49.1	13.1	13.1	8.9	13.8	2.1	75.3	22.7
	新都心	495	48.5	14.1	17.2	10.1	8.7	1.4	79.8	18.8
	安謝	437	39.8	12.1	19.9	11.4	14.4	2.3	71.8	25.8
	泊	435	41.1	15.2	19.1	9.9	12.4	2.3	75.4	22.3
	若狭	399	42.9	16.8	14.8	9.8	15.0	0.8	74.5	24.8
	城岳	453	45.0	11.7	18.8	11.3	12.8	0.4	75.5	24.1
かなぐすく	404	49.5	13.9	17.3	8.4	8.7	2.2	80.7	17.1	
小禄	505	49.7	12.3	16.4	7.3	13.3	1.0	78.4	20.6	
高良	451	52.5	13.3	15.5	7.3	8.6	2.7	81.3	15.9	
認定別	一般高齢者	7,251	49.9	12.5	16.6	8.4	11.2	1.5	79.0	19.6
	総合事業利用者	111	33.3	21.6	22.5	6.3	15.3	0.9	77.4	21.6
	要支援認定者	477	35.8	16.1	11.7	13.6	19.9	2.7	63.6	33.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

5. 毎日の生活について【問4】

(1) 物忘れの多寡【必須項目】

図表-81 物忘れの多寡



物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ(多いと感じない)」の割合が57.6%、「はい(多いと感じる)」が40.6%である。

経年比較すると、「はい(多いと感じる)」の割合が年々増加している。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(多いと感じる)」の割合が高くなり、85歳以上の年齢階級では54%を超え、市平均よりも14.0ポイント以上高い。

圏域別では、大名圏域は「はい(多いと感じる)」が44.5%で市平均よりも3.9ポイント高い。一方、かなぐすく圏域は36.9%、高良圏域では37.9%で市平均よりも3~4ポイント低い。

認定別では、要支援認定者は「はい(多いと感じる)」が61.2%で、一般高齢者の38.5%よりも22.7ポイント高い。総合事業利用者は57.7%で3.5ポイント高い。

図表－82 基本属性別 物忘れの多寡

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	40.6	57.6	1.8
性別	男性	3,543	38.1	60.2	1.7
	女性	4,758	42.2	56.2	1.6
年齢別	65～69歳	2,177	31.4	67.8	0.8
	70～74歳	2,425	37.4	61.3	1.4
	75～79歳	1,431	42.1	56.3	1.7
	80～84歳	1,226	47.1	50.4	2.5
	85～89歳	747	54.6	42.0	3.3
	90歳以上	276	63.0	34.8	2.2
圏域別	石嶺	547	38.2	60.5	1.3
	大名	465	44.5	54.6	0.9
	城西	492	39.8	58.3	1.8
	繁多川	428	44.4	53.5	2.1
	松川	458	39.5	57.9	2.6
	松島	459	40.7	57.7	1.5
	識名	506	38.7	60.5	0.8
	安里	451	43.0	55.4	1.6
	古波蔵	451	40.8	57.4	1.8
	国場	436	42.2	56.2	1.6
	新都心	495	39.2	59.8	1.0
	安謝	437	41.4	56.3	2.3
	泊	435	39.5	57.9	2.5
	若狭	399	41.9	57.4	0.8
	城岳	453	43.5	55.6	0.9
	かなぐすく	404	36.9	61.6	1.5
小禄	505	38.2	59.8	2.0	
高良	451	37.9	59.2	2.9	
認定別	一般高齢者	7,251	38.5	60.0	1.4
	総合事業利用者	111	57.7	41.4	0.9
	要支援認定者	477	61.2	36.3	2.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) スマートフォンの操作【市独自項目】

図表-83 スマートフォンの操作



スマートフォンの操作については、全体で「はい(操作できる)」の割合が**57.9%**で、「いいえ(操作できない)」が**40.3%**となっている。

性別では、女性は「いいえ(操作できない)」の割合が**40.2%**で男性**40.1%**より**0.1**ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(操作できる)」の割合が減少し、「いいえ(操作できない)」が増加している。「いいえ(操作できない)」は、**75～79歳**が**44.6%**であるのに対し、**80～84歳**では**60.2%**と**15.6**ポイント増加し、さらに**85～89歳**では**72.2%**で**27.6**ポイント、**90歳以上**では**86.2%**で**41.6**ポイント増加している。。

圏域別では、「いいえ(操作できない)」の割合は識名圏域が**47.6%**であり、市平均よりも**7.3**ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「いいえ(操作できない)」の割合が高く、要支援認定者は**78.2%**である。

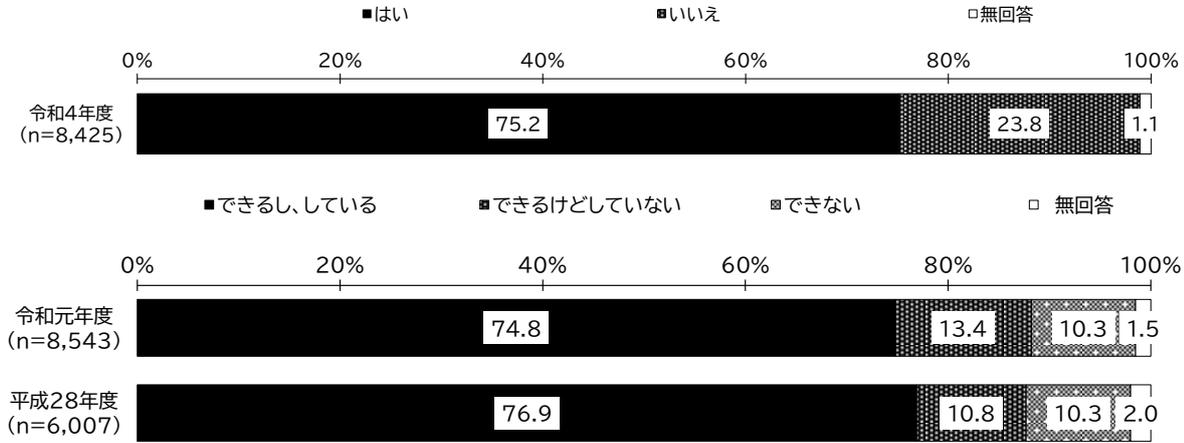
図表－84 基本属性別 スマートフォンの操作

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	57.9	40.3	1.8
性別	男性	3,543	58.1	40.1	1.8
	女性	4,758	58.2	40.2	1.5
年齢別	65～69歳	2,177	80.0	19.3	0.7
	70～74歳	2,425	67.9	30.9	1.2
	75～79歳	1,431	53.5	44.6	1.9
	80～84歳	1,226	37.3	60.2	2.5
	85～89歳	747	24.5	72.2	3.3
	90歳以上	276	12.0	86.2	1.8
圏域別	石嶺	547	56.5	41.9	1.6
	大名	465	56.8	41.7	1.5
	城西	492	62.4	36.0	1.6
	繁多川	428	53.3	45.1	1.6
	松川	458	54.4	44.3	1.3
	松島	459	60.3	38.6	1.1
	識名	506	51.6	47.6	0.8
	安里	451	53.9	43.7	2.4
	古波蔵	451	53.0	45.0	2.0
	国場	436	56.7	42.7	0.7
	新都心	495	69.3	29.7	1.0
	安謝	437	57.0	41.9	1.1
	泊	435	64.8	32.4	2.8
	若狭	399	57.9	41.4	0.8
	城岳	453	61.6	36.9	1.5
	かなぐすく	404	63.9	34.7	1.5
	小禄	505	56.4	41.8	1.8
高良	451	57.4	39.2	3.3	
認定別	一般高齢者	7,251	62.7	35.9	1.5
	総合事業利用者	111	30.6	69.4	-
	要支援認定者	477	20.1	78.2	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 一人での外出【必須項目】

図表－85 一人での外出



バスやモノレールを使い(自家用車でも可)一人で外出しているかについては、「はい(外出できる)」の割合が75.2%、次いで「いいえ(外出できない)」が23.8%である。

経年比較すると、一人で外出しているかについての『している「はい」、「できるし、している」』の割合に差はほとんどみられない。

性別では、女性は「いいえ(外出できない)」の割合が24.9%で男性22.0%より2.9ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(外出できる)」の割合が減少し、「いいえ(外出できない)」が増加している。「いいえ(外出できない)」は、75～79歳が23.1%であるのに対し、80～84歳では30.2%と7.1ポイント増加し、さらに85～89歳では46.7%で23.6ポイント、90歳以上では77.9%で54.8ポイントの増加である。

圏域別では、「いいえ(外出できない)」の割合は古波蔵圏域が30.8%であり、市平均よりも7.0ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「いいえ(外出できない)」の割合が高く、一般高齢者の「いいえ(外出できない)」が19.3%であるのに対し、要支援認定者は75.1%である。次いで総合事業利用者は55.0%である。

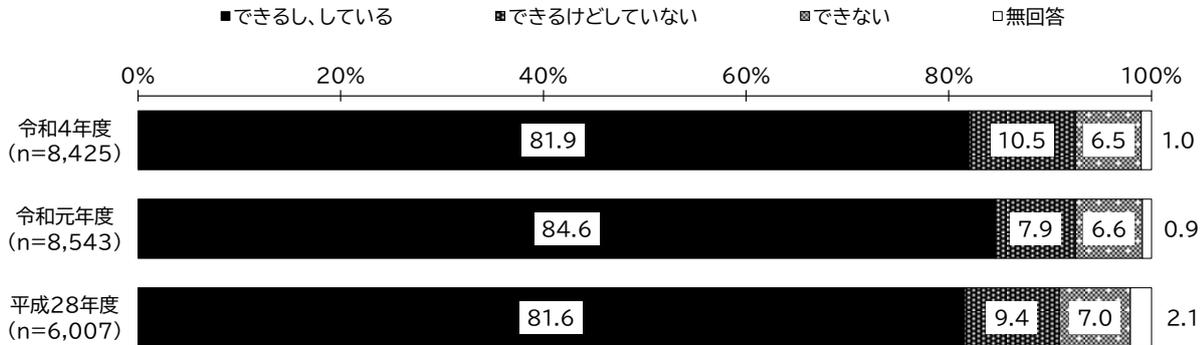
図表－86 基本属性別 一人での外出

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	75.2	23.8	1.1
性別	男性	3,543	76.8	22.0	1.2
	女性	4,758	74.3	24.9	0.7
年齢別	65～69歳	2,177	85.6	13.8	0.6
	70～74歳	2,425	83.1	16.2	0.7
	75～79歳	1,431	76.2	23.1	0.7
	80～84歳	1,226	68.7	30.2	1.1
	85～89歳	747	50.9	46.7	2.4
	90歳以上	276	21.0	77.9	1.1
圏域別	石嶺	547	78.6	20.5	0.9
	大名	465	79.8	19.4	0.9
	城西	492	77.8	21.1	1.0
	繁多川	428	70.3	28.5	1.2
	松川	458	73.1	25.8	1.1
	松島	459	77.1	22.0	0.9
	識名	506	72.7	27.1	0.2
	安里	451	76.9	22.2	0.9
	古波蔵	451	67.8	30.8	1.3
	国場	436	70.4	29.1	0.5
	新都心	495	79.0	20.4	0.6
	安謝	437	72.5	25.9	1.6
	泊	435	79.1	19.8	1.1
	若狭	399	76.4	23.3	0.3
	城岳	453	75.3	24.3	0.4
	かなぐすく	404	79.2	20.3	0.5
	小禄	505	71.7	27.3	1.0
高良	451	78.5	20.0	1.6	
認定別	一般高齢者	7,251	79.9	19.3	0.8
	総合事業利用者	111	44.1	55.0	0.9
	要支援認定者	477	23.1	75.1	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 食品・日用品の買物【必須項目】

図表－87 食品・日用品の買物



自分で食品・日用品の買物を行っているかについては、「できるし、している」の割合が81.9%で最も高く、「できるけどしていない」が10.5%、「できない」6.5%である。

経年比較すると、各項目の傾向に差はほとんどみられない。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できるけどしていない」、「できない」の割合が増加している。特に80歳以上の年齢階級では顕著な増加傾向が見られ、80～84歳では9.3%、85～89歳では18.9%、90歳以上では45.3%である。

圏域別では、繁多川圏域は「できない」の割合が9.3%で最も高く、市平均よりも2.8ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「できない」の割合が47.4%、一般高齢者3.3%よりも44.1ポイント高く、総合事業利用者26.1%では22.8ポイント高い。

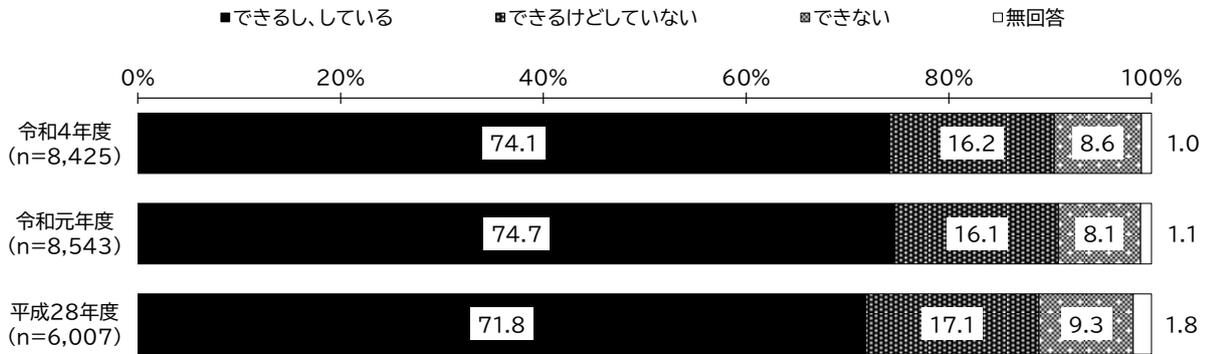
図表－88 基本属性別 食品・日用品の買物

			(%)			
		調査数 (人)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		8,425	81.9	10.5	6.5	1.0
性別	男性	3,543	77.6	15.9	5.4	1.1
	女性	4,758	85.4	6.6	7.4	0.7
年齢別	65～69歳	2,177	91.0	6.8	1.6	0.7
	70～74歳	2,425	88.6	8.2	2.6	0.6
	75～79歳	1,431	83.8	11.4	4.3	0.6
	80～84歳	1,226	76.8	12.9	9.3	1.1
	85～89歳	747	59.0	19.8	18.9	2.3
	90歳以上	276	32.2	22.1	45.3	0.4
圏域別	石嶺	547	80.1	12.8	6.4	0.7
	大名	465	79.6	11.8	7.5	1.1
	城西	492	81.3	11.8	6.1	0.8
	繁多川	428	78.7	10.7	9.3	1.2
	松川	458	78.4	12.7	8.1	0.9
	松島	459	80.0	13.3	6.1	0.7
	識名	506	82.6	9.3	7.7	0.4
	安里	451	83.8	9.3	6.2	0.7
	古波蔵	451	80.3	10.4	8.6	0.7
	国場	436	80.5	10.1	8.3	1.1
	新都心	495	85.3	10.3	4.0	0.4
	安謝	437	84.9	8.5	5.5	1.1
	泊	435	84.6	9.4	4.6	1.4
	若狭	399	81.5	13.3	5.3	-
	城岳	453	87.0	6.8	6.0	0.2
	かなぐすく	404	82.7	11.6	5.0	0.7
小禄	505	83.4	9.9	5.7	1.0	
高良	451	82.7	9.5	6.7	1.1	
認定別	一般高齢者	7,251	85.8	10.2	3.3	0.7
	総合事業利用者	111	59.5	12.6	26.1	1.8
	要支援認定者	477	34.2	17.4	47.4	1.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 食事の用意【必須項目】

図表－89 食事の用意



自分で食事の用意をしているかについては「できるし、している」の割合が74.1%で最も高く、「できるけどしていない」が16.2%、「できない」が8.6%である。

経年比較すると、各項目の傾向に差はほとんどみられない。

性別では男性は女性より「できない」の割合が高く、男性14.6%、女性4.2%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合は減少し、「できない」の割合は増加している。「できない」の割合は80～84歳で12.4%、85～89歳では5.0ポイント増加し17.4%、90歳以上では18.8ポイント増加し36.2%である。

圏域別では、「できない」の割合は識名圏域が10.7%、繁多川地圏域10.0%と市平均よりも1～2ポイント高い。

認定別では、「できない」の割合は一般高齢者6.5%、総合事業利用者は19.8%、要支援認定者は34.4%である。

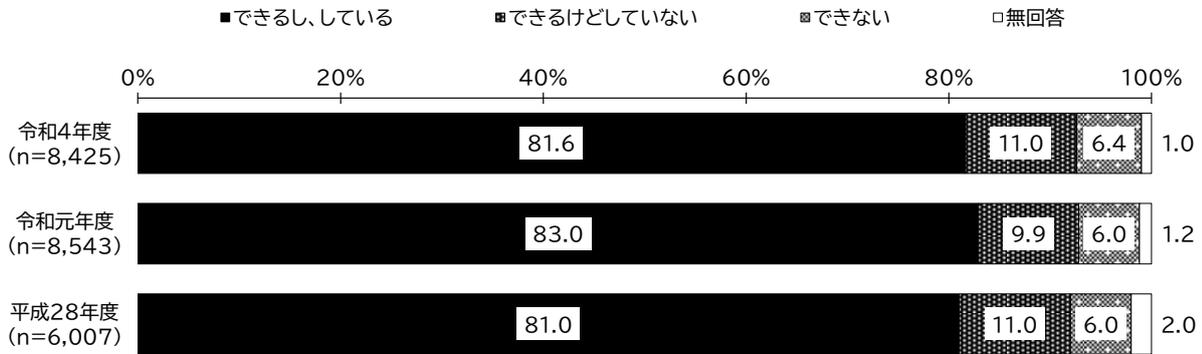
図表－90 基本属性別 食事の用意

			(%)			
		調査数 (人)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		8,425	74.1	16.2	8.6	1.0
性別	男性	3,543	52.5	31.7	14.6	1.2
	女性	4,758	90.5	4.6	4.2	0.7
年齢別	65～69歳	2,177	78.6	16.1	4.5	0.7
	70～74歳	2,425	78.1	15.7	5.4	0.8
	75～79歳	1,431	76.3	16.5	6.8	0.4
	80～84歳	1,226	70.6	15.6	12.4	1.4
	85～89歳	747	63.2	17.4	17.4	2.0
	90歳以上	276	42.0	19.6	36.2	2.2
圏域別	石嶺	547	71.3	17.9	9.9	0.9
	大名	465	73.1	17.4	8.6	0.9
	城西	492	69.9	20.1	9.6	0.4
	繁多川	428	72.4	17.3	10.0	0.2
	松川	458	75.3	15.1	7.9	1.7
	松島	459	71.0	20.0	8.1	0.9
	識名	506	73.3	14.2	10.7	1.8
	安里	451	77.8	12.6	8.6	0.9
	古波蔵	451	76.5	13.7	9.1	0.7
	国場	436	73.9	15.4	9.2	1.6
	新都心	495	73.9	17.0	8.5	0.6
	安謝	437	78.3	13.5	7.3	0.9
	泊	435	79.8	11.5	7.6	1.1
	若狭	399	73.2	17.0	9.3	0.5
	城岳	453	77.0	14.1	8.4	0.4
	かなぐすく	404	74.3	18.3	6.9	0.5
	小禄	505	74.3	16.6	8.3	0.8
高良	451	73.4	19.1	6.2	1.3	
認定別	一般高齢者	7,251	76.4	16.4	6.5	0.7
	総合事業利用者	111	63.1	15.3	19.8	1.8
	要支援認定者	477	47.2	17.0	34.4	1.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 請求書の支払い【必須項目】

図表-91 請求書の支払い



自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」の割合が81.6%、「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が6.4%である。

経年比較すると、請求書の支払いの傾向に差はほとんどみられない。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加している。「できない」は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では8.5%、85～89歳では11.0ポイント増加し19.5%、90歳以上では16.7ポイント増加し36.2%である。

圏域別では、国場圏域において「できるし、している」の割合が78.4%と市平均と比べて3.2ポイント低い。

認定別では、「できない」の割合は一般高齢者4.1%、総合事業利用者は24.3%、要支援認定者は34.6%である。

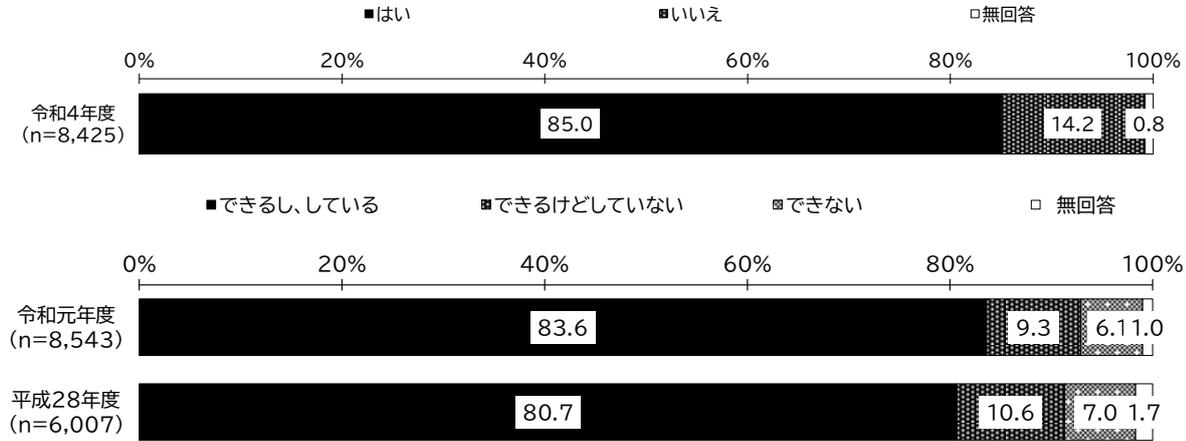
図表－92 基本属性別 請求書の支払い

			(%)			
		調査数 (人)	できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答
全体		8,425	81.6	11.0	6.4	1.0
性別	男性	3,543	75.1	17.1	7.0	0.8
	女性	4,758	86.6	6.4	5.9	1.0
年齢別	65～69歳	2,177	88.0	9.1	2.3	0.6
	70～74歳	2,425	86.8	9.9	2.6	0.6
	75～79歳	1,431	84.0	10.8	4.5	0.8
	80～84歳	1,226	77.4	13.0	8.5	1.1
	85～89歳	747	64.3	14.2	19.5	2.0
	90歳以上	276	43.8	17.8	36.2	2.2
圏域別	石嶺	547	81.0	12.2	6.4	0.4
	大名	465	80.2	11.0	7.5	1.3
	城西	492	85.4	9.1	5.3	0.2
	繁多川	428	79.9	11.0	9.1	-
	松川	458	79.7	12.7	6.1	1.5
	松島	459	80.6	10.9	7.8	0.7
	識名	506	80.6	10.7	7.3	1.4
	安里	451	86.0	8.6	4.2	1.1
	古波蔵	451	79.8	9.3	9.8	1.1
	国場	436	78.4	12.2	8.3	1.1
	新都心	495	83.4	12.5	3.4	0.6
	安謝	437	83.3	10.5	5.5	0.7
	泊	435	85.7	8.3	5.1	0.9
	若狭	399	81.7	11.3	6.0	1.0
	城岳	453	84.1	8.8	6.6	0.4
	かなぐすく	404	80.9	13.1	5.2	0.7
	小禄	505	81.6	12.1	5.5	0.8
高良	451	78.9	13.7	6.0	1.3	
認定別	一般高齢者	7,251	84.5	10.8	4.1	0.6
	総合事業利用者	111	68.5	5.4	24.3	1.8
	要支援認定者	477	48.0	15.5	34.6	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 預貯金の出し入れ【必須項目】

図表－93 預貯金の出し入れ



自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「はい」の割合が85.0%、「いいえ」14.2%である。

経年比較すると、自分で預貯金の出し入れをしているかについては、『している「はい」、「できるし、している」』の割合が年々増加している。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「はい」の割合が減少し、「いいえ」の割合が増加している。「いいえ」は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では17.5%、85～89歳では14.4ポイント増加し31.9%、90歳以上では23.2ポイント増加し55.1%である。

圏域別では、泊圏域は「はい」の割合が90.6%で市平均よりも5.6ポイント高い、次いで新都心圏域が88.9%、城西圏域が88.4%である。

認定別では、「いいえ」の割合は一般高齢者11.4%、総合事業利用者は28.8%、要支援認定者は49.7%である。

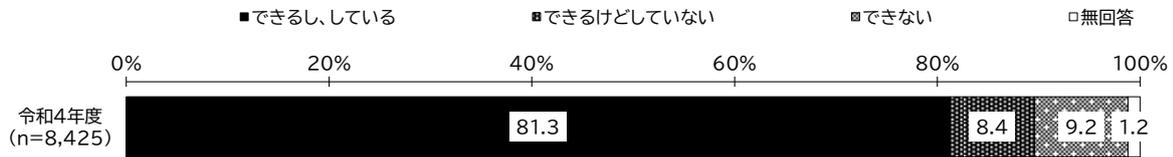
図表－94 基本属性別 預貯金の出し入れ

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	85.0	14.2	0.8
性別	男性	3,543	80.1	19.2	0.7
	女性	4,758	88.8	10.5	0.7
年齢別	65～69歳	2,177	90.9	8.7	0.5
	70～74歳	2,425	90.9	8.6	0.5
	75～79歳	1,431	87.8	12.0	0.2
	80～84歳	1,226	81.6	17.5	1.0
	85～89歳	747	65.9	31.9	2.3
	90歳以上	276	44.2	55.1	0.7
圏域別	石嶺	547	85.6	14.3	0.2
	大名	465	86.0	12.9	1.1
	城西	492	88.4	11.4	0.2
	繁多川	428	81.8	18.2	-
	松川	458	83.0	15.7	1.3
	松島	459	85.6	13.5	0.9
	識名	506	84.4	14.4	1.2
	安里	451	86.0	13.5	0.4
	古波蔵	451	81.4	17.5	1.1
	国場	436	82.6	16.7	0.7
	新都心	495	88.9	10.9	0.2
	安謝	437	85.6	13.7	0.7
	泊	435	90.6	9.0	0.5
	若狭	399	87.7	11.8	0.5
	城岳	453	85.9	13.9	0.2
	かなぐすく	404	82.7	16.8	0.5
小禄	505	83.4	15.8	0.8	
高良	451	82.7	16.4	0.9	
認定別	一般高齢者	7,251	88.1	11.4	0.4
	総合事業利用者	111	70.3	28.8	0.9
	要支援認定者	477	48.6	49.7	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)の記入【必須項目】

図表－95 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)の記入



年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますかについては、「できるし、している」の割合が81.3%、「できるけどしていない」が8.4%、「できない」が9.2%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加している。「できない」は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では13.1%、85～89歳では27.4%、90歳以上では33.6ポイント増加し42.8%である。

圏域別では、城西圏域において「できるし、している」の割合が85.0%と市平均と比べて3.7ポイント高い。

認定別では、「できない」の割合は一般高齢者6.4%、総合事業利用者31.5%、要支援認定者は40.5%である。

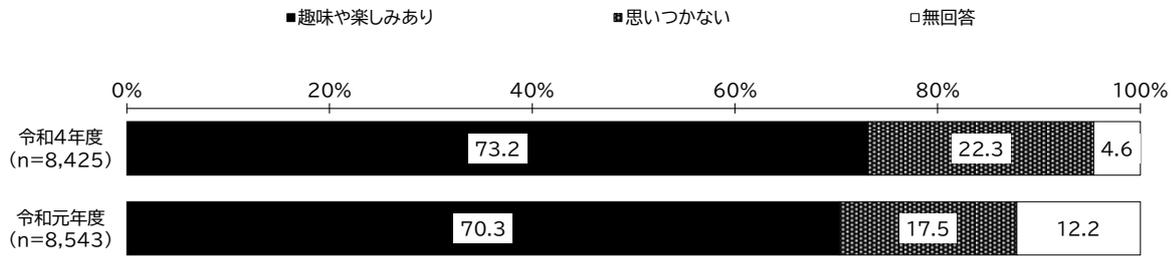
図表－96 基本属性別 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)の記入

			(%)			
		調査数(人)	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		8,425	81.3	8.4	9.2	1.2
性別	男性	3,543	79.8	10.9	8.4	0.8
	女性	4,758	82.7	6.4	9.6	1.3
年齢別	65～69歳	2,177	90.8	5.6	2.8	0.8
	70～74歳	2,425	88.6	6.1	4.3	1.0
	75～79歳	1,431	83.9	8.4	7.1	0.6
	80～84歳	1,226	74.5	10.8	13.1	1.6
	85～89歳	747	54.9	15.4	27.4	2.3
	90歳以上	276	37.3	19.2	42.8	0.7
圏域別	石嶺	547	84.1	6.6	9.1	0.2
	大名	465	78.5	9.7	11.0	0.9
	城西	492	85.0	7.5	7.3	0.2
	繁多川	428	77.1	9.1	12.4	1.4
	松川	458	80.3	8.5	9.0	2.2
	松島	459	82.8	7.2	8.9	1.1
	識名	506	81.2	7.5	10.3	1.0
	安里	451	82.9	8.2	7.8	1.1
	古波蔵	451	76.9	7.5	14.0	1.6
	国場	436	76.6	9.9	11.9	1.6
	新都心	495	84.8	8.1	6.5	0.6
	安謝	437	79.9	8.5	10.3	1.4
	泊	435	86.4	8.7	4.1	0.7
	若狭	399	80.2	11.0	8.0	0.8
	城岳	453	83.2	7.7	8.6	0.4
	かなぐすく	404	81.4	8.4	8.4	1.7
	小禄	505	80.4	9.9	9.1	0.6
高良	451	83.1	7.8	7.5	1.6	
認定別	一般高齢者	7,251	85.2	7.7	6.4	0.7
	総合事業利用者	111	55.9	10.8	31.5	1.8
	要支援認定者	477	43.0	15.5	40.5	1.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(9) 趣味や楽しみについて【オプション項目】

図表－97 趣味や楽しみについて



趣味や楽しみの有無については、「趣味や楽しみあり」の割合が73.2%、「思いつかない」が22.3%である。

令和元年度と比較すると、「思いつかない」の割合が4.8ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「趣味や楽しみあり」の割合が減少する傾向にあり、65～69歳では75.1%、90歳以上では58.3%である。「思いつかない」は90歳以上の年代で最も高く35.5%である。

圏域別では、識名圏域68.8%において「趣味や楽しみあり」の割合が市平均から4.4ポイント低く、繁多川圏域69.9%で3.3ポイント低い。「思いつかない」についても繁多川圏域と識名圏域が高く、繁多川圏域25.7%、識名圏域25.5%である。

認定別では、一般高齢者は「趣味や楽しみあり」の割合が75.7%であるのに対し、要支援認定者は52.2%である。「思いつかない」は要支援認定者が43.2%、一般高齢者が20.5%である。

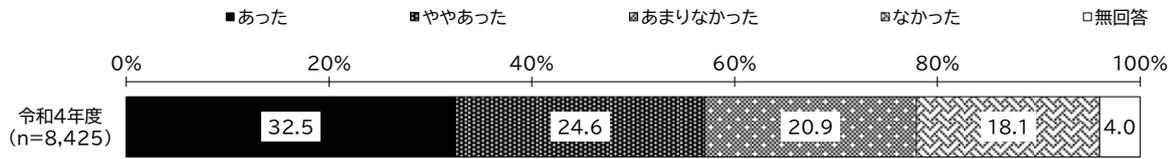
図表－98 基本属性別 趣味や楽しみについて

			(%)		
		調査数 (人)	趣味や楽しみあり	思いつかない	無回答
全体		8,425	73.2	22.3	4.6
性別	男性	3,543	73.7	23.0	3.3
	女性	4,758	73.0	21.7	5.3
年齢別	65～69歳	2,177	75.1	21.9	2.9
	70～74歳	2,425	76.7	19.1	4.2
	75～79歳	1,431	74.5	20.6	4.9
	80～84歳	1,226	69.8	24.6	5.5
	85～89歳	747	66.4	27.3	6.3
	90歳以上	276	58.3	35.5	6.2
圏域別	石嶺	547	75.9	21.4	2.7
	大名	465	76.6	18.3	5.2
	城西	492	78.5	18.5	3.0
	繁多川	428	69.9	25.7	4.4
	松川	458	71.0	24.2	4.8
	松島	459	73.9	20.9	5.2
	識名	506	68.8	25.5	5.7
	安里	451	74.7	21.5	3.8
	古波蔵	451	71.4	23.5	5.1
	国場	436	72.7	22.9	4.4
	新都心	495	78.0	18.8	3.2
	安謝	437	73.0	23.3	3.7
	泊	435	72.9	23.7	3.4
	若狭	399	70.7	24.3	5.0
	城岳	453	71.5	22.3	6.2
	かなぐすく	404	74.8	19.6	5.7
小禄	505	70.9	25.3	3.8	
高良	451	72.9	22.2	4.9	
認定別	一般高齢者	7,251	75.7	20.5	3.8
	総合事業利用者	111	64.9	32.4	2.7
	要支援認定者	477	52.2	43.2	4.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(10)コロナウィルスによる生活心身の状況変化【市独自項目】

図表－99 コロナウィルスによる生活心身の状況変化



コロナウィルスによる生活心身の状況変化については、「あった」の割合が**32.5%**で高く、「ややあった」が**24.6%**、「あまりなかった」**20.9%**、「なかった」が**18.1%**である。

年齢別では年齢階級での差はあまりみられなかった。

圏域別では、城西圏域は「あった」の割合が**38.2%**で市平均よりも**5.7**ポイント高い。

認定別では、「あった」の割合が要支援認定者は**34.6%**、総合事業利用者は**38.7%**、一般高齢者**32.8%**で総合事業利用者が高い。

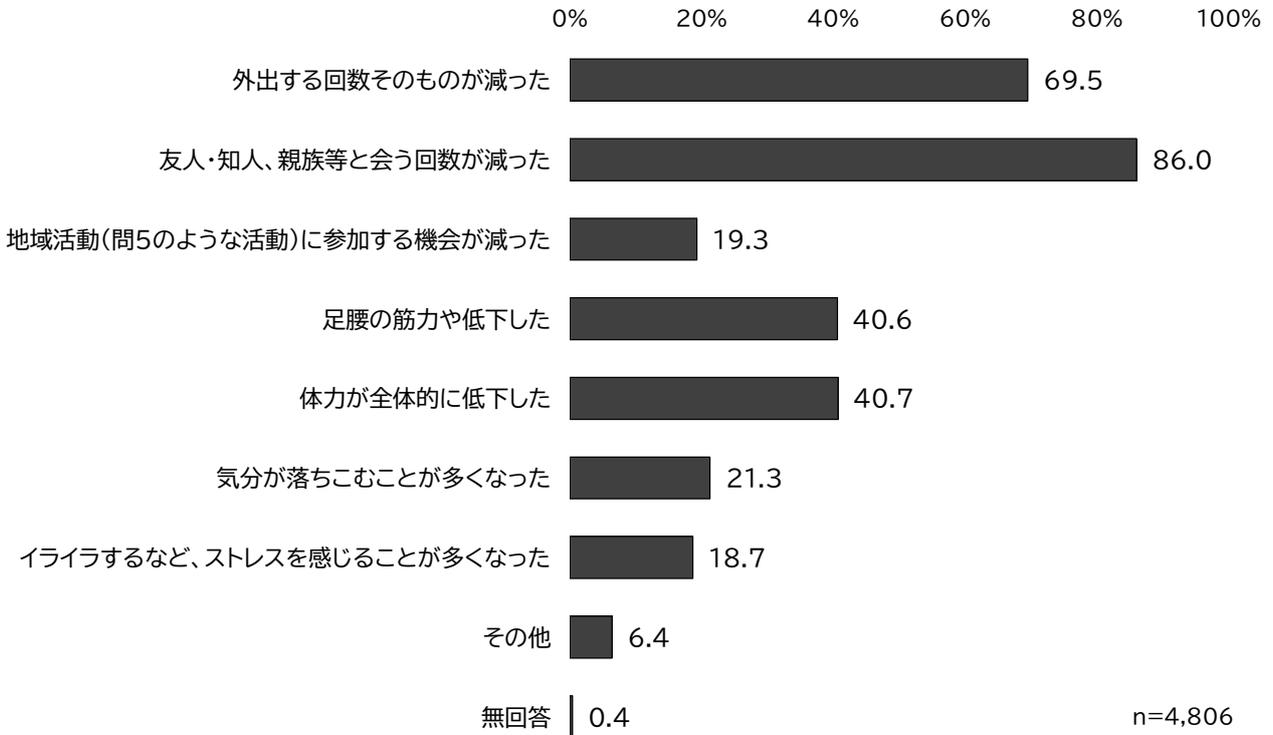
図表－100 基本属性別 コロナウィルスによる生活心身の状況変化

			(%)				
		調査数 (人)	あ つ た	や や あ つ た	あ ま り な か つ た	な か つ た	無 回 答
全体		8,425	32.5	24.6	20.9	18.1	4.0
性 別	男性	3,543	29.7	20.6	23.8	22.4	3.5
	女性	4,758	34.7	27.5	18.8	14.8	4.2
年 齢 別	65～69歳	2,177	33.3	25.7	21.7	16.0	3.3
	70～74歳	2,425	31.4	24.7	22.6	17.1	4.2
	75～79歳	1,431	31.0	25.6	19.7	20.4	3.3
	80～84歳	1,226	33.1	23.7	19.6	19.6	4.1
	85～89歳	747	34.5	21.7	18.2	20.1	5.5
	90歳以上	276	37.0	22.1	18.5	18.8	3.6
圏 域 別	石嶺	547	34.9	21.9	19.9	20.1	3.1
	大名	465	32.5	26.0	21.1	15.9	4.5
	城西	492	38.2	21.3	19.9	17.1	3.5
	繁多川	428	34.6	23.6	20.3	18.2	3.3
	松川	458	33.6	22.7	19.9	19.2	4.6
	松島	459	28.3	25.3	24.0	18.3	4.1
	識名	506	31.4	25.3	23.5	15.4	4.3
	安里	451	32.6	26.6	20.2	18.6	2.0
	古波蔵	451	30.4	27.1	23.3	16.0	3.3
	国場	436	31.4	26.1	18.8	18.3	5.3
	新都心	495	32.9	23.0	22.4	18.6	3.0
	安謝	437	32.5	22.7	21.1	19.5	4.3
	泊	435	32.4	26.0	20.9	17.2	3.4
	若狭	399	30.6	27.1	18.5	19.0	4.8
	城岳	453	34.0	27.4	21.6	14.1	2.9
	かなぐすく	404	31.9	25.7	19.1	19.3	4.0
小禄	505	30.9	23.4	21.4	19.8	4.6	
高良	451	31.9	23.5	20.0	20.2	4.4	
認 定 別	一般高齢者	7,251	32.8	24.7	21.0	18.1	3.4
	総合事業利用者	111	38.7	28.8	20.7	11.7	-
	要支援認定者	477	34.6	24.3	19.7	16.8	4.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(11) ①以前と比べて、どんな変化があったかについて【複数回答可】

図表-101 以前と比べて、どんな変化があったか【複数回答可】



以前と比べて、どんな変化がありましたかについては、「友人・知人、親族等と会う回数が減った」の割合が**86.0%**で最も高い。次いで「外出する回数そのものが減った」が**69.5%**で高い。年齢別でも同様の質問が高かった。

図表-102 基本属性別 以前と比べて、どんな変化があったか【複数回答可】

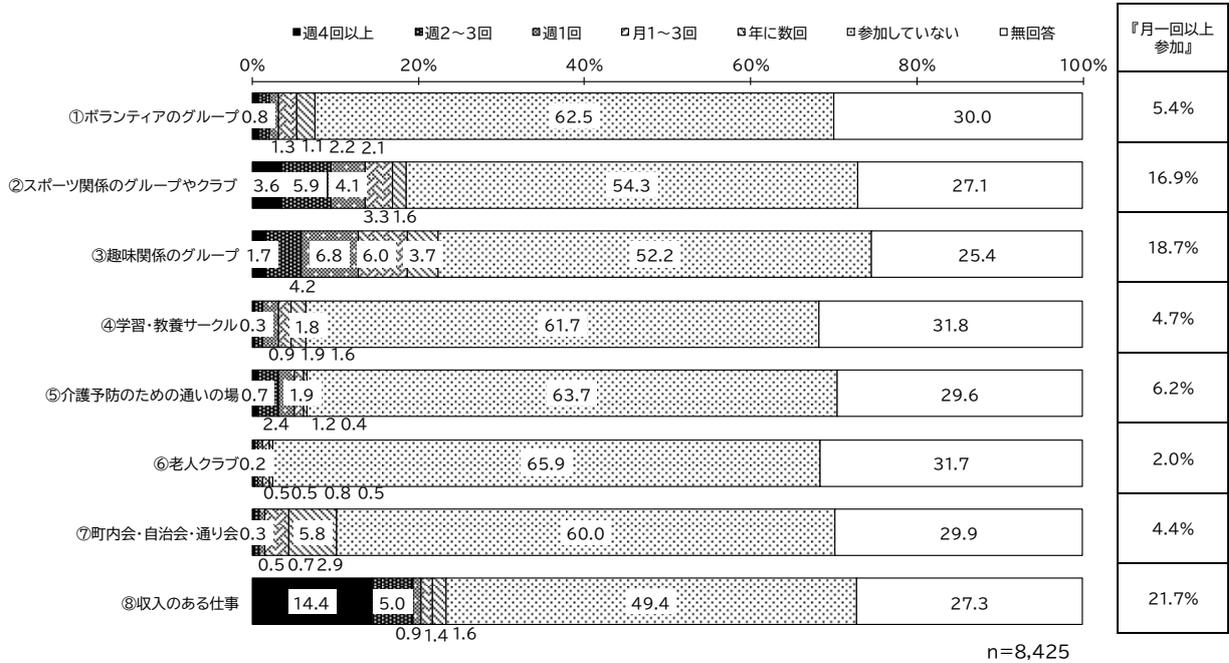
		調査数(人)	外出する回数そのものが減った	友人・知人、親族等と会う回数が減った	地域活動(問5のような活動)に参加する機会が減った	足腰の筋力や低下した	体力が全体的に低下した	気分が落ちこむことが多くなった	イライラするなど、ストレスを感じるようになった	その他	無回答 (%)
全体		4,806	69.5	86.0	19.3	40.6	40.7	21.3	18.7	6.4	0.4
性別	男性	1,784	64.9	83.6	16.4	35.7	40.2	15.2	16.6	5.8	0.4
	女性	2,959	72.1	87.5	21.0	43.4	40.7	25.1	19.9	6.8	0.3
年齢別	65~69歳	1,286	62.0	86.6	13.5	27.5	30.1	18.4	18.1	6.5	0.4
	70~74歳	1,360	68.2	86.0	17.8	35.4	36.3	20.3	18.2	6.3	0.4
	75~79歳	810	71.5	87.0	20.4	42.5	41.7	24.1	18.8	6.0	0.2
	80~84歳	696	73.9	85.1	26.1	54.7	52.3	21.7	17.7	6.0	0.4
	85~89歳	420	81.4	85.2	26.7	61.4	58.6	25.5	22.6	8.6	0.2
	90歳以上	163	78.5	84.7	25.2	62.6	56.4	25.8	20.9	4.9	1.2
圏域別	石嶺	311	71.4	89.7	21.9	39.9	40.2	26.4	19.3	6.4	0.3
	大名	272	71.3	87.5	21.0	39.7	38.6	18.0	19.5	5.9	0.4
	城西	293	69.3	91.1	16.7	37.9	43.7	19.1	15.0	7.5	0.3
	繁多川	249	68.7	86.7	22.5	42.6	43.8	20.1	18.5	8.0	0.4
	松川	258	72.1	84.9	18.2	40.3	39.1	21.7	19.8	4.7	-
	松島	246	66.7	88.6	21.1	43.9	40.7	16.7	16.7	5.7	0.4
	識名	287	71.1	86.4	19.2	38.7	41.1	20.6	14.6	8.4	-
	安里	267	68.5	83.5	19.5	39.3	41.9	24.0	17.6	6.4	0.4
	古波蔵	259	73.0	86.9	18.1	45.6	40.5	27.4	21.6	4.2	0.4
	国場	251	67.7	84.5	18.3	43.0	41.0	22.3	21.9	6.0	0.4
	新都心	277	66.8	85.9	17.0	38.3	36.8	19.5	20.2	6.9	0.4
	安謝	241	65.6	80.9	18.7	44.0	43.2	27.0	23.7	5.4	-
	泊	254	70.1	86.6	14.6	43.3	37.0	19.7	20.9	5.9	0.8
	若狭	230	61.7	79.1	19.1	37.4	41.3	21.7	17.8	9.6	0.9
	城岳	278	70.1	88.1	16.9	41.0	42.4	21.6	17.6	6.8	0.4
	かなぐすく	233	73.4	87.1	17.2	39.5	38.6	18.0	16.7	6.9	0.4
小禄	274	67.5	84.3	20.4	40.5	39.8	18.6	21.5	4.4	0.4	
高良	250	73.2	86.8	26.0	34.8	39.6	21.2	14.8	6.0	0.4	
認定別	一般高齢者	4,168	68.4	86.8	18.5	37.5	38.2	20.2	18.0	6.3	0.3
	総合事業利用者	75	69.3	84.0	30.7	58.7	52.0	20.0	18.7	5.3	-
	要支援認定者	281	80.1	81.1	25.3	70.8	63.7	35.6	27.4	10.0	0.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

6. 地域での活動について【問5】

(1) 地域活動や趣味活動について【必須項目】

図表－103 地域活動や趣味活動への参加状況



地域活動や趣味活動への参加状況として、①ボランティアのグループ～⑧収入のある仕事までの8つの活動への参加状況をたずねた。

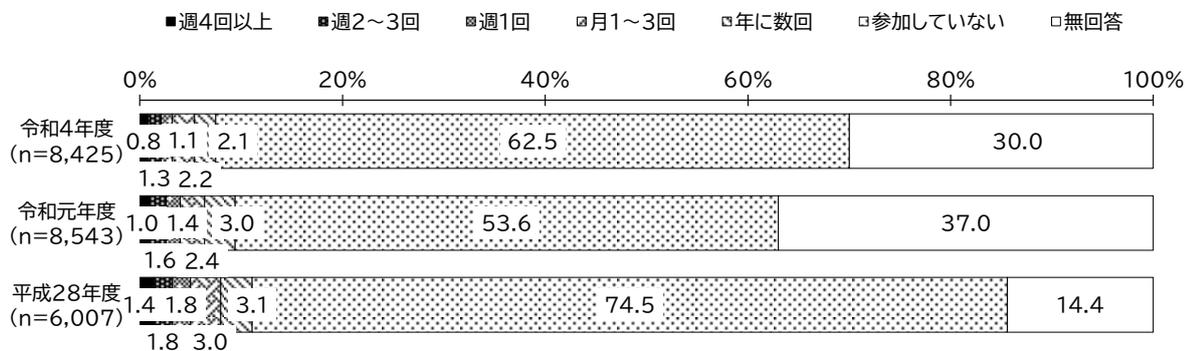
このうち、『月1回以上参加(「週4回以上」～「月1～3回」)』の割合が最も高いのは、⑧収入のある仕事で21.7%であり、次いで③趣味関係のグループが18.7%、②スポーツ関係のグループが16.9%である。一方、最も低いのは⑥老人クラブで2.0%である。

「週4回以上」の割合が高頻度で参加が行われているのは⑧収入のある仕事で14.4%で最も高く、8項目中唯一1割を超えている。このほかは②スポーツ関連のグループが3.6%、③趣味関係のグループが1.7%などいずれも5%以下に留まる。

以降は、①ボランティアのグループから⑧収入のある仕事までの8つの活動ごとに、属性別傾向の分析を行う。

(1)①ボランティアのグループへの参加【必須項目】

図表-104 ボランティアへの参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1~3回」
令和4年度	5.4%
令和元年度	6.4%
平成28年度	8.0%

ボランティアのグループへの参加状況は、「参加していない」の割合が62.5%で最も高く、次いで「月1~3回」が2.2%である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合が年々減少している。

性別では、男性は「参加していない」の割合が65.1%で、女性の61.3%より3.8ポイント高い。

年齢別では、75~79歳で6.9%と『月に1回以上参加』の割合が市平均よりも1.5ポイント高い。

圏域別では、大名圏域9.0%や、城西圏域7.4%など首里地区に属する圏域で『月に1回以上参加』の割合が高い。具体的には、大名圏域は「月1~3回」の割合が4.1%で市平均の2.2%より1.9ポイント高く、城西圏域は「週2~3回」が2.6%で全圏域の中で最も高い。一方、「参加していない」の割合が最も高いのは泊圏域の69.2%で、市平均よりも6.7ポイント高い。

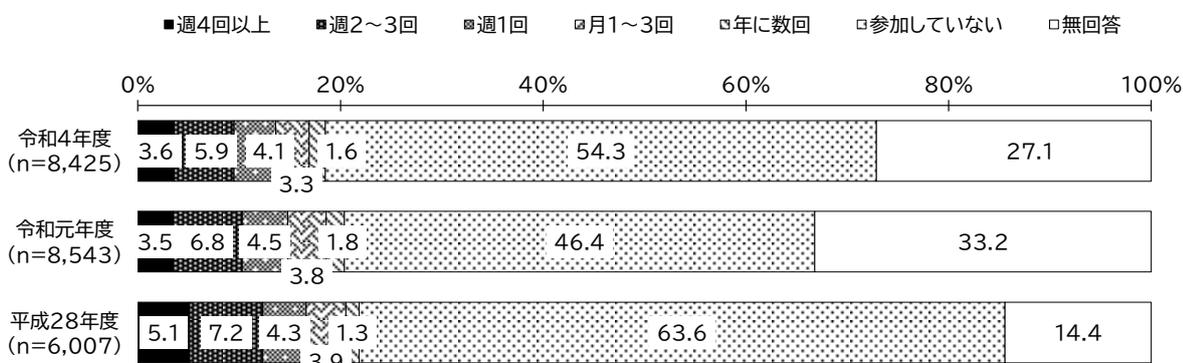
図表-105 基本属性別 ボランティアへの参加

		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	【再掲】 「月1回以上参加」
全体		8,425	0.8	1.3	1.1	2.2	2.1	62.5	30.0	5.4
性別	男性	3,543	0.7	1.3	1.0	2.2	3.0	65.1	26.6	5.2
	女性	4,758	0.8	1.3	1.2	2.3	1.4	61.3	31.8	5.6
年齢別	65～69歳	2,177	0.7	1.1	1.0	2.3	2.9	73.7	18.3	5.1
	70～74歳	2,425	0.6	1.6	1.0	2.3	2.4	65.9	26.2	5.5
	75～79歳	1,431	1.0	1.5	1.3	3.1	1.7	54.9	36.5	6.9
	80～84歳	1,226	0.7	1.4	1.4	2.4	1.6	51.6	40.8	5.9
	85～89歳	747	0.9	0.5	1.1	0.5	0.7	54.8	41.5	3.0
	90歳以上	276	0.7	1.1	0.7	1.1	0.4	64.5	31.5	3.6
圏域別	石嶺	547	0.5	0.9	1.3	3.3	0.9	63.8	29.3	6.0
	大名	465	0.6	1.9	2.4	4.1	2.4	60.6	28.0	9.0
	城西	492	1.0	2.6	1.2	2.6	2.6	60.4	29.5	7.4
	繁多川	428	0.7	1.4	0.9	1.9	2.6	60.7	31.8	4.9
	松川	458	0.4	1.1	1.3	1.1	1.7	63.5	30.8	3.9
	松島	459	0.4	1.1	1.7	2.0	2.0	64.5	28.3	5.2
	識名	506	0.2	1.0	0.4	1.6	3.2	59.1	34.6	3.2
	安里	451	1.8	0.4	1.3	2.2	1.3	59.6	33.3	5.7
	古波蔵	451	0.4	1.3	0.7	2.2	2.0	62.5	30.8	4.6
	国場	436	1.1	1.1	0.7	1.8	1.6	63.1	30.5	4.7
	新都心	495	1.4	1.2	0.6	2.2	2.4	64.4	27.7	5.4
	安謝	437	1.1	1.4	1.1	1.8	2.1	65.2	27.2	5.4
	泊	435	1.4	1.4	1.8	2.1	2.3	69.2	21.8	6.7
	若狭	399	1.0	1.5	0.5	2.8	2.0	64.4	27.8	5.8
	城岳	453	0.7	1.1	1.3	2.9	1.1	64.2	28.7	6.0
	かなぐすく	404	0.2	1.2	-	1.7	2.0	62.4	32.4	3.1
小祿	505	0.2	0.8	1.0	1.4	2.6	64.2	29.9	3.4	
高良	451	0.9	2.2	1.1	2.4	2.0	61.4	29.9	6.6	
認定別	一般高齢者	7,251	0.8	1.3	1.1	2.4	2.3	64.8	27.4	5.6
	総合事業利用者	111	0.9	5.4	1.8	2.7	-	55.9	33.3	10.8
	要支援認定者	477	0.2	1.0	1.0	0.2	-	62.5	35.0	2.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)②スポーツ関連グループへの参加【必須項目】

図表-106 スポーツへの参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1~3回」
令和4年度	16.9%
令和元年度	18.6%
平成28年度	20.5%

スポーツ関連のグループへの参加状況は、「参加していない」の割合が**54.3%**で最も高く、次いで「週2~3回」が**5.9%**である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合が年々減少している。

性別では、「週4回以上」の割合から「週1回」の項目では女性の方が男性よりも高い。一方、「月1~3回」から「参加していない」までの項目では男性の方が女性よりも高い。「参加していない」を除くと、女性は「週2~3回」で**6.2%**と高くなり、男性は「月1~3回」で**5.9%**と最も高くなる。

年齢別では、年齢階級が上がるほど『月に1回以上参加』の割合は低くなる。特に**80~84歳**と**85~89歳**の年齢階級間の差は大きく、**80~84歳**では**15.8%**であるのに対し、**85~89歳**では**10.2%**であり、**5.6**ポイント減少している。

圏域別では、大名圏域は『月に1回以上参加』の割合が**23.9%**と最も高い（「週4回以上」**5.2%**、「週2~3回」**8.8%**、「週1回」**5.6%**）。一方、大名圏域と同様の中圏域に属する他圏域は市平均よりも高い傾向にある（石嶺圏域**17.1%**、城西**20.8%**）。また、松島圏域も『月に1回以上参加』の割合が高く**22.5%**、「週1回」が**6.8%**である。

認定別では、要支援認定者は『月に1回以上参加』が低く**3.5%**である。

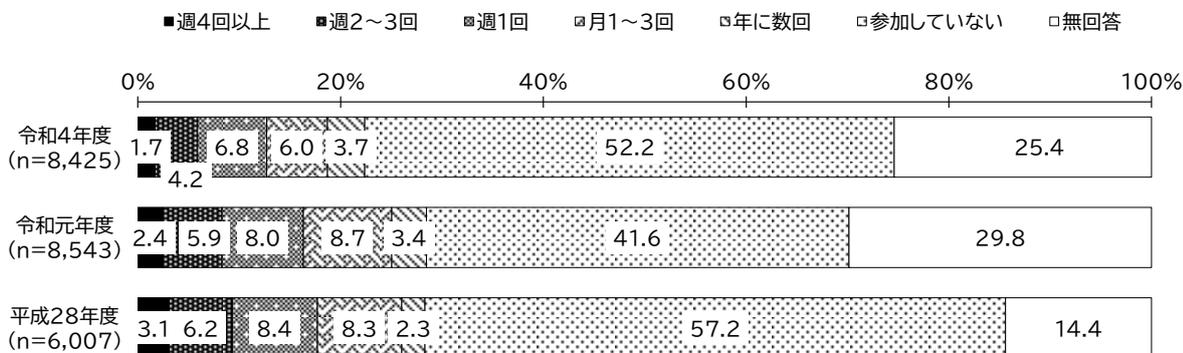
図表-107 基本属性別 スポーツへの参加

			(%)							
		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	「1ヶ月以上参加しない」
全体		8,425	3.6	5.9	4.1	3.3	1.6	54.3	27.1	16.9
性別	男性	3,543	3.3	5.6	3.8	5.9	2.7	55.2	23.5	18.6
	女性	4,758	4.0	6.2	4.4	1.5	0.8	54.1	29.0	16.1
年齢別	65～69歳	2,177	3.8	6.4	4.2	3.4	2.0	63.9	16.3	17.8
	70～74歳	2,425	4.0	6.5	4.7	3.7	2.1	55.9	23.0	18.9
	75～79歳	1,431	3.6	7.3	5.3	4.0	1.3	46.1	32.4	20.2
	80～84歳	1,226	4.0	5.2	3.3	3.3	1.1	45.8	37.3	15.8
	85～89歳	747	2.4	3.2	2.1	2.5	0.8	50.1	38.8	10.2
	90歳以上	276	1.4	1.1	1.4	-	-	63.8	32.2	3.9
圏域別	石嶺	547	3.1	5.9	3.7	4.4	0.7	54.3	28.0	17.1
	大名	465	5.2	8.8	5.6	4.3	1.7	50.1	24.3	23.9
	城西	492	3.9	7.9	5.1	3.9	1.2	52.0	26.0	20.8
	繁多川	428	3.7	5.8	4.9	2.8	1.9	53.0	27.8	17.2
	松川	458	3.1	5.9	4.6	2.6	1.5	53.3	29.0	16.2
	松島	459	5.2	5.9	6.8	4.6	1.1	54.5	22.0	22.5
	識名	506	3.0	5.7	3.0	2.4	2.0	53.2	30.8	14.1
	安里	451	3.5	3.5	3.3	4.0	0.9	52.8	31.9	14.3
	古波蔵	451	3.1	4.9	3.1	2.4	1.8	56.1	28.6	13.5
	国場	436	2.5	4.1	5.5	2.5	3.2	55.3	26.8	14.6
	新都心	495	4.2	7.5	3.4	1.6	1.8	55.6	25.9	16.7
	安謝	437	3.4	5.7	3.7	2.7	1.4	57.9	25.2	15.5
	泊	435	3.9	6.4	5.7	1.8	1.8	58.2	22.1	17.8
	若狭	399	2.3	6.5	3.8	3.3	2.0	57.1	25.1	15.9
	城岳	453	3.1	5.7	3.3	2.2	1.8	57.4	26.5	14.3
	かなぐすく	404	5.0	6.2	3.7	5.9	1.7	50.7	26.7	20.8
小祿	505	2.8	4.6	2.6	4.0	1.0	59.0	26.1	14.0	
高良	451	4.9	6.2	3.5	5.1	2.0	52.1	26.2	19.7	
認定別	一般高齢者	7,251	4.0	6.5	4.5	3.6	1.8	55.6	24.1	18.6
	総合事業利用者	111	0.9	5.4	3.6	3.6	-	50.5	36.0	13.5
	要支援認定者	477	0.6	0.8	1.7	0.4	0.6	61.2	34.6	3.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)③趣味関係のグループへの参加【必須項目】

図表-108 趣味関係グループへの参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1~3回」
令和4年度	18.7%
令和元年度	25.0%
平成28年度	26.0%

趣味関係のグループへの参加状況は、「参加していない」の割合が52.2%で最も高く、次いで「週1回」が6.8%、「月1~3回」が6.0%である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合は、年々減少し令和4年では18.7%と過去2回より減少した。

性別では女性は『月1回以上参加』の割合が男女の差はあまりみられない。また、「参加していない」を除けば男性は「月1~3回」が7.0%で最も高く、女性は「週1回」が7.8%で最も高い。

年齢別では、『月1回以上参加』の割合は75~79歳が23.7%で最も高い。一部の例外はあるものの、『月1回以上参加』は80歳以降の年齢階級では減少していき、80~84歳では19.0%、85~89歳では13.2%、90歳以降では7.2%と最も低くなる。75~79歳では、「週2~3回」の割合が5.7%で市平均より高い。

圏域別では、首里地区に属する石嶺圏域、大名圏域、城西圏域で『月1回以上参加』の割合が市平均よりも1~3ポイント高い(石嶺圏域19.5%、大名圏域21.1%、城西圏域21.5%)。また、繁多川圏域、松川圏域、松島圏域、識名圏域、古波蔵圏域、国場圏域など真和志地区に属する圏域では『月1回以上参加』の割合が低い傾向にあり、松島圏域19.4%、繁多川圏域18.9%を除くすべての圏域で市平均を下回っている(松川圏域16.2%、識名圏域16.3%、古波蔵圏域17.1%、国場圏域15.0%)。

認定別では、要支援認定者は『月1回以上参加』の割合が低く、要支援認定者5.3%、一般高齢者20.2%、総合事業利用者15.3%である。

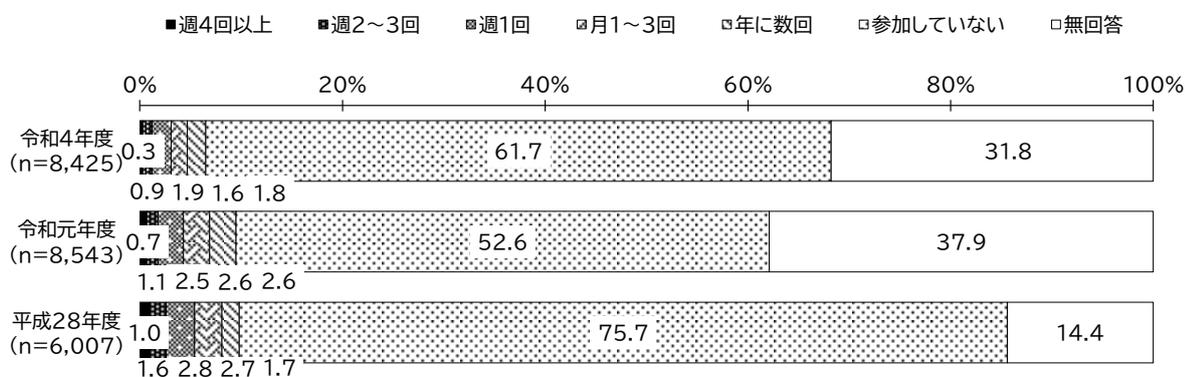
図表-109 基本属性別 趣味関係グループへの参加

		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	「再掲」 「月1回以上参加」
全体		8,425	1.7	4.2	6.8	6.0	3.7	52.2	25.4	18.7
性別	男性	3,543	2.1	4.1	5.4	7.0	5.4	53.6	22.4	18.6
	女性	4,758	1.4	4.3	7.8	5.4	2.4	51.7	27.0	18.9
年齢別	65～69歳	2,177	1.0	3.4	6.8	6.2	5.0	61.5	16.1	17.4
	70～74歳	2,425	2.0	4.3	7.2	6.7	4.6	53.1	22.1	20.2
	75～79歳	1,431	1.8	5.7	8.4	7.8	3.2	44.4	28.7	23.7
	80～84歳	1,226	2.6	4.9	6.2	5.3	1.8	44.1	35.1	19.0
	85～89歳	747	1.5	3.2	5.0	3.5	1.9	49.0	36.0	13.2
	90歳以上	276	0.7	2.5	2.2	1.8	1.8	63.4	27.5	7.2
圏域別	石嶺	547	2.0	2.7	8.8	6.0	2.6	52.8	25.0	19.5
	大名	465	2.2	4.3	8.4	6.2	4.7	48.6	25.6	21.1
	城西	492	1.2	6.5	7.1	6.7	4.3	51.4	22.8	21.5
	繁多川	428	1.6	5.8	6.8	4.7	5.8	47.9	27.3	18.9
	松川	458	1.1	4.4	6.3	4.4	3.9	52.6	27.3	16.2
	松島	459	1.3	3.1	7.8	7.2	3.7	54.9	22.0	19.4
	識名	506	1.2	4.9	5.7	4.5	5.5	47.6	30.4	16.3
	安里	451	1.1	2.9	7.8	6.9	2.9	50.6	27.9	18.7
	古波蔵	451	1.6	4.7	5.5	5.3	3.5	54.1	25.3	17.1
	国場	436	1.1	4.1	5.7	4.1	4.1	55.7	25.0	15.0
	新都心	495	1.4	4.0	6.9	6.5	3.4	54.7	23.0	18.8
	安謝	437	2.1	3.4	5.0	5.5	3.4	56.1	24.5	16.0
	泊	435	2.8	3.9	10.1	6.7	3.2	52.6	20.7	23.5
	若狭	399	1.8	5.5	6.5	5.3	3.5	53.6	23.8	19.1
	城岳	453	2.2	4.6	5.7	5.3	3.3	55.6	23.2	17.8
	かなぐすく	404	1.0	4.7	4.2	6.4	3.7	52.0	28.0	16.3
小祿	505	2.4	3.4	5.3	6.9	1.6	55.8	24.6	18.0	
高良	451	2.4	4.0	7.1	11.1	4.0	47.9	23.5	24.6	
認定別	一般高齢者	7,251	1.9	4.5	7.2	6.6	4.0	53.2	22.5	20.2
	総合事業利用者	111	0.9	2.7	6.3	5.4	1.8	48.6	34.2	15.3
	要支援認定者	477	0.6	1.5	1.7	1.5	0.8	60.8	33.1	5.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)④学習・教養のグループへの参加【必須項目】

図表－110 学習・教養グループへの参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1～3回」
令和4年度	4.7%
令和元年度	6.9%
平成28年度	8.1%

学習・教養グループへの参加状況は、「参加していない」の割合が61.7%で最も高く、「週に2～3回」が0.9%、「月1～3回」が1.6%、「週1回」が1.9%である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合年々減少している。

性別では、「参加していない」の割合を除くすべての項目で女性は男性よりも高い(『月に1回以上参加』女性5.7%、男性3.6%)。学習・教養グループへ参加している女性は、「週1回」の割合で最も多くなり2.3%である。男性では「年に数回」で1.7%と最も高い。

圏域別では、若狭圏域は「年に数回」の割合から「週2～3回」のすべての項目で市平均を上回っており、『月に1回以上参加』でも6.6%と市平均より1.9ポイント高い。また安謝圏域と若狭圏域で「週1回」の割合が3.0%と市平均よりも1.1ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は『月に1回以上参加』の割合が1.9%で、一般高齢者5.0%より3.1ポイント低い。

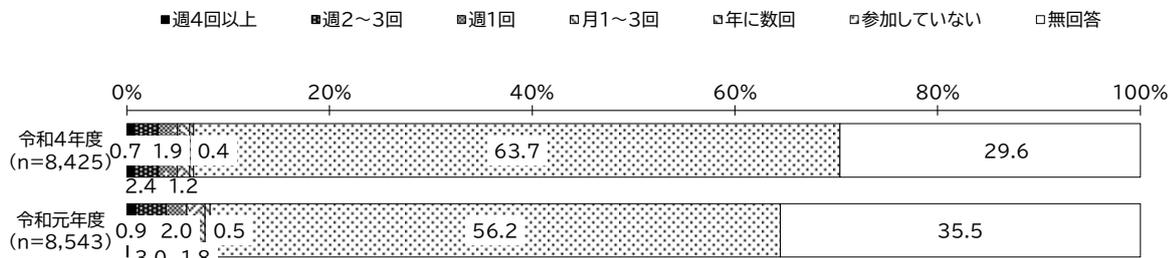
図表-111 基本属性別 学習・教養グループへの参加

		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	(%) 『1月1回以上参加』
全体		8,425	0.3	0.9	1.9	1.6	1.8	61.7	31.8	4.7
性別	男性	3,543	0.3	0.6	1.3	1.4	1.7	66.1	28.5	3.6
	女性	4,758	0.4	1.2	2.3	1.8	1.8	59.1	33.4	5.7
年齢別	65～69歳	2,177	0.1	0.6	1.5	1.7	2.0	74.0	20.0	3.9
	70～74歳	2,425	0.5	0.9	2.5	2.1	2.5	64.0	27.4	6.0
	75～79歳	1,431	0.3	1.3	2.3	2.1	1.4	53.8	38.9	6.0
	80～84歳	1,226	0.5	1.1	1.7	1.4	1.1	51.3	42.8	4.7
	85～89歳	747	0.4	0.9	0.9	0.3	1.1	53.0	43.4	2.5
	90歳以上	276	-	0.4	0.7	-	1.1	64.1	33.7	1.1
圏域別	石嶺	547	0.4	0.5	2.2	1.8	1.8	61.6	31.6	4.9
	大名	465	0.4	0.9	1.5	2.6	1.5	61.1	32.0	5.4
	城西	492	0.2	0.8	1.8	1.8	1.8	61.6	31.9	4.6
	繁多川	428	0.2	1.4	1.9	2.3	1.9	59.1	33.2	5.8
	松川	458	0.7	1.1	1.1	2.2	1.5	60.0	33.4	5.1
	松島	459	0.7	0.7	2.2	1.3	2.2	63.8	29.2	4.9
	識名	506	-	1.0	1.8	1.4	2.0	57.5	36.4	4.2
	安里	451	-	1.1	1.8	1.6	1.3	59.6	34.6	4.5
	古波蔵	451	0.2	0.4	1.6	1.1	1.3	63.0	32.4	3.3
	国場	436	0.2	1.1	1.6	0.9	0.9	64.9	30.3	3.8
	新都心	495	0.2	1.2	2.0	2.4	2.4	61.6	30.1	5.8
	安謝	437	0.5	1.6	3.0	0.9	2.1	64.1	27.9	6.0
	泊	435	0.2	0.5	2.5	0.9	2.5	66.7	26.7	4.1
	若狭	399	-	1.3	3.0	2.3	2.5	61.7	29.3	6.6
	城岳	453	0.9	0.7	1.8	1.1	1.5	63.6	30.5	4.5
	かなぐすく	404	0.2	1.0	1.5	1.5	2.0	61.6	32.2	4.2
小祿	505	0.2	0.4	1.4	1.2	1.4	65.0	30.5	3.2	
高良	451	0.7	1.1	1.3	2.0	2.0	61.4	31.5	5.1	
認定別	一般高齢者	7,251	0.3	1.0	1.9	1.8	1.9	64.0	29.0	5.0
	総合事業利用者	111	0.9	0.9	0.9	1.8	2.7	54.1	38.7	4.5
	要支援認定者	477	0.2	0.2	1.3	0.2	0.4	60.6	37.1	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)⑤介護予防のための通いの場への参加【必須項目】

図表－112 介護予防のための通いの場への参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1～3回」
令和4年度	6.2%
令和元年度	7.7%

地域ふれあいデイサービスなどの介護予防のための通いの場への参加状況は「参加していない」の割合が63.7%で最も高く、次いで「週2～3回」2.4%である。

令和元年度と比較すると、『月に1回以上参加』の割合が1.5ポイント低い。

性別では、「週4回以上」の割合から「月1～3回」までの項目において、女性は男性よりも高く、『月1回以上参加』では女性8.8%、男性2.9%である。また、「参加していない」は男性69.0%、女性60.5%である。

年齢別では、概ね年齢階級があがるほど参加率も上がる傾向にあり、75歳以上の年齢階級で一度、急激に参加率が高まり、70～74歳の『月1回以上参加』が3.2%、75～79歳『月1回以上参加』5.7%、90歳以上の年齢階級で再び参加率が高まり、85～89歳『月1回以上参加』15.0%、90歳以上『月1回以上参加』23.2%である。

圏域別では、『月1回以上参加』の割合が若狭圏域では8.5%ともっとも高く、次いで大名圏域8.2%である。若狭圏域では市平均よりも2.3ポイント高い。

認定別では、一般高齢者は3.1%と『月1回以上参加』の割合が低く、総合事業利用者58.5%、要支援認定者38.8%と一般高齢者より高くなっている。

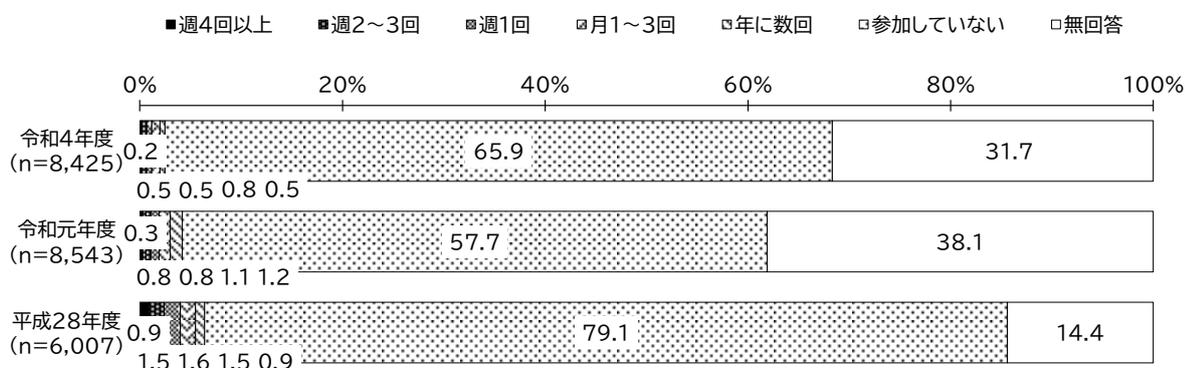
図表-113 基本属性別 介護予防のための通いの場への参加

		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	【再掲】 「月1回以上参加」
全体		8,425	0.7	2.4	1.9	1.2	0.4	63.7	29.6	6.2
性別	男性	3,543	0.6	1.0	0.8	0.5	0.3	69.0	27.8	2.9
	女性	4,758	0.8	3.5	2.7	1.8	0.4	60.5	30.3	8.8
年齢別	65～69歳	2,177	0.3	0.3	0.2	0.4	0.0	78.6	20.1	1.2
	70～74歳	2,425	0.4	0.9	1.2	0.7	0.3	69.2	27.1	3.2
	75～79歳	1,431	0.7	1.9	1.6	1.5	0.5	56.7	37.0	5.7
	80～84歳	1,226	1.5	4.4	3.5	2.9	1.1	48.6	38.0	12.3
	85～89歳	747	1.6	7.0	5.1	1.3	0.4	48.2	36.4	15.0
	90歳以上	276	0.7	13.8	5.8	2.9	-	54.7	22.1	23.2
圏域別	石嶺	547	0.7	1.5	1.6	0.5	0.2	64.4	31.1	4.3
	大名	465	1.5	1.5	2.6	2.6	0.6	62.2	29.0	8.2
	城西	492	0.8	1.6	2.4	1.6	-	63.8	29.7	6.4
	繁多川	428	0.5	2.8	2.3	1.4	0.2	61.9	30.8	7.0
	松川	458	0.7	3.3	2.2	0.9	-	61.1	31.9	7.1
	松島	459	0.4	1.3	2.2	1.3	0.2	66.4	28.1	5.2
	識名	506	0.4	2.6	1.4	0.4	0.4	61.3	33.6	4.8
	安里	451	0.7	2.0	2.7	1.6	0.4	59.6	33.0	7.0
	古波蔵	451	1.1	3.8	0.9	1.3	0.2	64.5	28.2	7.1
	国場	436	0.9	2.3	2.5	0.2	0.5	65.1	28.4	5.9
	新都心	495	0.4	2.2	1.0	1.0	-	67.3	28.1	4.6
	安謝	437	0.9	1.6	3.4	1.8	0.7	66.4	25.2	7.7
	泊	435	0.5	2.1	0.9	1.1	0.7	70.1	24.6	4.6
	若狭	399	1.5	4.0	1.5	1.5	0.5	64.2	26.8	8.5
	城岳	453	0.4	3.8	1.5	0.9	0.7	63.8	28.9	6.6
	かなぐすく	404	0.5	2.5	1.7	0.7	0.5	64.1	30.0	5.4
小祿	505	0.8	2.4	1.2	0.8	0.6	65.5	28.7	5.2	
高良	451	0.4	2.9	1.3	2.9	0.7	62.5	29.3	7.5	
認定別	一般高齢者	7,251	0.4	0.8	0.9	1.0	0.4	68.1	28.5	3.1
	総合事業利用者	111	7.2	18.9	23.4	9.0	-	26.1	15.3	58.5
	要支援認定者	477	2.3	23.7	10.3	2.5	0.6	41.7	18.9	38.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)⑥老人クラブへの参加【必須項目】

図表-114 老人クラブへの参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1~3回」
令和4年度	2.0%
令和元年度	3.0%
平成28年度	5.5%

老人クラブへの参加状況は、「参加していない」の割合が**65.9%**で最も高く、次いで「月1~3回」**0.8%**である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合が年々減少している。

性別では、男性は女性よりも「参加していない」の割合が高く、男性**69.4%**、女性**64.0%**である。『月に1回以上参加』では男性、女性**2.0%**と同じである。

年齢別では、『月に1回以上参加』の割合は**69歳**までと**80歳**を境に参加率が上昇しており、**2.0**ポイント増加している(**70~74歳1.7%**、**75~79歳2.3%**、**80~84歳3.7%**、**85~89歳3.1%**)。

圏域別では、『月に1回以上参加』の割合は高良圏域が**6.0%**と最も高く、次いで大名圏域**2.6%**、繁多川圏域**2.4%**、かなぐすく圏域**2.4%**である。

認定別では、『月に1回以上参加』の割合が一般高齢者**1.8%**、総合事業利用者**6.3%**、次いで要支援認定者**2.4%**である。

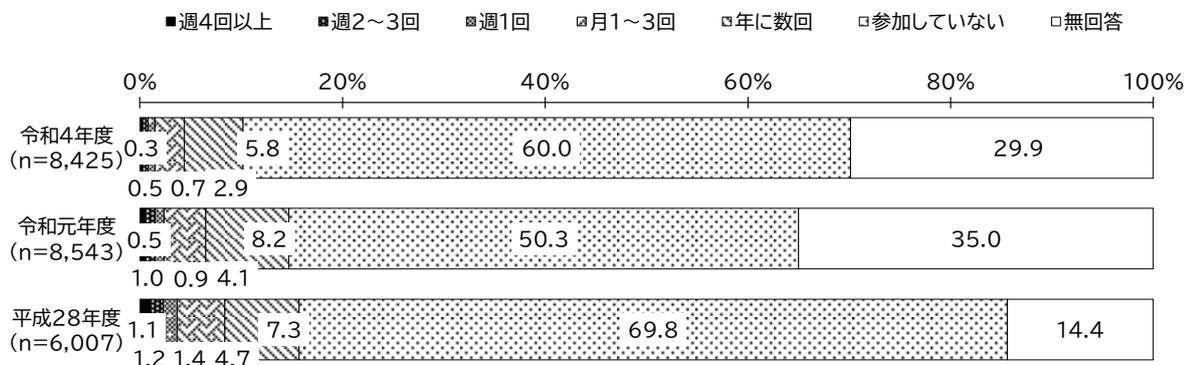
図表－115 基本属性別 老人クラブへの参加

			(%)							
		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	『再掲』 『月1回以上参加』
全体		8,425	0.2	0.5	0.5	0.8	0.5	65.9	31.7	2.0
性別	男性	3,543	0.3	0.4	0.4	0.9	0.5	69.4	28.1	2.0
	女性	4,758	0.1	0.7	0.5	0.7	0.4	64.0	33.6	2.0
年齢別	65～69歳	2,177	-	0.2	0.1	0.2	0.1	79.0	20.4	0.5
	70～74歳	2,425	0.1	0.5	0.6	0.5	0.3	70.3	27.7	1.7
	75～79歳	1,431	0.1	0.5	0.6	1.1	0.8	58.4	38.5	2.3
	80～84歳	1,226	0.6	0.8	0.7	1.6	0.8	52.8	42.7	3.7
	85～89歳	747	0.7	0.9	0.3	1.2	0.8	53.8	42.3	3.1
	90歳以上	276	0.4	0.7	0.4	1.4	0.4	65.6	31.2	2.9
圏域別	石嶺	547	0.2	-	0.2	0.2	0.2	66.5	32.7	0.6
	大名	465	0.2	0.4	0.9	1.1	1.1	65.4	31.0	2.6
	城西	492	0.4	0.2	-	1.6	0.2	65.9	31.7	2.2
	繁多川	428	-	0.5	0.7	1.2	0.5	63.8	33.4	2.4
	松川	458	-	0.7	-	0.2	-	64.6	34.5	0.9
	松島	459	0.2	0.9	0.7	0.2	0.7	68.6	28.8	2.0
	識名	506	-	0.6	0.6	0.6	0.4	61.3	36.6	1.8
	安里	451	0.2	0.2	0.2	0.4	-	64.1	34.8	1.0
	古波蔵	451	0.2	0.9	0.2	0.4	0.4	66.5	31.3	1.7
	国場	436	-	0.2	-	0.5	0.5	67.4	31.4	0.7
	新都心	495	0.2	0.4	0.2	0.4	-	68.9	29.9	1.2
	安謝	437	0.2	0.7	0.5	0.7	0.7	68.0	29.3	2.1
	泊	435	-	-	0.5	0.5	0.9	71.3	26.9	1.0
	若狭	399	0.3	-	0.5	0.5	1.0	68.7	29.1	1.3
	城岳	453	0.2	0.9	0.4	0.2	-	67.1	31.1	1.7
	かなぐすく	404	0.5	0.7	0.7	0.5	0.2	65.1	32.2	2.4
小祿	505	0.4	0.6	1.2	2.0	0.6	67.1	28.1	4.2	
高良	451	0.4	1.8	0.7	3.1	1.3	63.6	29.0	6.0	
認定別	一般高齢者	7,251	0.2	0.5	0.4	0.7	0.5	68.6	29.1	1.8
	総合事業利用者	111	-	3.6	-	2.7	0.9	55.0	37.8	6.3
	要支援認定者	477	0.6	0.2	0.6	1.0	0.2	62.1	35.2	2.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)⑦町内会・自治会・通り会への参加【必須項目】

図表-116 町内会・自治会・通り会への参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1～3回」
令和4年度	4.4%
令和元年度	6.5%
平成28年度	8.4%

町内会・自治会・通り会への参加状況は、「参加していない」の割合が60.0%で最も高く、次いで「年に数回」が5.8%、「月1～3回」が2.9%である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合が年々減少している。

性別では、男性は女性よりも「年に数回」、「参加していない」の割合が高い（「年に数回」は男性7.0%、女性4.9%、「参加していない」は男性62.3%、女性58.8%）。

年齢別では、『月1回以上参加』の割合は80歳以上で参加率が高く、90歳以上ではやや減少する（80～84歳5.3%、85～89歳5.5%、90歳以上3.6%）。

圏域別では、『月1回以上参加』の割合は城西圏域が7.7%で最も高い。

認定別では、『月1回以上参加』の割合が、一般高齢者4.4%、総合事業利用者が10.8%、次いで要支援認定者1.8%である。

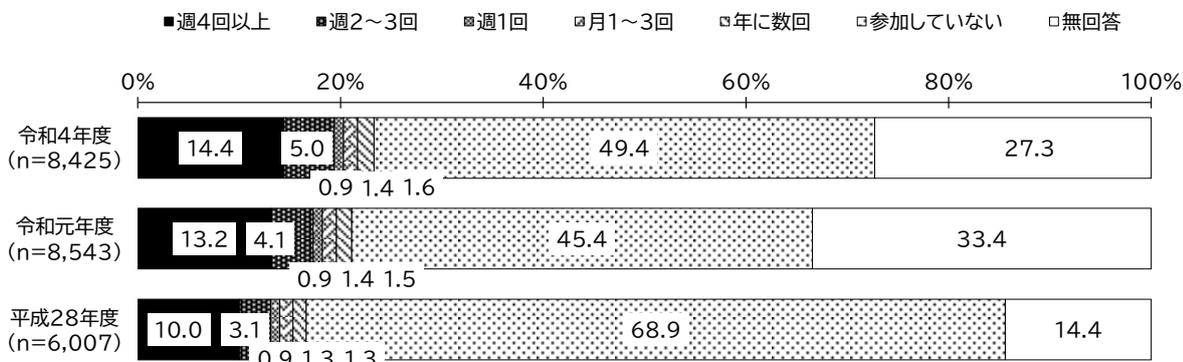
図表-117 基本属性別 町内会・自治会・通り会への参加

		調査数(人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	【再掲】 『月1回以上参加』
全体		8,425	0.3	0.5	0.7	2.9	5.8	60.0	29.9	4.4
性別	男性	3,543	0.3	0.3	0.6	3.4	7.0	62.3	26.2	4.6
	女性	4,758	0.3	0.7	0.8	2.5	4.9	58.8	31.9	4.3
年齢別	65～69歳	2,177	0.2	0.4	0.3	2.6	5.2	72.7	18.6	3.5
	70～74歳	2,425	0.3	0.3	0.7	3.2	6.2	62.9	26.5	4.5
	75～79歳	1,431	0.4	0.3	0.8	2.9	7.2	52.3	36.0	4.4
	80～84歳	1,226	0.4	0.9	0.7	3.3	5.5	48.5	40.6	5.3
	85～89歳	747	0.1	1.1	1.6	2.7	5.1	49.8	39.6	5.5
	90歳以上	276	-	0.7	0.7	2.2	2.9	61.2	32.2	3.6
圏域別	石嶺	547	0.2	0.2	0.2	3.7	7.1	58.1	30.5	4.3
	大名	465	0.4	0.2	1.7	4.3	10.8	52.3	30.3	6.6
	城西	492	0.6	1.2	0.8	5.1	8.1	57.1	27.0	7.7
	繁多川	428	0.5	0.5	0.9	2.3	6.8	57.9	31.1	4.2
	松川	458	-	-	0.4	0.7	2.6	62.2	34.1	1.1
	松島	459	0.2	0.4	0.7	1.3	3.7	65.8	27.9	2.6
	識名	506	-	0.4	0.6	2.8	3.8	57.1	35.4	3.8
	安里	451	-	0.4	0.4	1.1	3.3	60.3	34.4	1.9
	古波蔵	451	0.2	0.4	1.1	3.3	6.0	59.9	29.0	5.0
	国場	436	-	0.5	0.2	2.1	4.1	63.3	29.8	2.8
	新都心	495	0.4	1.0	0.6	1.6	3.6	63.8	28.9	3.6
	安謝	437	-	0.7	1.1	1.6	5.7	63.4	27.5	3.4
	泊	435	0.2	0.5	0.9	1.8	2.3	69.2	25.1	3.4
	若狭	399	1.0	0.8	1.0	4.0	6.0	60.9	26.3	6.8
	城岳	453	-	0.7	0.2	3.8	6.4	60.9	28.0	4.7
	かなぐすく	404	0.2	0.2	-	5.4	6.2	56.7	31.2	5.8
小祿	505	0.6	0.2	0.6	2.8	6.3	63.0	26.5	4.2	
高良	451	0.7	0.9	0.9	4.4	10.9	54.3	27.9	6.9	
認定別	一般高齢者	7,251	0.3	0.5	0.6	3.0	6.2	62.1	27.4	4.4
	総合事業利用者	111	0.9	4.5	1.8	3.6	5.4	48.6	35.1	10.8
	要支援認定者	477	0.2	0.2	0.8	0.6	3.1	60.8	34.2	1.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(1)⑧収入のある仕事への参加【必須項目】

図表-118 収入のある仕事への参加



	『月に1回以上参加』 「週4回以上」～「月1~3回」
令和4年度	21.7%
令和元年度	19.6%
平成28年度	15.3%

収入のある仕事への参加状況は「参加していない」の割合が**49.4%**で最も高く、次いで「週4回以上」が**14.4%**、「週2~3回」が**5.0%**である。

経年比較すると、『月に1回以上参加』の割合が年々増加している。

性別では、『月1回以上参加』の割合は男性**25.6%**、女性**19.1%**で男性の方が**6.5**ポイント高い。また、男性は「週1回」と「参加していない」を除くすべての項目で女性より高く、特に「週4回以上」の割合では男性**17.8%**、女性**12.1%**で**5.7**ポイントの差がある。

年齢別では、年齢階級が低いほど『月1回以上参加』の割合が高く、その後、年齢階級が上がるごとに大きく減少し、**80歳**を超えたところから減少幅が小さくなる(**65~69歳41.6%**、**70~74歳25.0%**、**75~79歳14.7%**)。

圏域別では、『月1回以上参加』の割合は、新都心圏域が**27.3%**と高い。

認定別では、『月1回以上参加』の割合が、一般高齢者**24.3%**、総合事業利用者が**2.7%**、要支援認定者**1.2%**である。

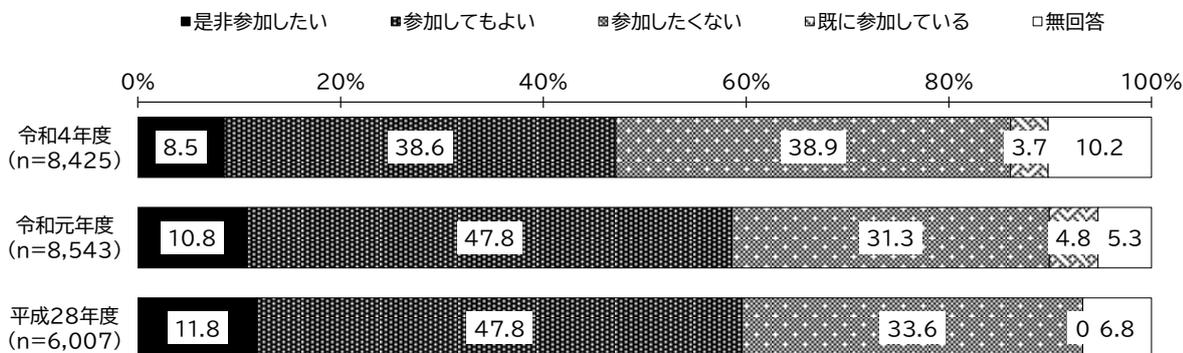
図表－119 基本属性別 収入のある仕事への参加

			(%)							
		調査数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	「1ヶ月以上参加しない」
全体		8,425	14.4	5.0	0.9	1.4	1.6	49.4	27.3	21.7
性別	男性	3,543	17.8	5.1	0.9	1.8	2.1	49.0	23.4	25.6
	女性	4,758	12.1	4.9	0.9	1.2	1.2	50.2	29.6	19.1
年齢別	65～69歳	2,177	30.7	8.1	0.8	2.0	2.2	43.7	12.5	41.6
	70～74歳	2,425	15.8	6.3	0.9	2.0	1.8	51.4	21.8	25.0
	75～79歳	1,431	7.6	4.5	1.3	1.3	1.6	49.2	34.6	14.7
	80～84歳	1,226	2.6	1.3	1.2	0.6	0.5	51.6	42.2	5.7
	85～89歳	747	1.1	0.8	0.1	-	1.3	53.0	43.6	2.0
	90歳以上	276	0.7	-	-	0.7	0.4	65.2	33.0	1.4
圏域別	石嶺	547	14.1	4.6	1.1	1.8	1.5	49.9	27.1	21.6
	大名	465	10.1	5.4	1.3	1.5	3.7	49.7	28.4	18.3
	城西	492	11.4	4.1	0.8	2.4	2.6	50.8	27.8	18.7
	繁多川	428	12.9	4.4	0.5	1.4	1.9	51.4	27.6	19.2
	松川	458	14.4	5.0	0.7	1.5	1.1	48.5	28.8	21.6
	松島	459	15.9	5.2	0.2	1.5	2.0	48.6	26.6	22.8
	識名	506	13.6	5.5	0.6	0.2	1.6	47.0	31.4	19.9
	安里	451	14.2	4.9	1.8	1.8	0.9	46.8	29.7	22.7
	古波蔵	451	14.2	5.3	0.7	0.9	1.6	49.4	27.9	21.1
	国場	436	12.8	4.1	1.8	1.8	1.4	52.5	25.5	20.5
	新都心	495	18.8	6.1	0.8	1.6	1.8	47.7	23.2	27.3
	安謝	437	17.6	4.3	0.2	1.4	0.7	51.7	24.0	23.5
	泊	435	16.1	5.1	1.1	1.6	2.5	50.6	23.0	23.9
	若狭	399	15.0	5.8	1.5	1.0	1.3	50.4	25.1	23.3
	城岳	453	15.0	5.3	0.9	0.7	1.3	50.8	26.0	21.9
	かなぐすく	404	15.1	4.2	1.0	1.7	1.0	49.5	27.5	22.0
小祿	505	15.0	6.5	0.8	1.6	1.2	49.7	25.1	23.9	
高良	451	14.0	3.1	0.7	1.1	0.7	51.9	28.6	18.9	
認定別	一般高齢者	7,251	16.2	5.5	1.0	1.6	1.7	50.0	24.2	24.3
	総合事業利用者	111	0.9	-	0.9	0.9	0.9	57.7	38.7	2.7
	要支援認定者	477	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6	62.1	36.1	1.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 地域づくり活動への参加者としての参加意向【必須項目】

図表-120 地域づくり活動への参加者としての参加意向



地域づくり活動への参加者としての参加意向は「参加してもよい」の割合が38.6%で最も高く、次いで「参加したくない」が38.9%である。

経年比較すると、「是非参加したい」の割合が年々減少している。

性別では、「是非参加したい」の割合は女性10.4%、男性6.1%で女性の方が高い。また、「参加したくない」については男性44.5%、女性34.8%で男性の方が高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「参加してもよい」の割合は減少する。また、「参加したくない」については90歳以上で大きく増加する傾向にあり、85～89歳では41.5%であるのに対し、90歳以上では53.3%と12ポイント増加している。

圏域別では、「参加したくない」の割合は松川圏域44.1%で最も高く、市平均よりも5.2ポイント高い。次いで古波蔵圏域の42.6%である。「既に参加している」の割合は大名圏域の6.2%が最も高く、市平均よりも2.5ポイント高い。

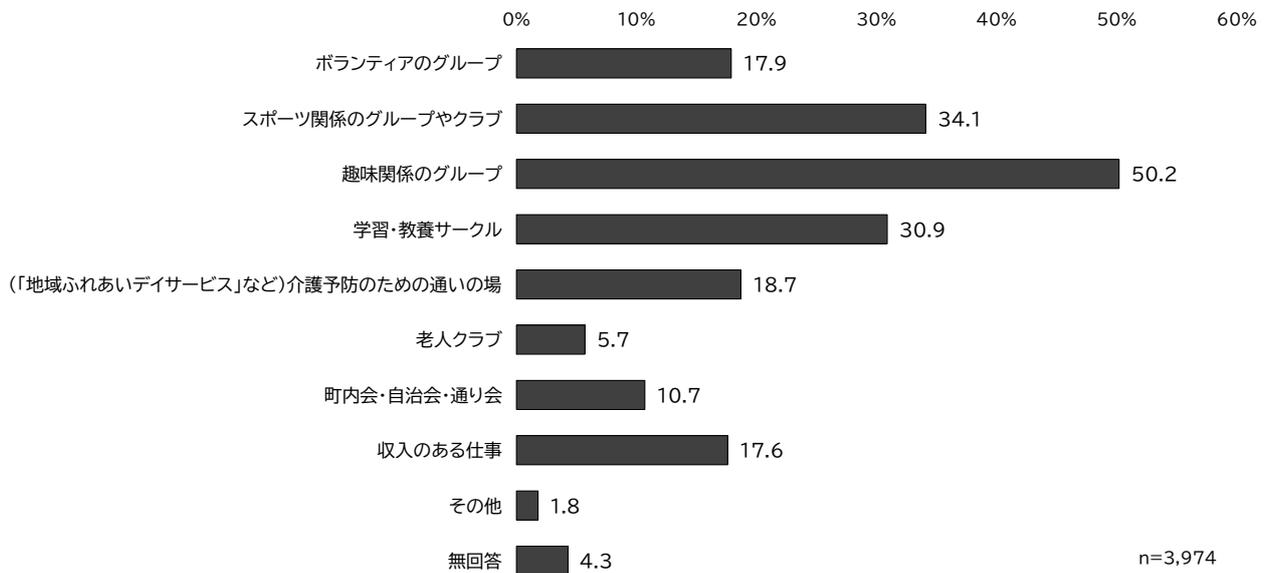
認定別では、「参加したくない」の割合が一般高齢者39.1%、総合事業利用者が35.1%、要支援認定者47.2%で要支援認定者が最も高い。

図表－121 基本属性別 地域づくり活動への参加者としての参加意向

		(%)					
		調査数 (人)	是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 した くない	既 に 参加 して いる	無 回 答
全体		8,425	8.5	38.6	38.9	3.7	10.2
性別	男性	3,543	6.1	36.5	44.5	3.2	9.7
	女性	4,758	10.4	40.4	34.8	4.1	10.3
年齢別	65～69歳	2,177	7.6	41.1	42.1	2.3	6.9
	70～74歳	2,425	7.6	39.4	38.4	4.0	10.6
	75～79歳	1,431	9.8	41.0	34.0	4.2	11.0
	80～84歳	1,226	10.4	38.3	35.4	5.0	11.0
	85～89歳	747	10.0	32.4	41.5	4.1	11.9
	90歳以上	276	6.9	22.1	53.3	4.0	13.8
圏域別	石嶺	547	8.8	42.2	36.0	4.2	8.8
	大名	465	8.2	42.8	35.3	6.2	7.5
	城西	492	7.1	39.0	40.4	4.1	9.3
	繁多川	428	8.9	37.1	39.0	4.4	10.5
	松川	458	8.3	34.1	44.1	3.5	10.0
	松島	459	8.3	43.1	36.4	2.8	9.4
	識名	506	8.9	38.3	39.3	2.6	10.9
	安里	451	10.0	37.9	40.6	2.9	8.6
	古波蔵	451	6.4	36.6	42.6	4.0	10.4
	国場	436	8.5	39.9	39.9	2.3	9.4
	新都心	495	7.9	43.6	36.4	3.6	8.5
	安謝	437	8.2	35.5	38.7	5.3	12.4
	泊	435	11.0	37.9	35.4	3.9	11.7
	若狭	399	7.8	37.6	41.4	3.0	10.3
	城岳	453	10.6	38.0	38.4	3.8	9.3
	かなぐすく	404	8.7	36.6	37.4	3.2	14.1
小祿	505	6.7	38.0	41.6	3.6	10.1	
高良	451	10.9	37.9	37.9	4.0	9.3	
認定別	一般高齢者	7,251	8.5	39.9	39.1	3.7	8.8
	総合事業利用者	111	15.3	31.5	35.1	8.1	9.9
	要支援認定者	477	10.3	28.9	47.2	1.7	11.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

図表-122 どのような活動に参加したいですか【オプション項目】



どのような活動に参加したいですかについては「趣味関係のグループ」の割合が**50.2%**で最も高く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が**34.1%**である。
 一方で最も低いのは「老人クラブ」の割合が**5.7%**となっている。

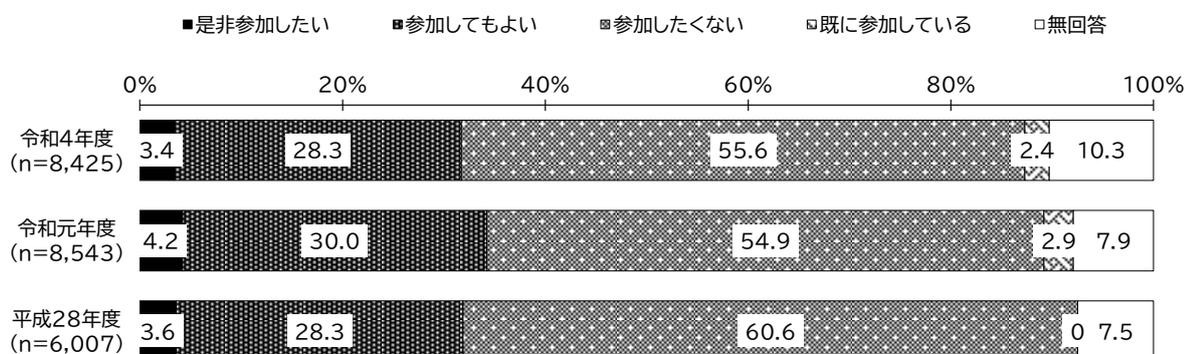
図表-123 どのような活動に参加したいですか【オプション項目】

		調査数(人)	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	ど(「地域ふれあいデイサービス」など)介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会・通里会	収入のある仕事	その他	無回答 (%)
全体		3,974	17.9	34.1	50.2	30.9	18.7	5.7	10.7	17.6	1.8	4.3
性別	男性	1,509	18.5	39.6	49.4	27.0	9.4	6.6	14.0	19.7	2.1	4.0
	女性	2,415	17.5	30.9	50.6	33.5	24.4	5.2	8.5	16.2	1.7	4.3
年齢別	65～69歳	1,060	25.0	42.9	55.0	40.5	7.7	1.9	7.8	28.5	1.1	2.6
	70～74歳	1,139	20.0	36.0	55.9	33.1	13.2	4.0	9.2	20.0	1.7	3.2
	75～79歳	726	16.1	34.3	48.6	29.5	17.5	5.5	13.1	13.5	2.5	4.5
	80～84歳	596	11.7	27.2	42.6	21.5	33.4	10.9	13.3	8.6	2.0	7.4
	85～89歳	317	4.7	18.9	34.4	17.7	40.7	12.9	13.2	3.8	2.8	5.7
	90歳以上	80	6.3	8.8	36.3	17.5	48.8	16.3	15.0	-	1.3	6.3
圏域別	石嶺	279	16.1	34.8	47.7	28.3	20.1	3.9	15.1	14.3	1.4	4.3
	大名	237	19.0	38.4	54.0	31.6	19.8	7.6	17.3	10.1	0.8	3.0
	城西	227	18.5	35.7	53.3	36.1	16.7	3.1	10.1	14.1	1.8	3.5
	繁多川	197	18.3	34.0	44.2	28.9	17.8	7.1	12.2	20.3	2.5	5.1
	松川	194	17.5	35.6	50.0	34.5	17.0	4.1	5.7	20.6	1.5	5.7
	松島	236	18.6	36.0	47.9	29.7	19.5	8.1	14.0	14.4	0.8	3.8
	識名	239	15.9	31.8	46.9	33.1	20.5	7.1	7.5	18.0	1.3	8.4
	安里	216	15.7	29.2	45.4	28.2	17.1	5.1	7.9	23.1	3.2	6.9
	古波蔵	194	18.0	28.9	47.4	32.5	21.6	3.6	9.3	23.2	1.5	4.1
	国場	211	12.3	33.2	54.0	28.0	18.0	3.8	8.5	19.9	0.5	1.9
	新都心	255	18.4	38.4	52.9	30.6	20.4	5.5	9.0	16.1	2.7	3.5
	安謝	191	18.3	28.3	51.8	30.9	19.9	5.2	8.4	23.0	2.1	3.7
	泊	213	20.7	37.1	55.4	33.8	15.0	2.3	8.9	19.7	1.9	2.3
	若狭	181	21.0	31.5	53.0	31.5	19.9	4.4	12.7	16.0	3.3	3.3
	城岳	220	23.6	35.0	40.0	30.9	18.6	7.7	7.3	16.8	2.3	4.1
	かなぐすく	183	15.3	39.3	46.4	30.1	20.8	5.5	8.2	12.6	1.6	4.9
	小祿	226	17.7	33.6	55.8	33.6	15.5	6.6	9.7	18.1	3.1	4.0
高良	220	17.7	33.2	52.7	27.7	18.6	11.8	16.4	17.7	0.9	3.6	
認定別	一般高齢者	3,505	18.9	36.3	51.7	32.6	15.5	5.3	10.4	18.5	1.8	4.0
	総合事業利用者	52	7.7	17.3	40.4	19.2	51.9	9.6	15.4	11.5	3.8	1.9
	要支援認定者	187	6.4	12.3	36.9	16.0	62.0	12.3	11.2	5.3	3.7	4.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向【必須項目】

図表－124 地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向



地域づくり活動への企画・運営(お世話役)としての参加意向は、「参加したくない」の割合が55.6%で最も高い。次いで、「参加してもよい」が28.3%である。

経年比較すると、各割合で差はほとんどみられないが、各年度で「参加したくない」の割合が5割以上となっている。

性別では、「参加してもよい」の割合は男性で29.7%、女性27.3%で男性の方が高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「参加してもよい」の割合が減少していく。「参加したくない」の割合については90歳以上で大きく増加し、85～89歳では60.0%であるのに対し、90歳以上では67.0%と7.0ポイント増加している。

圏域別では、「是非参加したい」の割合は泊圏域の5.1%が最も高く、市平均よりも1.7ポイント高い。次いで繁多川圏域と小禄圏域の4.2%である。「参加したくない」の割合は松川圏域の58.7%が最も高く、市平均よりも3.1ポイント高い。

認定別では、要支援認定者が市平均と比較し「参加したくない」の割合が63.1%と7.5ポイント高い。

図表-125 基本属性別 地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向

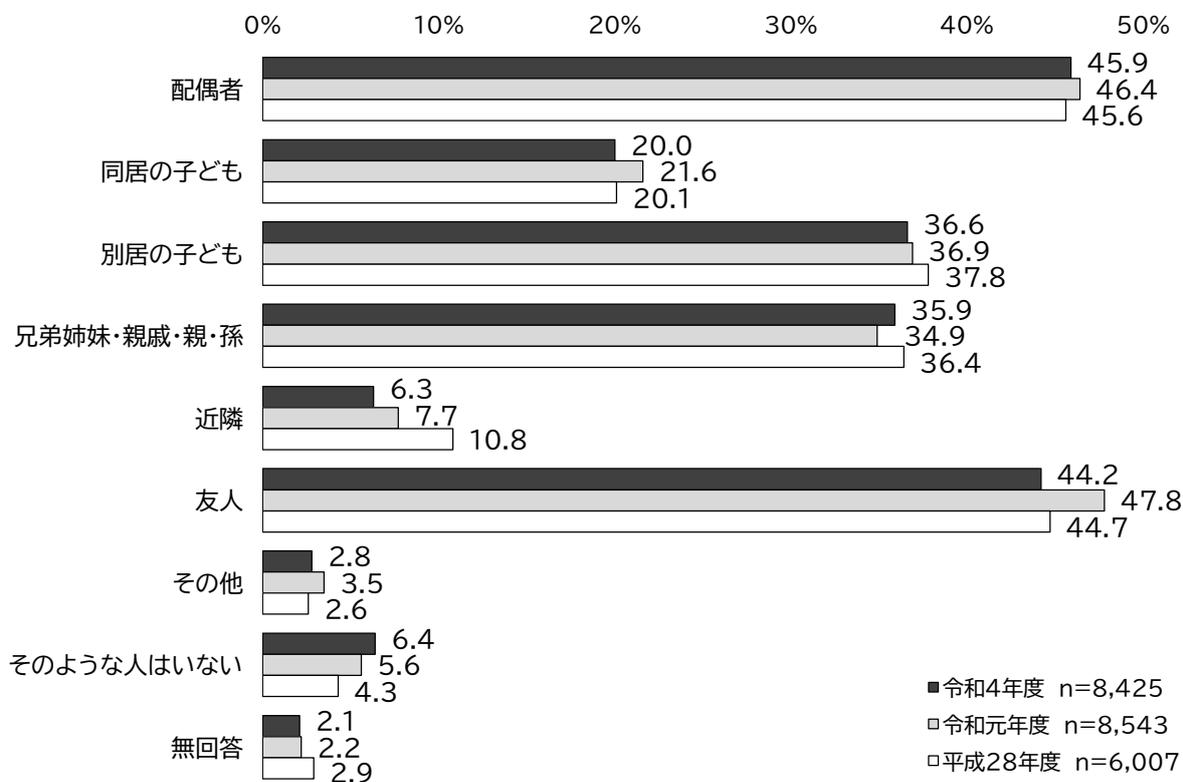
			(%)				
		調査数(人)	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		8,425	3.4	28.3	55.6	2.4	10.3
性別	男性	3,543	3.2	29.7	56.9	2.6	7.7
	女性	4,758	3.7	27.3	55.0	2.3	11.7
年齢別	65～69歳	2,177	2.9	31.7	57.8	1.5	6.1
	70～74歳	2,425	3.3	29.9	55.4	2.6	8.9
	75～79歳	1,431	4.4	30.0	51.4	3.1	11.0
	80～84歳	1,226	4.3	25.9	53.2	2.4	14.2
	85～89歳	747	2.8	19.9	60.0	3.2	14.1
	90歳以上	276	2.2	12.3	67.0	2.2	16.3
圏域別	石嶺	547	2.6	30.9	55.6	2.7	8.2
	大名	465	3.2	28.0	55.3	3.7	9.9
	城西	492	3.5	27.0	57.1	3.0	9.3
	繁多川	428	4.2	25.0	57.7	2.6	10.5
	松川	458	3.7	23.6	58.7	1.7	12.2
	松島	459	2.8	30.7	53.4	2.0	11.1
	識名	506	3.4	29.6	54.9	1.2	10.9
	安里	451	3.3	27.9	54.8	1.3	12.6
	古波蔵	451	3.1	24.6	57.6	2.9	11.8
	国場	436	3.4	29.1	56.2	1.6	9.6
	新都心	495	3.8	32.5	54.7	2.4	6.5
	安謝	437	3.2	26.8	57.2	3.9	8.9
	泊	435	5.1	29.4	54.0	2.5	9.0
	若狭	399	3.5	28.1	58.6	2.0	7.8
	城岳	453	3.3	26.0	55.8	2.6	12.1
	かなぐすく	404	3.0	29.2	54.7	2.7	10.4
小祿	505	4.2	28.3	54.9	2.0	10.7	
高良	451	2.7	31.3	54.8	2.7	8.6	
認定別	一般高齢者	7,251	3.3	29.2	56.3	2.5	8.7
	総合事業利用者	111	7.2	25.2	52.3	2.7	12.6
	要支援認定者	477	4.4	17.6	63.1	1.7	13.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

7. たすけあいについて【問6】

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人【必須項目】

図表-126 心配事や愚痴を聞いてくれる人【複数回答】



心配事や愚痴を聞いてくれる人については「配偶者」の割合が**45.9%**で最も高く、次いで「友人」が**44.2%**、「別居の子ども」**36.6%**である。

経年比較すると、各回答の割合に大きな変化はなく、各年度で配偶者、友人の割合が高くなっている。

性別では、男性は「配偶者」の割合が**60.3%**が最も高く、次いで「友人」**33.6%**、「別居の子ども」**26.1%**である。女性は「友人」**52.4%**が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」**45.0%**、「別居の子ども」**44.7%**である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が減少する傾向にある。一方、「同居の子ども」、「別居の子ども」の割合については年齢階級が上がるほど、増加していく。

圏域別では、かなぐすく圏域**53.7%**、松島圏域**53.2%**、城西圏域**53.0%**で「配偶者」の割合が市平均よりも約**7~8**ポイント高い。一方、古波蔵圏域、松川圏域、安里圏域は市平均よりも「配偶者」の割合が**6~7**ポイント低い。

認定別では、「配偶者」の割合が一般高齢者**48.2%**、総合事業利用者が**21.6%**、要支援認定者**27.9%**で一般高齢者と比べ**20~27**ポイント低い。

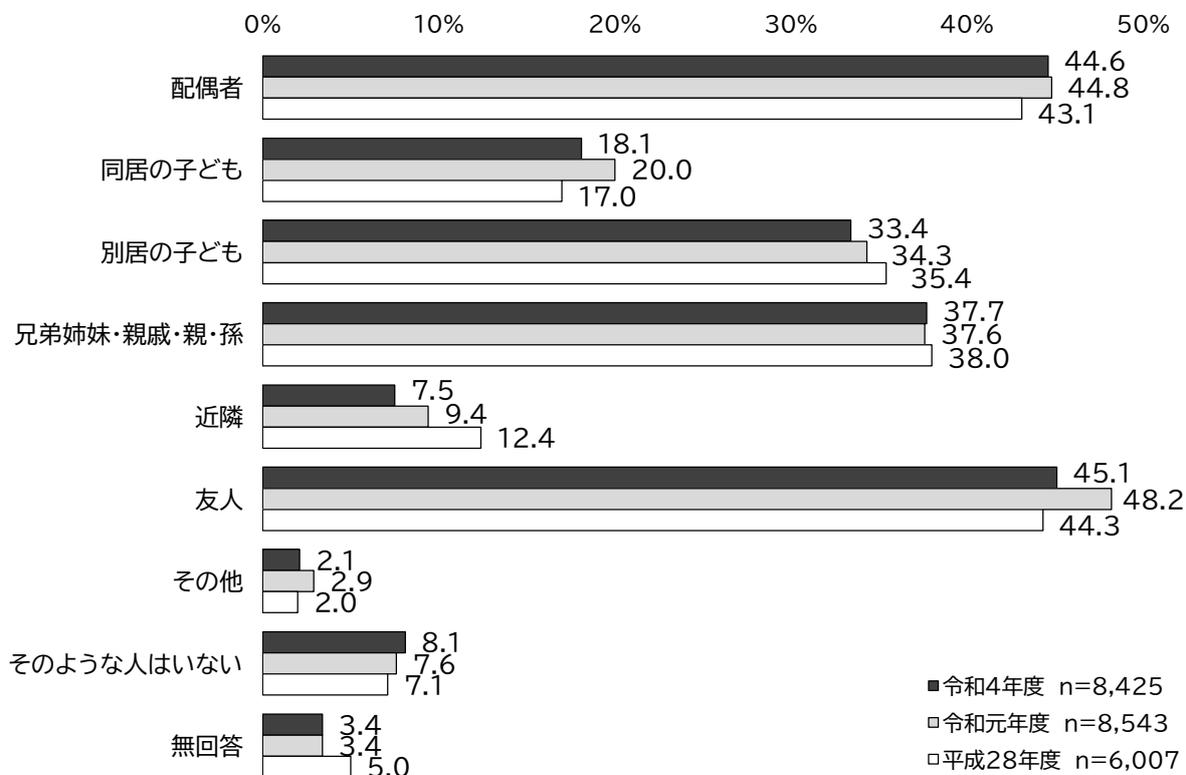
図表-127 基本属性別 心配事や愚痴を聞いてくれる人【複数回答】

		調査数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
		(%)									
全体		8,425	45.9	20.0	36.6	35.9	6.3	44.2	2.8	6.4	2.1
性別	男性	3,543	60.3	13.9	26.1	23.9	3.1	33.6	2.8	9.7	2.3
	女性	4,758	35.2	24.6	44.7	45.0	8.6	52.4	2.8	3.9	1.8
年齢別	65～69歳	2,177	51.4	16.7	31.9	39.5	4.2	51.5	2.7	6.4	1.5
	70～74歳	2,425	49.9	15.3	34.2	37.3	5.2	48.5	2.8	6.9	1.6
	75～79歳	1,431	45.9	18.9	37.3	35.6	8.7	47.2	2.9	6.1	1.6
	80～84歳	1,226	43.6	23.5	41.9	33.4	8.4	36.1	2.3	6.1	2.7
	85～89歳	747	30.5	31.2	45.1	28.9	8.4	28.0	3.2	5.8	4.3
	90歳以上	276	22.1	48.9	48.6	27.9	6.2	19.9	4.0	3.6	2.5
圏域別	石嶺	547	48.8	19.0	44.2	31.8	9.1	46.3	2.4	4.6	1.5
	大名	465	45.4	24.9	39.1	36.8	7.5	45.4	3.2	3.9	2.2
	城西	492	53.0	20.9	36.4	36.8	5.7	45.1	2.2	5.7	2.2
	繁多川	428	45.6	23.6	39.0	35.3	4.9	38.1	3.0	6.1	1.4
	松川	458	39.7	18.3	33.0	36.7	7.4	45.9	2.8	5.0	3.1
	松島	459	53.2	21.8	33.8	34.0	6.3	45.5	3.3	3.5	2.4
	識名	506	41.5	18.6	37.7	34.0	6.3	43.5	3.0	9.3	3.2
	安里	451	39.7	17.3	35.3	38.1	7.3	45.5	3.5	7.1	2.2
	古波蔵	451	38.6	18.8	33.9	35.3	7.3	43.2	2.7	6.9	2.2
	国場	436	45.6	20.9	37.2	37.4	5.5	38.5	3.0	8.9	1.8
	新都心	495	52.7	21.2	35.2	34.1	2.4	45.9	2.0	5.9	1.0
	安謝	437	41.2	16.7	33.2	33.6	5.0	39.8	2.7	8.7	3.0
	泊	435	42.5	14.5	37.0	35.4	4.6	50.8	2.5	9.2	1.1
	若狭	399	46.1	19.8	32.8	33.8	7.8	42.4	1.8	7.8	2.0
	城岳	453	42.6	17.7	35.5	40.6	6.4	45.9	3.3	7.1	1.3
	かなぐすく	404	53.7	21.5	37.9	40.8	5.7	47.3	3.0	3.2	2.0
小祿	505	46.7	23.8	40.2	35.8	6.3	44.2	2.6	6.9	1.2	
高良	451	51.4	21.7	39.2	38.1	7.5	44.6	2.9	4.0	1.8	
認定別	一般高齢者	7,251	48.2	19.7	37.2	37.3	6.1	46.3	2.6	6.0	1.5
	総合事業利用者	111	21.6	22.5	40.5	30.6	7.2	38.7	2.7	9.9	-
	要支援認定者	477	27.9	27.7	39.6	27.9	6.9	25.4	5.0	8.6	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人【必須項目】

図表-128 心配事や愚痴を聞いてあげる人【複数回答】



心配事や愚痴を聞いてあげる人については「友人」が45.1%で最も高く、次いで「配偶者」の割合が44.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」37.7%である。

経年比較すると、各項目の傾向に大きな変化はみられない。

性別では、男性は「配偶者」59.4%が最も高く、次いで「友人」33.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」25.9%である。女性は「友人」の53.8%が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」46.9%、「別居の子ども」39.4%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が減少し、「同居の子ども」の割合が増加する。

圏域別では、安謝圏域で「そのような人はいない」が12.4%で市平均よりも約4.3ポイント高い。石嶺蔵圏域と古波蔵圏域は「近隣」が高く、石嶺蔵圏域が11.5%、古波蔵圏域が10.6%である。

認定別では、要支援認定者19.3%は「そのような人はいない」で市平均と比べて11.2ポイント高い。

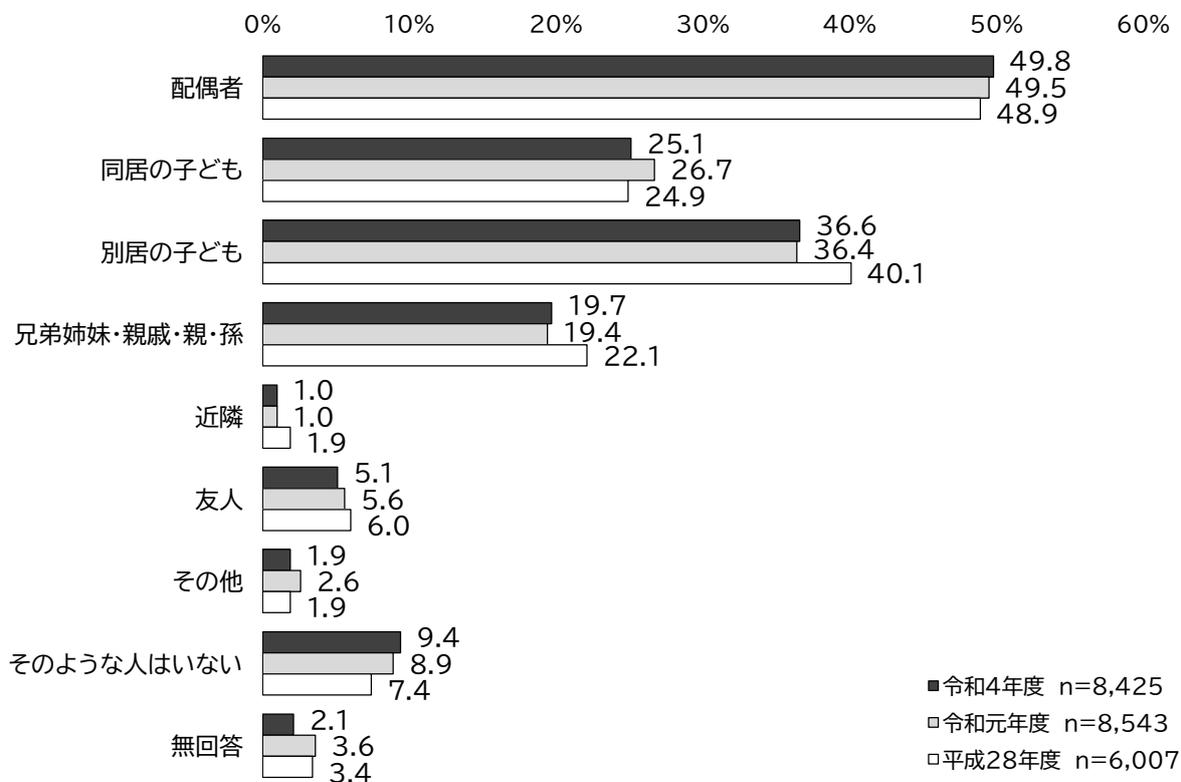
図表-129 基本属性別 心配事や愚痴を聞いてあげる人【複数回答】

		調査数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		8,425	44.6	18.1	33.4	37.7	7.5	45.1	2.1	8.1	3.4
性別	男性	3,543	59.4	14.5	25.6	25.9	4.1	33.8	2.1	11.0	3.2
	女性	4,758	33.6	20.9	39.4	46.9	10.0	53.8	2.1	5.9	3.2
年齢別	65～69歳	2,177	51.2	17.2	31.9	42.5	5.0	51.7	2.4	6.4	1.9
	70～74歳	2,425	47.5	14.6	32.5	40.0	7.3	50.6	2.1	7.2	2.5
	75～79歳	1,431	44.0	16.9	34.3	36.8	10.1	46.2	2.4	8.8	3.1
	80～84歳	1,226	42.6	20.8	36.8	35.3	9.1	38.9	1.1	8.0	4.0
	85～89歳	747	31.1	24.4	35.6	28.2	8.6	28.0	1.9	10.7	6.6
	90歳以上	276	19.9	36.2	32.6	26.8	5.1	19.2	1.8	17.4	7.2
圏域別	石嶺	547	48.6	16.5	38.6	34.0	11.5	43.5	2.0	6.8	3.3
	大名	465	45.2	23.4	36.6	36.8	9.0	45.8	1.7	6.5	4.3
	城西	492	53.5	18.9	34.8	38.0	6.3	48.2	1.2	6.3	3.5
	繁多川	428	44.2	19.2	36.0	37.4	6.8	38.3	2.6	9.1	2.8
	松川	458	39.1	15.9	29.5	39.5	8.1	46.9	1.5	7.4	3.5
	松島	459	51.6	20.7	32.9	36.2	6.8	44.9	3.3	4.6	3.3
	識名	506	40.5	16.0	31.2	35.0	7.5	44.3	1.6	11.5	4.7
	安里	451	38.6	16.0	32.4	41.7	9.1	48.6	1.8	8.9	3.3
	古波蔵	451	36.1	16.9	29.3	37.3	10.6	45.0	2.7	10.0	2.7
	国場	436	44.3	19.7	36.2	38.5	7.8	40.8	3.2	9.4	3.2
	新都心	495	50.9	18.6	32.7	36.0	2.0	46.9	3.8	7.3	1.8
	安謝	437	39.1	14.9	29.5	35.9	6.6	40.5	1.8	12.4	3.4
	泊	435	42.1	14.3	32.6	39.8	6.7	53.6	1.6	9.2	3.0
	若狭	399	43.4	17.8	30.1	36.3	7.5	41.1	1.5	9.0	3.0
	城岳	453	39.5	15.2	28.9	42.8	7.5	51.0	0.7	8.8	2.9
	かなぐすく	404	51.5	21.5	35.1	42.6	6.4	48.3	2.0	4.2	3.2
	小祿	505	46.1	21.2	37.8	36.4	5.5	41.4	1.8	7.9	2.6
高良	451	49.2	21.5	38.4	38.8	9.1	44.3	2.2	6.0	2.9	
認定別	一般高齢者	7,251	47.0	18.2	34.6	39.6	7.5	47.4	2.1	7.0	2.4
	総合事業利用者	111	19.8	18.9	31.5	31.5	6.3	41.4	0.9	17.1	0.9
	要支援認定者	477	25.4	19.9	28.3	24.3	6.5	24.5	1.7	19.3	5.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 看病や世話をしてくれる人【必須項目】

図表－130 看病や世話をしてくれる人【複数回答】



看病や世話をしてくれる人については「配偶者」の割合が**49.8%**と最も高く、次いで「別居の子ども」が**36.6%**、「同居の子ども」が**25.1%**である。

経年比較すると、「そのような人はいない」の割合の増加率は小さいが年々増加している。

性別では、男性は「配偶者」が**65.3%**で最も高く、次いで「別居の子ども」が**28.1%**、「同居の子ども」が**19.0%**である。女性は「別居の子ども」が**43.2%**で最も高く、「配偶者」が**38.3%**、「同居の子ども」が**29.7%**である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が減少し、反対に「同居の子ども」、「別居の子ども」の割合は増加していく。

圏域別では、若狭圏域は「そのような人はいない」が最も高く**13.5%**であり、市平均よりも**4.1**ポイント高い。次いで安里圏域が**13.3%**、泊圏域**12.9%**、安謝圏域**12.8%**である。

認定別では、「別居の子ども」で総合事業利用者が**42.3%**で高く、次いで要支援認定者が**42.1%**と高い。

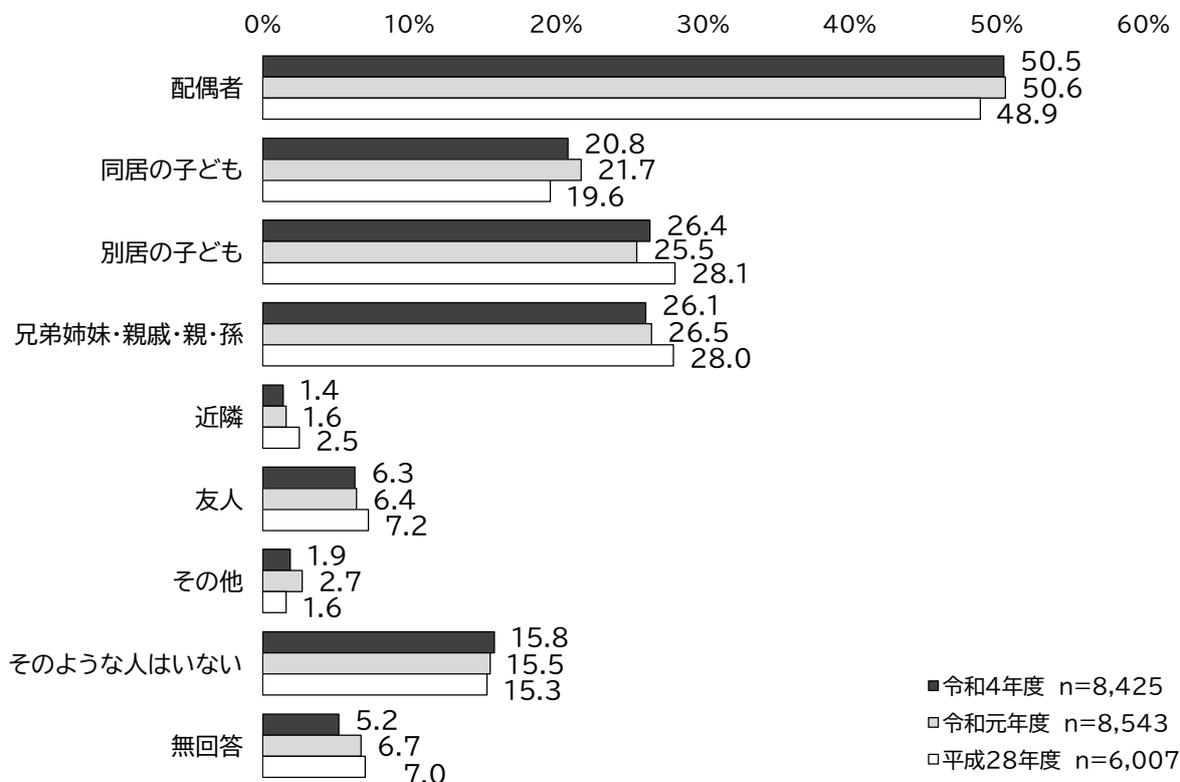
図表-131 基本属性別 看病や世話をしてくれる人【複数回答】

		調査数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		8,425	49.8	25.1	36.6	19.7	1.0	5.1	1.9	9.4	2.1
性別	男性	3,543	65.3	19.0	28.1	14.2	0.6	3.4	1.6	11.3	1.7
	女性	4,758	38.3	29.7	43.2	23.9	1.2	6.3	2.1	8.1	2.2
年齢別	65～69歳	2,177	57.0	20.7	28.1	22.0	0.5	6.4	1.5	10.6	1.6
	70～74歳	2,425	55.2	20.2	33.0	20.6	0.4	5.6	1.5	9.8	1.5
	75～79歳	1,431	49.4	24.2	38.9	19.6	1.8	5.6	2.5	9.7	2.1
	80～84歳	1,226	45.4	29.9	45.2	16.5	1.5	3.3	1.9	9.9	2.2
	85～89歳	747	30.9	37.2	50.7	17.7	1.7	2.8	2.7	5.6	3.9
	90歳以上	276	21.4	54.7	51.4	14.5	1.1	1.8	3.6	4.0	1.4
圏域別	石嶺	547	53.6	22.9	43.1	17.0	2.0	5.7	2.2	6.6	1.6
	大名	465	53.3	29.9	39.6	19.4	0.4	3.7	2.6	7.7	1.9
	城西	492	58.7	25.4	36.6	18.5	1.0	3.5	1.2	6.5	1.8
	繁多川	428	50.9	29.0	39.3	18.2	0.2	4.4	1.2	6.1	2.3
	松川	458	45.0	23.4	34.1	20.1	1.5	5.2	0.9	12.7	1.7
	松島	459	58.6	25.9	38.1	18.7	1.1	4.8	1.7	3.9	2.0
	識名	506	44.3	24.9	36.8	19.8	1.0	4.2	2.4	10.9	3.0
	安里	451	41.5	21.7	33.3	22.8	1.1	6.4	2.2	13.3	2.2
	古波蔵	451	41.9	21.7	34.4	22.8	1.8	6.4	0.9	11.1	2.2
	国場	436	50.7	26.4	37.6	15.8	0.5	3.4	2.5	12.2	2.1
	新都心	495	56.2	26.7	35.8	16.0	0.6	4.8	1.6	8.7	1.0
	安謝	437	41.2	22.4	33.4	22.9	1.1	5.9	2.7	12.8	2.5
	泊	435	46.9	21.6	34.5	21.8	0.9	5.7	1.8	12.9	0.9
	若狭	399	47.1	22.8	30.6	19.0	1.3	6.8	2.0	13.5	1.8
	城岳	453	43.7	22.7	35.8	25.4	0.9	6.6	2.6	11.0	1.3
	かなぐすく	404	57.2	27.0	35.1	20.3	0.7	4.5	2.2	5.9	2.2
小祿	505	49.5	28.7	40.0	17.6	0.2	3.8	1.8	9.3	2.0	
高良	451	57.0	29.5	41.5	19.3	0.7	5.1	1.6	5.1	1.8	
認定別	一般高齢者	7,251	52.3	24.8	36.5	20.3	0.9	5.1	1.7	9.0	1.5
	総合事業利用者	111	25.2	30.6	42.3	19.8	2.7	6.3	3.6	18.9	-
	要支援認定者	477	27.7	32.5	42.1	15.5	1.0	4.0	3.1	12.8	2.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 看病や世話をしあける人【必須項目】

図表-132 看病や世話をしあける人【複数回答】



看病や世話をしあける人については「配偶者」の割合が**50.5%**で最も高く、次いで「別居の子ども」が**26.4%**、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が**26.1%**、である。

経年比較すると、各回答の割合に大きな変化はなく、各年度で「配偶者」が最も高い割合になっている。

性別では、男性は「配偶者」の割合が**62.1%**と最も高く、次いで「別居の子ども」が**19.6%**、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が**18.3%**である。女性は「配偶者」の割合が**42.0%**で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が**32.1%**、「別居の子ども」が**31.7%**である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」など多くの項目において割合が下がる。実際、「そのような人はいない」は年齢階級が上がるほど増加する傾向にあり、**80～84歳**では**17.7%**、**85～89歳**では**20.9%**、**90歳以上**では**31.5%**である。

圏域別では、「そのような人はいない」割合は安謝圏域で最も高く**23.8%**であり、市平均よりも**8.0**ポイント高い。次いで識名圏域**19.6%**である。「配偶者」は城西圏域**60.6%**、松島圏域**57.7%**、大名圏域**57.2%**と市平均より**5～10**ポイント、首里地区が高い。

認定別では、要支援認定者は「そのような人はいない」の割合が**36.1%**で高い。

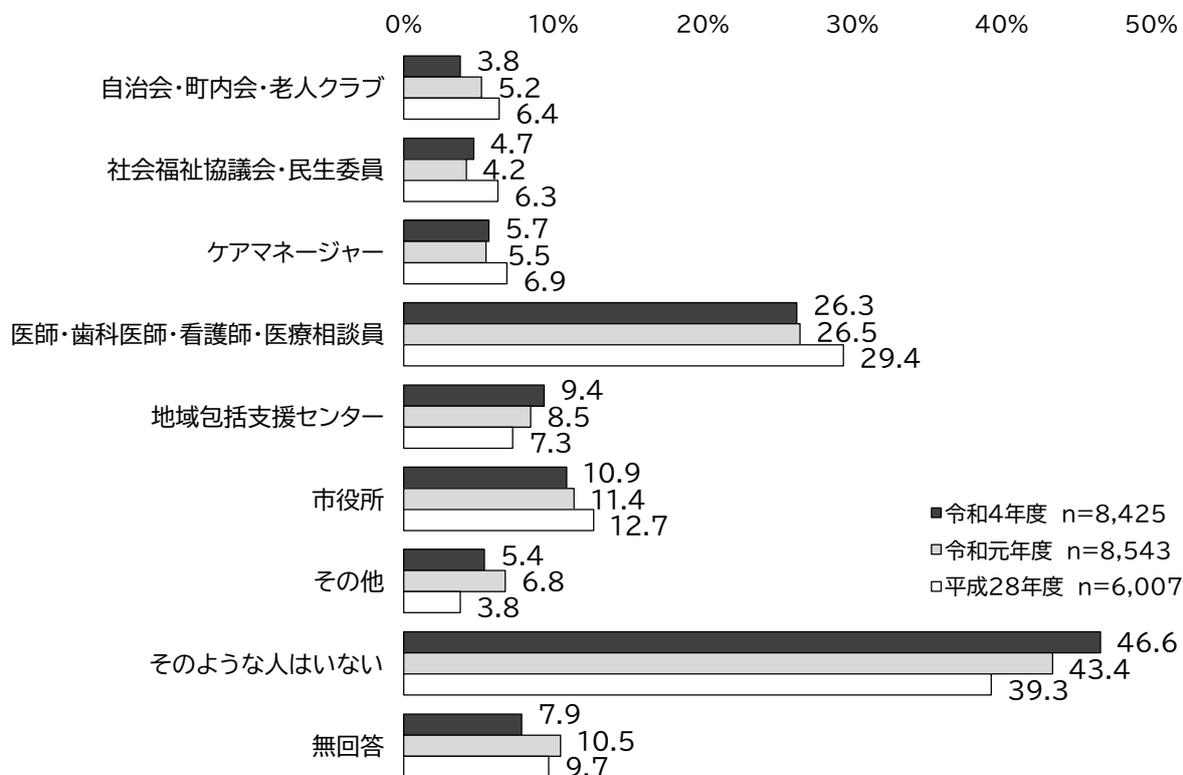
図表-133 基本属性別 看病や世話をしあける人【複数回答】

		調査数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		8,425	50.5	20.8	26.4	26.1	1.4	6.3	1.9	15.8	5.2
性別	男性	3,543	62.1	16.5	19.6	18.3	0.8	4.4	1.6	17.4	4.3
	女性	4,758	42.0	24.1	31.7	32.1	1.9	7.8	2.1	14.6	5.6
年齢別	65～69歳	2,177	57.1	20.4	27.1	34.0	1.2	7.5	1.8	11.8	2.3
	70～74歳	2,425	54.9	18.3	27.8	29.1	1.1	6.7	1.4	15.1	3.8
	75～79歳	1,431	49.8	21.1	27.7	24.5	2.0	7.5	1.7	15.9	5.3
	80～84歳	1,226	48.8	22.5	26.3	18.9	1.5	5.0	2.1	17.7	6.5
	85～89歳	747	33.7	24.1	23.6	14.7	2.0	3.3	3.3	20.9	10.6
	90歳以上	276	20.7	29.0	15.6	10.1	1.4	1.8	2.5	31.5	12.3
圏域別	石嶺	547	55.6	17.6	28.0	26.7	2.4	7.3	1.3	12.8	5.7
	大名	465	57.2	24.9	29.0	27.5	1.1	6.5	1.9	11.0	4.7
	城西	492	60.6	22.8	26.8	22.4	1.4	4.9	1.2	13.4	4.9
	繁多川	428	51.2	22.0	25.7	21.7	0.2	4.0	2.6	18.0	4.7
	松川	458	44.5	19.0	21.8	25.5	2.0	6.3	2.0	17.7	6.6
	松島	459	57.7	22.7	28.1	25.9	0.2	7.0	2.0	10.9	4.1
	識名	506	45.3	18.2	26.3	25.1	1.6	6.3	1.6	19.6	6.1
	安里	451	42.4	19.1	24.4	27.9	1.6	7.8	1.8	17.7	4.4
	古波蔵	451	43.5	20.4	24.4	25.7	3.3	7.8	2.4	18.2	4.9
	国場	436	51.1	21.6	29.1	25.9	0.7	4.8	1.8	15.6	5.7
	新都心	495	56.6	22.2	27.7	24.0	1.4	6.1	2.4	14.1	2.8
	安謝	437	41.6	17.8	21.3	26.8	0.9	6.4	0.9	23.8	5.7
	泊	435	47.6	19.5	25.5	28.7	1.6	8.5	1.8	17.2	4.4
	若狭	399	45.1	19.5	27.6	26.3	1.8	7.3	2.8	17.5	5.5
	城岳	453	45.3	17.7	21.4	30.9	1.3	7.3	1.5	18.8	4.4
	かなぐすく	404	56.4	25.2	30.2	30.4	1.5	5.2	1.2	12.4	4.5
小祿	505	51.7	23.6	29.3	24.2	0.6	3.8	2.2	14.5	6.1	
高良	451	57.0	23.1	30.2	26.4	1.8	7.1	2.7	11.3	4.0	
認定別	一般高齢者	7,251	53.5	21.5	27.9	27.8	1.5	6.6	1.7	14.1	3.8
	総合事業利用者	111	26.1	16.2	18.0	17.1	0.9	6.3	5.4	35.1	3.6
	要支援認定者	477	24.7	15.5	13.6	12.6	1.3	2.7	4.2	36.1	11.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 家族や友人・知人以外での相談相手【オプション項目】

図表-134 家族や友人・知人以外での相談相手【複数回答】



家族や友人・知人以外での相談相手については、「そのような人はいない」の割合が**46.6%**で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師・医療相談員」**26.3%**、「市役所」**10.9%**である。

経年比較すると、「そのような人はいない」の割合が年々増加している。

性別では、男性は「そのような人はいない」の割合が**48.6%**で市平均より**2.0**ポイント高く、女性は**45.4%**で市平均より**1.2**ポイント低い。男性は「社会福祉協議会・民生委員」、「ケアマネジャー」、「地域包括支援センター」、「市役所」などの項目で市平均を下回っている。

年齢別では、年齢階級が上がると多くの項目で増加傾向が見られ、「そのような人はいない」の割合は減少する。

圏域別では、大名圏域、石嶺圏域、古波蔵圏域、高良圏域において「自治会・町内会・老人クラブ」の割合が市平均よりも**1～3**ポイント高い(大名圏域**6.5%**、石嶺圏域**5.5%**、古波蔵圏域**5.1%**、高良圏域**5.1%**)。また「そのような人はいない」の割合は国場圏域で**51.4%**、泊圏域で**50.6%**と高い。

認定別では、要支援認定者は「ケアマネジャー」の割合が**41.5%**で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が**33.8%**、「医師・歯科医師・看護師・医療相談員」が**26.6%**である。「ケアマネジャー」の割合は市平均と比べ**35.8**ポイント高い。

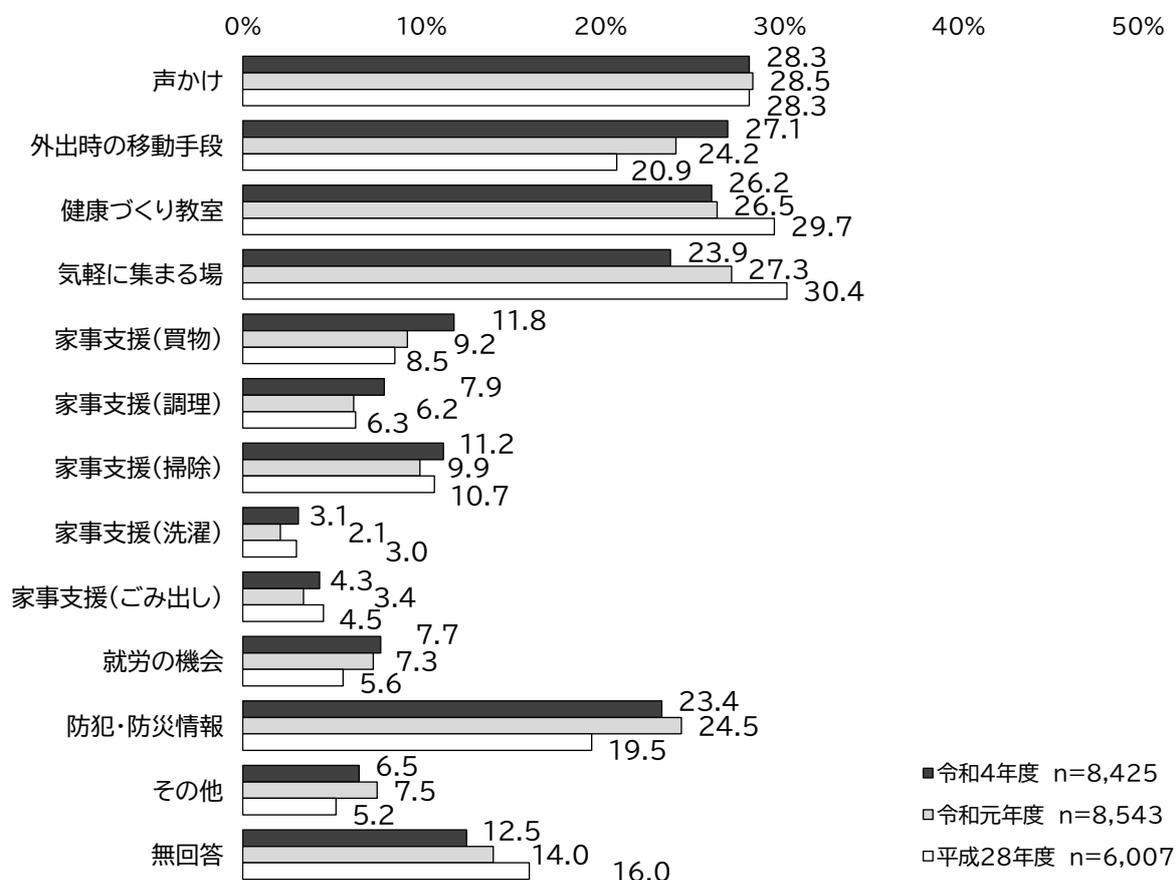
図表-135 基本属性別 家族や友人・知人以外での相談相手【複数回答】

											(%)
		調査数(人)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネージャー	医師・歯科医師・看護師・医療相談員	地域包括支援センター	市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		8,425	3.8	4.7	5.7	26.3	9.4	10.9	5.4	46.6	7.9
性別	男性	3,543	4.3	4.0	3.7	28.5	7.0	10.5	5.6	48.6	5.7
	女性	4,758	3.4	5.0	7.2	24.7	11.1	11.3	5.3	45.4	9.2
年齢別	65～69歳	2,177	2.2	3.9	2.8	25.2	5.7	12.2	5.6	53.4	4.9
	70～74歳	2,425	3.5	4.0	4.0	23.7	7.5	10.8	4.9	51.6	7.3
	75～79歳	1,431	4.4	5.9	4.0	26.0	9.7	10.3	6.1	44.9	9.9
	80～84歳	1,226	4.9	4.9	8.1	29.9	14.4	10.5	4.6	38.3	10.8
	85～89歳	747	5.0	5.1	12.9	31.1	15.1	10.0	6.7	34.3	9.2
	90歳以上	276	5.8	5.4	22.1	32.6	16.7	7.6	5.4	34.4	5.4
圏域別	石嶺	547	5.5	5.1	5.3	26.9	9.7	11.7	7.3	44.2	8.2
	大名	465	6.5	7.1	5.8	25.6	12.3	11.6	6.7	42.6	7.5
	城西	492	4.5	3.3	7.9	29.9	10.0	11.0	6.3	46.3	6.9
	繁多川	428	4.7	4.7	7.2	26.9	12.4	10.0	4.7	44.6	6.8
	松川	458	1.7	3.7	7.0	26.0	11.4	14.0	4.1	47.6	6.3
	松島	459	3.5	2.6	3.5	25.3	8.5	9.2	4.8	48.1	9.8
	識名	506	3.0	4.9	6.1	24.1	8.9	8.7	4.0	47.6	10.5
	安里	451	1.1	7.1	6.0	28.2	8.6	10.6	5.5	44.3	7.8
	古波蔵	451	5.1	5.3	4.7	26.2	8.4	11.5	4.4	47.5	6.0
	国場	436	2.8	5.0	3.7	24.1	8.5	11.0	4.8	51.4	7.8
	新都心	495	3.4	4.6	4.4	27.7	9.3	12.7	4.6	47.7	7.9
	安謝	437	3.0	4.3	6.4	23.1	9.2	12.6	5.3	47.1	8.0
	泊	435	1.6	3.4	4.1	27.6	9.0	9.7	5.3	50.6	6.4
	若狭	399	3.3	3.8	4.8	26.1	8.3	14.5	5.8	46.1	7.3
	城岳	453	4.2	3.8	7.3	27.2	7.7	12.6	7.7	44.2	6.2
	かなぐすく	404	4.7	3.7	5.9	26.0	8.4	7.4	5.9	49.0	7.9
小祿	505	4.0	4.8	5.7	27.7	8.1	9.1	6.3	45.1	8.5	
高良	451	5.1	5.1	6.4	25.3	9.8	8.9	3.5	48.8	9.1	
認定別	一般高齢者	7,251	3.7	4.4	3.1	26.5	7.3	10.9	5.4	49.7	7.0
	総合事業利用者	111	9.0	12.6	17.1	27.0	31.5	7.2	5.4	29.7	3.6
	要支援認定者	477	4.6	3.8	41.5	26.6	33.8	12.6	5.7	21.0	6.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【市独自項目】

図表-136 安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【3つまで】



安心して暮らしていくために充実して欲しいことについては、「声かけ」の割合が28.3%で最も高く、次いで「外出時の移動手段」が27.1%、「健康づくり教室」が26.2%である。

経年比較すると、「気軽に集まる場」の割合が年々減少している一方で、「外出時の移動手段」は年々上昇している。

性別では、男性は「声かけ」の割合が26.8%と最も高く、次いで「防犯・防災情報」25.2%、「外出時の移動手段」23.3%である。女性は「健康づくり教室」が31.1%で最も高く、次いで「外出時の移動手段」が29.9%、「声かけ」が29.5%である。

年齢別では、一部例外があるものの、年齢階級が上がるほど、「声かけ」、「外出時の移動手段」、「家事支援(買物)」、「家事支援(調理)」、「家事支援(掃除)」、「家事支援(洗濯)」、「家事支援(ごみ出し)」の割合が増加する傾向にある。「健康づくり教室」、「気軽に集まる場」、「就労の機会」、「防犯・防災情報」の割合は年齢階級が上がると減少する傾向が見られる。

圏域別では、「外出時の移動手段」の割合は城西圏域で最も高く30.9%であり、市平均よりも3.8ポイント高い。一方、かなぐすく圏域は「外出時の移動手段」が最も低く21.8%であり、市平均よりも5.3ポイント低い。石嶺圏域では「声かけ」の割合35.8%と、「健康づくり教室」30.5%、「外出時の移動手段」27.4%で市平均よりも高い。また、「声かけ」の割合については大名圏域においても33.8%と市平均よりも5.5ポイント高い。

認定別では、総合事業利用者は「外出時の移動手段」35.1%と市平均よりも8.0ポイント高く、次いで「声かけ」は29.7%、「健康づくり教室」28.8%等の項目で市平均よりも8.0ポイント高い。

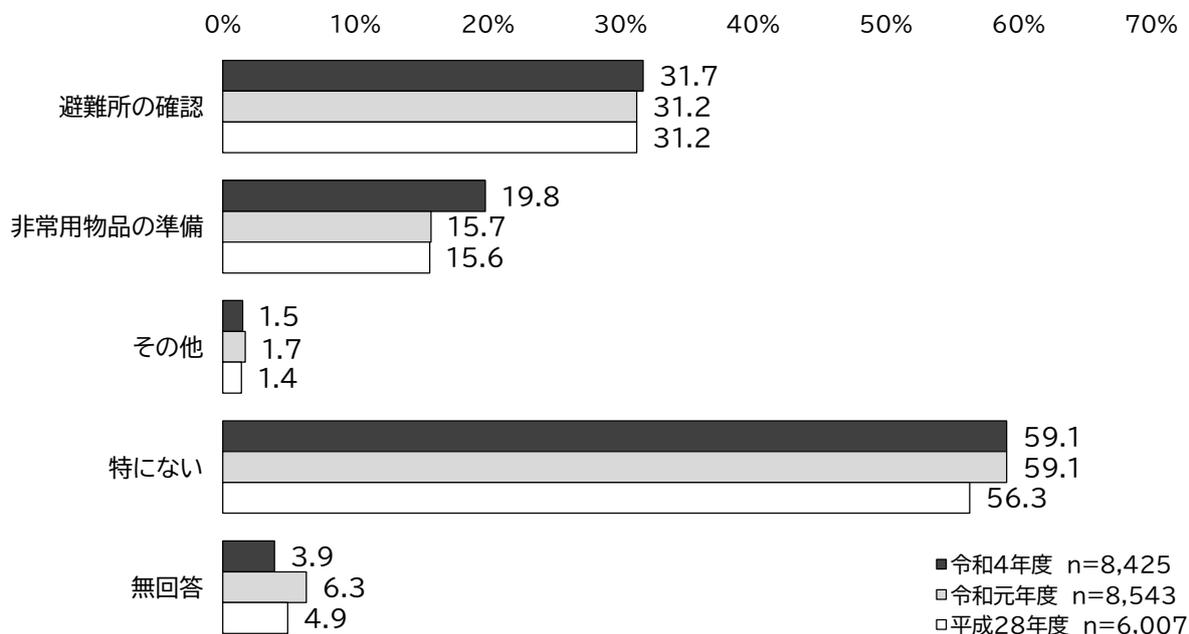
図表-137 基本属性別 安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【3つまで】

		調査数(人)	声かけ	外出時の移動手段	健康づくり教室	気軽に集まる場	家事支援(買物)	家事支援(調理)	家事支援(掃除)	家事支援(洗濯)	家事支援(ごみ出し)	就労の機会	防犯・防災情報	その他	無回答
		(%)													
全体		8,425	28.3	27.1	26.2	23.9	11.8	7.9	11.2	3.1	4.3	7.7	23.4	6.5	12.5
性別	男性	3,543	26.8	23.3	19.9	21.4	10.3	8.9	9.4	4.1	4.3	10.4	25.2	7.8	12.8
	女性	4,758	29.5	29.9	31.1	25.8	12.9	7.1	12.4	2.4	4.4	5.7	22.5	5.6	12.1
年齢別	65～69歳	2,177	26.1	26.5	26.2	23.9	8.8	6.9	7.3	2.6	2.4	15.9	31.7	6.7	10.1
	70～74歳	2,425	25.7	24.7	28.0	25.4	10.4	6.9	10.0	2.4	3.6	8.9	24.4	6.8	12.2
	75～79歳	1,431	31.9	25.9	28.0	24.5	11.6	7.3	9.6	1.8	4.0	3.6	21.0	6.6	14.0
	80～84歳	1,226	31.9	27.6	26.9	24.3	13.9	10.0	15.7	4.8	5.9	1.8	17.0	5.8	14.4
	85～89歳	747	29.9	34.5	21.7	21.4	19.7	9.4	18.5	5.5	8.8	0.5	16.3	6.2	11.9
	90歳以上	276	29.0	39.1	15.2	13.0	18.1	14.1	20.7	6.2	8.3	0.7	15.6	7.2	13.0
圏域別	石嶺	547	35.8	27.4	30.5	26.3	11.7	7.9	10.1	2.9	5.1	5.9	25.8	7.7	11.0
	大名	465	33.8	24.9	29.9	26.2	15.9	7.1	9.5	3.0	6.2	5.8	22.8	7.1	12.9
	城西	492	24.0	30.9	23.6	20.9	12.4	8.9	11.2	2.8	3.7	6.1	24.2	9.1	13.4
	繁多川	428	32.7	29.9	24.1	25.2	10.7	9.6	10.5	3.5	4.4	10.0	21.0	5.1	9.3
	松川	458	27.3	28.4	24.0	19.2	11.6	7.0	13.1	2.4	5.0	8.7	21.6	7.2	12.4
	松島	459	27.2	27.2	28.1	25.1	10.7	6.8	12.2	2.4	3.9	9.2	26.6	4.8	11.8
	識名	506	29.4	30.8	24.3	23.5	13.4	8.3	11.7	4.2	5.7	7.7	18.8	6.9	13.8
	安里	451	28.8	23.1	23.9	22.2	12.0	6.9	10.2	2.7	4.0	8.2	22.2	7.1	13.5
	古波蔵	451	30.2	24.4	26.4	21.3	11.1	10.2	10.4	3.3	5.8	9.8	22.2	6.2	13.1
	国場	436	25.7	28.4	26.8	26.8	12.2	8.0	9.6	3.0	4.1	8.7	22.5	6.2	11.2
	新都心	495	25.9	27.1	26.3	22.4	10.7	8.5	11.1	3.0	2.2	5.7	27.1	6.7	11.3
	安謝	437	26.8	26.1	26.1	25.4	10.3	6.4	9.6	3.4	2.7	9.2	25.9	7.3	14.0
	泊	435	24.6	26.4	24.8	26.7	12.6	10.1	14.0	3.0	3.4	9.4	23.0	6.4	10.8
	若狭	399	28.3	27.3	23.3	24.6	10.3	6.5	12.3	3.3	3.0	8.0	26.1	7.0	12.8
	城岳	453	23.0	28.5	26.7	23.6	14.1	7.7	16.1	2.0	4.4	8.8	20.1	6.2	12.8
	かなぐすく	404	25.2	21.8	29.5	23.0	10.6	6.4	11.4	2.7	5.9	6.9	25.0	5.9	14.6
	小祿	505	28.5	27.7	26.7	23.0	12.1	7.3	10.3	4.4	4.8	6.1	23.8	6.5	12.1
高良	451	31.5	25.9	28.6	25.9	10.0	7.5	8.0	4.4	2.7	6.4	27.1	4.2	10.9	
認定別	一般高齢者	7,251	28.0	26.6	27.0	24.7	10.5	7.3	9.7	2.7	3.6	8.6	25.3	6.7	11.8
	総合事業利用者	111	29.7	35.1	28.8	18.9	19.8	10.8	23.4	4.5	7.2	2.7	12.6	6.3	11.7
	要支援認定者	477	28.7	37.7	18.9	18.7	27.3	15.7	27.7	8.0	11.5	1.3	10.5	6.5	9.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 災害時への備え【市独自項目】

図表-138 災害時への備え【複数回答】



災害時への備えについては、「特になし」の割合が**59.1%**で最も高く、次いで「避難場所の確認」が**31.7%**、「非常用物品の準備」が**19.8%**である。

経年比較すると、「非常用物品の準備」の増加率が高くなっている。

性別では、男性は「特になし」の割合が**62.9%**で最も高く、女性の**56.4%**より**6.5**ポイント高い。一方、女性は「避難場所の確認」が**34.5%**、「非常用物品の準備」が**21.2%**で、男性よりも高い。

年齢別では、「避難場所の確認」の割合は年齢階級が上がるほど低くなる傾向にあり、**90歳以上**では**24.6%**であり市平均よりも**7.1**ポイント低い。

圏域別では、若狭圏域は「避難場所の確認」の割合が**42.6%**と市平均よりも**10.9**ポイント高い。また、新都心圏域は「非常用物件の準備」で**24.6%**であり、市平均よりも**4.8**ポイント高い。

認定別では、総合事業利用者は「特になし」の割合が**70.3%**で市平均より**11.2**ポイント高い。

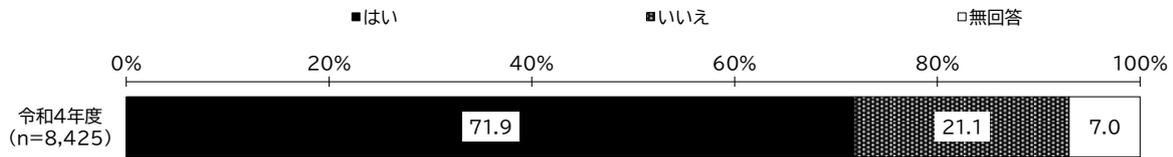
図表-139 基本属性別 災害時への備え【複数回答】

			(%)				
		調査数 (人)	避難所の 確認	非常用物品の 準備	その他	特 に ない	無 回 答
全体		8,425	31.7	19.8	1.5	59.1	3.9
性別	男性	3,543	28.3	18.1	1.1	62.9	3.1
	女性	4,758	34.5	21.2	1.7	56.4	4.1
年齢別	65～69歳	2,177	37.7	23.8	0.9	53.5	1.8
	70～74歳	2,425	33.7	19.9	1.4	58.6	2.1
	75～79歳	1,431	30.2	18.6	1.5	62.1	3.5
	80～84歳	1,226	27.4	17.5	2.1	62.2	6.5
	85～89歳	747	22.6	15.4	1.9	65.1	8.4
	90歳以上	276	24.6	18.8	2.2	63.4	5.8
圏域別	石嶺	547	32.5	22.7	1.6	61.8	2.4
	大名	465	30.1	20.0	0.9	60.9	3.4
	城西	492	31.9	22.6	2.4	55.3	4.1
	繁多川	428	28.7	15.4	1.9	66.1	2.1
	松川	458	25.8	19.9	1.1	65.7	3.1
	松島	459	28.8	20.3	1.7	61.2	3.9
	識名	506	31.0	20.0	1.0	57.5	4.7
	安里	451	27.7	18.2	1.3	63.4	4.4
	古波蔵	451	34.1	18.0	0.7	57.9	4.2
	国場	436	27.3	19.3	1.4	60.8	4.6
	新都心	495	32.3	24.6	1.4	56.0	2.6
	安謝	437	31.8	18.1	1.6	60.4	3.9
	泊	435	36.3	21.1	2.1	54.7	3.4
	若狭	399	42.6	20.6	1.0	52.4	2.8
	城岳	453	36.9	19.6	2.4	56.3	2.2
	かなぐすく	404	31.7	19.3	1.5	58.9	4.7
小祿	505	30.5	17.0	1.2	59.6	4.6	
高良	451	33.9	18.6	1.1	57.9	3.8	
認定別	一般高齢者	7,251	33.2	20.5	1.4	58.5	2.8
	総合事業利用者	111	22.5	18.0	0.9	70.3	1.8
	要支援認定者	477	22.0	17.2	2.5	67.7	5.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) 緊急時に携帯等(スマホ)で助けを求めることの可否【市独自項目】

図表－140 緊急時に携帯等(スマホ)で助けを求めることの可否



緊急時に携帯等(スマホ)で助けを求めることが出来ますかについては、「はい」の割合が71.9%、「いいえ」21.1%である。年齢別では、年齢階級が上がるほど、「はい」の割合が減少し、「いいえ」の割合が増加している。「いいえ」の割合は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では28.5%、85～89歳では約41.0%、90歳以上56.2%である。

圏域別では、かなぐすく圏域は「はい」の割合が76.5%で市平均よりも4.6ポイント高い、次いで高良圏域が75.8%、新都心圏域が75.4%である。

認定別では、「いいえ」の割合は総合事業利用者、要支援認定者は43.2%、一般高齢者18.8%である。

図表-141 基本属性別 緊急時に携帯等(スマホ)で助けを求めることの可否

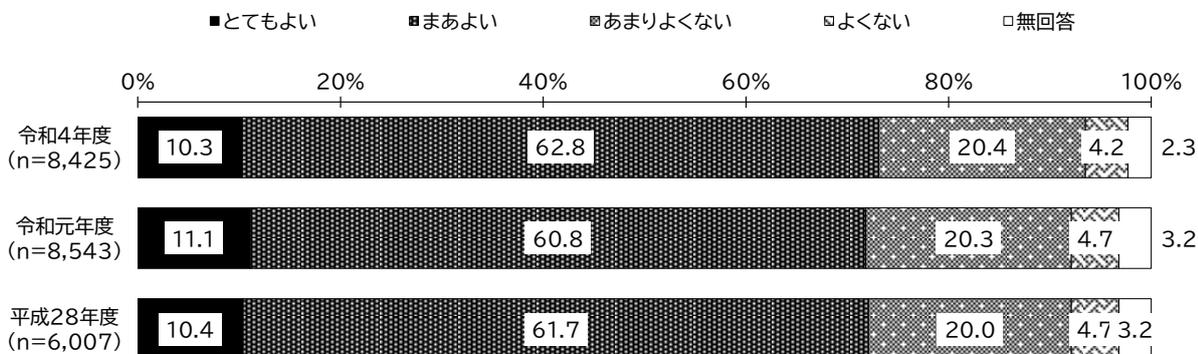
			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	71.9	21.1	7.0
性別	男性	3,543	73.3	20.1	6.6
	女性	4,758	71.5	21.6	7.0
年齢別	65～69歳	2,177	86.2	10.0	3.8
	70～74歳	2,425	77.9	16.0	6.1
	75～79歳	1,431	70.7	21.8	7.5
	80～84歳	1,226	62.9	28.5	8.6
	85～89歳	747	47.3	41.0	11.8
	90歳以上	276	33.0	56.2	10.9
圏域別	石嶺	547	71.1	20.5	8.4
	大名	465	70.3	22.8	6.9
	城西	492	74.8	19.1	6.1
	繁多川	428	67.1	26.2	6.8
	松川	458	71.4	21.6	7.0
	松島	459	74.7	19.0	6.3
	識名	506	69.4	22.9	7.7
	安里	451	71.0	22.4	6.7
	古波蔵	451	72.7	20.6	6.7
	国場	436	68.1	25.7	6.2
	新都心	495	75.4	17.4	7.3
	安謝	437	70.7	23.1	6.2
	泊	435	74.5	18.4	7.1
	若狭	399	69.7	20.8	9.5
	城岳	453	74.4	20.1	5.5
	かなぐすく	404	76.5	17.6	5.9
小祿	505	71.7	21.8	6.5	
高良	451	75.8	19.1	5.1	
認定別	一般高齢者	7,251	75.2	18.8	5.9
	総合事業利用者	111	48.6	43.2	8.1
	要支援認定者	477	47.0	43.2	9.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

8. 健康について【問7】

(1) 主観的健康状態【必須項目】

図表-142 主観的健康状態



	『よい』 「とてもよい」+「まあよい」	『よくない』 「あまりよくない」+「よくない」
令和4年度	73.1%	24.6%
令和元年度	71.9%	25.0%
平成28年度	72.1%	24.7%

現在の健康状態については、「まあよい」の割合が**62.8%**で最も高く、次いで「あまりよくない」が**20.4%**、「とてもよい」が**10.3%**、「よくない」が**4.2%**である。

経年比較すると、主観的健康状態の傾向に差はほとんどみられない。

年齢別では、すべての年齢階級で「まあよい」の割合が半数以上を占めているものの、年齢階級が上がるほど『よくない』の割合が増加していく傾向がある。

圏域別では、国場圏域は「あまりよくない」の割合が**25.7%**で最も高く、市平均よりも**5.3**ポイント高く、「まあよい」が**56.4%**と最も低い。

認定別では、一般高齢者は『よい』の割合が**76.8%**、『よくない』の割合が**21.4%**である。

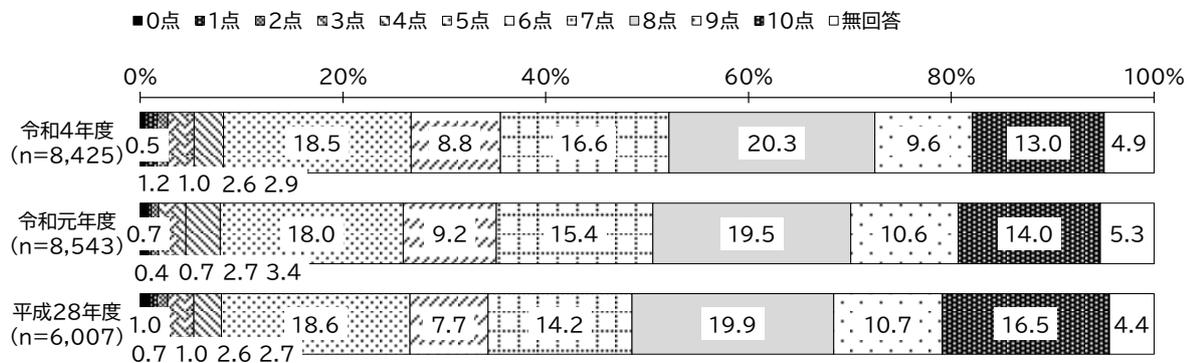
図表-143 基本属性別 主観的健康状態

		調査数 (人)							(%)	
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	『よい再掲』	『よくない再掲』	
全体		8,425	10.3	62.8	20.4	4.2	2.3	73.1	24.6	
性別	男性	3,543	10.6	61.9	20.7	4.6	2.2	72.5	25.3	
	女性	4,758	10.2	63.7	20.1	4.0	2.0	73.9	24.1	
年齢別	65～69歳	2,177	12.5	68.1	15.4	2.4	1.6	80.6	17.8	
	70～74歳	2,425	10.7	67.3	16.9	3.1	2.0	78.0	20.0	
	75～79歳	1,431	9.4	61.5	22.9	3.9	2.3	70.9	26.8	
	80～84歳	1,226	9.5	56.1	24.9	6.9	2.7	65.6	31.8	
	85～89歳	747	7.5	52.9	28.9	7.4	3.3	60.4	36.3	
	90歳以上	276	7.2	49.3	32.2	10.1	1.1	56.5	42.3	
圏域別	石嶺	547	9.9	61.6	21.6	4.0	2.9	71.5	25.6	
	大名	465	8.8	67.5	18.5	3.2	1.9	76.3	21.7	
	城西	492	12.4	61.8	20.1	3.9	1.8	74.2	24.0	
	繁多川	428	11.0	59.8	20.1	6.1	3.0	70.8	26.2	
	松川	458	8.7	63.8	18.3	5.2	3.9	72.5	23.5	
	松島	459	9.6	64.3	21.1	3.3	1.7	73.9	24.4	
	識名	506	9.7	59.1	22.1	6.3	2.8	68.8	28.4	
	安里	451	8.9	65.4	19.1	4.9	1.8	74.3	24.0	
	古波蔵	451	9.1	60.1	23.3	5.5	2.0	69.2	28.8	
	国場	436	10.8	56.4	25.7	4.1	3.0	67.2	29.8	
	新都心	495	11.5	65.7	15.8	4.8	2.2	77.2	20.6	
	安謝	437	9.8	62.0	22.0	5.0	1.1	71.8	27.0	
	泊	435	12.6	63.0	19.5	2.8	2.1	75.6	22.3	
	若狭	399	11.5	62.9	18.5	5.0	2.0	74.4	23.5	
	城岳	453	9.5	65.6	19.4	4.4	1.1	75.1	23.8	
	かなぐすく	404	11.9	62.6	21.3	2.5	1.7	74.5	23.8	
小祿	505	11.1	64.8	20.2	3.8	0.2	75.9	24.0		
高良	451	10.2	67.4	18.6	1.8	2.0	77.6	20.4		
認定別	一般高齢者	7,251	11.1	65.7	18.4	3.0	1.8	76.8	21.4	
	総合事業利用者	111	6.3	50.5	26.1	14.4	2.7	56.8	40.5	
	要支援認定者	477	2.9	36.5	40.9	17.0	2.7	39.4	57.9	

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 現在の幸福度【必須項目】

図表-144 現在の幸福度



現在の幸福度については、「8点」の割合が20.3%で最も高い。次いで「5点」の18.5%、「7点」の16.6%である。

経年比較すると、「8点」以上をみると、年々減少している。

年齢では90歳以上で「10点」の割合が18.1%と高く、70～74歳で11.6%と低い。

圏域別ではかなぐすく圏域で「10点」の割合が16.6%と市平均よりも3.6ポイント高い。一方、古波蔵圏域で「0点」が1.3%と市平均よりも0.8ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「5点」までの項目で市平均を超えている。

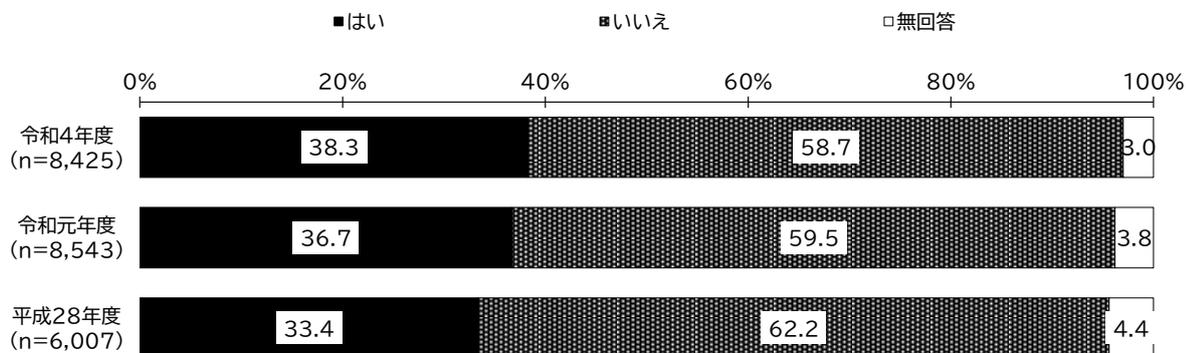
図表-145 基本属性別 現在の幸福度

		調査数 (人)												(%)	平均 (点)
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体		8,425	0.5	1.2	1.0	2.6	2.9	18.5	8.8	16.6	20.3	9.6	13.0	4.9	7.0
性別	男性	3,543	0.5	1.2	1.3	3.1	3.7	20.8	9.8	16.6	18.7	8.2	12.1	4.1	6.8
	女性	4,758	0.5	1.2	0.8	2.1	2.4	16.9	8.0	16.9	21.6	10.7	13.8	5.1	7.1
年齢別	65～69歳	2,177	0.3	1.4	1.1	2.8	3.4	17.2	8.4	17.7	22.5	10.3	12.5	2.4	7.0
	70～74歳	2,425	0.7	1.0	1.1	3.0	2.9	17.6	9.1	18.3	21.0	9.9	11.6	3.9	6.9
	75～79歳	1,431	0.9	1.4	0.7	1.7	2.8	19.7	10.0	16.6	17.7	10.3	13.3	4.8	6.9
	80～84歳	1,226	0.3	0.7	0.7	2.3	2.8	20.6	8.8	16.4	19.1	8.3	13.9	6.3	7.0
	85～89歳	747	0.7	1.6	1.5	1.9	2.4	20.1	7.8	10.4	20.6	8.6	15.3	9.2	7.0
	90歳以上	276	-	0.4	0.7	4.7	1.8	18.1	5.1	14.5	18.8	8.7	18.1	9.1	7.2
圏域別	石嶺	547	0.2	1.3	0.9	2.2	2.6	19.7	7.5	14.6	20.7	9.5	15.0	5.9	7.1
	大名	465	0.6	0.4	0.9	1.7	2.8	15.9	11.2	17.4	19.8	8.8	16.1	4.3	7.2
	城西	492	0.2	1.0	0.6	1.6	2.0	17.5	10.8	17.1	19.5	12.8	12.2	4.7	7.1
	繁多川	428	0.5	1.9	1.2	2.6	2.8	17.5	9.3	18.7	18.7	9.3	12.9	4.7	6.9
	松川	458	1.1	1.1	1.1	2.8	2.8	20.5	8.7	18.1	17.7	9.2	11.4	5.5	6.8
	松島	459	0.4	0.4	0.9	2.2	2.4	14.6	9.2	17.6	23.3	11.5	12.0	5.4	7.2
	識名	506	0.8	1.8	0.6	1.6	3.6	19.4	8.9	17.8	18.6	8.7	12.8	5.5	6.9
	安里	451	1.1	0.4	0.9	3.3	2.2	20.8	6.0	18.0	21.3	7.5	12.2	6.2	6.9
	古波蔵	451	1.3	1.1	1.1	3.5	4.0	20.2	7.8	17.7	19.7	7.3	10.0	6.2	6.7
	国場	436	0.2	2.1	1.6	3.4	4.8	18.6	7.6	17.9	18.8	8.9	11.7	4.4	6.8
	新都心	495	0.2	0.8	0.2	2.4	4.0	15.8	9.7	18.2	20.2	12.3	12.1	4.0	7.1
	安謝	437	0.9	0.7	0.9	4.8	3.2	22.7	9.6	12.6	21.3	6.4	13.3	3.7	6.7
	泊	435	0.2	0.7	2.1	2.3	2.3	15.9	9.9	15.6	20.9	12.4	13.8	3.9	7.1
	若狭	399	-	1.3	1.0	2.0	2.8	21.6	9.0	19.0	23.3	5.0	10.3	4.8	6.8
	城岳	453	0.2	2.2	0.7	2.9	1.5	17.7	8.2	17.4	21.2	10.2	14.1	3.8	7.1
	かなぐすく	404	-	1.2	1.0	1.7	2.7	16.3	6.4	18.1	20.3	11.4	16.6	4.2	7.3
	小祿	505	0.6	1.2	0.8	3.2	3.0	22.2	8.5	14.1	21.4	10.1	12.9	2.2	6.9
高良	451	0.4	0.9	1.3	1.6	3.5	17.1	9.8	12.0	22.0	11.5	15.3	4.7	7.2	
認定別	一般高齢者	7,251	0.4	1.0	0.8	2.4	2.9	17.9	8.8	17.4	21.0	10.1	13.4	3.9	7.1
	総合事業利用者	111	-	2.7	4.5	4.5	2.7	26.1	11.7	16.2	10.8	4.5	9.0	7.2	6.1
	要支援認定者	477	1.7	1.9	2.7	5.0	4.0	27.9	7.5	12.8	15.7	6.5	7.1	7.1	6.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) この一か月間での気分の沈み、ゆううつな気持ち【必須項目】

図表-146 気分の沈み、ゆううつな気持ち



気分の沈み、ゆううつな気持ちについては、「いいえ(なかった)」の割合が**58.7%**で最も高く、「はい(あった)」は**38.3%**である。

経年比較すると、「はい(あった)」の割合が年々増加している。

性別では、男性は「いいえ(なかった)」の割合が**62.5%**で市平均よりも高いのに対し、女性は「はい(あった)」が**41.0%**で市平均よりも高い。

圏域別では、かなぐすく圏域で「いいえ(なかった)」の割合が高く**64.4%**であり、市平均よりも**5.7**ポイント高い。一方、古波蔵圏域は「いいえ(なかった)」が**54.5%**と市平均よりも**4.2**ポイント低い。

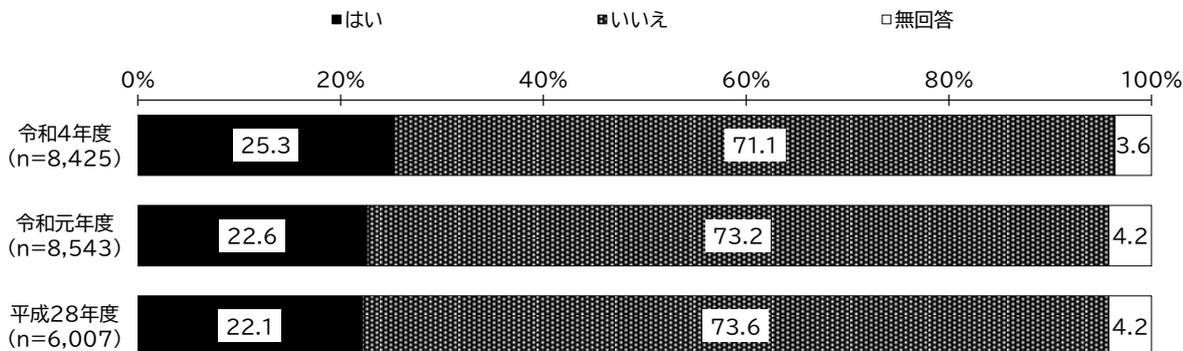
図表-147 基本属性別 気分の沈み、ゆううつな気持ち

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	38.3	58.7	3.0
性別	男性	3,543	34.7	62.5	2.8
	女性	4,758	41.0	56.3	2.7
年齢別	65～69歳	2,177	38.4	59.9	1.7
	70～74歳	2,425	38.4	59.3	2.4
	75～79歳	1,431	38.7	58.5	2.8
	80～84歳	1,226	37.1	58.8	4.1
	85～89歳	747	39.5	56.5	4.0
	90歳以上	276	36.6	56.9	6.5
圏域別	石嶺	547	38.6	58.0	3.5
	大名	465	35.5	60.6	3.9
	城西	492	36.2	61.4	2.4
	繁多川	428	36.4	60.5	3.0
	松川	458	40.6	56.3	3.1
	松島	459	37.7	59.5	2.8
	識名	506	38.9	58.5	2.6
	安里	451	39.7	57.4	2.9
	古波蔵	451	43.5	54.5	2.0
	国場	436	38.8	57.6	3.7
	新都心	495	39.2	58.0	2.8
	安謝	437	39.6	58.1	2.3
	泊	435	36.8	60.0	3.2
	若狭	399	39.6	57.1	3.3
	城岳	453	40.4	57.2	2.4
	かなぐすく	404	33.4	64.4	2.2
小祿	505	36.8	62.2	1.0	
高良	451	37.5	59.4	3.1	
認定別	一般高齢者	7,251	36.9	60.8	2.3
	総合事業利用者	111	47.7	47.7	4.5
	要支援認定者	477	55.1	40.5	4.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) この一カ月での興味・楽しみの減退【必須項目】

図表－148 興味・楽しみの減退



興味・楽しみの減退については、「いいえ(なかった)」の割合が71.1%で最も高く、「はい(あった)」は25.3%である。

経年比較すると、「はい(あった)」の割合が年々増加している。

年齢別では、年齢階級が上がるとう「いいえ(なかった)」の割合が減少し、「はい(あった)」の割合が増加している。

圏域別では、古波蔵圏域は「はい(あった)」の割合が29.0%で市平均よりも3.7ポイント高い。また、かなぐすく圏域は「いいえ(なかった)」が76.2%で市平均よりも5.1ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「はい(あった)」の割合が45.3%で市平均より20.0ポイント高い。

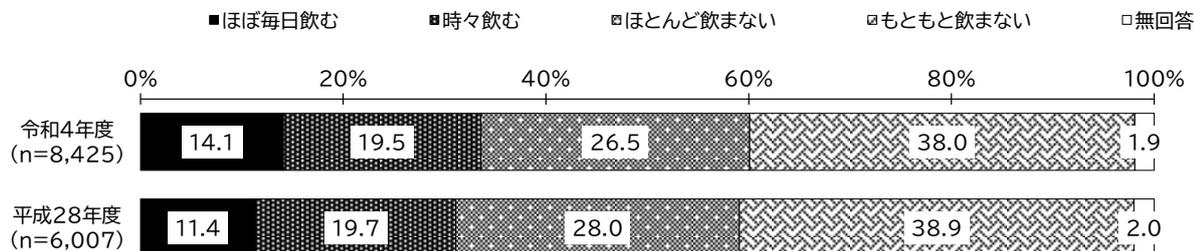
図表-149 基本属性別 興味・楽しみの減退

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	25.3	71.1	3.6
性別	男性	3,543	25.2	71.5	3.3
	女性	4,758	25.3	71.2	3.5
年齢別	65～69歳	2,177	23.4	74.9	1.7
	70～74歳	2,425	24.2	73.1	2.7
	75～79歳	1,431	25.3	70.4	4.3
	80～84歳	1,226	25.6	69.4	5.0
	85～89歳	747	31.1	63.3	5.6
	90歳以上	276	30.4	62.3	7.2
圏域別	石嶺	547	25.8	69.5	4.8
	大名	465	21.9	74.0	4.1
	城西	492	23.0	74.6	2.4
	繁多川	428	26.4	70.6	3.0
	松川	458	26.2	69.7	4.1
	松島	459	23.1	72.3	4.6
	識名	506	25.9	69.6	4.5
	安里	451	28.6	67.6	3.8
	古波蔵	451	29.0	67.2	3.8
	国場	436	26.4	70.2	3.4
	新都心	495	23.8	72.3	3.8
	安謝	437	28.1	69.6	2.3
	泊	435	21.4	75.6	3.0
	若狭	399	25.3	71.7	3.0
	城岳	453	28.5	68.0	3.5
	かなぐすく	404	21.8	76.2	2.0
	小祿	505	25.5	73.3	1.2
高良	451	24.6	71.4	4.0	
認定別	一般高齢者	7,251	23.4	73.7	2.9
	総合事業利用者	111	34.2	62.2	3.6
	要支援認定者	477	45.3	50.1	4.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 飲酒状況【必須項目】

図表-150 飲酒状況



飲酒状況について、「もともと飲まない」の割合が**38.0%**高い。次いで、「ほとんど飲まない」が**26.5%**である。

平成28年度と比較すると、「ほぼ毎日飲む」の割合が増加している。

性別では、「ほぼ毎日飲む」の割合は男性で**27.4%**、女性**4.2%**で男性が高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」の割合が減少していく。

圏域別では、「もともと飲まない」の割合が繁多川圏域で**43.7%**が最も高く、市平均よりも**5.7**ポイント高い。一方「ほぼ毎日飲む」は小禄圏域の**16.2%**が最も高く、市平均よりも**2.1**ポイント高い。

認定別では、総合事業利用者の「ほとんど飲まない」の割合が**27.9%**と最も高く、要支援認定者では「もともと飲まない」の割合が**56.2%**と市平均よりも**18.2**ポイント高い。

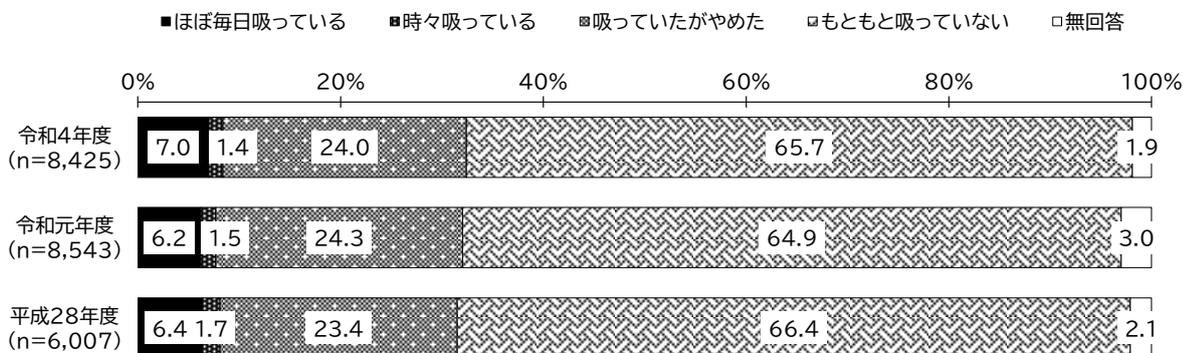
図表-151 基本属性別 飲酒状況

		(%)					
		調査数 (人)	ほぼ 毎日 飲む	時々 飲む	ほとん ど飲 まない	も とも と飲 まない	無 回 答
全体		8,425	14.1	19.5	26.5	38.0	1.9
性別	男性	3,543	27.4	26.6	28.5	15.3	2.1
	女性	4,758	4.2	14.0	25.3	55.1	1.4
年齢別	65～69歳	2,177	22.5	24.5	26.8	25.2	1.1
	70～74歳	2,425	16.0	20.1	27.9	34.4	1.6
	75～79歳	1,431	10.1	19.9	27.0	41.2	1.9
	80～84歳	1,226	8.2	16.0	25.5	48.0	2.4
	85～89歳	747	5.2	11.5	24.5	55.7	3.1
	90歳以上	276	4.3	7.2	24.3	62.0	2.2
圏域別	石嶺	547	14.1	17.9	25.2	39.7	3.1
	大名	465	10.5	21.1	25.8	40.9	1.7
	城西	492	14.8	20.5	24.0	39.0	1.6
	繁多川	428	12.4	16.6	25.0	43.7	2.3
	松川	458	11.6	19.0	26.6	40.4	2.4
	松島	459	13.9	23.3	26.8	34.2	1.7
	識名	506	12.3	21.1	26.5	38.5	1.6
	安里	451	15.1	20.2	22.4	40.4	2.0
	古波蔵	451	14.4	19.7	27.1	37.9	0.9
	国場	436	15.8	17.0	30.3	35.1	1.8
	新都心	495	16.0	19.8	25.5	36.6	2.2
	安謝	437	13.7	18.8	27.9	38.4	1.1
	泊	435	14.7	18.6	29.0	35.4	2.3
	若狭	399	14.8	21.1	30.8	31.8	1.5
	城岳	453	13.9	21.0	25.4	38.9	0.9
	かなぐすく	404	15.3	20.0	26.7	35.9	2.0
小祿	505	16.2	15.2	29.3	39.2	-	
高良	451	14.6	19.5	26.4	37.9	1.6	
認定別	一般高齢者	7,251	15.2	20.5	26.7	36.2	1.4
	総合事業利用者	111	7.2	11.7	27.9	51.4	1.8
	要支援認定者	477	5.7	7.8	27.3	56.2	3.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 喫煙状況【必須項目】

図表－152 喫煙状況



喫煙状況については、「もともと吸っていない」の割合が**65.7%**で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が**24.0%**、「ほぼ毎日吸っている」が**7.0%**、「時々吸っている」が**1.4%**である。

経年比較すると、喫煙状況の傾向に差はほとんどみられない。

性別では、男性は「もともと吸っていない」の割合が**35.9%**と市平均と比較し、**29.8**ポイント低く、「吸っていたがやめた」が**47.6%**で市平均よりも**23.6**ポイント高い。

年齢別でみると、「ほぼ毎日吸っている」の割合は階級が上がるほど低い。

圏域別では、古波蔵圏域は「ほぼ毎日吸っている」の割合が**9.8%**で市平均よりも**2.8%**高い。次いで小禄圏域**9.1%**、泊圏域**8.3%**、識名圏域**8.1%**と高い。

認定別では、総合事業利用者は「もともと吸っていない」の割合が**73.9%**と市平均より**8.2**ポイント高い。

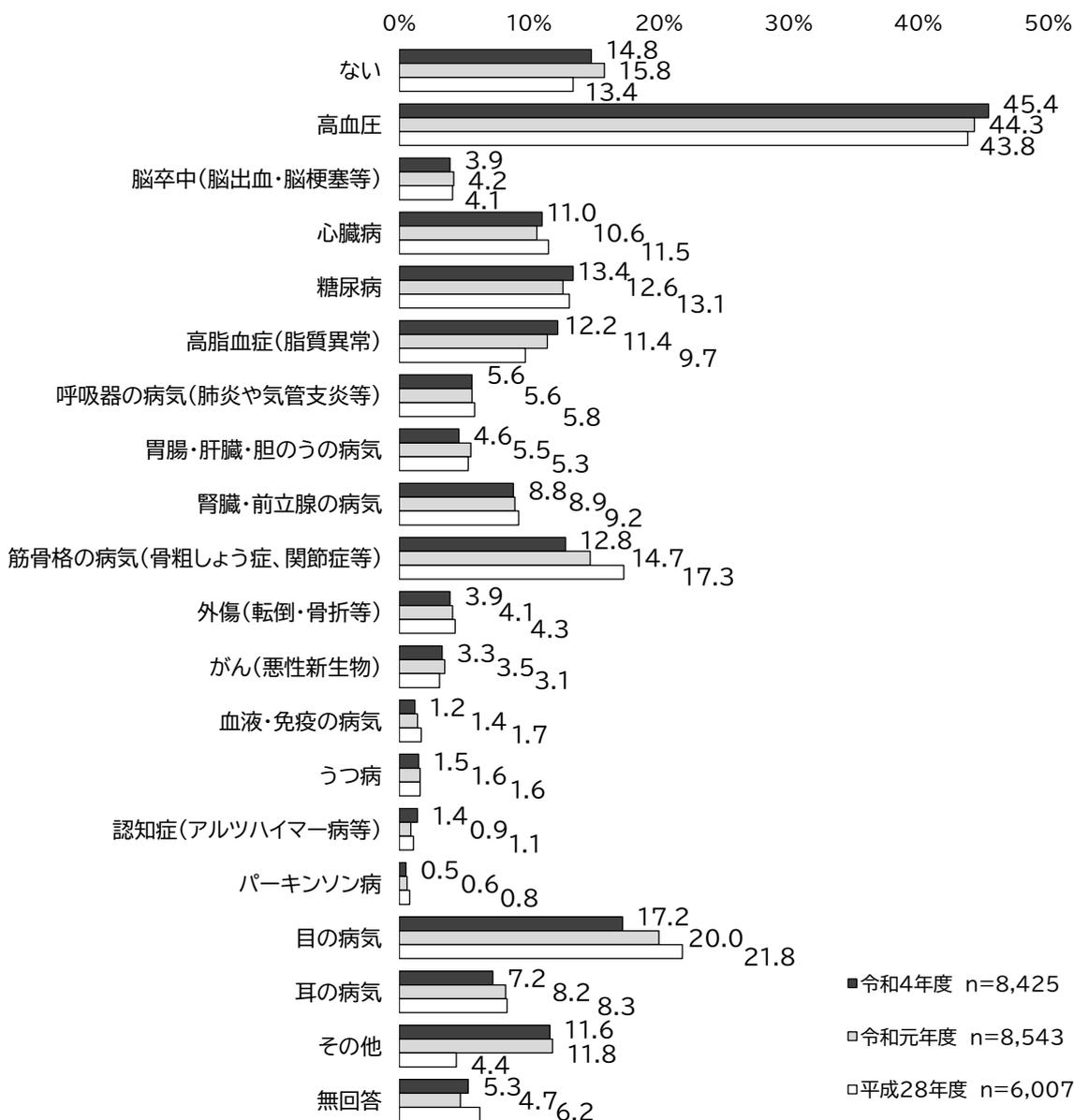
図表-153 基本属性別 喫煙状況

		(%)					
		調査数 (人)	ほぼ毎日 吸っている	時々吸 っている	吸って いたがや めた	もとも と吸って いない	無回 答
全体		8,425	7.0	1.4	24.0	65.7	1.9
性別	男性	3,543	12.3	2.3	47.6	35.9	1.9
	女性	4,758	3.0	0.7	6.7	88.0	1.6
年齢別	65～69歳	2,177	12.6	1.9	28.8	55.6	1.1
	70～74歳	2,425	7.4	1.4	26.8	62.8	1.5
	75～79歳	1,431	5.3	1.4	21.0	70.4	1.8
	80～84歳	1,226	2.2	1.1	19.7	74.5	2.5
	85～89歳	747	2.0	0.7	17.5	76.7	3.1
	90歳以上	276	1.4	-	20.3	76.1	2.2
圏域別	石嶺	547	6.8	1.3	23.0	66.2	2.7
	大名	465	4.9	1.3	20.2	71.6	1.9
	城西	492	5.9	1.0	23.4	68.1	1.6
	繁多川	428	4.7	1.2	22.7	68.9	2.6
	松川	458	7.0	2.6	23.6	64.4	2.4
	松島	459	6.5	1.1	25.9	64.7	1.7
	識名	506	8.1	0.4	23.3	66.8	1.4
	安里	451	7.1	1.8	24.8	64.1	2.2
	古波蔵	451	9.8	1.8	24.6	62.7	1.1
	国場	436	7.1	0.9	24.3	65.6	2.1
	新都心	495	5.5	1.2	25.9	65.9	1.6
	安謝	437	8.0	2.1	23.8	64.8	1.4
	泊	435	8.3	1.4	23.0	65.5	1.8
	若狭	399	7.3	1.3	28.1	61.4	2.0
	城岳	453	7.3	0.7	23.2	67.8	1.1
	かなぐすく	404	6.7	3.0	24.8	64.1	1.5
小祿	505	9.1	1.2	25.9	63.8	-	
高良	451	5.3	1.3	23.5	68.3	1.6	
認定別	一般高齢者	7,251	7.2	1.4	25.1	64.8	1.4
	総合事業利用者	111	8.1	4.5	10.8	73.9	2.7
	要支援認定者	477	4.6	0.6	19.7	72.1	2.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 治療中、または後遺症のある病気【必須項目】

図表-154 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】



治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」の割合が45.4%で最も高く、次いで「目の病気」が17.2%、「ない」が14.8%、「糖尿病」が13.4%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が12.8%である。

経年比較すると、「高血圧」の割合が年々増加している一方で、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「目の病気」の割合が年々減少している。

性別では、男性は「高血圧」48.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」5.8%、「心臓病」14.3%、「糖尿病」17.4%、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」4.7%、「腎臓・前立腺の病気」の割合は17.1%などで市平均よりも高い。一方、女性は「高脂血症(脂質異常)」14.3%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」19.6%、「外傷(転倒、骨折等)」4.9%、「目の病気」の割合が18.3%などで市平均よりも高い。

年齢別では、「高血圧」、「心臓病」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「外傷(転倒、骨折等)」、「認知症(アルツハイマー病等)」、「目の病気」、「耳の病気」の割合が年齢階級の高い回答者で増加する傾向にある。一方、「ない」や「高脂血症(脂質異常)」は年齢階級が低い回答者で高い。

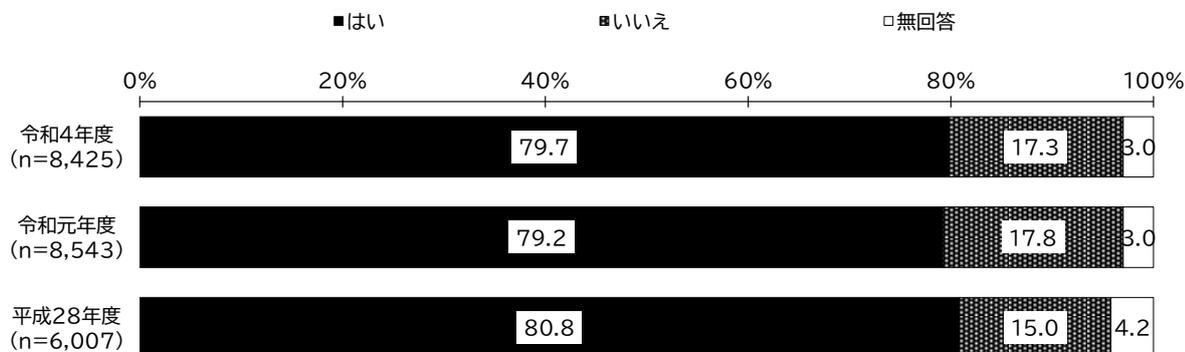
図表-155 基本属性別 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】

		調査数 (人)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		8,425	14.8	45.4	3.9	11.0	13.4	12.2	5.6	4.6	8.8	12.8	3.9	3.3	1.2	1.5	1.4	0.5	17.2	7.2	11.6	5.3
性別	男性	3,543	14.6	48.7	5.8	14.3	17.4	9.6	5.4	4.7	17.1	3.8	2.4	3.3	1.0	1.2	1.5	0.5	15.9	7.6	10.5	4.7
	女性	4,758	15.2	42.9	2.5	8.5	10.5	14.3	5.7	4.5	2.5	19.6	4.9	3.3	1.3	1.7	1.3	0.5	18.3	6.8	12.6	5.4
年齢別	65～69歳	2,177	22.8	38.0	2.8	6.9	12.5	13.3	4.6	4.0	5.4	8.0	1.5	2.6	1.5	2.2	0.3	0.2	11.7	3.5	11.9	5.2
	70～74歳	2,425	17.2	42.1	3.5	8.9	13.6	13.6	4.7	4.2	7.4	10.6	2.9	3.4	1.0	1.6	0.5	0.3	16.8	5.5	11.5	5.2
	75～79歳	1,431	9.7	50.7	4.6	13.1	14.9	13.1	6.1	5.0	10.2	15.4	4.4	4.4	1.0	1.5	1.2	0.8	20.4	7.3	11.9	5.5
	80～84歳	1,226	8.7	52.5	4.7	14.0	14.4	10.1	7.2	5.5	12.2	16.8	6.2	4.2	1.2	0.7	1.8	0.8	20.1	10.3	11.8	5.1
	85～89歳	747	7.8	52.2	5.0	17.9	12.3	9.1	6.3	5.8	12.9	18.6	6.4	2.1	1.2	0.8	4.8	0.7	22.4	14.3	12.0	4.8
	90歳以上	276	6.9	54.7	6.2	17.0	10.9	8.3	9.1	4.0	12.7	26.4	9.8	1.8	0.7	0.7	8.0	0.4	24.6	17.0	9.1	4.0
圏域別	石嶺	547	13.9	45.5	4.8	9.5	14.8	12.2	4.9	5.3	9.0	15.2	2.9	3.3	1.3	1.1	0.9	0.7	16.8	8.0	12.4	5.5
	大名	465	16.3	41.5	3.4	11.6	11.6	12.9	6.5	4.1	7.7	13.8	4.5	2.4	0.6	1.3	1.3	0.2	14.6	6.9	13.1	5.2
	城西	492	18.5	43.9	3.9	10.6	10.4	14.4	4.9	3.5	11.0	13.0	1.4	4.9	1.2	1.4	1.6	0.4	20.1	9.3	11.0	3.3
	繁多川	428	10.7	52.3	3.0	13.1	13.1	13.6	4.4	3.5	10.3	15.0	4.0	2.3	0.9	0.5	2.8	0.9	19.2	9.3	10.5	7.0
	松川	458	13.8	43.7	4.4	11.6	12.4	12.2	5.0	6.3	10.3	13.5	3.7	3.7	0.7	2.0	1.3	1.1	20.3	9.4	11.8	5.5
	松島	459	14.6	47.1	3.3	10.9	14.2	13.9	6.5	3.3	8.7	10.9	3.9	3.7	0.7	1.7	0.4	-	15.9	6.1	12.2	4.8
	識名	506	15.2	43.5	4.3	10.7	13.0	14.6	5.7	4.3	10.9	14.4	4.9	3.4	1.2	1.2	1.2	0.6	20.6	6.9	10.5	4.7
	安里	451	15.3	43.5	3.8	11.3	13.5	12.9	7.3	4.4	7.5	13.3	2.4	2.9	1.3	0.7	1.3	0.7	17.3	6.2	11.3	5.5
	古波蔵	451	10.2	52.8	6.0	11.1	14.9	15.1	4.7	6.0	8.9	16.2	5.3	3.3	2.0	2.9	0.9	0.4	20.4	7.3	12.9	4.9
	国場	436	13.8	48.6	2.5	11.0	15.6	11.5	7.1	4.6	8.9	9.6	4.4	3.7	1.1	3.0	1.8	0.2	21.6	10.1	10.8	4.8
	新都心	495	12.9	41.4	4.0	10.3	10.7	12.3	6.1	4.4	8.5	11.1	3.8	4.4	1.4	1.4	0.8	0.4	16.8	7.7	15.2	5.3
	安謝	437	19.9	40.5	4.6	12.6	13.3	9.2	4.6	4.1	6.9	11.7	4.6	3.0	1.4	2.3	2.7	-	12.6	8.2	8.9	6.2
	泊	435	16.1	44.6	3.4	11.3	13.6	12.9	4.4	4.4	10.1	8.5	3.9	3.2	1.8	0.9	0.9	0.2	15.4	3.7	14.5	5.7
	若狭	399	16.0	47.6	3.3	14.0	16.0	12.0	5.3	4.5	7.5	12.0	2.8	2.5	1.8	2.5	1.8	0.8	17.5	5.3	6.8	4.3
	城岳	453	15.9	47.2	5.7	10.4	13.0	12.8	6.8	5.7	8.2	15.5	5.7	3.8	1.5	1.8	1.5	0.9	14.6	6.4	11.7	2.9
	かなぐすく	404	15.6	48.3	3.0	10.1	13.1	10.9	5.9	6.7	5.4	10.9	2.5	3.0	0.7	0.7	1.2	0.2	16.3	6.9	12.4	5.7
	小祿	505	14.7	43.6	3.2	7.9	14.5	8.9	5.5	4.6	7.7	11.9	4.6	2.2	1.4	1.0	2.0	0.4	16.4	5.5	12.3	6.5
高良	451	15.1	43.7	2.9	10.2	14.9	9.5	4.7	3.3	8.9	14.4	4.0	3.3	0.2	1.3	1.3	0.7	14.2	5.3	10.9	4.4	
認定別	一般高齢者	7,251	16.3	44.6	3.0	10.1	13.1	12.8	5.1	4.4	8.4	11.6	3.0	3.3	1.0	1.4	0.8	0.3	16.8	6.5	11.6	4.9
	総合事業利用者	111	9.9	53.2	9.9	12.6	13.5	12.6	15.3	9.9	8.1	25.2	10.8	3.6	2.7	3.6	6.3	1.8	22.5	14.4	15.3	2.7
	要支援認定者	477	0.4	57.0	13.4	21.0	17.4	9.9	9.0	7.1	12.4	28.7	13.8	3.8	2.5	3.1	8.8	2.7	25.4	13.0	14.7	4.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) かかりつけ医の有無【市独自項目】

図表-156 かかりつけ医の有無



かかりつけ医の有無については、「はい(いる)」の割合が**79.7%**、「いいえ(いない)」が**17.3%**である。

令和元年度と比較すると、かかりつけ医の有無の傾向に差はほとんどみられない。

性別では、男性は「はい(いる)」が**78.0%**、女性は**81.0%**である。「いいえ(いない)」は男性**19.0%**、女性**16.2%**である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(いる)」の割合が増加する。**65～69歳**では「いいえ(いない)」が**25.2%**、**70～74歳**では**20.5%**と市平均よりも**3～8ポイント**高い。

圏域別では、小禄圏域は「いいえ(いない)」の割合が**20.6%**と市平均よりも**3.3ポイント**高い。

認定別では、要支援認定者は「はい(いる)」の割合が**91.8%**、次いで総合事業利用者が**90.1%**である。

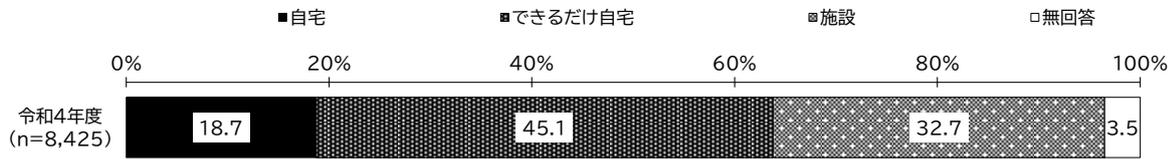
図表-157 基本属性別 かかりつけ医の有無

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	79.7	17.3	3.0
性別	男性	3,543	78.0	19.0	3.0
	女性	4,758	81.0	16.2	2.8
年齢別	65～69歳	2,177	73.2	25.2	1.7
	70～74歳	2,425	76.7	20.5	2.7
	75～79歳	1,431	83.8	13.3	2.9
	80～84歳	1,226	86.0	9.9	4.2
	85～89歳	747	87.0	8.3	4.7
	90歳以上	276	89.5	7.6	2.9
圏域別	石嶺	547	80.8	15.4	3.8
	大名	465	78.1	19.4	2.6
	城西	492	78.5	18.7	2.8
	繁多川	428	80.4	16.1	3.5
	松川	458	78.8	17.2	3.9
	松島	459	82.4	14.4	3.3
	識名	506	78.5	18.6	3.0
	安里	451	79.8	18.0	2.2
	古波蔵	451	80.9	16.0	3.1
	国場	436	78.4	18.1	3.4
	新都心	495	78.2	18.0	3.8
	安謝	437	76.4	20.1	3.4
	泊	435	81.8	15.6	2.5
	若狭	399	79.7	17.5	2.8
	城岳	453	82.1	16.1	1.8
	かなぐすく	404	81.4	16.6	2.0
	小祿	505	78.6	20.6	0.8
高良	451	80.9	16.9	2.2	
認定別	一般高齢者	7,251	78.7	18.7	2.5
	総合事業利用者	111	90.1	8.1	1.8
	要支援認定者	477	91.8	4.8	3.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(9) 希望する要介護状態時期の居所【市独自項目】

図表－158 希望する要介護状態時期の居所



希望する介護状態時期の居所については、「できるだけ自宅」の割合が45.1%で最も高く、次いで「自宅」が32.7%、「自宅」が18.7%である。

性別では、男性は「自宅」の割合が21.8%で市平均と比べ3.1ポイント高い。女性は「できるだけ自宅」45.9%、市平均と比べ0.8ポイント高い。

年齢別では、「施設」の割合は年齢階級が高い回答者で割合が低くなる(80～84歳で32.3%、85～89歳で29.2%、90歳以上でやや減少し24.3%)。

圏域別では、繁多川圏域は「できるだけ自宅」の割合が50.0%と市平均よりも4.9ポイント高い一方、「施設」28.0%と市平均よりも4.7ポイント低い。

認定別では、総合事業利用者は「できるだけ自宅」の割合が49.5%と市平均よりも4.4ポイント高い。

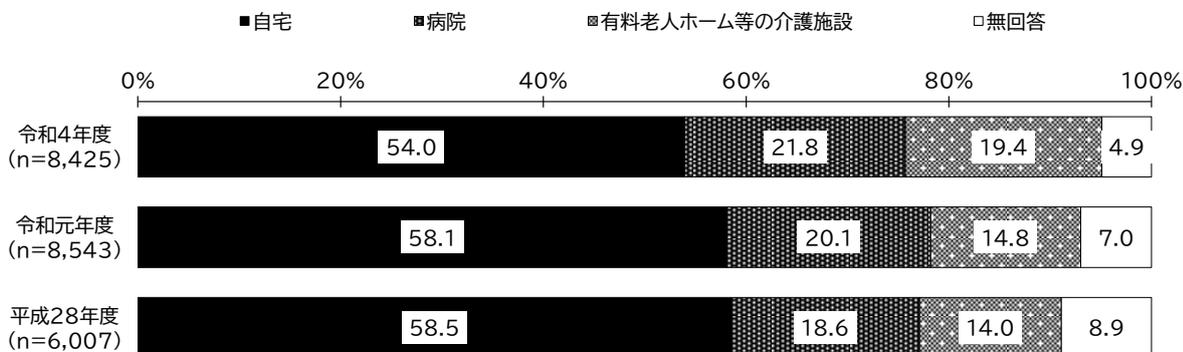
図表-159 基本属性別 希望する要介護状態時期の居所

		調査数 (人)	自宅	できるだけ 自宅	施設	無回答
全体		8,425	18.7	45.1	32.7	3.5
性別	男性	3,543	21.8	44.3	30.8	3.2
	女性	4,758	16.4	45.9	34.2	3.4
年齢別	65～69歳	2,177	17.7	46.2	34.0	2.1
	70～74歳	2,425	16.6	46.8	33.1	3.5
	75～79歳	1,431	19.4	42.9	34.2	3.5
	80～84歳	1,226	19.5	44.0	32.3	4.2
	85～89歳	747	24.0	42.3	29.2	4.6
	90歳以上	276	23.9	47.8	24.3	4.0
圏域別	石嶺	547	19.9	41.0	35.3	3.8
	大名	465	17.6	48.4	30.1	3.9
	城西	492	18.7	47.0	31.3	3.0
	繁多川	428	17.5	50.0	28.0	4.4
	松川	458	17.5	48.5	30.1	3.9
	松島	459	17.9	42.7	36.4	3.1
	識名	506	18.8	47.4	30.8	3.0
	安里	451	20.6	40.4	35.7	3.3
	古波蔵	451	14.4	47.5	34.8	3.3
	国場	436	20.9	45.9	30.0	3.2
	新都心	495	16.0	44.8	36.0	3.2
	安謝	437	19.7	45.5	32.7	2.1
	泊	435	19.3	40.0	37.0	3.7
	若狭	399	20.1	42.1	33.3	4.5
	城岳	453	16.3	45.7	34.4	3.5
	かなぐすく	404	19.8	45.8	30.9	3.5
小祿	505	18.2	49.3	30.1	2.4	
高良	451	24.4	42.8	30.2	2.7	
認定別	一般高齢者	7,251	18.8	45.4	33.0	2.8
	総合事業利用者	111	12.6	49.5	36.0	1.8
	要支援認定者	477	21.4	45.1	30.4	3.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(10)希望する終末期の居所【市独自項目】

図表－160 希望する終末期の居所



希望する終末期の居所については、「自宅」の割合が**54.0%**で最も高く、次いで「病院」が**21.8%**、「有料老人ホーム等の介護施設」が**19.4%**である。

経年比較すると、「自宅」の割合が年々減少している。

性別では、「自宅」の割合が男性で**60.3%**、女性**49.4%**でともに最も高い。

年齢別では、「自宅」の割合は年齢階級が高い回答者で割合が高くなる（**80～84歳**で**55.2%**、**85～89歳**で**59.0%**、**90歳****61.6%**）。

圏域別では、高良圏域は「自宅」の割合が**62.7%**で市平均よりも**8.7**ポイント高い。松島圏域は「病院」が**26.6%**で市平均よりも**4.8**ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「自宅」の割合が**56.0%**と市平均よりも**2.0**ポイント高い。

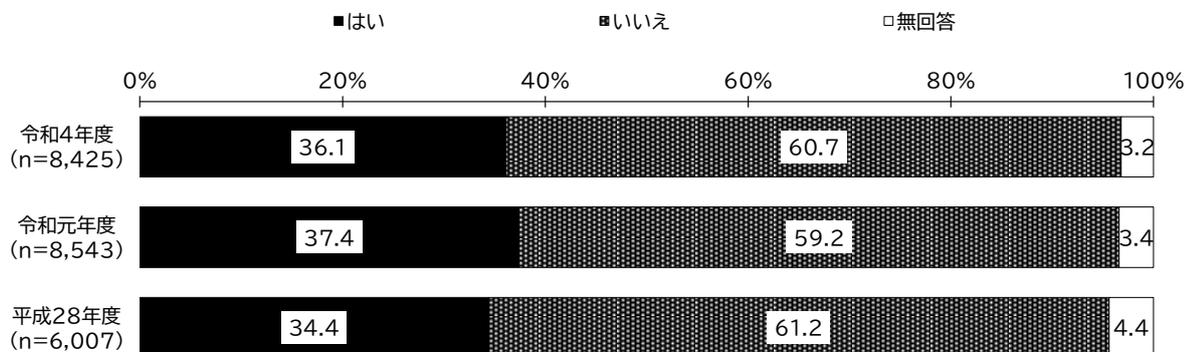
図表-161 基本属性別 希望する終末期の居所

		調査数 (人)	自宅	病院	有料老人ホーム等の介護施設	無回答
全体		8,425	54.0	21.8	19.4	4.9
性別	男性	3,543	60.3	19.5	16.3	3.9
	女性	4,758	49.4	23.5	21.9	5.2
年齢別	65～69歳	2,177	52.6	22.0	22.2	3.1
	70～74歳	2,425	53.2	21.6	20.2	5.1
	75～79歳	1,431	52.9	23.4	18.4	5.2
	80～84歳	1,226	55.2	21.4	17.8	5.6
	85～89歳	747	59.0	20.6	15.4	5.0
	90歳以上	276	61.6	18.5	14.1	5.8
圏域別	石嶺	547	51.2	24.1	19.6	5.1
	大名	465	55.3	19.1	19.8	5.8
	城西	492	53.7	20.3	21.5	4.5
	繁多川	428	57.0	20.1	16.1	6.8
	松川	458	51.7	22.5	20.5	5.2
	松島	459	49.0	26.6	19.4	5.0
	識名	506	53.8	21.3	20.8	4.2
	安里	451	53.2	23.9	18.6	4.2
	古波蔵	451	57.0	23.3	16.2	3.5
	国場	436	60.1	18.8	17.2	3.9
	新都心	495	50.1	23.4	21.4	5.1
	安謝	437	54.9	19.9	20.6	4.6
	泊	435	49.4	21.8	23.0	5.7
	若狭	399	51.1	22.6	21.8	4.5
	城岳	453	49.2	24.7	22.1	4.0
	かなぐすく	404	56.9	19.8	17.6	5.7
小祿	505	58.4	21.0	16.8	3.8	
高良	451	62.7	18.4	15.7	3.1	
認定別	一般高齢者	7,251	54.3	21.7	19.8	4.2
	総合事業利用者	111	50.5	25.2	20.7	3.6
	要支援認定者	477	56.0	20.8	18.0	5.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(11) 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望の伝達状況【市独自項目】

図表－162 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望



終末期の医療、介護、延命措置に関する要望を家族等に伝えているかについては、「いいえ(伝えていない)」の割合が60.7%、「はい(伝えている)」が36.1%である。

経年比較すると、ほとんど差はみられない。

性別では、女性は「はい(伝えている)」の割合が39.8%で男性31.3%より高く、男性は「いいえ(伝えていない)」が65.7%で女性57.1%より高い。

年齢別では、90歳以上で「はい(伝えている)」の割合が44.6%と市平均よりも8.5ポイント高い。

圏域別では、かなぐすく圏域は「はい(伝えている)」の割合が39.9%で市平均よりも3.8ポイント高く、国場圏域30.3%は市平均よりも5.8ポイント低い。

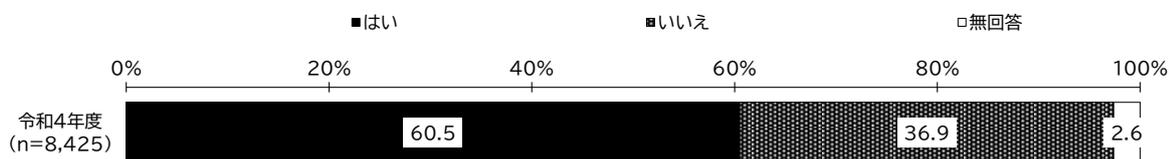
図表-163 基本属性別 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	36.1	60.7	3.2
性別	男性	3,543	31.3	65.7	3.0
	女性	4,758	39.8	57.1	3.0
年齢別	65～69歳	2,177	32.9	65.5	1.6
	70～74歳	2,425	35.6	61.6	2.8
	75～79歳	1,431	37.1	59.9	3.0
	80～84歳	1,226	38.6	56.7	4.7
	85～89歳	747	38.7	56.4	5.0
	90歳以上	276	44.6	51.4	4.0
圏域別	石嶺	547	32.7	63.3	4.0
	大名	465	36.3	59.8	3.9
	城西	492	36.4	61.0	2.6
	繁多川	428	36.9	58.6	4.4
	松川	458	38.2	59.0	2.8
	松島	459	37.5	59.9	2.6
	識名	506	36.8	60.3	3.0
	安里	451	33.0	63.6	3.3
	古波蔵	451	38.1	58.8	3.1
	国場	436	30.3	66.5	3.2
	新都心	495	38.2	59.0	2.8
	安謝	437	36.4	62.0	1.6
	泊	435	37.2	59.5	3.2
	若狭	399	34.1	63.4	2.5
	城岳	453	36.4	60.9	2.6
	かなぐすく	404	39.9	57.7	2.5
	小祿	505	35.6	62.4	2.0
高良	451	36.6	60.1	3.3	
認定別	一般高齢者	7,251	36.2	61.5	2.3
	総合事業利用者	111	45.0	49.5	5.4
	要支援認定者	477	38.4	56.8	4.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(12) 自宅での医療ケア受診の認知【必須項目】

図表-164 自宅での医療ケア受診の認知



自宅での医療ケア受診の認知については、「はい(いる)」の割合が**60.5%**、「いいえ(いない)」が**36.9%**である。

性別では、男性は「はい(いる)」が**52.1%**、女性は**67.3%**である。「いいえ(いない)」は男性**45.2%**、女性**30.5%**である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(いる)」の割合が**80～84歳**を除き低下する。一方、**90歳以上**では「いいえ(いない)」が**41.3%**、**80～84歳**では**39.9%**と低い。

圏域別では、国場圏域は「いいえ(いない)」の割合が**43.8%**と市平均よりも**6.9**ポイント高い。

認定別では、一般高齢者は「はい(いる)」の割合が**62.1%**、次いで総合事業利用者が**58.6%**となっている。

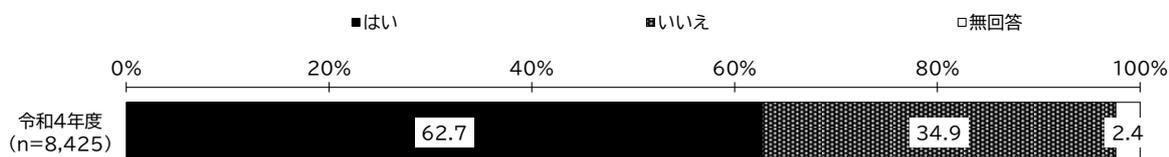
図表-165 基本属性別 自宅での医療ケア受診の認知

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	60.5	36.9	2.6
性別	男性	3,543	52.1	45.2	2.6
	女性	4,758	67.3	30.5	2.2
年齢別	65～69歳	2,177	63.5	35.1	1.4
	70～74歳	2,425	62.1	35.6	2.3
	75～79歳	1,431	60.5	36.4	3.1
	80～84歳	1,226	56.9	39.9	3.2
	85～89歳	747	57.2	39.1	3.7
	90歳以上	276	56.9	41.3	1.8
圏域別	石嶺	547	67.8	29.3	2.9
	大名	465	65.4	32.5	2.2
	城西	492	62.0	36.2	1.8
	繁多川	428	56.3	40.4	3.3
	松川	458	59.2	37.6	3.3
	松島	459	63.0	34.2	2.8
	識名	506	59.9	37.7	2.4
	安里	451	57.9	39.9	2.2
	古波蔵	451	59.0	38.6	2.4
	国場	436	53.4	43.8	2.8
	新都心	495	60.4	37.0	2.6
	安謝	437	57.2	41.0	1.8
	泊	435	64.4	33.1	2.5
	若狭	399	58.6	39.1	2.3
	城岳	453	62.7	35.5	1.8
	かなぐすく	404	64.1	33.9	2.0
	小祿	505	58.0	41.0	1.0
高良	451	63.4	34.1	2.4	
認定別	一般高齢者	7,251	62.1	36.1	1.9
	総合事業利用者	111	58.6	36.9	4.5
	要支援認定者	477	53.5	43.2	3.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(13) 特定健診や長寿健診の受診の状況【必須項目】

図表－166 特定健診や長寿健診の受診の状況



特定健診や長寿健診の受診状況については、「はい(受けている)」の割合が**62.7%**、「いいえ(受けていない)」が**34.9%**である。

性別では、男性は「はい(受けている)」が**61.6%**、女性は**64.0%**である。「いいえ(受けていない)」の割合は男性**36.0%**、女性**33.9%**である。

年齢別では、年齢階級が**90歳以上**では「いいえ(受けていない)」の割合が**40.6%**と高く、**80～84歳**では**33.1%**となっている。

圏域別では、古波蔵圏域は「いいえ(受けていない)」の割合が**43.2%**と市平均よりも**8.3ポイント**高い。

認定別では、一般高齢者は「はい(受けている)」の割合が**64.1%**、次いで総合事業利用者が**56.8%**になっている。

図表-167 基本属性別 特定健診や長寿健診の受診の状況

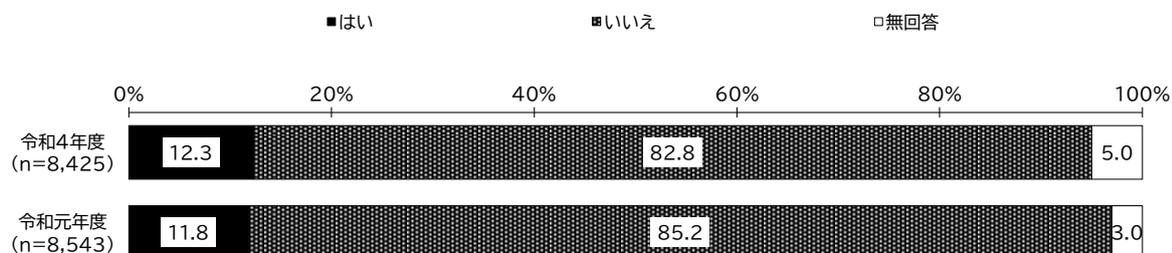
			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	62.7	34.9	2.4
性別	男性	3,543	61.6	36.0	2.4
	女性	4,758	64.0	33.9	2.1
年齢別	65～69歳	2,177	62.9	35.7	1.4
	70～74歳	2,425	62.7	35.2	2.1
	75～79歳	1,431	64.2	33.2	2.6
	80～84歳	1,226	63.7	33.1	3.2
	85～89歳	747	62.7	34.0	3.3
	90歳以上	276	57.6	40.6	1.8
圏域別	石嶺	547	66.0	31.3	2.7
	大名	465	68.4	30.1	1.5
	城西	492	66.9	31.1	2.0
	繁多川	428	63.6	33.2	3.3
	松川	458	62.7	34.5	2.8
	松島	459	64.1	33.3	2.6
	識名	506	61.9	35.2	3.0
	安里	451	59.6	38.1	2.2
	古波蔵	451	55.0	43.2	1.8
	国場	436	60.3	36.9	2.8
	新都心	495	66.1	31.3	2.6
	安謝	437	61.6	37.1	1.4
	泊	435	61.8	35.9	2.3
	若狭	399	58.9	39.6	1.5
	城岳	453	64.5	34.2	1.3
	かなぐすく	404	67.1	31.4	1.5
	小祿	505	60.4	38.4	1.2
高良	451	63.0	34.1	2.9	
認定別	一般高齢者	7,251	64.1	34.0	1.9
	総合事業利用者	111	56.8	40.5	2.7
	要支援認定者	477	53.2	43.0	3.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について【問8】

(1) 認知症の症状の有無【必須項目】

図表-168 認知症の症状の有無



認知症の症状がある、または認知症の症状がある家族がいるかについては、「いいえ」の割合が82.8%で、「はい」が12.3%である。

令和元年度と比較すると、「いいえ」の割合が2.4ポイント低い。

年齢別では、90歳以上で「はい」の割合が18.5%と市平均よりも6.2ポイント高い。次いで85～89歳が17.7%になっている。

圏域別では、「はい」の割合が石嶺圏域14.6%、安謝圏域14.4%で市平均よりも2.0ポイント高い。

認定別では、要支援認定者は「はい」の割合が一般高齢者11.7%よりも9.7ポイント高く21.4%になっている。

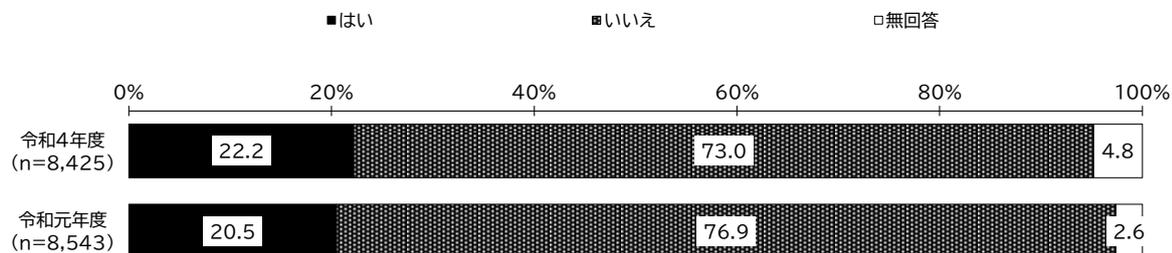
図表-169 基本属性別 認知症の症状の有無

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	12.3	82.8	5.0
性別	男性	3,543	12.2	83.0	4.7
	女性	4,758	12.3	82.9	4.8
年齢別	65～69歳	2,177	14.0	82.7	3.3
	70～74歳	2,425	10.8	84.7	4.5
	75～79歳	1,431	9.6	85.0	5.4
	80～84歳	1,226	10.6	83.0	6.4
	85～89歳	747	17.7	76.3	6.0
	90歳以上	276	18.5	75.7	5.8
圏域別	石嶺	547	14.6	80.8	4.6
	大名	465	11.4	84.1	4.5
	城西	492	12.0	83.3	4.7
	繁多川	428	12.9	81.8	5.4
	松川	458	12.2	82.8	5.0
	松島	459	13.5	83.2	3.3
	識名	506	13.2	81.6	5.1
	安里	451	11.8	82.9	5.3
	古波蔵	451	10.2	84.5	5.3
	国場	436	12.2	83.0	4.8
	新都心	495	11.1	85.3	3.6
	安謝	437	14.4	80.1	5.5
	泊	435	11.0	84.6	4.4
	若狭	399	12.5	82.7	4.8
	城岳	453	11.0	85.4	3.5
	かなぐすく	404	12.1	81.9	5.9
	小祿	505	13.9	80.4	5.7
高良	451	11.1	84.5	4.4	
認定別	一般高齢者	7,251	11.7	83.9	4.4
	総合事業利用者	111	18.0	74.8	7.2
	要支援認定者	477	21.4	73.2	5.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 認知症の相談窓口の認知度【必須項目】

図表-170 認知症の相談窓口の認知度



認知症の相談窓口の認知度については、「いいえ(知らない)」の割合が73.0%、「はい(知っている)」が22.2%である。

令和元年度と比較すると、「いいえ(知らない)」の割合が3.9ポイント低い。

性別では、女性は「はい(知っている)」の割合が25.0%で市平均より2.8ポイント高く、男性は「いいえ(知らない)」が76.7%で市平均よりも3.7ポイント高い。

年齢別では、65～69歳では「はい(知っている)」の割合が24.7%で市平均よりも2.5ポイント高い。

圏域別では、「いいえ(知らない)」の割合は国場圏域80.0%と若狭圏域78.4%で市平均よりも5～7ポイント高い。一方、「はい(知っている)」の割合は新都心圏域26.9%で市平均よりも4.7ポイント高い。

図表-171 基本属性別 認知症の相談窓口の認知度

			(%)		
		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		8,425	22.2	73.0	4.8
性別	男性	3,543	18.7	76.7	4.6
	女性	4,758	25.0	70.3	4.7
年齢別	65～69歳	2,177	24.7	71.9	3.4
	70～74歳	2,425	23.4	72.5	4.1
	75～79歳	1,431	20.7	74.4	4.9
	80～84歳	1,226	19.1	74.6	6.4
	85～89歳	747	20.1	74.0	5.9
	90歳以上	276	21.0	71.7	7.2
圏域別	石嶺	547	25.2	69.8	4.9
	大名	465	25.2	70.1	4.7
	城西	492	23.0	72.4	4.7
	繁多川	428	21.7	73.4	4.9
	松川	458	22.9	71.8	5.2
	松島	459	23.5	73.6	2.8
	識名	506	22.3	72.5	5.1
	安里	451	20.0	75.2	4.9
	古波蔵	451	20.0	75.2	4.9
	国場	436	15.4	80.0	4.6
	新都心	495	26.9	69.3	3.8
	安謝	437	20.1	74.6	5.3
	泊	435	24.4	71.0	4.6
	若狭	399	17.3	78.4	4.3
	城岳	453	22.7	74.2	3.1
	かなぐすく	404	22.3	72.3	5.4
	小祿	505	21.2	73.7	5.1
高良	451	25.1	70.7	4.2	
認定別	一般高齢者	7,251	22.5	73.1	4.3
	総合事業利用者	111	27.0	66.7	6.3
	要支援認定者	477	22.6	72.1	5.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

参考資料

使用した調査票

那覇市 介護予防・日常生活圏域 二一ズ調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**令和5年1月13日(金)**までに投函してください。
(切手は要りません)

記入日	令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄: _____)	
3. その他	

****次ページからのアンケートに是非ご回答ください****



記入にあたってのお願い

- 1 この調査は市内在住の 65 歳以上の方（要介護認定者を除く）から無作為に抽出した約 15,000 人を対象に実施しています。
- 2 ご回答にあたっては調査の対象者についてお答えいただきますが、ご家族の方が一緒に回答されたり、また、代わりに記入することも可能です。
- 3 原則として、ご本人の主観等に基づいてお答えください。病名等はご本人がわかる範囲で結構です。
- 4 ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例.

0	6	2
---	---	---

 kg ）でご記入ください。また、「その他」の回答番号を選んだ場合には、その他の具体的内容を（ ）内にご記入ください。
- 5 この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、要介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 6 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。
- 7 記入方法等不明な点がございましたら、別紙に記載している『問い合わせ（協力事業者）』までお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

はじめに

あなたご自身のことについて



(1) 性別 1. 男性 2. 女性

(2) 年齢 (令和4年12月1日現在) (歳)

(3) 要介護度

1. 要支援1 2. 要支援2 3. 総合事業(※)を利用している
4. 1~3のいずれでもない

(※) 介護予防・日常生活支援総合事業：要介護認定を受けていない方も利用できる訪問系サービス、通所系サービス等のサービスのこと

(4) あなたの住んでいる場所はどこですか

※次の「1」～「18」の地域の中から、あなたが住んでいる地域に○印をしてください

1. 石嶺	石嶺町2丁目・3丁目・4丁目
2. 大名	石嶺町1丁目、赤平町、儀保町、久場川町、平良町、大名町
3. 城西	池端町、大中町、金城町、寒川町、鳥堀町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町、赤田町、崎山町、汀良町
4. 繁多川	繁多川、識名2丁目・3丁目
5. 松川	大道、松川、三原1丁目・2丁目
6. 松島	末吉町、松島、真嘉比、古島
7. 識名	字寄宮、寄宮3丁目、長田、三原3丁目、上間1丁目、識名1丁目・4丁目
8. 安里	安里、壺屋、牧志3丁目、樋川2丁目、寄宮1丁目・2丁目
9. 古波蔵	与儀、古波蔵、樋川1丁目
10. 国場	国場、仲井真、真地、上間、字識名
11. 新都心	銘苅、天久1丁目・2丁目、おもろまち3丁目・4丁目
12. 安謝	字天久、安謝[1丁目・2丁目含む]、曙、港町
13. 泊	おもろまち1丁目・2丁目、上之屋、泊、久茂地、前島1丁目・2丁目、牧志1丁目・2丁目
14. 若狭	前島3丁目、松山、若狭、久米、辻、通堂町、西、東町
15. 城岳	松尾、楚辺、壺川、旭町、泉崎
16. かなぐすく	奥武山町、山下町、垣花町、字鏡水、鏡原町、住吉町、当間、赤嶺、安次嶺、大嶺、金城、田原1丁目、高良3丁目、宇栄原1丁目・2丁目・3丁目
17. 小祿	字田原、田原2丁目・3丁目・4丁目、字小祿、小祿1丁目・4丁目・5丁目
18. 高良	小祿2丁目・3丁目、字宇栄原、宇栄原4丁目・5丁目・6丁目、字高良、高良1丁目・2丁目、具志、宮城

はじめに

あなたご自身のことについて



(1) 性別 1. 男性 2. 女性

(2) 年齢 (令和4年12月1日現在) (歳)

(3) 要介護度

1. 要支援1 2. 要支援2 3. 総合事業(※)を利用している
4. 1～3のいずれでもない

(※) 介護予防・日常生活支援総合事業：要介護認定を受けていない方も利用できる訪問系サービス、通所系サービス等のサービスのこと

(4) あなたの住んでいる場所はどこですか

※次の「1」～「18」の地域の中から、あなたが住んでいる地域に○印をしてください

1. 石嶺	石嶺町2丁目・3丁目・4丁目
2. 大名	石嶺町1丁目、赤平町、儀保町、久場川町、平良町、大名町
3. 城西	池端町、大中町、金城町、寒川町、鳥堀町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町、赤田町、崎山町、汀良町
4. 繁多川	繁多川、識名2丁目・3丁目
5. 松川	大道、松川、三原1丁目・2丁目
6. 松島	末吉町、松島、真嘉比、古島
7. 識名	字寄宮、寄宮3丁目、長田、三原3丁目、上間1丁目、識名1丁目・4丁目
8. 安里	安里、壺屋、牧志3丁目、樋川2丁目、寄宮1丁目・2丁目
9. 古波蔵	与儀、古波蔵、樋川1丁目
10. 国場	国場、仲井真、真地、上間、字識名
11. 新都心	銘苅、天久1丁目・2丁目、おもろまち3丁目・4丁目
12. 安謝	字天久、安謝[1丁目・2丁目含む]、曙、港町
13. 泊	おもろまち1丁目・2丁目、上之屋、泊、久茂地、前島1丁目・2丁目、牧志1丁目・2丁目
14. 若狭	前島3丁目、松山、若狭、久米、辻、通堂町、西、東町
15. 城岳	松尾、楚辺、壺川、旭町、泉崎
16. かなぐすく	奥武山町、山下町、垣花町、字鏡水、鏡原町、住吉町、当間、赤嶺、安次嶺、大嶺、金城、田原1丁目、高良3丁目、宇栄原1丁目・2丁目・3丁目
17. 小祿	字田原、田原2丁目・3丁目・4丁目、字小祿、小祿1丁目・4丁目・5丁目
18. 高良	小祿2丁目・3丁目、字宇栄原、宇栄原4丁目・5丁目・6丁目、字高良、高良1丁目・2丁目、具志、宮城

(5) あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。

1. 知っている
2. 名前は知っているが、何をするとところかわからない
3. 全くわからない

問 1

あなたのご家族や生活状況について



(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

→【(2)において「3.現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

(2) ① 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|---|---|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅
<small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 6. 宿泊所（ドミトリー） |
| 7. 共同生活宿泊所（シェアハウス） | 8. その他 |

問 2

からだを動かすことについて



(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

(8) 外出を控えていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

(8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 病気 | 2. 障害 <small>(しょうがい のうそっちゅう こういしょう)</small> (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. 新型コロナウイルス感染症が |
| 11. その他() | 心配 |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

- | | | | |
|----------------|------------------|--------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. つえ歩行 | 3. 自転車 | 4. バイク |
| 5. 自動車(自分で運転) | 6. 自動車(人に乗せてもらう) | | |
| 7. モノレール | 8. 路線バス | | |
| 9. 病院や施設のバス | 10. 車いす | | |
| 11. 電動車いす(カート) | 12. 歩行器・シルバーカー | | |
| 13. タクシー | 14. その他() | | |

問3

食べることについて



(1) 身長・体重

身長 cm

体重 kg

問5

地域での活動について



(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤（「地域ふれあいデイサービス」など） 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会・通り会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

→ 次のページ (2) ①へ

【(2) において「1.是非参加したい」「2.参加してもよい」の方のみ】

(2) ① どのような活動に参加したいですか (いくつでも)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. ボランティアのグループ | 2. スポーツ関係のグループやクラブ |
| 3. 趣味関係のグループ | 4. 学習・教養サークル |
| 5. 「地域ふれあいデイサービス」など 介護予防のための通いの場 | |
| 6. 老人クラブ | 7. 町内会・自治会・通り会 |
| 8. 収入のある仕事 | 9. その他 () |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

問 6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします



(1) あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人 (いくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人 (いくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (いくつでも)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | |
| 4. 医師・歯科医師・看護師・医療相談員 | |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 市役所 |
| 7. その他 () | |
| 8. そのような人はいない | |

(6) 安心して暮らし続けていくために充実してほしいことはありますか (3つまで)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 声かけ | 2. 外出時の移動手段 |
| 3. 健康づくり教室 | 4. 気軽に集まる場 |
| 5. 家事支援 (買物) | 6. 家事支援 (調理) |
| 7. 家事支援 (掃除) | 8. 家事支援 (洗濯) |
| 9. 家事支援 (ごみ出し) | 10. 就労の機会 |
| 11. 防犯・防災情報 | 12. その他 () |

(7) 災害時に備え、どのような準備をされていますか (いくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 避難所の確認 | 2. 非常用物品の準備 |
| 3. その他 () | 4. 特にない |

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

- | | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅけつ のうこうそくなど</small> |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病
<small>とうりょうびょう</small> | 6. 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけっしょう しじつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | | |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | | |
| 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
<small>きんこつかく こつそ しょう</small> | | |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしょう てんとう こっせつなど</small> | | |
| 12. がん (悪性新生物) | | |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>けつえき めんえき</small> | | |
| 14. うつ病 | | |
| 15. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしょう</small> | | |
| 16. パーキンソン病 | | |
| 17. 目の病気 | | |
| 18. 耳の病気 | | |
| 19. その他 () | | |

(8) かかりつけ医はいますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(9) あなたは、要介護状態になった時、どこで介護を受けたい (過ごしたい) ですか

- | | | |
|-------|------------|-------|
| 1. 自宅 | 2. できるだけ自宅 | 3. 施設 |
|-------|------------|-------|

(10) あなたは、どこで終末期を過ごしたいと思いますか

- | | | |
|-------|-------|------------------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 | 3. 有料老人ホーム等の介護施設 |
|-------|-------|------------------|

(11) あなたは、身近な方 (家族) に終末期の医療や介護や延命措置に関する要望を伝えていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(12) あなたは、自宅でも医療ケア (医師や看護師などの訪問) を受けられることを知っていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(13) あなたは、特定健診や長寿健診を定期的に受けていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 8

認知症にかかる相談窓口の把握について



(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい

2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい

2. いいえ

～ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ～